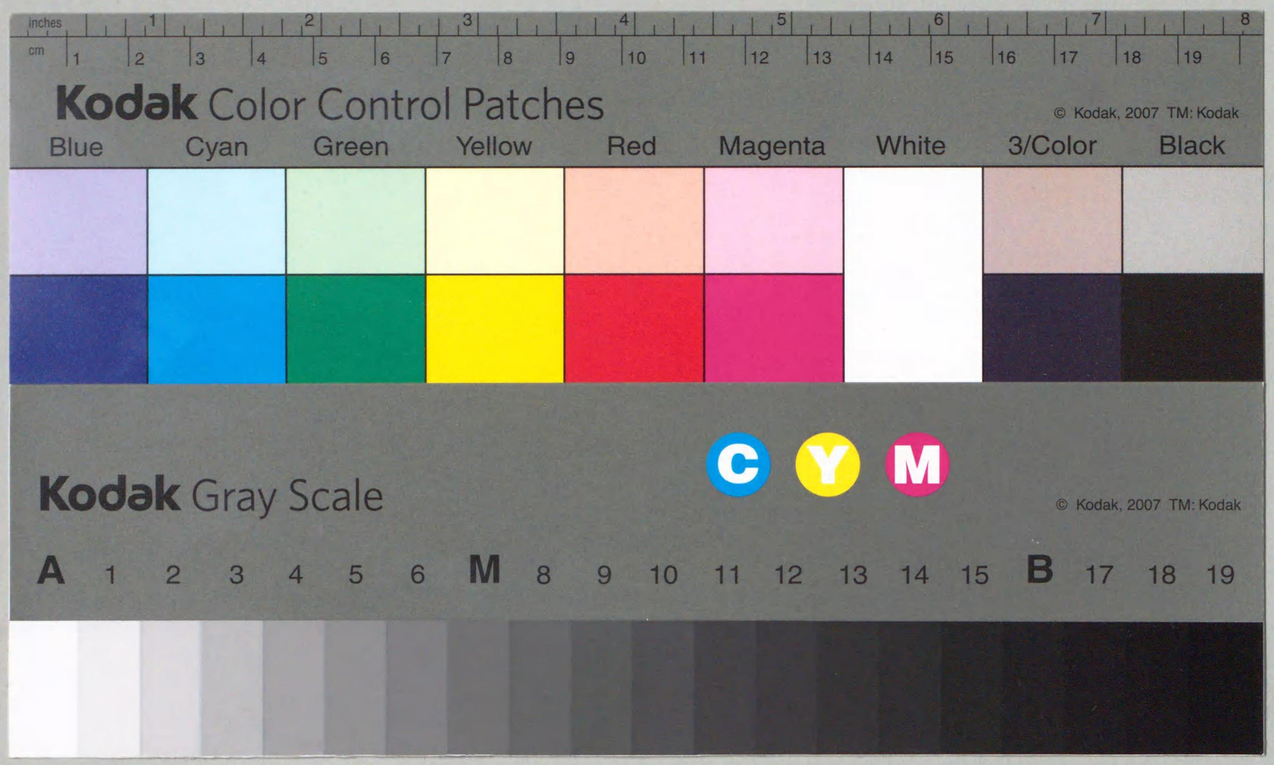


029.7
W46w
00232130

サイG4-33

早稻田大學圖書館和漢圖書分類目録（十八）

商業之部

昭和十二年七月末現在

早稻田大學圖書館

029.7W46w

例言

一　本編ハ本館所藏和漢圖書分類目錄ノ十八(ネ)ニシテ昭和十二年七月末現在ニ係ル商業ノ部ヲ收錄ス

一　一群中竝ニ書名索引ノ排列ハ大約書名ノ發音假名ノ五十音順ニ依ル

一　撰者編者譯者等ノ詳ナラザルモノニハ刊行者ヲ擧グ

一　括弧(　)ヲ以テ圍ミタル刊年ハ之ヲ序跋例言ノ類ニ採リタルコトヲ表示ス

一　刊年ノ徵スベカラザルモノト叢書中ヨリ分出セルモノニシテ該書ガ他ノ部分ト合シテ一冊ヲ成セルモノトニハ刊年ヲ記サズ

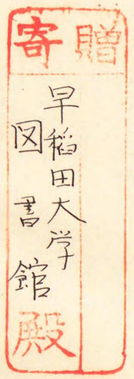
一　叢書類書等ノ細目ノ下方ニ記シタル數字竝ニ圖書番號ノ左旁ニ付シタル數字ハ圖書番號ノ附屬番號ナレバ當該圖書借覽ノ場合ニハ其ノ圖書番號ノ傍ニ附記セラルベシ

一　圖書番號ノ上部ニ星標＊ヲ付シタルハ特別圖書トス

一　本編卷末ニ書名索引ヲ付ス

027.7
W46w

イ　總類
ロ　哲學
ハ　宗教
ニ　理學
ホ　語學　附演說,法
ヘ　文學
ト　教育
チ　藝術
リ　歷史
ヌ　傳記
ル　地理
ヲ　社會　附風俗・家庭・娛樂・運動
ワ　法律
カ　政治
ヨ　經濟
タ　財政
レ　交通
ソ　商業
ツ　農林　附水產
ネ　工學・工業
ナ　醫學
ム　兵事
ヤ　統計
ケ
ヒ



232130

目次

ネ 商業

一 總記・雜書……頁一

總記……一

事彙・辭書……四

叢書……五

商業事情……七

商業地理……一七

商業實務……一八

商業數學……二〇

度量衡……二一

商業文……二三

論說……二五

雜書……二九

雜誌……三一

二 商業經濟附商業史……三三

總記……三三

商業政策……四〇

商業史……四一

三 貿易……四六

總記……四六

貿易史……四九

貿易事情……五二

雜書……六八

雜誌……六九

金融・貨幣……七〇

總記……七〇

事彙・辭書……七一

叢書……七一

金融・恐慌……七六

貨幣……九〇

銀行・信託・爲替・貯金……一〇六

雜書……一二四

雜誌……一二四

五 保險……一二四

六 倉庫……一四〇

七 商品學……一四一

八 廣告……一四七

九 取引所・相場……一四九

一〇 會計學・簿記……一五五

書名索引

ネ 商業

一 總記・雜書

總記

		冊	類	號
金 續編共 明治二一	米・フリードレー撰・坂牧勇助譯補 初・再版 洋・小	二	ネ	一 五三一
通俗經濟記事物語	田坂昇撰 大正一四 洋・小	一	ネ	一 三五六三
現代職業總覽	商業篇(百貨店・外國貿易・問屋・市場) 社會調査協會編 昭和六 洋・中	一	ヨ	一 三六〇〇 二
現代中小商工業論	高橋龜吉撰 昭和一一 洋・中	一	ヨ	一 三八二
現代の商業及商人	福田德三撰 大正九 洋・小	一	ネ	一 二五三
現代の商業及商人	福田德三撰 洋・小 (經濟學全集)	一	ヨ	二 三三六三 四
皇朝新學類纂	商學類 唐・小 廣益書室刊	二	イ	三 一〇五六 五一六
高等商業教育論	福田德三撰 洋・小 (經濟學全集)	一	ヨ	二 三三六三 四
日露國際公法と商事	中外商業新報編輯局編 明治三七 洋・小	一	ワ	二〇 二一四六
個人營業及結社營業	商業世界社編 明治三五 洋・小 (商人文庫)	一	ネ	一 八〇九 四
實業教育五十年史	文部省實業學務局編 昭和九 洋・中	一	ト	六 一六九三
事務管理總論	金子利八郎撰 昭和六 洋・中 (商學全集本)	一	ネ	一 三六五五
商業學	改造社刊 昭和四・六 洋・小 (經濟學全集)	二	ヨ	一 三四九三 四二—四三
商業總論(向井鹿松)		一		信託業(吳文炳) 一
倉庫業(內池廉吉)		一		取引所組織論(向井鹿松) 一
世界商業史要(野村兼太郎)		二		經濟地理學概論(黒正巖) 二
保險論(藤本幸太郎)		二		衆落地理(小田內通敏) 二
商品地理(佐藤弘)		二		
商業學の研究及教授法に就て	田崎慎治撰 洋・中 (長崎高等商業學校創立二十周年記念講演及論文集)	一	ネ	一 三五六六
商業學校ニ於ケル實踐科	瑞西・ウヰツク述・東京高等商業學校譯 明治三五 洋・中	一	ト	六 一六九〇
商業教育	天野爲之・鹽澤昌貞撰 洋・中 (開國五十年史)	一	リ	五 二七〇六 一
商業教育及商業學科の史的回顧と長崎	武藤長蔵撰 洋・中 (長崎高等商業學校創立二十周年記念講演及論文集)	一	ネ	一 三五六六
商業教育制度	日本經營學會編 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 三
中等商業教育改善論(小林行昌)				
本邦高等商業學校に於ける學科課程に就て(國松豊)				
大學商業教育に對する我國社會の要望(高垣寅次郎)				
我國商業教育の現狀(矢野貫城)				
商業教育の分野	矢野貫城撰 洋・中 (赤根谷高商鹽澤記念講演及論文集)	一	ネ	一 三七五一
商業教育論	加藤正雄撰 大正一四 洋・中	一	ト	六 一六九四
高等商業教育論	服部文四郎撰 明治四二 洋・中	一	ト	六 九〇七
商業經營指導講座	東京商工會議所編 昭和一二 洋・中	一	ネ	一 三八三六
中小產業金融(工藤昭四郎)				商店金融方法(井關孝雄)
配給組織の變遷と卸賣商業(向井鹿松)				
科學的商店經營法(上野陽一)				小賣商繁榮策(山田忍三)
百貨店と連鎖店(伊藤重治郎)				自由連鎖店の實際(喜多村實紀)
仕入及販賣方法(田中要人)				外交販賣と其指導方法(後藤達也)
店員の訓練と待遇(加藤恭太郎)				廣告宣傳方法(長岡逸郎)

陳列及裝飾（中里研三）　商店店舗改善の實際（清水正己）
商店街及店舗の照明（關重廣）　商業組合と商工組合中央金庫（大島永明）

商業實踐科教授法　伊・チエウアスコ述・東京高等商業學校譯　明治三五　洋・中　一冊　ト類六　一六九〇號

商業帳簿の法律問題　大住達雄撰　大正一四　洋・小　一　ネ一　三五七一

商業の教育　藤本幸太郎撰（實業教育科學）　洋・中　一　ト二　一七五三

立身成功　商業早わかり　附商業用文例　田村浩撰　大正六　洋・小　一　ネ一　二七六一

商業標準化事業と其價値　米國商務省標準局編・東京商工會議所譯　大正五　洋・中（商業合理化資料）　一　ヨ一　三五九七

商業篇　前田利器譯　明治七　和・中（百科全書本）　二　ネ一　二〇三

商業問題　日本評論社刊　昭和四　洋・中（現代經濟學全集）　一　ヨ一　三四九四

商業概論（內池廉吉）　物價問題（河津暹）
取引所取引論（向井鹿松）　外國貿易論（油本豐吉）

商業利害論　英・斯邊鐵撰・山口松五郎譯　明治一五　洋・小　一　ネ一　三六三八

商工經營講座　第一期第一冊　商工經營學會刊　大正一四　洋・中　一　ネ一　三五六七

商店の研究　前田不二三撰　明治四三　洋・中　一　ネ一　二〇九一

商人獨案內　一名寶買の枝折　吉田巳之助編　明治二〇　洋・小　一　ネ一　一一五

商の意義　福田敬太郎撰（神戸高等商業學校創立二十五周年記念論文集）　洋・中　一　ネ一　三六二一

初學商業書　三原國一郎撰　明治一九　和・中　一　ネ一　五二六

中小商工業の將來　木村增太郎撰　昭和一一　洋・小（新興日本叢書本）　一　ネ一　三八三

中小商工業問題　日本經營學會編（經營學論集）　洋・中　一　ネ二　三四七三五

小賣商の將來（平井泰太郎）　店員制度（井上貞藏）
小賣商對百貨店問題（井關十二郎）　中小商工業者の金融問題（松崎壽）

東京商工會議所和漢圖書分類目錄　同所刊　昭和一二　洋・大　一　イ類二　二〇七九號

取引の智識　室岡四郎撰　大正一一　洋・小　一　ネ一　三六三三

日本商業教育五十年史　佐野善作撰　大正一四　洋・中　一　ト六　一六八七

日本商業教育略史　佐野善作撰　洋・中　一　ト六　一六八九

拜金宗　一名商賣のスヽメ　高橋義雄撰　明治二〇　洋・小　二　ネ一　一四

早稻田大學　商科講演　早稻田大學出版部編　明治三九　洋・中　一　ネ一　一二三四

清國及印度に於ける我貿易の現狀及將來（山岡次郎）
本邦の糖業（下斗米半治）
商品の包裝（松倉順一）
白耳義に就て（石川文吾）
商科學生諸君に望む（手島精一）
內外鑛產物の比較（巨智部忠承）
支那研究（青柳篤恒）
戰時保險談（村瀨春雄）
日本貨幣の沿革（福地源一郎）
酒類の釀造談（奧村順四郎）
支那に於ける各國貿易の現狀（高山圭三）
滿洲視察談（井上辰九郎）

第一回早稻田商業講義　早稻田大學出版部刊　大正三・四　洋・中　六　ネ一　三八四五

商業通論（伊藤重治郎）　一
商品學講義（武田英一）　一
普通商業文（奧村卯兵衞）　二
民法講義（鈴木喜三郎）　二
英語講義（熊木謙二・橫地良吉）　三
商店組織及經營（土屋長吉）　四
最近歐米之商業經營（奧村卯兵衞）　四
工業學綱要（本橋彌八）　四
廣告術原理（服部愿夫）　四
カード・システム（土屋長吉）　五
商業通信事務（伊藤重治郎）　五
商業會計事務（小林行昌）　五
店前裝飾及商品陳列（志摩清一郎）　五
經濟學講義（服部文四郎）　一
商法講義（柳川勝二）　二
商業數學（小林行昌）　三
商業英語（今井友次郎）　三
會社組織及經營（同上）　四
工業經營法（中村康之助）　四
海外移民貿易事情（奧村卯兵衞）　四
簿記講義（吉田良三）　五
商業機械使用法（增田恒藏）　五
商業事務整理法（增田恒藏）　五
顧客應接法（圓城寺良）　五
重要商工法規解說（渡邊文三）　五

第四九回早稻田商業講義　早稻田大學出版部刊　昭和一〇・一一　洋・中　六　ネ一　三八四五

商業一般學科

商業倫理（平沼淑郎）　一
商事要項（伊藤重治郎）　一
實用珠算（村林專之助）　一
新商業實踐（赤堀彌作）　二
活用商業文研究（服部嘉香）　二
民法（遊佐慶夫）　二
商業簿記（吉田良三）　二
工業簿記（杉山茂）　三
商業英語會話（同上）　三
最新店頭陳列法（井關十二郎）　四
最新實用經濟學（小汀利得）　四
カード式事務法（稻宮又吉）　四
日滿語會話（青柳篤恒）　四

商業普通學科

英語講話（前田定之助）　五
算術講義（藤野了祐）　五
幾何學（同上）　五
習字法講義（神部敬三）　六
西洋史講義（森田四郎）　六

士農工商心得草　爲永春水撰　洋・小（通俗經濟文庫）
主從心得書　伴蒿蹊（貧芳）撰　洋・小（通俗經濟文庫）
商家見聞集　飯塚生清撰　洋・小（通俗經濟文庫）
商家古記　洋・中（甲斐叢書）
商家心得草　二卷　洋・中（日本經濟叢書）
商家心得草二卷　洋・中（日本經濟大典）
商道九篇國字解　堤正敏撰・松川修解　洋・中（日本經濟叢書）
商道九篇國字解　堤正敏撰・松川修解　洋・中（日本經濟大典）
商人一枚起請文　手島堵庵（信）撰　洋・中（國民思想叢書）
商人家職訓　江島其磧撰　洋・小（通俗經濟文庫）
商人黃金袋　大江匡弼撰　洋・小（通俗經濟文庫）
商人五行圖　中風亭腰拔撰　洋・小（通俗經濟文庫）
商人生業鑑　五卷　岩垣光定撰　洋・中（日本經濟叢書）
商人生業鑑五卷　岩垣光定撰　洋・中（日本經濟大典）
商人平生記　難波某撰　洋・中（日本經濟叢書）
商人平生記　難波某撰　洋・中（日本經濟大典）
商人夜話草　三卷　上河某撰　洋・中（日本經濟叢書）
商人夜話草　三卷　上河某撰　洋・中（日本經濟大典）
商賣教訓鑑　木南子撰　洋・小（通俗經濟文庫）

一　ヨ一　二七一二
一　ヨ一　二七一一
一　ヨ一　二七一一
一　イ四　一二三九
一　ヨ一　二五二八
一　ヨ一　三四八一
一　ヨ一　二五二八
一　ヨ一　二七一二
一　ヨ一　二七一二
一　ヨ一　二五二八
一　ヨ一　三四八一
一　ヨ一　二五二八
一　ヨ一　三四八一
一　イ四　一三〇四
一　ヨ一　二七一二
一　ヨ一　二七一二
一　ヨ一　二七一二

家職要道　正司考祺撰（日本經濟叢書）　洋・中　一冊　ヨ類一　二五二八號
家職要道　正司考祺撰（日本經濟大典）　洋・中　一　ヨ一　三四八一
質素儉約　現銀大安賣　大和屋圭藏撰（通俗經濟文庫）　洋・小　一　ヨ一　二七一二

町人身體なほし 手島堵庵(信)撰 洋・小 (通俗經濟文庫) 一冊 ヨ一類 二七一二 七
町人身體なをし 手島堵庵(信)撰 洋・小 (手島道話) 一 ロ 九 七一二
町人常の道 茂庵老人撰 洋・小 (通俗經濟文庫) 一 ヨ 一 二七一二 一
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 享保四 和・中 七 ロ 九 一七三
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 文政七 補刻 和・中 七 ロ 九 一〇八
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 和・中 四 ロ 九 一七一五
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 洋・中 (日本經濟叢書) 一 ヨ 一 二五二八 五
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 洋・中 (日本經濟大典) 一 ヨ 一 三四八一 四
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 和・小 (西川如見遺書) 一 イ 四 一二八九 七
町人囊 五卷・同底拂二卷附 西川忠英撰 洋・小 (日本國粹全書) 一 ロ 九 三五八八 一八
町人袋 五卷 西川忠英撰 洋・小 (日本道德叢書) 一 ロ 九 二四八
町人囊底拂 二卷 西川忠英撰 文政七 補刻 和・中 二 ロ 九 五八二
獨慎俗話 一名白木屋管店書 洋・中 (日本經濟叢書) 一 ヨ 一 二五二八 一七
獨慎俗話 一名白木屋管店書 洋・中 (日本經濟大典) 一 ヨ 一 三四八一 二六
渡世肝要記 徽堂撰 洋・小 (通俗經濟文庫) 一 ヨ 一 二七一二 三
升小談 海保青陵(皐鶴)撰 洋・中 (日本經濟叢書ノ內海保青陵經濟談) 一 ヨ 一 二五二八 一八
升小談 海保青陵(皐鶴)撰 洋・中 (日本經濟大典ノ內海保青陵經濟談) 一 ヨ 一 三四八一 二六
萬金產業袋 三宅也來撰 (享保一七) 和・中 三 ネ 一 五三五

身上組建 富貴の地基 壯建翁撰 洋・小 (通俗經濟文庫) 一冊 ヨ 一類 二七一二 六

○

實業家修養法 石井勇講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ロ 九 三三五四
實業訓 澁澤榮一述 明治四三 洋・中 一 ヨ 一 二七一二 一
實業經典 榎本秋村撰 大正二 洋・小 一 ネ 一 一〇七四
商業修身訓 永野耕造撰 明治三七 洋・中 三 ロ 九 三四五
商業道德 杉山重義講 (明治三九年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ 一 一四一三
商業道德 杉山重義講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ 一 九九四
商業道德要義 大江文城撰 明治三九 洋・中 一 ネ 一 一一四六
商業立身策 商業世界社編 再版 洋・小 (商人文庫) 一 ネ 一 八〇九 三
商人道 有馬祐政撰 大正七 洋・小 一 ネ 一 二三一八
燕語生意筋絡 御幡雅文譯 明治三六 洋・小 一 ネ 一 七六
二十世紀の日本商人 座右の銘 大阪每日新聞社刊 明治三八 和・小 一 ネ 一 一二一三

事彙・辭書

新らしい商業經濟の字引 河瀨蘇北撰 洋・小 一冊 ネ 一類 三〇八七
英和外交商業字彙 附日英條約・關稅定率・協定稅率 篠野乙次郎撰 明治三三 洋・小 一 ネ 一 一四九六
研究英和商業經濟辭典 中島鎭造・藤田仁太郎編 昭和八 洋・小 一 ネ 一 三六七五
金融辭典 銀行研究社刊 昭和七 洋・中 (銀行研究特輯) 一 サネ 二九一七
金融大辭典 三卷 橋爪明男編 昭和九 洋・大 三 ネ 一 三六九三

最新商業辭典 實文館編輯所編 明治四〇 洋・小 一 ネ 一 一四五二
商業大辭書 三卷・索引一卷 大日本百科辭書編輯所編 大正一三 增訂改版 洋・大 四 ネ 一 一七三八
商業大辭書 合本一卷・補遺一卷 大日本百科辭書編輯局編 明治三九・四一 洋・大 (大日本百科辭書) 二 イ 三 九七〇一一二
和英商業辭彙 經濟世界社編 英和 明治三六 洋・小 一 ネ 一 一九五

叢書

經營學全集 第七・八・一一・一八・二一・二四卷 東洋出版社刊 昭和九至一一 洋・中 六冊
經營金融論(室谷賢治郎) ネ四・三七三 經營勞務論(古林喜樂) ヨ 九・三八〇八
經濟心理學(藤林敬三) ロ七・三一三 陸運經營論(島田孝一) ツ 二・四七五
證券市場論(福田敬太郎) ネ九・三四〇 產業組合經營論(向井鹿松) ヨ 一・三四三八
經營學大系 第六・一一・一五・二二卷 千倉書房刊 昭和一一 洋・中 四冊
商業經營論(松井辰之助) ネ 二・三四九九 外國爲替論(谷口吉彥) ネ 四・八四九
生命保險論(末高信) ネ 五・三五一七 稅務論(船田勇) タ 四・三五五
高等實業講座 第一至五編 大正三 洋・小・中 五冊
商業學通論(原田祐三) 一 英語商業通信(高島佐一郎) ネ 一 一三六
商業算術(小林行昌) 三 商業簿記及會計(中村茂男) 四
銀行簿記(茂木英雄) 五
商學全集 千倉書房刊 昭和五至一一 洋・中 四一冊
商業通論(增地庸治郎) ネ 二 三六九
經營經濟學總論(向井鹿松) ヨ 八 三七〇
經營學通論(平井泰太郎) ヨ 二 三六三五
經營學原論(村本福松) ヨ 二 三六二四
商工經營(上田貞次郎) ヨ 二 三五〇三
企業形態論(增地庸治郎) ヨ 一〇 三四六
企業統制論(小島精一) ヨ 一〇 三四四四
企業金融論(林健二) ネ 四 三七九五
產業合理化(小島精一) ヨ 一〇 三四二五

配給組織論(谷口吉彥) ネ 二 三六八〇
經營費用論(中西寅雄) ネ 一〇 三四六五
市場論(福田敬太郎) ネ 二 三三三
取引所論(藤田國之助) ネ 九 三三五八
賣買論(小林行昌) ネ 二 三三三五
會計制度論(太田哲三) ネ 一〇 三四六三
工場經營論(國松豐) ヨ 八 三四〇六
事務管理總論(金子利八郎) ネ 一 三六五五
銀行經營論(田中金司・新庄博) ネ 四 三七六四
外國爲替論(增井光藏・傍島省三) ネ 四 三七六八
信託經營論(內藤章・野守廣) ネ 四 三五九〇
倉庫論(內池廉吉) ネ 六 三三〇九
生命保險論(龜田豐次郎) ネ 五 三五〇〇
火災保險論(瀧谷善一) ネ 五 三四九九
海上保險論(藤本幸太郎) ネ 五 三四三〇
陸運(增井幸雄) ツ 二 三四六四
海運(堀光龜) ツ 四 五〇五五
簿記學(原口亮平) ネ 一〇 三四一一
工業會計(吉田良三) ネ 一〇 三四六四
會計監査(三邊金藏) ネ 一〇 三三八九
企業と租稅(勝正憲) タ 四 三三一〇
商業數學(佐々木道雄) ネ 一 三六五六
經營統計(小林新) ヨ 一〇 三四五三
產業心理學(高垣寅次郎・金子弘) ヨ 八 三二七〇
產業能率論(上野陽一) ヨ 八 三三七一
廣告論(中川靜) ネ 八 三三三八
商品學(坂口武之助) ネ 七 三三二八
世界經濟地理(佐藤弘) ル 二 二九六〇
商業概論(福田敬太郎) ネ 二 三三四五

販賣心理（上野陽一） ネ 二 三三四六
金融結制論（高島佐一郎） ネ 四 三六二
經營學文獻解說（平井泰太郎） ヨ 一 三六二八
商業文庫 第一至四編 北田正寅編 明治四一 洋・小 四冊 ネ 類 一 一七三六
商業通義 一 海外新市場 二
仕入と販賣 三 輸出と輸入 四
商人文庫 第三・四・六・一〇・一二編 商業世界社編 明治三四至三六 初・再版 洋・小 五 ネ 一 八〇九
商業經濟談 一 商家繁昌法 二
商業立身策 三 個人營業及結社營業 四
商品及商業地 五
〔橫濱商業會議所〕調査資料 第一至三・六輯 同所調査部刊 大正一五至昭和四 洋・中 二 ネ 一 三五九四
内國貿易ニ於ケル橫濱港ノ地位 一 英支兩國の紛爭と日英貿易の消長 一
外國貿易に於ける橫濱港の地位 一 橫濱港重要貿易品解説（其一至三） 一
橫濱市工業概況 一 製絲金融の現況 二
生糸生産の概況 二 橫濱港重要貿易品解説（其四・五） 二
本邦輸出絹織物に就て 二 支那の動亂と對支貿易 二
輸出生絲の諸問題 二
最近に於ける内外貿易と橫濱港の地位 二
德川時代商業叢書 國書刊行會編 大正二・三 洋・中（國書刊行會叢書） 三 イ 四 七六五 四二一四四
絲亂記（附白絲割符由緒書）（高石某） 四二
奈良曝布古今俚諺集（三枝散人） 四二
町人考見錄（三井高房） 四二 町方書上（江戸） 四二
後藤庄三郎由緒書 四二 呉服師由緒書 四二
日本橋魚市場沿革紀要（川井忠兵衛） 四二
堂島舊記 四三 延米商濫觴記 四三
八木龍之卷（見幾館主人） 四三 八木虎之卷（猛虎軒主人） 四三
大阪商業習慣錄（遠藤芳樹編） 四四 問屋沿革小誌 四四
十組問屋取結書（杉木茂十郎） 四四 諸問屋再興調（江戸町奉行調） 四四
古着問屋舊記（江戸町奉行記） 四四 兩替商舊記 四四
町人考見錄追加 四四 八木豹之卷（猛虎軒主人） 四四
日本産業資料大系 商業 瀧本誠一・向井鹿松編 昭和二 洋・中 三 ヨ 類 五 三四一三 八一一〇
古籍の部
日本商業志（遠藤芳樹編） 八
本朝物價表（西村兼文） 八
大阪商業習慣錄（遠藤芳樹編） 八
問屋沿革小誌 八
記錄の部
商業一般 九
我國に於ける百貨店の沿革（瀧本誠一・向井鹿松編） 九
大正以後に於ける米價竝米量調節（農商務省食糧局編） 九
市場 九
深川市場に於ける正米取引の調査（日本銀行調査局編） 九
日本橋魚市場に關する調査（東京市商工課編） 九
蔬菜及果實に關する調査（農商務省商務局商事課編） 九
東京に於ける石炭市場概要（商工調査會編） 九
東京株式取引所沿革（同取引所編） 九
大阪堂島米穀取引所沿革（同取引所編） 九
金融
生絲貿易と外國爲替（松田昌壽・白井啓二郎編） 九
金融市場の近狀（日本銀行調査局編） 九
都市金融概況（東京市政調査會編） 九
信託に關する調査（日本銀行調査局編） 九
募債引受銀行シンヂケート（三井銀行調査課編） 九

關稅
本邦の關稅政策（明治三〇・三九・四三・大正一五年議會速記錄） 一〇
我國の關稅（東亞經濟調査局編） 一〇
貿易
本邦貿易の變遷（農商務省商務局貿易課編） 一〇
本邦貿易差及其他國際貸借の變遷（瀧本誠一・向井鹿松編） 一〇

商業事情（各地商工統計・商工事情ハ經濟總記（ヨ一〇）ノ商業會議所參照）

愛知縣桃杷島青物市場調査 岡村精次編 昭和五 洋・大（各務研究報告） 一冊 ネ 一 三六三七
青森縣商工業の狀態 附錄名勝舊蹟 大正元 洋・小 青森縣内務部編 一 ネ 一 一八八九
亞米利加事情 原明治郎述 昭和四 洋・中 一 ネ 一 三六二五
安東縣ニ於ケル支那商人 阿部讓吉編 大正二 洋・大（朝鮮銀行月報附錄集） 一 ヨ 一 七七二
安東に於ける商工業の現勢 滿鐵興業部商工課編（南滿洲主要都市と其背後地） 洋・中 一 ヨ 一 三四二八
伊太利に於ける代理商に就て 寺田四郎撰 洋・中（國弊救援基金會甘五年度記念商法論文選） 一 ワ 二 五九三九
魚市場ニ關スル調査 農商務省水産局生産調査會刊 明治四四 洋・大 一 ナ 八 一七四〇
馬市考 西田彰三撰（小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集） 洋・中 一 ネ 一 三七四七
英國貿易事情ノ變化及ビ最近ニ於ケル英國銀行ノ海外發展計畫 （大正九） 洋・中（日本銀行調査局調査書） 一 ヨ 一 九四六
大分縣坂の市町滿弘寺市に關する調査 大分高等商業學校商事調査部刊（商業論集第三卷第二號別刷） 洋・中 一 ネ 一 三六一六
大分市に於ける營業の種類及び分布 大分高等商業學校商事調査部刊 昭和六 洋・中（調査報告書） 一 ネ 一 三六四六
開原糧穀取引事情 須賀勝知撰 昭和三 洋・中（橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九
海外實業練習生一覽 大正四・五各年一二月一日現在 農商務省商工局刊 洋・大 一 ネ 一 七九三
海外出張員報告 大正八年第一號 朝鮮銀行調査局刊 洋・中 一 ネ 一 二六二四
米國ニ於ケル植物性油ノ需給ト大豆油ノ輸入狀況（向井忠） 一
海産物取引慣例取調書 鈴木榮作撰・高等商業學校刊 明治三四 洋・中 一 ネ 一 三六二四
海倫縣城商工事情 滿洲國實業部臨時産業調査局刊 康德二 洋・中（産調資料） 一 ヨ 一 三八六〇 一
大阪商工業概要 附錄大阪重要經濟統計圖表 大阪商工會議所刊（昭和七） 洋・中 一 ネ 一 三六七一
大阪の商品券調査 大阪市役所産業部調査課刊 昭和八 洋・中（大阪市産業叢書本） 一 ネ 一 三八四三
小樽商業統計要覽 小樽商業會議所刊 明治三五 洋・小 一 ネ 一 三一九 一
小樽實業統計要覽 小樽商業會議所刊 明治三九 洋・小 一 ネ 一 三一九 二
小野組破產關係書類 寫本 和・大 一 ネ 一 三八一三
中央卸賣市場に於ける卸賣業者の單複制度と賣場制度 原田博治撰・高等商業學校研究部編（調査研究本） 洋・中 一 ネ 一 三六三七
卸賣物價統計月報 大正二・三年七月至昭和四年一二月 農商務大臣官房統計課編 洋・大 二 ヨ 五 三三八九
卸賣物價統計表 昭和元至五年 商工大臣官房統計課編 昭和四・六年 洋・大 二 ヨ 五 三四〇四
卸賣物價統計表 昭和元至三年 商工大臣官房統計課編 昭和四 洋・大 一 ヨ 五 三四二九
海外各地に於ける重なる日本商品取扱商店調査 附海外に於て外國商品を取扱ふ本邦人商店調査 農商務省商務局刊 明治四四 洋・大 一 ネ 一 二三三一
海外實業練習生一覽 明治四四至大正九・一一・三各年一二月一日現在 農商務省商務局・商工局刊 洋・大 一 ネ 一 九一九
海外實業練習生一覽 大正四・五各年一二月一日現在 農商務省商工局刊 洋・大 一 ネ 一 七九三
海外出張員報告 大正八年第一號 朝鮮銀行調査局刊 洋・中 一 ネ 一 二六二四

華僑ノ現勢 功力千俊編・外務省刊 洋・中 (昭和一〇) 一冊 ネ一類 三七一六號

各都市に於ける商店街調査 日本商工會議所刊 洋・中 昭和一一 二 ネ一 三七二七
近畿・中國及四國地方 一 九州及朝鮮地方 二

菓子業三十年史 小林儀三郎撰 洋・中 昭和一一 一 ネ一 三六九五

韓國ニ於ケル本邦貨物販路取調報告 加藤哲治撰・東京高等商業學校刊 明治四〇 洋・中 一 ネ一 一四四五

生絲國內消費增進方策座談會要記 日本中央蠶糸會刊 洋・中 昭和八 一 ネ一 三六八九

生絲賣買慣習取調報告 津田五郎撰・高等商業學校刊 洋・中 明治三二 一 ネ一 八四九

規模の大小より觀たる本市商工業勞働事情 大阪市社會部編 洋・中 昭和一二 (大阪市)社會部報告) 一 ヨ 九 三〇五一七六

京都市に於ける商慣習 西陣織物及京染呉服に就て 小澤文雄撰 洋・中 昭和一二 (司法研究) 一 ワ 一 六三二七八一

京都市に於ける商店街に關する調査 京都商工會議所刊 洋・中 昭和一一 一 ネ一 三七二五

漁港及魚市場調査 農商務省水産局刊 洋・中 大正元 一 ナ 八 二一三二

桐生商工誌 桐生織物同業組合刊 洋・小 大正三 一 ネ一 三五八五

金輸出再禁止後における卸賣物價の動態 高橋正雄撰 洋・中 (〔九大法文學部〕十周年記念經濟學論文集) 一 ヨ 一 三八四四

群馬縣米統計 昭和一一年 同縣總務部統計課刊 洋・中 昭和一二 一 ナ 三 三三〇三

群馬縣麥統計 昭和一〇年 同縣總務部統計課刊 洋・中 昭和一〇 一 ナ 三 三三〇四

景氣はどう動くか 經濟雜誌ダイヤモンド社刊 洋・大 昭和九・一 (經濟雜誌ダイヤモンド附錄) 二 ネ一 三六八七

化粧品と部外品の常識 大阪化粧品商報社編輯部編 洋・小 昭和九 一 ネ一 三六九九

月賦販賣制度 附錄添 東京商工會議所編 洋・中 (商工調査本) 昭和四 一 ネ 一類 三六二三號

公開市場ニ關スル調査 農商務省商務局刊 洋・大 明治四五 一 ネ一 三八一九

小賣商問題講演並に懇談會速記錄 日本學術振興會委員諸氏を迎へて 大阪小賣振興會刊 洋・小 昭和一二 一 ネ一 三六三一

小賣物價調査月報 昭和四年一二至六年一二月 商工大臣官房統計課調査 洋・大 昭和四五至七 一 ヨ 五 三四一八

小賣物價統計表 昭和五年 商工大臣官房統計課編 洋・大 昭和六 一 ヨ 五 三四〇四三

國際市場に於ける露國コオペレーション 獨・シュキタウ撰・太田三孝譯 洋・大 大正一三 (農文・滿鐵調査資料) 一 ヨ 一 一〇七四六

國產奬勵會會報 同會編 洋・大 大正四 一 ネ一 一四〇四

時局ニ於ケル浦鹽斯德金融貿易竝ニ一般概況 龜島豐治編 洋・大 大正四 (朝鮮銀行月報附錄集) 一 ヨ 一 七七三

市場市營ニ關スル調査報告書 東京市役所勸業課編 大正元 洋・中 一 ネ一 三八三〇

靜岡市商工業諸統計表及靜岡市々街地商店分布圖 昭和一一年八月一五日現在 靜岡縣立靜岡商業學校編 洋・大 一 ネ一 三八三三

實業之支那 梶川半三郎撰 明治三九 洋・中 一 ネ一 四一八

支那經濟全書 第一至七輯 東亞同文書院編 明治四〇・四一 初・再版 洋・中 七 ヨ 一 一二八八 一一七

西伯利及滿洲 附日淸戰露最新地圖 川上俊彥編 明治三七 洋・中 一 ネ一 二〇五

石油販賣業及其組織 馬場鍬太郎撰 (大正二二) 洋・中 (商支部及商洋調査) 一 ル 五 二五三九 一

上海を中心とせる支那の阿片問題 東亞產業協會刊 昭和九 洋・中 (旅協經濟本) 一 ネ一 三七一三

上海物價年刊 民國二四年 民國二四 洋・大 財政部國定稅則委員會刊 一 ネ一 三七四三

上海々產物事情 農商務省商工局刊 大正四 洋・大 (商工彙纂本) 一 ネ一 三五五一

同 大石善四郎編 洋・中 (韓國ニ於ケル本邦貨物販路取調報告ト合刊) 一 ネ一 一四四五

重要商品需給一覽表 昭和五年一二月至六年一二月 三井銀行考查課刊 昭和六・七・和大 一 ネ一 三八一四

重要商品の國際市場 坂田彥夫撰 昭和六 洋・中 (〔滿洲正金銀行〕調査報告) 一 ネ 四 二八四九 一一

商況年報 明治一二至一三年度(一二年八第一號ノミ) 農商務省商務局刊 洋・中 三 ネ一 一二一

小賣商職業相談 東京府職業紹介所編 洋・中 昭和一〇 一 ネ一 三七一四

商取引組織及系統ニ關スル調査 商工省商務局刊 洋・中 昭和二至五 二 ネ一 三六一九
麻織物(舘野重助) 一 木炭(石田磊) 一

人造絹絲(前野不二男) 一 石油(今村正孝) 一
生絲(前野不二男) 二 毛絲(舘野重助) 二
石炭(山田政一) 二 木材(舘野重助) 二
陶磁器(東榮二) 二

商品市場組織 日本經營學會編 洋・中 (經營學論集) 一 ネ二 三四七三 七
商品配給組織の發展傾向に就て(谷口吉彥)
大阪市を中心とする配給市場組織の比較研究(松井辰之助)
毛織物市場組織(木村元治)
我國に於ける農產商品配給組織特に農產生鮮食料品市場に關する研究(福田敬太郎)
滿洲に於ける農產物取引の狀態(井上龜三)
大分地方に於ける主要產物の買集組織(太神和好)
水產物配給組織(馬場誠)
東京市に存在する魚市場組織(林久吉)
綿絲市場に就て(井上豪)

清國江蘇浙江兩省繭生絲調查報告 都市ニ於ケル食料品市場經營一斑 附日本纖魚市場移轉問題 東京市役所 庶務課商工掛刊 大正七 洋・中 一 ネ一 三八一三

清國商業慣習及金融事情 東亞同文書院編 明治三七 洋・中 一 ネ一 三七六

清國商況視察復命書 外務省通商局編 明治三五 洋・大 一 ネ一 四〇〇

清國商業綜覽 第一至四卷 根岸佶編 明治三九・四〇 洋・中 四 ネ一 三六〇四
支那商賈一斑 一 支那商業簿記法一斑 一
支那商業地理 二—三 淸國貨幣及銀行 四

淸國商業綜覽 第一至三卷 根岸佶編 明治三九 洋・中 三 ネ一 一三二七

淸國商話 仁禮敬一撰 明治二八 和・中 一 ネ一 七

清國新開港場商業視察報告書 附回航實記	高柳豐三郎撰	明治二九	洋・中	一冊	ネ一 七八五
震災に因る財界革命と商機	藤田榮三郎撰 大正一二		洋・小	一	ネ一 三八〇五
新日本史 商業篇	瀧本誠一撰		洋・中	一	リ五 四七一一
青島ノ商工業・膠濟鐵道沿線ニ於ケル石炭業・山東鐵道會社概況	滿鐵總務部交渉局譯 (大正一三)		洋・中 (交渉資料本)	一	ネ一 三五八三
世界各國の國產愛用運動	日本商工會議所刊 (昭和八)		洋・小 (國產愛用パンフレット本)	一	ネ一 三六七六
世界景氣の分析 第一・二輯	昭和八		洋・小	二	ネ一 三六八四
世界商業の現勢	向井鹿松撰		洋・中 (世界經濟問題講座)	一	ヨ一 三五五五 三
世界米穀統計	農林省米穀局編 昭和一〇		洋・大	一	ナ三 三三〇五
赤心一片	廣江澤次郎撰 大正四		洋・中	一	ネ一 一五一七
戰時ノ英國財界	吉田節太郎編・朝鮮銀行調査局刊 大正七		洋・中	一	ヨ一 九二三
蘇浙小觀	遠山景直・大谷藤次郎編 明治三六		洋・中	一	ネ一 一五九
第一回日本海商業委員會議事錄	昭和一〇年一一月二二日於東京開會 日滿實業協會刊 昭和一〇		洋・中	一	ネ一 三六一八
大正三年以降東京ニ於ケル物價賃金及米價變動ノ趨勢	東京商工會議所刊			一折	ヨ五 三四一六
大連市中央卸賣市場に就て	齋藤征生撰 昭和五		洋・中 (滿鐵調査資料)	一	ヨ一 九六六 五八
大連市に於ける營業分布に關する調査	大連商工會議所刊 昭和一一		洋・中	一	ネ一 三七二六
大連に於ける特產物の取引及採算	加悅秀二編 昭和六		洋・中 (滿鐵調査資料)	一冊	ヨ一 九六八 六七
臺灣の魚菜市場	楠瀨登編 大正四		洋・大 (臺灣總督府殖產局出版書)	一	ヨ一 一四一七 一六
臺灣ノ米價 附內外產米價格等	臺灣銀行調査課刊 大正八		洋・中	一	ナ三 三二六九
高松市に於ける商店經營調査	大泉行雄撰		洋・中 (經營學論集)	一	ネ二 三四七三 九
茶統計表 昭和七至一一年 昭和八至一二	農林大臣官房統計課編		洋・大	五	ナ三 三三九七
中央卸賣市場に於ける卸賣業者の單複制度と市營制度	原田博治撰		洋・中 (經營學論集)	一	ネ二 三四七三 四
長江流域に於ける日本の經濟現勢と列國商權の消長 其の一・二	東亞產業協會刊 昭和一〇・一一		洋・中	二	ネ一 三七一三
調査彙輯 外國之部・內國之部 (大正八)	(金融・貿易・物價)		洋・中 (日本銀行調査局調査書)	二	ヨ一 九四六 二一三
〔朝鮮〕市街地の商圈	朝鮮產業地圖添		善生永助編 大正一五 洋・中 (〔朝鮮總督府〕調査資料)	一	ヨ一 三一五三 四
朝鮮人の商業	善生永助編 大正一四		洋・中 (〔朝鮮總督府〕調査資料)	一	ヨ一 三一五三 三
朝鮮煙草界の實狀と對支發展策	廣江澤次郎撰 大正三		洋・中 (朝鮮總督府)	一	ネ一 三八二五
朝鮮鐵道沿線市場一斑	朝鮮總督府鐵道局編 明治四五		洋・大	一	ネ一 八三六
朝鮮の市場經濟 附關東州の市場 昭和四	善生永助編		洋・中 (〔朝鮮總督府〕調査資料)	一	ヨ一 三一五三 一四
賃金物價統計月報 第一至二三號 (內第四號缺) 大正一四至昭和一〇			洋・大 內閣統計局編	九	ヨ一 三四二九
帝都食糧品市場の復興と革新	內池廉吉撰		洋・中 (復興叢書)	一	ヲ一 三三四七 一
同	澤見義一稿 (東京商大商學研究)		洋・中 (研究年報)	一	ヲ一 三三七七 一
獨逸に於ける小賣商統制政策の動向				一	ネ二 三三四九 四
東洋市場に於ける化學工業品及機械類の供給に關する調査	布川孫一編 大正八		洋・中 (農商務省臨時產業調査局調査資料)	一	ヨ一 一八三七 一〇
都市卸賣物價表 大正二年三月至三年二月 大正一二	松本敬之撰		洋・大 農商務大臣官房編	一	ヨ五 三二六三
富の滿洲	明治三七		洋・中	一	ネ一 二二九
長崎市商店街に關する調査	(長崎商工會議所刊 (同會議所編滿月報第一九三號附錄))		昭和一一 洋・中	一	ネ一 三七二四
名古屋市貨物集散概況 昭和二至一〇年	名古屋市產業部勸業課編 昭和四至一〇		洋・中・大	九	ネ一 三六一七
名古屋木材市場の變遷	名古屋材木商工同業組合編 昭和六・八		洋・小	二	ネ一 三六六〇
南部支那及香港ニ於ケル商工業 其二 共 大正元・二	農商務省商務局刊		洋・大	一	ネ一 九三八
南部支那及香港ニ於ケル商工業	農商務省商務局刊 大正元		洋・大	一	ネ一 三六九六
日本海商業委員會資料 第一至三輯	日滿實業協會刊 昭和一〇・一一		洋・中・大	三	ネ一 三六九一
日滿最短徑路と日本海に就て	一 日本海沿岸諸港の特質			二	
北日本沿岸に於ける指定港灣の貿易狀況				三	
日本財界の情勢	東京商工會議所調査課編 昭和一〇		洋・中	一	ネ一 三六〇二
日本商業事情視察報告書	英・プレナン逸・大藏大臣官房譯 明治三一		洋・中	一	ネ一 六〇五
日本商品配給解說	向井梅次撰 昭和一一		洋・小	一	ネ七 三三四九
日本橋魚市場に關する調査	東京市商工課編		洋・中 (日本產業資料大系)	一	ヨ五 三四一三 九
農產物及繭統計 大正三年 大正四	千葉縣知事官房編		洋・大	一	ナ一 二六一七
東支鐵道商業課附帶事業概觀	梶山敬編 昭和三		洋・中 (哈事資料本)	一	ネ一 三六三五
東蒙に於ける撥子 (ボーツ)	後藤英男編 大正一四		洋・中 (滿鐵調査資料)	一	ヨ一 九六六 一七
東京大阪卸賣物價指數 大正一一年上半			洋・大 農商務大臣官房編	一	ヨ五 三一二〇
東京・大阪名古屋卸賣及小賣物價指數統計表	商工省商務局編 昭和三		洋・大	一	ヨ五 三三九五
東京外十一市場木材商況調査書	山林局編 (明治三九)		洋・中	一	ネ一 一二九五
東京貨物集散調査書 大正四至昭和九年 (有缺) 大正五至昭和一一	東京市役所刊		洋・中・大	一二	ネ一 一七八四
東京市魚市場年報 昭和五年	東京市役所刊		洋・中	一	ナ八 三三〇八
東京商業調査書 昭和八年 昭和八	東京市役所編		洋・大	一	ネ一 三六九四
東京市內商店街ニ關スル調査 昭和一〇年一二月一〇日現在	東京商工會議所刊 昭和一一		洋・大	一	ネ一 三六二四
東京市に於ける中小商工業者の實際 上編	東京市役所刊 昭和七		洋・中	一	ヨ八 三四一八
東京市日用品調査書 第一編 昭和一一	東京市役所刊		洋・大	一	ネ一 三七三九
東京市物價及賃銀指數表 自明治三三至大正八年現在 大正八	東京商業會議所編		洋・中	一	ヨ五 二七七七
東京に於ける石炭市場の概要	商工調査會編 (日本產業資料大系)		洋・中	一	ヨ五 三四一三 九
東京府下營業用石炭需要調査 昭和八年度 昭和九	東京石炭同業組合刊		洋・大	一	ネ一 三七〇一
東京深川市場ニ於ケル正米取引ニ關スル調査	大正八		洋・中 (日本銀行調査局調査書)	一	ヨ一 九四六 一〇
東京府下五郡に於ける小商業者の現在並其開廢狀態に關する調査	東京府學務部社會課刊 昭和六		洋・小 (社會調査資料本)	一	ネ一 三六五七
東京物價調 大正一一ノ六・一四ノ一至昭和九ノ一二	日本銀行調査課編		洋・大	一	ヨ五 三一一三
東支鐵道商業課附帶事業概觀	梶山敬編		昭和三 洋・中 (哈事資料本)	一	ネ一 三六三五
函館小樽ニ於ケル海產物集散概況及取引慣習調査				一	ネ一 一二二五
報告書	尾上梅太郎撰 明治三九		洋・中	一	ヨ一 九六六 一七

		冊	類	號
哈爾賓に於ける諸會社商店一覽	哈爾賓商業會議所編 大正一二 洋・中（〔滿鐵〕哈調資料）	一	ヨ	一〇五八 一
東蒙古に於ける商業形態に就いて	田中秀作撰・彦根高等商業學校調査課刊 昭和一二 洋・中（調査研究本）	一	ネ	一 三八三
非常時商店繁昌記	清水正己撰 洋・中（非常時國民全集）	一	イ	四 一二七 五
百貨店對小賣店問題	中西寅雄撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ	二 三四七三 一一
百貨店對中小商業問題	東洋經濟新報社刊 昭和一一 洋・小	一	ネ	一 三七三〇
百貨店に惱まされる小賣業者	小汀利得撰 洋・中（非常時國民全集）	一	イ	四 一二七 五
百貨店の實相 附錄「百貨店ノ小賣制限ニ關スル法律案」及ぼす影響	百貨店事業研究會編 昭和一〇 洋・小	一	ネ	一 三七〇八
比律賓群島事情	農商務省商工局刊 明治四二 洋・大	一	ネ	一 一七六九
比律賓ノ天然資源竝ニ勞働事情ト商業界現況一斑	鈴木源吾編・臺北高等商業學校刊 昭和八 洋・中（南支南洋研究調査報告書）	一	ヨ	一 三六七四 二
肥料市場調査報告	明治三九年 明治四〇 松村芳年撰 洋・中	一	ナ	二 五三一
深川市場に於ける正米取引の調査	日本銀行調査局編 洋・中（日本產業資料大系）	一	ヨ	五 三四一三 九
〔廢立東京商工奬勵館〕事業報告	昭和三・四至六・八至一二年度 府立東京商工奬勵館刊	七	ネ	一 三六三四
物價及賃銀ニ關スル調査	簡易保險局編 昭和二 洋・中（積立金運用資料本）	一	ヨ	一 三七八〇
物價調査報告 第一輯	兵庫縣刊 大正一二 洋・中	一	ヨ	五 三一五八
物價・賃金・生活程度	農商務省總務局刊 明治三六 洋・中	一	ヨ	五 二一〇六
物價賃金調査年報	昭和八至一一年 關東局官房文書課刊 洋・大	四	ヨ	五 三四四三
物價統計表	昭和六至一〇年 昭和八至一一年 商工大臣官房統計課編 洋・大	四	ヨ	五 三四〇四 四一七

		冊	類	號
物價二十年	東洋經濟新報社編 昭和七・一〇 洋・大（東洋經濟新報附錄）	二	ヨ	五 三四三九
物價表	明治三三・大正八・一〇下半・一一上半 農商務大臣官房編 大正九至一二 洋・大	三	ヨ	五 二八五三
米穀統計 第一・二次	農商務省食糧局編 大年一一至一四 洋・大（食糧調査資料）	四	ヨ	六 二八三一 一一三・五
米穀統計年報	大正三至一五・昭和三年版 農林省農務局編 大正一四至昭和三 洋・大（食糧調査資料）	四	ヨ	六 二八三一 六一九
米國ニ於ケル亞砒酸需給狀況	商工省貿易局編 大正一四 洋・中（大正一四年貿第一四號）	一	ネ	一 三六九七
米國ニ於ケル生絲取引事情一斑	切田太郎編 大正七 洋・中（橫濱銀行調査局調査書・調乙）	一	ヨ	一 九二二 一三
米國の共同仕入に就て	福助足袋株式會社刊 洋・小	一	ネ	一 三六七八
米國の主要都市に於ける百貨店名	東京輸出協會刊 昭和一一 洋・中（〔東京輸出協會〕資料叢書）	一	ネ	三 三五〇八 三
米麥及繭產額比較表	昭和三至七年 農林大臣官房統計課刊 昭和八 洋・大	一	ナ	一 三三六 三
米麥及繭產額統計表	昭和九・一〇年 農林大臣官房統計課刊 昭和一〇・一二 洋・中（米麥及繭產額比較表ニ續ク）	一	ナ	一 三三六 四
米麥桑畑繭統計表	明治四四年 明治四五 宮崎縣內務部農商課編 洋・小	一	ナ	一 八一六
奉天に於ける商工業の現勢	福山醇藏等編 昭和二 洋・中（南滿洲主要都市と其背後地）	一	ヨ	一 三四二八 二
北米及南米水產物販路調查	小川清一編 大正八 洋・中（農商務省臨時產業調查局調查資料）	一	ヨ	一 一八三七 一一
北滿主要都市商工概覽	附錄重量對照表外三表 關根正德撰 昭和二 洋・中（〔滿鐵〕哈調資料）	一	ヨ	一 一〇五八 一七
北滿地方に於ける特產物の取引及採算	加悅秀二編 洋・中（滿鐵調查資料）	一	ヨ	一 九六六 六三
北滿特產物と日本特產商の現狀	哈爾賓商品陳列館編 洋・小（哈・商・陳・パンフレット）	一	ヨ	一 一〇八八 二
北滿ニ於ケル大豆ト麻袋ノ採算	昭和五 洋・中（滿鐵調查資料）	一	ヨ	一 九六六 五六
北滿に於ける獨逸の經濟的勢力	滿鐵哈爾賓事務所刊 昭和五 洋・小	一	ネ	三 三四二〇

		冊	類	號
香港通過商業調查報告書	明治四〇年 明治四二 東京高等商業學校刊 洋・中	一	ネ	一 一八一六
香港ニ於ケル商取引・法規・商習慣	角野寬治撰 大正八 洋・中（橫濱正金銀行調查報告）	一	ネ	四 二八四四九 一
本市に於ける藥業商店員の生活と勞働	大阪市社會部調查課編 昭和三 洋・中（大阪市社會部報告）	一	ヨ	九 三〇五一 二七
本邦財界大勢一覽表	昭和五・六・一〇・一二年 三井銀行調查課刊 昭和五至一二 洋・大	三	ネ	一 三六六四
繭統計表	大正一三・昭和六至一一年 農林大臣官房統計課編 大正一四至昭和一二 洋・大	七	ナ	六 二四九七
繭取引に關する調查	大正八 洋・中（農商務省臨時產業調查局調查資料）	一	ヨ	一 一八三七 一二
滿洲產業調查資料	商業 赤塚彌太郎等編・關東州民政署刊 明治三九 洋・中	一	ヨ	一 四八二 三
滿洲參考物價統計	昭和六年一月 滿鐵總務部調查課編 昭和六 洋・大	一	ヨ	五 二四一〇
滿洲誌 商業之部	露國大藏省編・農商務省商工局譯 明治三八 洋・中	一	ネ	一 九一三
同		一	ネ	一 三五八二
滿洲事情 附蒙古・青海・伊犁・西藏	山岡矢郎編 明治三七 洋・中	一	ネ	一 二九九
滿洲商工業調查報告書	農商務省商工局編（明治三九） 洋・大	一	ネ	一 三七〇三
滿洲商工要覽	滿鐵興業部商工課編 大正一一・一四 洋・小・大	三	ネ	一 三七五八
滿洲商工現勢	滿鐵興業部商工課編 大正一五 洋・小	一	ネ	一 三七五九
滿洲商工概覽	滿鐵興業部商工課編 昭和三・五 洋・中	二	ネ	一 三七六〇
滿洲商工事情概要	滿鐵地方部商工課編 昭和七 洋・中	一	ネ	一 三七六一
滿洲商工事情	滿鐵地方部商工課編 昭和八至一二 洋・中	四	ネ	一 三七六二
滿洲煙草界の實狀と日本煙草の發展必勝策	廣江滿次郎撰 大正三 再版 洋・中	一	ネ	一 一三三〇
滿洲特產物出廻ノ增加ニ就テ	松原菊藏編 大正八 洋・中（滿鐵）調查資料	一	ヨ	一 九〇六 九

滿洲に於けるセメント工業と其の需給狀況	阪田健次郎編 昭和五 洋・中（滿鐵調查資料）	一	ヨ	一 九六六 六一
滿洲に於ける糧棧	華商穀物問屋の研究 齋藤征生撰 昭和五 洋・中（滿鐵調查資料）	一	ネ	一 九六六 六四
滿洲に於ける糧棧	附錄主要各地糧業交易章程 齋藤征生撰 昭和八 再版 洋・中	一	ネ	一 三六八三
滿洲ノ配給組織概要	齋藤征生編・滿鐵調查課刊 昭和五年） 洋・大	一	ネ	一 三六四八
滿洲物價調查	安盛松之助編 昭和三 洋・大（滿鐵調查資料）	一	ヨ	一 九六六 四六
〔滿洲輸入組合聯合會〕調查	第一至一〇輯・同會商業研究部編 昭和一一・一二 洋・中	一〇	ネ	一 三七三六
滿洲に輸入きるゝ紐布・金巾及大尺布に關する調查	滿洲に於ける鹽干魚・寒天・昆布事情	一		二 三
滿洲に於ける紙	滿洲に於ける食料品罐詰	四		五
滿洲に於ける綾織綿布竝加工綿布	滿洲に於ける石鹼の調查	六		七
滿洲に於ける紙製品	滿洲に於ける人絹織物竝人絹絲	八		九
滿洲に於ける電球				
滿洲に於ける琺瑯鐵器		一〇		
滿蒙開拓者としての漢族商人	田中秀作撰 昭和一二 洋・中（滿蒙事情に於ける通貨概說外六篇 門多榮男編）	一	ネ	一 三八三三
滿蒙商取引總覽 附錄滿洲に於ける通貨概說外六篇	昭和七 洋・小	一	ネ	一 三六六五
滿蒙全書 第五卷（商業）	滿鐵庶務部調查課刊 洋・中	一	ル	六 二九六三 五
南滿洲主要都市と其背後地	滿鐵興業部商工課刊 昭和二 洋・中	三	ヨ	一 三四二八
南滿洲に於ける商業	船津辰一郎撰・外務省刊 明治四〇 洋・中	一	ネ	一 一三三七
宮崎縣繭統計表	宮崎縣內務部編 大正五年 大正六 洋・小	一	ナ	六 二二〇三
麥統計表	農林大臣官房統計課刊 昭和一一年 昭和一一 洋・大	一	ナ	三 三三〇一
綿織物及絹織物年表	昭和五至二年・商工大臣官房統計課編 昭和六至一二 洋・大	六	ヨ	八 三四六九

棉花綿絲賣買慣習取調報告書 五十嵐直三撰・高等商業學校刊 明治三 洋・中 一冊 ネ一類八五〇號

モスリンと其取引 池上正一撰 大正一五 三版 洋・中 一 ネ七 三三〇五

横濱市商店街に關する調査 横濱商工會議所刊 昭和一二 洋・中 一 ネ一 三七四〇

横濱之商勢 附横濱に於ける觀光外客招致に就て 横濱商業會議所懇話會刊 大正三 洋・中 一 ネ一 一三六二

臨時海外派遣官報告集 第一至三回 農商務省商工局編 大正四至八 洋・大 三 ネ一 一八二〇

臨時海外派遣官報告集 第一回 農商務省商工局刊 大正四 洋・大 一 ネ一 一二三五

列國財界大勢一覽表 昭和四・五年調査 三井銀行調査課刊 昭和大 一 ネ一 三六六三

連鎖店 全米商業會議所國內配給部編・東京商工會議所譯 昭和一一 洋・中 一 ヨ一 三五九七 二八

連鎖店組織の二形態 竹林庄太郎撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報) 一 ヨ一 三六五三 五

勞農露國の商業組織に就て 內池廉吉撰 洋・中 (神戸高等商業學校 即 校二十周年 記念講演及論文集) 一 ネ一 三二〇一

露國ニ於ケル物々交換取引ノ復興 大正七 洋・中 (朝鮮銀行調査局調査書・調乙) 一 ヨ一 九二二 三

我國商品相場統計表 金融研究會編 昭和一二 (金融資料) 一 ネ 四 三八三三 五

我が國に於ける百貨店對小賣商問題に關する調査 東京商工會議所刊 昭和四 洋・中 (商工調査本) 一 ネ一 三六二二

割當販賣法 全米商業會議所編・東京商業會議所譯 昭和一一 洋・中 (產業合理化資料) 一 ヨ一 三五九七

○

阿雄博覽會案內 ワシントン州日本人會編 明治四二 洋・大 一 ネ一 六二〇

大分縣北海部郡地方改良事業共進會概況 大正二 洋・小 一 ネ一 三八二八

奥羽聯合共進會案內〔大正五年〕 同共進會山形縣協贊會刊 大正五 折一 ネ一 一六七三

澳國博覽會參同記要〔明治六年〕 田中芳男・本山成信編 明治三〇 洋・中 一冊 ネ一類八二號

同 一 イ一三 七五一

墺國博覽會筆記 墺國博覽會見聞錄(卷一・五)共 同博覽會事務局編 洋・中 (明治文化全集) 一 イ 四 二一三二 九

大阪博覽會便覽〔明治三六年第五回內國勸業博覽會〕 裕隣館編 明治三六年第五回內國勸業博覽會 和・小 一 ネ一 一六九三

繭絲織物陶漆器共進會審查報告 第四區(陶漆器・附同共進會褒賞授與人名錄) 〔明治一八年〕 農務局・工務局刊 明治一八 洋・小 四 ネ一 四一四

五進會二特許意匠實用新案出品案內 農村政實編 明治三九 洋・小 一 ネ一 九二一

始政五年記念農商工部鑛務課出品目錄及解說書 朝鮮總督府刊 朝鮮物產共進會 大正四 洋・大 一 ネ一 一六三〇

一九〇〇年巴里萬國大博覽會第十三部第八十四類

出品審查報告 農商務省刊 明治三五 洋・大 一 ネ一 三〇五

千九百年巴里萬國博覽會臨時博覽會事務局報告 農商務省刊 明治三五 洋・大 二 ネ一 三三三

大大阪記念博覽會誌〔大正一四年〕 大阪每日新聞社編 大正一四 洋・中 一 ネ一 三五五七

第五回內國勸業博覽會圖會(明治三六年) 風俗畫報編輯部編 (風俗畫報增刊本) 一 ネ一 三五五五

第三回內國勸業博覽會寫眞帖〔明治二三年〕 洋・大 一 ネ一 二〇七

第五回內國勸業博覽會審查報告摘要 同博覽會事務局刊 明治二四 洋・中 一 ネ一 二八二

第三回內國勸業博覽會褒賞授與人名錄〔明治二三年〕 內國勸業博覽會事務局刊 洋・中 一 ネ一 二三七

明治廿八年 第四回內國勸業博覽會審查報告 第四部(水產) 同博覽會事務局刊 明治二九 洋・中 一 ネ一 一一九

第十回關西府縣聯合共進會出品陳列意匠寫眞帖〔明治四三年〕 名古屋商業會議所編 明治四三 和・大 一 ネ一 一八七一

大正博覽會寫眞號 實業之日本社刊 大正三 洋・大 (實業之日本第一七卷第八號) 一 ネ一 一二三五

世界大博覽會寫眞帖 成功雜誌社刊 明治四〇 洋・中 一 ネ一 三五八八

大禮記念大阪博覽會報告〔大正四年〕 同博覽會刊 大正五 洋・中 一 ネ一 一六三三

大禮記念東京博覽會誌〔昭和三年〕 原田登編 昭和三 洋・大 一 ネ一 三六〇七

大禮記念東京博覽會事務報告 附錄同會役員・職員〔昭和三年〕 同博覽會刊 昭和四 洋・中 一 ネ一 三六一二

大禮記念國產振興東京博覽會審查報告 附錄受賞人名錄外二項〔昭和三年〕 同博覽會刊 昭和四 洋・中 一 ネ一 三六〇九

大禮記念國產振興東京博覽會について 倉橋藤治郎撰 洋・中 一 ネ一 三六四二

臺灣館 第五回內國勸業博覽會臺灣協贊會刊 明治三六 洋・中 一 ネ一 一九九七

朝鮮博覽會記念寫眞帖〔昭和四年〕 朝鮮總督府刊 昭和五 和・大 一 ネ一 三六二七

東京勸業博覽會〔明治四〇年〕 日本國藝研究會刊 (國藝之友臨時增刊) 明治四〇 洋・中 一 ネ一 五三〇

東京勸業博覽會紀念寫眞帖〔明治四〇年〕 東京製版所刊 博覽會 和・大 一 ネ一 一四三五

東京勸業博覽會事務報告〔明治四〇年〕 東京府廳刊 明治四二 洋・大 二 ネ一 六三四

東京勸業博覽會審查報告 卷三 〔明治四二年〕 東京府廳刊 明治四一 洋・大 一 ネ一 三六五八

東京勸業博覽會圖會 五編 (明治四〇年) 風俗畫報編輯所編 (風俗畫報臨時增刊) 明治四〇 洋・大 一 ネ一 三五八一

東京大正博覽會事務報告〔大正三年〕 東京府刊 大正五 洋・大 二 ネ一 二六七〇

東京大正博覽會審查報告〔大正三年〕 東京府刊 大正五 洋・大 四 ネ一 二六七一

東京大正博覽會第十二部審查準報告〔大正三年〕 東京府刊 大正六 洋・大 一 ネ一 二六七三

特許局發明展覽會出品物略解 第一・三回 同局刊 昭和八・一〇 洋・中 二 ネ一 三七二〇

特許局發明展覽會報告書 第二・三回 同局刊 洋・中 二 ネ一 三七二一

富山縣主催聯合共進會會場概覽 附富山縣案內 同共進會富山縣協贊會刊 (大正二年) 折一 ネ一 一一五五

內外博覽會總說 並に我國に於ける萬國博覽會の問題 永山定富撰 昭和八 洋・中 一 ネ一 三六八五

南京博覽會各省出品調查書〔宣統二年〕 明治四五 南洋勸業會日本出品協會編 洋・中 一 ネ一 八三七

南米展覽會報告書 附同會々場略圖 大正二 洋・中 (大正二年) 日本羅甸亞米利加協會刊 一 ネ一 九五五

同 一 ネ一 一九九四

新潟縣共進會案內〔明治三四年〕 淺川俊治撰 明治三四 洋・小 一 ネ一 一二六八

新潟縣主催一府十一縣聯合共進會報告 (明治三四年) 新潟縣刊 明治三五 洋・中 一 ネ一 九〇

日英博覽會事務局事務報告〔明治四三年〕 農商務省刊 明治四五 洋・大 二 ネ一 八一三

同 二 イ一三 八〇三

日本大博覽會規則 外三項〔明治四五年〕 同博覽會事務局刊 明治四一 洋・中 一 イ一三 八〇五

紀元二千六百年記念日本萬國大博覽會 日本萬國博覽會協會編 昭和一〇 洋・大 一 ネ一 三七一五

市制三周年記念萩史蹟產業大博覽會要覽 同博覽會事務局編 (昭和九) 洋・中 一 ネ一 三七〇五

巴奈馬太平洋萬國大博覽會 第一・二 新世界新聞社編輯局編 大正元・三 洋・大 二 ネ一 一三八八

巴奈馬太平洋萬國大博覽會 第一 新世界新聞社編輯局編 大正二 再版 洋・大 一 ネ一 一〇六七

巴奈馬太平洋萬國博覽會參同事務報告〔一九一五年〕　農商務省刊　大正六　洋・大　冊　ネ一類　一八〇九號

府縣聯合共進會審查復命書　農商務大臣官房博覽會課・同省商工局刊　明治四一至大正一〇　洋・中　二　ネ一　五八〇

山梨縣主催一府九縣聯合共進會（明治三九年）　一　ネ一　一七四二
鳥取縣主催第三回中國五縣聯合畜產共進會（同上）　一　ネ一　一五一〇
三重縣主催第九回關西府縣聯合共進會（明治四一年）　二　ネ一　一五一〇
長野縣主催一府十縣聯合共進會（同上）　三　ネ一　一八〇七
福島縣主催第六回奥羽六縣聯合畜產共進會（同上）　四　ネ一　一八一〇
山口縣主催第四回中國六縣聯合畜產共進會（同上）　四　ネ一　三七〇〇
福岡縣主催第十三回九州沖繩八縣聯合共進會（明治四三年）　五　ネ一　三七〇〇
愛知縣主催第十回關西府縣聯合共進會（同上）　六―七　ネ一　一七四二
群馬縣主催一府十四縣聯合共進會（同上）　八　ネ一　一八三〇 一一
廣島縣主催第五回中國六縣畜產共進會（同上）　八　ネ一　一八三〇 三
富山縣主催一府八縣聯合共進會（大正五年）　九　ネ一　一八三〇 四―七
山形縣主催奥羽聯合共進會（大正二年）　一〇　ネ一　二七〇三
大分縣主催第十四回九州沖繩八縣聯合共進會（大正一〇年）　一二　ネ一　三七〇〇

平和記念東京博覽會規則〔大正二年〕（大正一〇）　同博覽會事務局刊　洋・小　一　ネ一　二七〇三
平和記念東京博覽會事務報告〔大正一一年〕　大正一二　同博覽會刊　洋・大　二　ネ一　三三七七
平和記念東京博覽會審查報告〔大正一一年〕　東京府廳刊　洋・大　二　ネ一　三〇九三
山形縣主催奥羽聯合共進會審查復命書〔大正五年〕（大正六）　農商務省商工局刊　洋・中　一　ネ一　一七九五
臨時博覽會事務局報告　同附圖圖譜　同局刊　〔一八八九年シカゴ開催世界博覽會〕　明治二八　洋・中・大　二　ネ一　二九一

○

旭川區商工人名錄　旭川實業協會刊　大正七　洋・小　一　ネ一　二三七〇
安東商工案內　安東商工會議所刊　昭和四　洋・小　一　ネ一　三八五六

宇都宮市商工要覽　同商業會議所刊　明治四四至大正九　洋・小　三　ネ一　一八〇七
江戸買物獨案內　附飲食之部　中川芳山堂刊　文政七　和・小　三　ネ一　一八〇七
大阪商工銘家集　松岡濱翁編（弘化三）　和・小　一　ネ一　一八一〇
同　一　ネ一　三七〇〇
岡山商工人名錄　岡山商業會議所刊　明治四二　洋・小　一　ネ一　一七四二
小樽商工案內　大正四年　小樽商業會議所刊　大正四　洋・小　一　ネ一　一五一〇
小樽商工人名錄　大正一二年　小樽商業會議所刊　大正一二　洋・小（小樽商工案內ニ接ス）　一　ネ一　一五一〇 二
かなさは　金澤商業會議所刊　大正三　洋・小　一　ネ一　三八二六
川越商工案內　川越商業會議所刊　明治四四　和・小　一　ネ一　二三六三
桐生商工誌　桐生織物同業組合刊　大正三　洋・小　一　ネ一　三五八五
交信賚要　今北治策撰　明治四四　洋・大　一　ネ一　七五七
高知商工人名錄　高知商業會議所刊　明治四二・四三　洋・小　二　ネ一　一八三〇 一一
高知商工案內　高知商業會議所刊　大正二　洋・小（高知商工人名錄ニ接ス）　一　ネ一　一八三〇 三
かうち　高知商業會議所刊　大正四至一五　洋・小（高知商工案內ニ接ス）　四　ネ一　一八三〇 四―七
高知商工人名錄　高知商業會議所刊　明治四二　洋・小　一　ネ一　一〇八〇
神戸市商工名鑑　神戸市役所產業課刊　昭和一二　洋・大　一　ネ一　三七八三
佐賀縣商工銘鑑　附成功者列傳　常屋敷竹二郎編　明治四〇　和・小　一　又五　二六四三
七十五日　天明版複製・大正三　和・小（稀書複製會刊行書）　一　イ四　一〇一〇 一八
全國書籍商名簿　東京書籍商組合事務所刊　明治四〇　洋・小　一　ネ一　二七五三
大連商工名錄　昭和二・三・五・七年版　大連商業會議所刊　昭和四　洋・小　四　ネ一　三五九一

高岡市商工人名錄　高岡市役所・高岡商業會議所刊　大正二　洋・小　一　ネ一　二一〇三
津商工人名錄　明治四〇年七月調　津商業會議所刊　明治四〇　洋・中　一　ネ一　一四四九
帝國信用錄　八至二二版・有缺　帝國興信所刊　大正四至昭和四　洋・大　二　ネ一　三七六三
東京諸營業員錄　一名買物手引　賀集三平撰　明治二七　洋・小　一　ネ一　一二四
最近東京市商工案內　附錄東京市重要物產同業組合外七項　東京市役所庶務課編　大正一〇　洋・小　一　ネ一　二五五一
德島商工人名錄　德島商業會議所刊　明治四一・四二　洋・中　二　ネ一　一七五二
豐橋商工案內　豐橋商工會議所刊　昭和四　洋・小　一　ネ一　三六三三
長岡商工人名錄　昭和三年版・長岡商工案內附　長岡商工會議所刊　昭和四　洋・小　一　ネ一　三六一四
長岡實業案內　長岡商業會議所刊　明治四一再版　洋・小　一　ネ一　一七二〇
長崎商工名錄　長崎商業會議所調查部刊　大正七　洋・中（長崎商業會議所創立廿五周年紀念刊行叢書）　一　ヨ一　二三五九 四
長野商工案內　長野商業會議所刊　明治四一　洋・小　一　ネ一　一七二二
名越各業獨案內　初編　明治四　和・小　一　ネ一　二八一二
名古屋商工人名錄　名古屋商業會議所刊　明治四二　洋・中　一　ネ一　一二三四 一
名古屋商工案內　第二至一〇版・內第九版缺　明治四三至昭和三　洋・中　名古屋商業會議所刊（名古屋商工人名錄改題）　八　ネ一　一二三四 一一九
名古屋商工案內　商工案內圖添　名古屋商業會議所刊　明治四三　洋・中　二　ネ一　三五三七
名古屋市商工案內圖　名古屋商業會議所刊　明治四三　折　一　ネ一　二〇七二
增補浪花買物獨案內　一名商人買物獨案內　慶應三　補彫　和・小　一　ネ一　一八〇八
增補訂正日本全國商工人名錄　同發行所編　明治三一　再版　洋・大　一　又五　二八〇〇
廣島商工人名錄　明治四〇年四月一日調　廣島商業會議所刊　明治四〇　洋・小　一　ネ一　三五八六 一

廣島市商工人名錄　大正七年度　廣島商業會議所刊　大正七　洋・小（廣島商工人名錄ニ接ス）　一　ネ一　三五八六 二
廣島商工案內　大正一四・昭和四年版　廣島商業會議所刊　大正一四・昭和四　洋・小（廣島商工人名錄ニ接ス）　二　ネ一　三五八六 五―四
平壤商工案內　附商工人名錄　平壤商業會議所刊　大正六　洋・小　一　ネ一　一八三六
奉天商工名錄　大正一三年一〇月現在　奉天商業會議所刊　大正一三　洋・小　一　ネ一　三三三五
滿鐵沿線商工要錄　附錄會社附屬地職業機會外二三項　滿鐵地方部地方課刊　大正六　洋・小　一　ネ一　二一九五
橫濱商工人名錄　大正二六各年三月一日現在　橫濱商業會議所懇話會刊　和・小　二　ネ一　一二五三
四日市商工案內　四日市商業會議所刊　明治四四　洋・小　一　ネ一　二一一七

商業地理

增補華夷通商考　五卷　西川忠英撰　（寶永六）　和・中　一　ネ一　一二八七
增補華夷通商考　五卷　西川忠英撰　洋・中（日本經濟叢書）　一　ヨ一　二三五八 五
增補華夷通商考　五卷　西川忠英撰　洋・中（日本經濟大典）　一　ヨ一　三四八一 四
增補華夷通商考　五卷　西川忠英撰　和・小（西川如見遺書）　一　イ四　二八九 四　折
支那物產地圖　青島埠頭局調查統計部譯編　大正四　一　ヨ一　一四六〇
商業地誌　ニューラップ之部　一瀨錄之助・多羅尾浩三郎編　明治二三　洋・小　一　ネ一　三四
商業地理　永田健助講（大日本實業學會講義錄）　洋・中　一　ネ一　三六三九
商業地理學　下田禮佐撰　洋・中（實業地理學）　一　ル一　二九五四 五
商業地理教科書　猪原吉次郎編　明治三六　洋・中　二　ネ一　一九〇
商工地理學　永井惟直撰　明治三二　洋・中（帝國百科全書本）　一　ネ一　八七〇
商工地理學　永井惟直撰　明治三二　洋・中（帝國百科全書）　一　イ四　一五一 三六

商工地理學	永井惟直撰 明治三六 三版 洋・中	（帝國百科全書本）	冊 一	類 ネ一	號 三七八四
商工地理學	卷一（總論・日本部）・附圖添 奈佐忠行編 明治二九 洋・中		二	ネ一	一七八
同			二	ネ一	三六五
商品及商業地	商業世界社編 明治三六 洋・小	（商人文庫本）	一	ネ一	一七八
商品地理	佐藤弘撰 洋・小	（經濟學全集ノ內商業學下）	一	ヨ一	三四九三 四三
商品地理	武田英一講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ七	三三二八
清國商業地理	勝部國臣撰 明治三八 洋・中	（帝國百科全書）	一	イ四	一五一 一二〇
西洋商業地理	松村吉則講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三六〇
西洋商業地理	松村吉則講 （明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三〇九
西洋商業地理	松村吉則講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一九八
世界交通商業地理	藤田元春撰 昭和八 洋・中		一	ネ一	三六八一
世界商工地理	松村吉則撰 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八五九
東洋商業地理	矢津昌永講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三六一
東洋商業地理	矢津昌永講 （明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三〇七
日本商業地誌	永田健助編 明治三二 洋・小		一	ネ一	一三一
日本商業地誌	永田健助編 明治三五 七版 洋・中		一	ネ一	一九一
日本商業地理	池本純吉講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八二
日本商業地理	池本純吉講 （明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	九七一
日本商業地理	原稜威雄講 （第一回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一〇九三
日本商業地理	原稜威雄講 （第二回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一九七八
日本商業地理教科書	早稻田大學編輯部編 明治三八 洋・中		一	ネ一	九三四
同			一	ネ一	一〇三二
同			一	ネ一	一〇三三
日本商工地理	松村吉則講 （明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八五七
日本商品地理	池本純吉撰 明治三八 洋・中		一	ネ七	九一三
同			一	ネ七	九一四
萬國商業地誌略	永田健助編 明治三六 訂正四版 洋・中		一	ネ一	一九二
英萬國商業地圖 和萬國商業地圖	附錄添 吉田弟彥編 明治三七 洋・大		一	ネ一	三六四五
萬國商業地理書	英・嘉禮締撰・宮崎言成譯 明治二二 洋・小		一	ネ一	五

商業實務

最近英國商業實務	小林行昌・下平精一編 明治三六 洋・中		一	ネ一	三一七
同			一	ネ一	九三九
歐米商業取引	今井友次郎講 （明治四四年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八一六
歐米商業取引	今井友次郎講 （第七回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八一八
カード・システム	土屋長吉講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	二〇二〇
カード・システム	土屋長吉講 （明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	二三四四
カード・システム	土屋長吉講 （明治四四年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	九七一
カード・システム	土屋長吉講 （第七回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一〇九三
カード・システム	土屋長吉講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一五三九
海外商業實務	今井友次郎講 （第一回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一〇六〇
海外商業實務	今井友次郎講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一三五九
海外商業實務	今井友次郎講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一九九四
海外商業實務	銀行及手形編 今井友次郎撰 明治四二 洋・中		一	ネ一	一七九
客の來る店	小里散陸撰 大正三 再版 洋・小		一	ネ一	三七八六
クラーアク・ブック	米・ファリングトン撰・中村愛利三・松宮三郎譯編 大正五 洋・小		一	ネ一	三七六六
進歩的經營法	小賣商店繁昌策 石井研堂撰 明治四二 洋・中		一	ネ一	一九一三
顧客應接法	圓城寺良講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七九
最新賣出し法	品川卯一撰 明治四四 洋・小		一	ネ一	三七八七
最新事務法	西村正雄撰 明治三八 洋・小		一	ネ一	一三五六
最新商品賣込術	江口岳東撰 大正三 洋・小		一	ネ一	三七八五
仕入と販賣	北田正寅編 明治四一 洋・小 （商業文庫）		一	ネ一	一七三六 三
資金運用と經費節減法	清水正已撰 大正一一 洋・小		一	ヨ一〇	二八三七
實業用務實典	後藤求馬撰 明治二九 洋・小		一	ネ一	二一一
商家繁榮策	土屋長吉撰 明治三六 洋・小		一	ネ一	一八一
商家繁榮策	土屋長吉撰 明治三六 三版 洋・小		一	ネ一	七八〇
商家繁昌法	商業世界社編 明治三四 洋・小 （商人文庫）		一	ネ一	八〇九 二
商業機械使用法	增田恒藏講 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七一
商業機械使用法	增田恒藏講 （第七回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七三
商業機械使用法	增田恒藏講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七七
商業經營法	土屋長吉講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一三五九
商業經營法	土屋長吉講 （明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一二九七
商業經營法	土屋長吉講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八〇五
商業實踐法	土屋長吉講 （明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七九四
商業實務	水口晉三郎撰 昭和一二 洋・中		一	ネ一	三八〇七
商業實務出世外交術	石川六郎撰 大正一四 洋・小		一	ネ一	三三一〇
商業事務整理法	增田恒藏講 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七六八
商業事務整理法	增田恒藏講 （第七回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七〇
商業事務整理法	增田恒藏講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七六
商業十二講	石川文吾撰 大正一五 洋・小		一	ネ一	三八二〇
商業帳簿の大革命	一名カード式記帳法の理論及實際 明治三九 洋・中	澤田四郎撰	一	ネ一	三七六五
商業通信事務	伊藤重治郎講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七八
商業の模範的經營	前編 コップ撰・竹村修譯 明治四〇 洋・中		一	ネ一	一七六五
商業の理論及實務	井附表 岡崎孝一・川村善輔撰 明治四五 洋・中		二	ネ一	八〇〇
商工執務法	土屋長吉撰 明治四〇 洋・中		一	ネ一	一七二六
商戰必勝	土屋長吉撰 明治三八 洋・小 （商業實務叢書本）		一	ネ一	八六五
商店會社事務實例	內外 土屋長吉撰 明治四二 洋・中		一	ネ一	三三九五
商店組織及經營	土屋長吉講 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八〇一

海外商業實務	今井友次郎講 （第一回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一〇六〇
海外商業實務	今井友次郎講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一三五九
海外商業實務	今井友次郎講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一九九四
海外商業實務	銀行及手形編 今井友次郎撰 明治四二 洋・中		一	ネ一	一七九
客の來る店	小里散陸撰 大正三 再版 洋・小		一	ネ一	三七八六
クラーアク・ブック	米・ファリングトン撰・中村愛利三・松宮三郎譯編 大正五 洋・小		一	ネ一	三七六六
進歩的經營法	小賣商店繁昌策 石井研堂撰 明治四二 洋・中		一	ネ一	一九一三
顧客應接法	圓城寺良講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七九
最新賣出し法	品川卯一撰 明治四四 洋・小		一	ネ一	三七八七
最新事務法	西村正雄撰 明治三八 洋・小		一	ネ一	一三五六
最新商品賣込術	江口岳東撰 大正三 洋・小		一	ネ一	三七八五
仕入と販賣	北田正寅編 明治四一 洋・小 （商業文庫）		一	ネ一	一七三六 三
資金運用と經費節減法	清水正已撰 大正一一 洋・小		一	ヨ一〇	二八三七
實業用務實典	後藤求馬撰 明治二九 洋・小		一	ネ一	二一一
商家繁榮策	土屋長吉撰 明治三六 洋・小		一	ネ一	一八一
商家繁榮策	土屋長吉撰 明治三六 三版 洋・小		一	ネ一	七八〇
商家繁昌法	商業世界社編 明治三四 洋・小 （商人文庫）		一	ネ一	八〇九 二
商業機械使用法	增田恒藏講 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七一
商業機械使用法	增田恒藏講 （第七回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七三
商業機械使用法	增田恒藏講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七七
商業經營法	土屋長吉講 （明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一三五九
商業經營法	土屋長吉講 （明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	一二九七
商業經營法	土屋長吉講 （明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八〇五
商業實踐法	土屋長吉講 （明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七九四
商業實務	水口晉三郎撰 昭和一二 洋・中		一	ネ一	三八〇七
商業實務出世外交術	石川六郎撰 大正一四 洋・小		一	ネ一	三三一〇
商業事務整理法	增田恒藏講 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七六八
商業事務整理法	增田恒藏講 （第七回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七〇
商業事務整理法	增田恒藏講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七六
商業十二講	石川文吾撰 大正一五 洋・小		一	ネ一	三八二〇
商業帳簿の大革命	一名カード式記帳法の理論及實際 明治三九 洋・中	澤田四郎撰	一	ネ一	三七六五
商業通信事務	伊藤重治郎講 （第八回早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三七七八
商業の模範的經營	前編 コップ撰・竹村修譯 明治四〇 洋・中		一	ネ一	一七六五
商業の理論及實務	井附表 岡崎孝一・川村善輔撰 明治四五 洋・中		二	ネ一	八〇〇
商工執務法	土屋長吉撰 明治四〇 洋・中		一	ネ一	一七二六
商戰必勝	土屋長吉撰 明治三八 洋・小 （商業實務叢書本）		一	ネ一	八六五
商店會社事務實例	內外 土屋長吉撰 明治四二 洋・中		一	ネ一	三三九五
商店組織及經營	土屋長吉講 （明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中		一	ネ一	三八〇一

		冊	類	號
商店組織及經營	土屋長吉講（第七回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三八〇〇
商店組織及經營	土屋長吉講（第八回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三七九九
商店の科學的經營法	大店と小店の背景競爭外一九篇　新愛知新聞社編　大正一四　洋・小	ネ一	ネ一	三七九一
商店の管理及經營	清水正已撰　大正一〇　三版　洋・小	ネ一	ネ一	三七九七
商店繁榮策	圓城寺良撰　大正四　洋・中	ネ一	ネ一	三七九五
小店舖の整頓法	全米商業會議所編・東京商工會議所譯　昭和一一　洋・中（產業合理化資料）	ヨ一	ヨ一	三五九七 二六
商略	桑谷定逸撰　大正二　五版　洋・中	ネ一	ネ一	三七九八
店頭讀本	新販賣術　米・ムッディー撰・堀內新泉譯　明治四二　洋・中	ネ一	ネ一	一八九九
數字が示す商店經營法	西川清二郎撰　昭和八　六版　洋・小	ネ一	ネ一	三七九〇
西洋商賣百話	品川卯一撰　明治四四　和・小	ネ一	ネ一	三七八八
如何すれば小賣店は繁榮するか	山田盈三譯（昭和一一）洋小（商工パンフレット本）	ネ一	ネ一	三七四一
人間學用能率的販賣經營法	中外商業調査會能率研究部編　大正一三　洋・中	ネ一	ネ一	三七九六
米國見物繁昌する商賣振り	大塚浩一撰　昭和二　洋・小	ネ一	ネ一	三七八九
販賣學講話	松宮三郎撰　大正一二　再版　洋・小	ネ一	ネ一	三八〇九
同		ネ一	ネ一	三八一〇
販賣術原理	品川卯一講（明治四四年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三七九三
販賣術原理	品川卯一講（第七回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三七九三
販賣術原理	品川卯一講（第八回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三八〇四
百貨店經營學	水野祐吉撰　昭和八　洋・中	ネ一	ネ一	三八〇八

		冊	類	號
百貨店に於ける商品管理	小寺敬一撰　洋・中（經營學講演集）	ヨ一	ヨ二	三四五一
百貨店論	三編・附錄百貨店の研究文獻外一篇　水野祐吉撰　昭和一二　洋・中	ネ一	ネ一	三八二二
經營ワナメーカー寶典	井關十二郎譯　大正一五　洋・小	ネ一	ネ一	三七六四
商業數學				
會計數理	久武雅夫撰　洋・中（會計學全集）	ネ一	ネ一	三四二九 一一
高等商業數學	小林行昌撰　前編　明治四〇　洋・中	ネ一	ネ一	一二九三
同	小林行昌撰　前編　明治四〇　洋・中	ネ一	ネ一	一二三四
高等商業數學	小林行昌撰　前編　明治四〇　再版　洋・中	ネ一	ネ一	八四〇
高等商業數學	小林行昌撰　前・後編　明治四一・四二　再・三版　洋・中	ネ一	ネ一	二〇七一
高等商業數學	小林行昌撰　再訂合本　大正二　六版　洋・中	ネ一	ネ一	一〇九六
同	小林行昌撰　再訂合本　大正三　七版　洋・中	ネ一	ネ一	一二六六
高等商業數學	小林行昌撰　再訂合本　大正六　九版　洋・中	ネ一	ネ一	三七四一
高等商業數學	小林行昌撰　增補改訂　大正八　一一版　洋・中	ネ一	ネ一	三六五〇
高等商業數學	小林行昌撰　增補改訂　高等商業數學　昭和二・一一　一六・一八版　洋・中	ネ一	ネ一	三七八九
高等利息算	附錄共　原口亮平撰　訂正一五版　洋・中	ネ一	ネ一	三七八三
四期拂債券現價表	五分利　大藏省編　昭和二　洋・大	ネ一	ネ一	三四五六
低利率債券現價表	二期拂　日興證券株式會社刊　昭和一〇　洋・小	ネ一	ネ一	三七五七
最新商業算術	五十嵐治郎撰　明治三九　洋・小	ネ一	ネ一	一〇四九

		冊	類	號
實用速算法	神尾錠吉講（第一回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三五七六
實用速算法	神尾錠吉講（明治三九年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	一四〇一
實用速算法	神尾錠吉講（明治四〇年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	一九八〇
實用速算法	神尾錠吉講（明治四一年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	二三三三
實用生命保險數學	忍田又男撰　昭和八　洋・中	ネ一	ネ五	三四五三
商業算術	大坂榮講（明治三九年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	一三五八
商業算術	大坂榮講（明治四〇年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	一三〇一
商業算術	大坂榮講（明治四一年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	二〇二三
商業算術	小林行昌講（明治四二年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	九八六
商業算術	小林行昌撰　明治四四　洋・中	ネ二	ネ一	二一七七
商業算術	小林行昌撰　大正三　訂正再版　洋・中	ネ二	ネ一	三五八四
商業算術	小林行昌撰　大正三　洋・中（高等實業講座）	ネ一	ネ一	一三三六 三
實用商業算術	中野觀象編　明治三七　修正八版　洋・中	ネ一	ネ一	八〇六
新商業算術	並ニ附屬諸表　小野十郎撰　明治四〇　洋・中	ネ一	ネ一	一四五一
新商業算術	並ニ附屬諸表　小野十郎撰　改版初訂　昭和二　洋・中	ネ一	ネ一	三五九二
最新商業算術教科書	第一卷　立花寬藏撰　明治三七　洋・小	ネ一	ネ一	九五四
商業數學	小林行昌講（明治四三年度早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	九七三
商業數學	小林行昌講（第七回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	三五七四
商業數學	小林行昌講（第八回早稻田商業講義）洋・中	ネ一	ネ一	一五四六

		冊	類	號
商業數學	佐々木道雄撰　昭和六　洋・中（商學全集本）	ネ一	ネ一	三六五六
商業數學	藤田外次郎編　明治三六　洋・中（商業叢書本）	ネ一	ネ一	九三五
商業數學上の問題としての減價計算	佐々木道雄撰　洋・中（河津博士還曆記念經濟學の諸問題）	ヨ一	ヨ一	三七七九
商用算術	村瀨太郎八講（大日本實業學會講義）洋・中	ネ一	ネ一	三七七
實業新算術教科書	長澤龜之助編　大正八　一五版　洋・小	ネ一	ネ一	二八四三
改新商業算術	別冊附屬諸表添　村瀨玄撰　昭和一二　洋・中	ネ三	ネ一	三七三八
改新撰商業算術書	附錄鐵道大貨物等級表外二二項　豐谷鄰撰　明治三七　六版　洋・小	ネ二	ネ一	五七八
最近生命保險數學	關伊右衞門編　大正五　再版　洋・中	ネ一	ネ五	二七〇九
生命保險數理汎論	吉澤嘉壽之丞撰　明治四五　洋・中	ネ一	ネ五	二七一一
日步計算表	矢野恒太撰　黑岩規編　明治三九　訂正再版　洋・小	ネ一	ネ一	一一二二
日步利息速算表	矢野恒太撰　明治三一　洋・大	ネ一	ネ一	三六六九
再版複利表	矢野恒太撰　明治三二　再版　洋・中	ネ一	ネ一	三八三九
補正				
保險數學	龜田豐治朗撰　昭和八　洋・中	ネ一	ネ五	三四四八
利息計算書	皿井操撰　明治三〇　洋・中	ネ一	ネ一	四六九
厲氏確計利息法簡易化算日數準率表	民國・厲鼎模編　民國一七　八版　洋・大	ネ一	ネ一	三八三八
厲氏確計利息法簡易化算日數準率表	民國・厲鼎模編・銀行週報社刊　洋・大（銀行週報第四百號記念增刊）	ネ一	ネ一	三八三七

各國度量衡並貨幣換算表 高田勝雄編 明治四四 洋・小 — ネ一 三二一六
貨幣度量考 瓜生三寅撰 明治元 和・小 — ネ四 三五五一
「カン」と「キン」何れが好く響き渡る? 鑛道量目制度に關する私見 芳賀矯吉撰 洋・中 — ネ一 二三〇三
教科適用 矩尺原理及使用法 島邦生撰 大正三 再版 洋・中 — ネ一 二八〇八
計量年鑑 昭和九・一〇年度版 東京計量時報社編 昭和九 三版 洋・小 — ネ一 三七〇三
皇國度制考 平田篤胤撰 和・大 — ネ一 三六三六
古事類苑 稱量部 神宮司廳刊 洋・大 — イ三 一四六 二三
古事類苑 稱量部 古事類苑刊行會刊 洋・中 — イ三 一八一六 二六
古量考 黒川眞頼撰 洋・中 (國書刊行會叢書ノ内黒川眞頼全集) — イ四 七三五 五
三器圖義 宋・程大昌撰 唐・大 (說郛) — イ一三 * 六 九三
地方新書 原名經邦或考・附度量權 清宮秀堅撰 明治一九 和・中 — ネ一 五四四
實際家のメートル法意見 メートル協會刊 昭和九 洋・中 — ネ一 三七二二
尺度綜攷 藤田元春撰 昭和四 洋・中 — ヨ五 三三九七
周尺說 森約之撰 和・中 — ヨ五 八〇三
周尺說 森約之撰 洋・中 (日本藝林叢書) — イ四 一二三九 三
隋書律曆志十五等尺 米・福開森譯英文附 民國・馬衡撰 民國二二 洋・小 — ネ一 三六七三
吹塵錄 斗量及權衡之部 勝安芳編 洋・大 — ワ三 六一 二
吹塵錄 斗量及權衡之部 勝安芳編 洋・中 (海舟全集) — イ四 二一三四 五
井田圖考並和漢度量權衡辨惑 万尾時春撰 洋・中 (日本經濟叢書) — ヨ 二五二八 五

井田圖考並和漢度量權衡辨惑 万尾時春撰 洋・中 (日本經濟大典) — ヨ一 三四八一 四
世界ノ度量衡 商工省中央度量衡檢定所編 昭和六 洋・中 — ネ一 三六五三
大日本貨幣史參考 度量衡部 吉田賢輔編・本庄榮治郎校 洋・中 — ネ四 三三七一 七
中國度量衡史 民國・吳承洛撰 民國二六 洋・小 (中國文化史叢書) — リ八 四八六四 一五
中西度量權衡表 唐・中 (靈鷲閣叢書) — イ九 五八二 一〇
東京帝室博物館歷史部第九列品(度量衡)目錄 同館刊 大正一〇 洋・小 — リ一 八〇一 八
度量衡原器及副原器の說明 商工省中央度量衡檢定所編 改訂再版 洋・中 大正一五 — ネ一 三六二六
度量衡檢查規則種類表・取締條例附 和・大 — ネ一 二三四
度量衡考 荻生雙松・同玄覽撰 享保一九 和・大 — ネ一 七一三
度量衡考 荻生雙松・同玄覽撰 洋・中 — ネ一 七一一
度量衡考 荻生雙松・同玄覽撰 洋・中 (日本經濟叢書) — ヨ一 二五二八 三
度量衡考 荻生雙松・同玄覽撰 洋・中 (日本經濟大典) — ヨ一 三四八一 九
度量衡說統 六卷 最上德內撰 洋・中 (日本經濟叢書) — ヨ一 二五二八 三〇
度量衡說統 六卷 最上德內撰 洋・中 (日本經濟大典) — ネ一 六七二
度量衡說統 六卷 最上德內撰 文化元 和・大 — ヨ五 三三九七
度量衡說統 六卷 最上德內撰 和・中 — ヨ五 八〇三
度量衡說統 六卷 最上德內撰 洋・中 (日本經濟叢書) — イ四 一二三九 三
度量衡統計要覽 第二七至二九・三一次(昭和六至八・一〇年度) 商工省中央度量衡檢定所編 洋・大 四 — ネ一 三六七九
度量衡年報 昭和四・五年度 昭和五・七 商工省中央度量衡檢定所編 洋・中 — ネ一 三六五一
度量衡の統一 大正一三 洋・中 — ネ一 三五四三
度量衡法令改正要旨 商工省工務局刊 昭和二 洋・中 — ネ一 三五九八

度量衡法令改正要旨 商工省工務局刊 昭和二 洋・中 — ネ一 三五九九
度量衡要義 上總亨撰 大正五 洋・中 — ネ一 二八一四
日本財政經濟史料 度量衡 大藏省編 洋・中 — タ二 三〇五六 二
はかり機械 足立廉吉撰 昭和九 洋・中 — ム二 三八四〇
同 — ム二 三九二三
秤量考 淺野太藏撰 天明元 和・大 — ネ一 五九七
物子度量衡便覽 寫本 和・中 — ネ一 九八〇
分量算考 正木瀨平撰 和・大 (秤量考ト合刊) — ネ・一 五九七
本朝度制略考 荷田在滿撰 洋・中 (荷田全集) — イ四 一三三一 七
本朝度量權衡攷 三篇・附錄三卷 昭和四 洋・小 狩谷望之撰・日本古典全集刊行會刊 — ネ一 三七三二
本朝度量權衡攷 三篇・附錄三卷 狩谷望之撰 昭和四 洋・小 (日本古典全集) — イ四 一三三〇 一四一一五
本朝度量權衡攷 三篇・附錄三卷 狩谷望之撰 洋・中 (日本經濟叢書) — ヨ一 三六九九
本朝度量權衡攷 三篇・附錄三卷 狩谷望之撰 洋・中 (日本經濟大典) — ヨ一 三四八一 四
同 — ヨ一 三七〇四
律尺考驗 二卷 新井君美撰 寫本 和・大 — ネ一 八五九
律尺考驗 二卷 新井君美撰 寫本 和・大 (廣白石叢書) — イ四 五八八 一八
律尺考驗並三器攷略 中村之欽撰 洋・中 (日本經濟叢書) — ヨ一 二五二八 二
律尺考驗並三器攷略 中村之欽撰 洋・中 (日本經濟大典) — ヨ一 三四八一 四

メートル法の歷史と現在の問題 田中館愛橘撰 昭和九 洋・中 — ヨ一 三七二三
「メートル」法批判 「メートル」法概說(岡部長景)外三篇 尺貫法存續聯盟編 昭和九 洋・小 — ヨ一 三六九九
同 — ヨ一 三七〇四
律尺考驗 二卷 新井君美撰 寫本 和・大 — ネ一 八五九
律尺考驗並三器攷略 中村之欽撰 洋・中 (日本經濟叢書) — ヨ一 二五二八 二
律尺考驗並三器攷略 中村之欽撰 洋・中 (日本經濟大典) — イ四 五八八 一八

商業文

英語商業通信 石井靜人撰 昭和五 洋・中 (外國貿易實踐ト同刊) — ネ三 三四一七
英語商業通信 高島佐一郎撰 大正三 洋・小 (高等實業講座) — ネ一 一二三六 二
最新英語商業通信 高島佐一郎撰 大正一〇 再版 洋・小 — ネ一 三六四九
英語商用作文 和泉彌六講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ一 一三九四
英語商用作文 和泉彌六講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ一 一六五二
英語商用作文 和泉彌六講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ一 二〇一六
英商文練習書 武信由太郎撰 大正二 洋・小 — ネ一 二七二二
英商文練習書 武信由太郎撰 大正五 增訂版 洋・小 — ネ一 一六六五
英商業書簡及電報 今井友次郎講 (明治四四年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ一 九七〇
英商業書簡及電報 今井友次郎講 (第七回早稻田商業講義) 洋・中 — ネ一 一〇八六
英文商業通信寶鑑 附十三數字組立暗號電報 農商務省工務局編 大正一三 洋・中 — ネ一 二九一〇
英文商業通信寶鑑 附十三數字組立暗號電報 山口造酒・白井健次編 大正一一 洋・中 — ネ一 二五九六
英和商用はがき用文 品川卯一撰 明治四〇 洋・小 — ネ一 七六二

メートル法の實行概況 昭和二・五至八各年末現在 昭和三至九 洋・大 商工省工務局編 — ネ一 三六五九

英和對譯最新商用通信 中山遠益五郎撰 大正二 再版 洋・中 一冊 ネ一類一二一九號

近世英語商業文教科書 附錄海外電報料金表外一編 高島佐一郎撰 明治四五 洋・小 一 ネ一 三六一一

近世商業文 松本洪講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九六五

近世商業文 松本洪講 (第七回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一〇八七

口語體商用文 浦添爲宗撰 大正一一 洋・小 一 ネ一 二八九四

實用英語作文 品川卯一講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九九三

實用英語作文 品川卯一講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一〇一〇

實用英語譯解 平田祖助講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九九二

商英叢書 第一至四編 昭和一〇・一一 有朋堂刊 洋・中 四 ネ一 三七一〇

商業英語の研究法(前田定之助) 一 簡易英語ベーシック式商業通信文(岡本春三) 二
國際貿易活法(前編)(苫米地英俊) 三 英米兩式商業英語檢討(中村長之助) 四

商業英語 今井友次郎講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九六二

商業英語 今井友次郎講 (第七回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二五七二

商業英語 今井友次郎講 (第八回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一五三三

商業英語研究 前田定之助撰 昭和七 洋・中 一 ネ一 三六六一

商業英語通信軌範 苫米地英俊撰 大正六 再版 洋・中 一 ネ一 二一七三

商業英語通信軌範 苫米地英俊撰 大正七 三版 洋・中 一 ネ一 二六九四

商業英語入門 早稻田商業講義編輯部編 (第七回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二五七三

商業英語入門 橋本弘撰 (第八回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一五三四

商業英作文講義 第一・二卷 明治四一・大正六 初・九版 洋・中 二 ネ一 一六〇一

新案商業習字帖 小山雲潭講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二二八三

商業書翰 品川卯一講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九六六

商業書翰 品川卯一講 (第七回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二五七一

最新商業書翰作法 前橋孝義撰 大正七 洋・中 一 ネ一 二二八三

同 新式商業書翰文 品川卯一講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二三七七

新式商業書翰文 品川卯一講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九九六

商業書翰文 品川卯一講 (第八回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一五三五

商業書式 東京高等商業學校調查部編 大正五 洋・大 一 ネ一 三七一四

訂正增補商業書式 東京商科大學調查部編 大正一一 六版 洋・大 一 ネ一 三七七五

商業書式 坂本陶一撰 明治四一 五版 洋・中 (商業提要附錄) 一 ネ二 三四八二

新案商業書信活法 中野觀象・高問昭撰 明治四一 洋・中 一 ネ一 一五五四

邦文商業通信活法 岡田市治撰 大正二 洋・中 一 ネ一 二八二〇

普通商業文 奥村卯兵衛講 (第八回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一五三六

最新商業文範及書式 服部嘉香撰 大正九 再版 洋・中 一 ネ一 二八四九

實用商業文練習帳 畠山觀成撰 明治四一 和・中 一 ネ一 一七二一

同 最新商業用文大成 千早正寬撰 明治四三 洋・小 一 ネ一 一八二六

新最商業用文大成 千早正寬撰 明治四三 洋・小 一 ネ一 二二〇一

同 商人と文章 西岡英夫撰 明治三九 和・小 一 ネ一 二一七六

商用作文 横井時冬講 (大日本實業學會講義錄) 洋・中 一 ネ一 一〇四六

最新商用文精義 附錄添削 服部嘉香撰 大正三 洋・中 一 ネ一 三七八

同 清國商業用文 宮錦舒(文鄕)撰・田中慶太郎譯 明治四一 洋・小 一 ネ一 一三一九

新時代の商業文範 服部嘉香撰 大正一五 洋・小 一 ネ一 二八二二

同 商用作文十講 百束持中講 明治四四 洋・中 一 ネ一 一四五八

同 新體商業書翰 附錄商業用語集 品川卯一撰 大正元 五版 洋・中 一 ネ一 三五九〇

普通商業書簡文十講 百束持中講 明治四四 洋・中 一 ネ一 三五六一〇

新體商業書翰 附錄商業用語集 品川卯一撰 大正元 五版 洋・中 一 ネ一 三六一〇

和英商業通信辭典 前田定之助撰 昭和一〇 洋・小 一 ネ一 三六九八

解り易い商業英語 前田定之助撰 昭和三 洋・小 一 ネ一 三六〇六

○

英語商用會話 米・マックレガー講 (明治三九年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一三六八

英語商用會話 米・マックレガー講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 一六九九

英語商用會話 米・マックレガー講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二〇一四

英語商用會話 米・マックレガー講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二三四二

英和商賣用會話 第一編 富田源太郎撰 大正三 一四版 洋・小 一 ネ一 二六九三

實踐商業會話 今井友次郎撰 明治四五 洋・小 一 ネ一 八四三

支那商用對話 附商用文 青柳篤恒等講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二〇一二

支那商用對話 附商用文 青柳篤恒等講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 二三四八

商用英語會話 今井友次郎講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ一 九九一

和英商話 米・ウェンリイト撰 文久二 和・小 一 ネ一 一〇一二

論說

大倉高等商業學校記念論文集 同論文集編輯委員編 昭和五 洋・中 一 ネ一 三六四一

景氣論の發展と資本主義の發展(井上鐵三)
貨幣と限界效用說(松本金次郎) 統計に於ける極限概念(森田優三)
世界生絲市場の變遷と現時の絲價安定策(森泰吉郎)
ヒューム因果律の斷想(中務賢雄)
簿記會計學上より銀行法第八條を論ず(小野澤義勝)
Dr. Carl Ritter の損害防止論(坂元毅)
販賣員管理の二三の問題に就いて(關太一)

ヨゼフ・デイッゲン「論理學に關する書翰」(田中千代松)
太陽系と宇宙開闢論(塚本文治) 製品原價と固定費(渡部寅二)
マルサス人口史觀の要領と其理論的地位(吉田秀夫)

小樽高等商業學校記念論文集 同校研究室編 昭和六 洋・中 (商學研究特輯) 一 サネ 九六二

投資地としての植民地の價値(高岡熊雄)
ビュヒアーの經濟發展段階學說と古代希臘經濟史(室谷賢治郎)
群集現象の本質(中野清一) 人造絹糸に就て(品川秀三)
貨幣品質學說の論據とその批評(大野純一)
費用勘定と收入勘定(木村重義)

世界に於ける資源の爭奪（苫米地英俊）
甘蕉に關する調査研究（西田彰三）
パレトの無差別の曲線とレアリスト派の經濟學（手塚壽郎）
活字文化の展望（阿部芳治）
C・I・F・契約の理論と實際（木曾榮作）
財政學の社會的意義（平尾丹治）　農業恐慌と資本主義體制（南亮三郎）
家に關する一考察（卜部岩太郎）
F・O・B・契約に於ける費用の負擔（大谷敏治）
農業に於ける資本主義的恐慌の理論（高橋次郎）
小樽高等商業學校記念論文集　同校研究室編　昭和一二　洋・中　一冊　ネ一類　三七四七號

經濟・社會編

サイモン・グレイの人口論——十九世紀初頭に現はれたる英吉利ポピュレイショニスツの一研究（南亮三郎）
民族及國民の本質（中野清一）　自然法の基礎（井上紫電）
デュネープ人としてのジャン——ジャック・ルウソオの研究（松尾正路）
動態的貨幣數量說（大野純一）　經濟學說に於ける政治的要素（手塚壽郎）

商業編

企業の擴張と其の財政（室谷賢治郎）　減價準備金の本質（木村重義）
小賣商業の發展と購買力（服部政一）
共同海損に於ける代換費用の研究（久木久一）
貿易金融方法の商學的考察（木曾榮作）
概觀日濠問題（大谷敏治）

商品編

馬市考（西田彰三）　毛皮に就て（品川秀三）
景氣恢復と財政政策　阿部勇撰・東京商工會議所刊　昭和一二　洋・中（商工調査）　一　ネ一　三七四六
鷄卵の配給を論ず　原田博治撰・彦根高等商業學校調査課刊（昭和一〇）　洋・中（調査研究）　一　ネ一　三七一九
神戸高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集　凌霜會刊　大正一三　洋・中　一　ネ一　三一〇一

記念講演

神戸高商の過去現在及び將來（水島鎭也）
勞働爭議に關する强制的和解裁決制度（丸谷喜市）
一般的經濟價値の保持者（高垣寅次郎）
價格生活の理論（坂西由藏）　エルスターの貨幣概念（增井光藏）
破產者の法律上の地位を論ず（齋藤常三郎）
英領印度の關稅政策（瀧谷善一）

記念論文

勞農露國の商業組織に就て（內池廉吉）
商品勘定に就て（原口亮平）　數理統計序論（佐藤保兒）
一九二三年船主責任の制限に關する統一條約準備案に就て（島賀陽然良）
經濟的豫見と其限界（福田敬太郎）
經濟社會の存立及び其の發達を論ず（津田武二）
法人の國籍（島本英夫）　明治年間の外國貿易額に就いて（石橋五郎）
共同海損たるべき犧牲の全額を支拂ひたる保險者の權利を論ず（英文）（田崎愼治）
神戸高等商業學校記念論文集　同論文集編纂委員編　昭和四　洋・中　一冊　ネ一類　三六二號
創立二十五周年
リカードの價値論（丸谷喜市）　火災保險料率政策（瀧谷善一）
ハーバート景氣指數の統計學的性質（柴田銀次郎）
英國に於ける Moneyed Interest の發達と英蘭銀行の創立（金田近二）
商の意義（福田敬太郎）
米國に於ける農產物の金融に就て（內池廉吉）
簿記上の取引を論ず（原口亮平）　破產財團の構成を論ず（齋藤常三郎）

商業經濟論叢　名古屋高等商業學校編　大正一二　洋・中　一　ネ一　三一四三

民族と其の文化（渡邊龍聖）　孔子教に就いて（服部宇之吉）
太平洋時代に入れる日米關係（堀光龜）　共同海損の精算に就いて（藤本幸太郎）
工場企畫部に就いて（國松豐）
マルクスの唯物史觀及び唯物論的辯證法の文獻史的考察と其の批評（序論）（高島佐一郎）

雙務契約不履行に因る損害賠償（犬丸巖）
ゴールドスミスの詩「寒村行」に現はれたる倫理學的及び經濟學的意義（河合逸治）
工業顯微鏡學の復興（小原龜太郎）
支那上代思想としての墨子の興亡に就いて（堀井義治）
クナップの貨幣國定學說に就いて（宮田喜代藏）
マルクスの價値法則と平均利潤率との「矛盾」——小泉教授及び河上博士の論評の論評（赤松要）
物的一勘定說に就いて（野本悌之助）

商業經濟論叢　名古屋高等商業學校編　大正一二　洋・中　一　ネ一　三一七四

商業經濟論叢　名古屋高等商業學校編　大正一三　洋・中　一　ネ一　三一四一

商業組織の改善　上田貞次郎撰　洋・中　東京商科大學創立五十周年記念論文集　一　ネ一　三五六一

商業問題　日本評論社刊　昭和四　洋・中（現代經濟學全集）　一　ヨ一　三四九四二一

商業概論（內池廉吉）　物價問題（河津暹）
取引所取引論（向井鹿松）　外國貿易論（油本豐吉）

臺北高等商業學校開校十周年記念論文集　同校編　昭和五　洋・中　一　ネ一　三七五三

日常生活に於ける法律（中村進午）　江戸時代初期の日比貿易（村上直次郎）
金本位制への復歸（遠藤壽三）　株主の議決權に就て（林恒吉）
現象學の對象領域（篠原寬二）　租稅理論の構成（內藤保廣）
易經に見れたる生產分化（成宮嘉造）　複式簿記の正體（西澤二松）
臺灣彩票につきて（武田英一）　謹誤價格の種々相（淺香末起）
保稅工場法と本島に於ける運用に就て（坂田國助）
支那の組合制度雜考（佐藤佐）
文化生活と精神的生活（獨・クローナー撰・篠原寬二譯）
アストリア（室田有）

東京商科大學創立五十周年記念講演集　同記念式記事等附　大正一五　洋・中　同大學編　一　ネ一　三五六五

貿易金融（兒玉謙次）　我國の貿易に就て（堀越善重郎）

世界海運界の趨勢と本邦海運の一般方針（大谷登）
工業家としての吾が所感（中島久萬吉）
過去五十年に於ける帝國外交の大勢（田淵勝次）

東京商科大學創立五十周年記念論文集　同大學編　大正一四　洋・中　一　ネ一　三五六一

商業組織の改善（上田貞次郎）
賣買事業に於ける信用取引を論ず（石川文吾）
計理學の對象（高瀨莊太郎）　特權取引の理法（井浦仙太郎）
保稅倉庫に就て（內池廉吉）
太平洋に於ける對米海運問題を論ず（堀光龜）
共同海損分擔額・損害防止費用及海難救助料と保險者との關係（藤本幸太郎）
我國の海外貿易に就て（奈佐忠行）　水素の化學工業に於ける位置（木村惠吉郎）
經濟學的認識の價値性質（杉村廣藏）　法律及經濟の一元論的考察（山內正瞭）
理論經濟學の創始者としてのリカルド（村松恒一郎）
三つの著述を通じて見たるオグュスタン・クールノーの經濟學說（中山伊知郎）
名目學說と貨幣制度改革（內藤章）
マーカンティリズムに於ける貨幣觀念の發展（高垣寅次郎）
天保十四年の御用金につき（幸田成友）　鎖國の崩壞と其思想的背景（猪谷善一）
支那の同鄉團體（根岸佶）　日本親族法の特質（山口弘一）
火災竝に火災損害（青山衆司）　船舶所有權讓渡の要件を論ず（田中誠二）
團體協約關係小見（孫田秀春）　Gierke 目錄について（岩田新）
カント「判斷批判」の問題と文化の合目的性（川村豐郎）
古代希臘のデモクラシイと其國民性（三浦新七）
古代羅馬文化の實踐的傾向（三浦新七）
Accounting and its Subjects Matter（下野直太郎）
日本に於ける生計費及び實質賃銀（上田貞次郎）
支那の聯合と日本のコンツェルン（根岸佶）

東京商科大學六十周年記念論文集　同大學一橋會編　昭和一一　洋・中　一　ネ一　三七五〇

一九二四年ヨーク・アントワープ規定小解（藤本幸太郎）

本邦對外通商政策の現狀及其の刷新（川島信太郎）
會計の種類（太田哲三）　家屋稅改革問題（井藤半彌）
明治前期に於ける金融問題の解說（山口茂）
新市域中小商業者の金融調査について（猪谷善一）
主部の論理と客部の論理（木多讓三）
リスト復興と現代に於けるリスト解釋の方向（高島善哉）
ヒュームの因果律の問題（太田可夫）　商大の將來を說く（津村秀松）
我國金融政策の一手段としての銀行手形引受制度（大島堅造）
化學工業の經營（久我貞三郎）
爲替相場變動に對する私見と國定說の提唱（鈴木益三）
臺灣に於ける米作蔗作の相剋について（中村誠司）
太平洋會議に使して（濱野恭平）　中小工業存續の根據に就いて（美濃口時次郎）
セメント・カルテルの諸問題（中川孫一）
最近に於ける本邦會社企業の發展（大森恒太郎）
生產力と經濟機構（谷栖）　我國庶民金融機關改善策（石塚直）
約款の規範性（齋藤巖）　產業組合の社會經濟的作用（末松玄六）
日本綿業の地位（高木彌太郎）　我國の漁業經濟序論（脇坂泰彥）
〔長崎高等商業學校〕創立二十周年記念講演及論文集　同校同窓會編　大正一五　洋・中　一冊　ネ一類三五六六號
開會の辭（木村重治）
社會史政治史及經濟史上より現代支那を論ず（田崎仁義）
商業教育及商業學科の史的回顧と長崎（武藤長藏）
商業學の研究及教授法に就て（田崎愼治）
日支經濟的提携論（伊藤喜代治）
經濟史上より我國の粗製濫造を論ず（七條保友）
如何にして我國人口問題を解決すべきか（宮本忠勝）
日支經濟的提携論（大木豐）
長崎高等商業學校創立三十周年記念論文集　同校編　昭和一〇　洋・中　一　ネ一　三七四八
（長崎高商研究叢書第一輯　商業と經濟特輯）
舊倫敦東印度會社と我國との交通貿易（武藤長藏）

船舶の衝突と海上保險（勝呂弘）
立地理論の出發點（伊藤久秋）
モンテスキューの社會學的思想（不破祐俊）
相續人の地位特に責任（三木正雄）
ライプニッツと割引の公式（山本恭治郎）
ホーキンズの「醫事統計論」に就て（塚原仁）
ヘレル氏の課稅限界論（松野貫吾）
肉畜及食肉の取引を論ず　原田導治撰・彦根高等商業學校調査課刊（昭和二二）　洋・中（調査研究第一本）　一冊　ネ一類三七三九號
彦根高商論叢記念論文集　彦根高等商業學校研究會編　昭和九　洋・中　一　ネ一　三七五一
商業教育の分野（矢野貫城）
墨子の實利主義的教育思想に就いて（木村善堯）
ハイデッガーに於ける自由（秋山範二）　天災と我國の經濟（菅野和太郎）
罹災救助基金に就いて（淺見信次郎）　貨幣量と生產（桑原晉）
資本逃避の概念（江口行雄）　經營社會政策論（岩間巖）
貨幣價値變動期に於ける經營財務政策の一考察（山下勝治）
商業經營立地論（芳谷有道）　家族統計の範圍に就いて（岡崎文規）
信樂陶業の起源と製品の變遷（松本雅男）
株仲間の權益擁護機能（宮本又次）　英國エセイの本質に就いて（本田玄雄）
獨逸國民海外發展の史的考察（田中秀作）
積送品仕譯に關する考察（西垣直記）
山口高等商業學校開校第二十周年記念講演及論文集　同記念祝賀會編　大正一五　洋・中　一　ネ一　三七三
國際聯盟に就て（末廣重雄）　我が國民の正統思想に就て（作田莊一）
最惠國條款と支那（岡本彰）
現代に於ける三種の義務制勞働に關する史的考察（向井章）
船中火災の消防に就て（石津漣）　新生支那への一考察（宮脇賢之介）
支那の大運河に就て（西山榮久）　社會生活より見たる個人主義（菱川精一）
經濟學分科に就ての考證（日柳彦九郎）　英法に於ける社債發行要件（大本利一）

配給問題と消費組合（大野彌曾次）
トレルチの歐洲文化觀竝之に對する所見（前田幸太郎）
價値論放棄の理論經濟學（德重伍介）
山口高等商業學校記念論文集　同校編　昭和一〇　洋・中　一　ネ一　三七四九
改稱三十周年記念論文集
改稱三十周年記念論文集發刊に當りて（岡本一郎）
品性の陶冶に關して（岡本一郎）　支那古姓の研究（西山榮久）
指數決定法としての算術平均の理論と滿洲國の物價調査について（近藤鯊）
動產抵當について（河村東洋）　十九世紀前半の英吉利文學批評（乘田利喜太）
護謨の國際生產統制に就て（木全省吾）　覩酒（今泉浦治郎）
民國以降に於ける支那語文運動（鐘ヶ江信光）
新時代の經營幹部（山崎紀男）　公司法上の株式の得喪（大本利一）
經濟學史上のコペルニクス（向井章）
邦人の滿洲國移植民に於ける若干問題（本村彦一郎）
甲板積貨物の投棄に就て（石津漣）　ブリス氏の財政表比率論（栗林定次郎）
米國の銀政策に就て（德永清行）　經營計理の體系と成果分割（吉川榮一）
獨逸に於ける株式會社法改正立法上の基本觀念としての企業自體（龜井秀夫）
健全なる社會傳統（菱川精一）
マーシアル經濟學に於ける生物學的世界觀（竹中靖一）
產業用品配給組織の特異性に就て（菊澤謙三）
中世日耳曼法の分裂に就て（日柳彦九郎）
代用液體燃料問題（田中稻穗）　金融指標としての日本銀行週報（二宮丁三）
個人主義の現代的意義と其の批判（大野彌曾次）
アダム・ミュラーと浪漫的・普遍主義經濟學概說（德重伍介）
橫濱高等商業學校開校記念論文集　同校編　昭和二　洋・中　一　ネ一　三五八九
原價計算に關する考察若干（小宮山敬保）
德川時代の堂島米市場（井上龜三）　商品と工業所有權（南種康博）
商工業の人的因素（內山進）　收益率の理論（井上鎧三）
ゲュールラントの「奢侈概念に就て」（渡邊輝一）
チュルゴーの思想の一解釋（德增榮太郎）

獨逸の賠償問題（岡野鑑記）
ベルヌーイの定理と大數法則（森田優三譯補）
獨逸法に於ける物特に動產の賣買と契約不履行（不二門龍觀）
英商法の特質と由來とに就て（大竹緣）
記念講演
爲替市場としての橫濱港（兒玉謙次）

雜書

一萬圓儲けるまで　實業之日本社編　大正一三　四版　洋・小　一冊　ネ一類三三八號
一八七九年…一九二九年　ウールワース五十年史　飯田要三譯（昭和七）　洋・中　一　ネ一　三六七七
上田地方產業研究資料集　上田商工會議所刊　昭和七　洋・中　一　ネ一　三六七三
英米訪問實業團誌　十一年會刊　大正一五　洋・中　一　ネ一　三五七三
大分高等商業學校商事調査部一覽　同部刊　昭和四・七　洋・中　二　ネ一　三六六六
〔大阪優良品協會〕創立拾周年記念史　同會編　昭和一〇　洋・中　一　ネ一　三七〇九
勝本記念講演集　勝本忠兵衞編　明治四三　洋・中　一　ネ一　二五五
金儲け實話集　これからの野心方・殖し方・儲け方　實業之日本社編　昭和九　洋・小（實業之日本第三卷第一號附錄）　一　ネ一　三八二七
基督敎と商業　福田德三撰（經濟學全集）　洋・小　一　ヨ二　三三六三
近世商賈盡狂歌合　仕出し商人盡し歌合・繪入　石塚豐芥子撰　洋・小（日本隨筆大成）　一　イ五　一一三八
商人盡狂歌合　繪入寫本　石塚豐芥子撰　和・大　二　ヘ九　三一二六
神戶高商の過去現在及び將來　水島鐵也撰　洋・中（神戶高等商業學校記念講演及論文集）　一　ネ一　三二〇一
神戶高等商業學校商業研究所一覽　附錄同所資料分類項目表外八表　同所刊　昭和二　洋・中　一　ネ一　三八一五
小賣商人絞取論に就て　小林行昌撰（早稻田大學經濟學會經濟學研究）　洋・中　一　ヨ二　三〇〇九

		冊	記號	番號
估客印譜商品ノ札紙等ノ蒐集	和・大	一	ネ一	※八二四
五二會綱領・組織草案	洋・中	一	ネ一	七三
五二會報告 五二會中央本部刊（明治二七）	洋・中	一	ネ一	七四
五二大會報告（明治二七年）五二會中央本部刊	明治二七・和・大	一	ネ一	七一
同		一	ネ一	九一
採算の仕方 阿部留太撰	大正一四・洋・小	一	ネ一	三五五六
商賣往來 東雲書	寛政七・和・大	一	ヘ一〇	四五三八
商賣往來 小笠原齋書	和・大	一	ヘ一〇	四二三六
商賣往來 晉松堂主人書	和・小	一	ヘ一〇	四四六四
商賣往來	洋・中（續々群書類從）	一	イ四	五五三一〇
改商賣往來讀本 東京府學務課編	正・和・中	一	ヘ一〇	四五一
坂商賣往來并官名 坂川暘谷書	明治一二・和・大	一	ヘ一〇	八三一
新潮社四十年 新潮社出版部刊	昭和一一・洋・中	一	ネ一	三七三四
化粧品小間物仕入れ便覽 大阪化粧品商報社調	昭和八（大阪化粧品商報第一三一號附錄）折	一	ネ一	三六七四
大阪新地圖 大阪化粧品商報社家憲店則雇人採用待遇法	岩崎勝三郎撰 明治三七・再版・洋・小	一	ネ一	八三五
對敵取引禁止令ノ制定及施行事情 農商務省商務局刊	大正九・洋・大	一	ネ一	三六三一
丁稚の過去現在將來 福田德三撰	洋・小（經濟學全集）	一	ヨ二	三三六三八
店主と店員 岩瀨清助撰	大正六・三版・和・小	一	ネ一	二一九八
獨逸國商業機關 農商務省商工局刊	明治四一・洋・中	一	ネ一	二一九九
日滿實業懇談會及記念講演會記事 日滿實業協會刊	（昭和一二）・洋・中	一	ネ一	三八三四
商人經 上野陽一撰	昭和一二・洋・小	一	ネ一	三七八一
商品券記載文言統一に關する懇談會要領筆記 長崎商工會議所刊	昭和八・洋・中（長崎商工會議所經濟月報第一六二號附錄）	一	ネ一	三六八六
商賣往來 玉置榮長書	（寛延四）・和・大	一	ヘ一〇	一〇〇九
商賣往來繪入	文政五・和・大	一	ヘ一〇	一〇一〇
商賣往來	寛政七・和・大	一	ヘ一〇	四五三八
御商賣往來 小笠原齋書	和・大	一	ヘ一〇	四二三六
御家商賣往來 晉松堂主人書	和・小	一	ヘ一〇	四四六四

		冊	記號	番號
博文館五十年史 坪谷善四郎編	昭和一二・洋・中	一	ネ一	三八二三
齒磨の歷史 小林富次郎撰	昭和一〇・洋・中	一	ネ一	三七三七
萬國商業大會參列報告 大谷嘉兵衛撰	明治三六・再版・洋・中（歐米漫遊日誌附錄）	一	ル二	六六九
兵庫縣伊丹靑物市場規程	寫本・和・中	一	ワ九	六三八三
平尾贊平商店五十年史 平尾太郎編	昭和四・洋・中	一	ネ一	三八一一
富山房五十周年記念祝賀會 來賓各位祝辭 富山房刊	昭和五・洋・中	一	ネ一	三六一三
同	昭和一一・和・小	一	ネ一	三七四三
富山房五十年 富山房刊	昭和一一・洋・中	一	ネ一	三七四四
同		一	ネ一	三七三二
米國實業の精神 藤本ビル・ブローカー銀行調査部刊	大正一三・洋・小（藤本パンフレット）	一	ネ四	三八一九 一
米國の商店 柿西藤一郎撰	明治四四・洋・小	一	ネ一	三六六四
米國實業の精神 藤本ビル・ブローカー銀行調査部刊	大正一三・洋・小（藤本パンフレット）	一	ネ四	三八一九 一
米國の商店 柿西藤一郎撰	明治四四・洋・小	一	ネ一	三六六四
三井物產合名會社臺北支店用紙 同會社刊	和・大	一	ネ一	三八四〇
三越吳服店第二期營業報告 明治三八年下半期	洋・中	一	ネ一	一七五六
模擬實踐解疑 附錄模擬自由法の概觀外三項 石原眞之助撰	昭和七・洋・中	一	ネ一	三六七〇
我國最初の商業學校創立計劃者としてのシーボルト先生 武藤長藏撰	洋・中（シーボルト先生渡來百年記念論文集）	一	ニ一	二二〇三
早稻田大學 商科科外講義 東洋貿易に就て外一五項 同大學編輯部編	（明治三八年度早稻田商業講義）洋・中	一	ネ一	一〇六二
早稻田大學 商科科外講義 同大學編輯部編	（明治三六年度早稻田商業講義）洋・中	一	ネ一	一三九七

獨逸の山東經營を論じて長江に於ける列國の競爭に及ぶ（水野幸吉）
事業に對する德義（土子金四郎）　手紙の書方に就て（渡邊亨）
生命保險事業に就て（矢野恒太）　米國に於ける日本學生（內田定槌）
戰後の日本は如何なる人物を要するか（高田早苗）

早稻田大學 商科科外講義 同大學編輯部編（明治四二）年度早稻田商業講義）洋・中 一 ネ一 一二九九
早稻田大學 商科科外講義錄雜纂 同大學編輯部編（明治三九年度早稻田商業講義）洋・中 一 ネ一 一三三六

雜誌（雜誌經濟（サヨ）參照）

愛知商工 號一四八至一六九	大正一三至昭和五・愛知縣商品陳列所刊・洋・中	五	サネ	七三
英國商業雜誌 卷三至三（號一至七）（有缺）	英國商業雜誌社刊・明治三一至九・洋・大	二	サネ	三三 一一二
日英商業雜誌 卷一六（號八七至九五）	日英商業雜誌社刊・明治四三・洋・大（英國商業雜誌ノ改題）	一	サネ	三三 三三
大分高商 研究資料彙報 卷二號（昭和二年一月）ヨリ	大分高商研究資料彙報・洋・中・同校調査部刊	一	サネ	一七
大分高商 商業論集 卷一號一（大正一五年九月）ヨリ	大分高商商業研究會刊・洋・中	一	サネ	一九
大倉學會雜誌 卷一號一	昭和三・洋・中（商業經濟研究ニ接ス）	一	サネ	一六 一二
神奈川縣商工時報 號八至二一	同縣產業部商工課刊・大正一三至昭和八・洋・中	五	サネ	七五
關東學院商學 輯一（昭和九年三月ヨリ）	同院商學會刊・洋・中	一	サネ	一一三
協和 卷一號一（昭和二年四月）ヨリ	滿鐵社員會刊・洋・中・大	一	サネ	一〇一
景氣時報 卷一號一至卷二號一〇	東京商工會議所刊・洋・大	一	サネ	一一一
經濟及商業 卷一號一至卷二號七	明大學會刊・大正一一・一二・洋・中	二	サヨ	二五 一一二
明大商學論叢 卷二號一至卷九號六	明大學會刊（經濟及商業ニ接ス）・昭和二至六・洋・中	八	サヨ	二五 三一一〇
工商時論 卷三號五至卷四號一〇	工業通信社刊・大正八・九・洋・大	一	サム	一〇一

システム 巻一號一至巻一一號 二 システム社刊 大正一三至昭和九 洋・中 一冊 サネ 七四

商學 號五・六 横濱高等商業學校商學會刊 昭和六 洋・中 一 サネ 九三

商學季刊 巻一號一至巻二號二 中國大學出版部刊 民國一二至一四 洋・大 二 サネ 一四

商學研究 巻一號一至巻八號四 東京商大商學研究編輯所刊 大正一〇至昭和四 洋・中 九 サネ 一一

商學研究 巻一號一至巻五號一〇至一四 東京商大商學研究編輯所刊 大正一〇至一四 洋・中 五 サネ 四〇

商學研究（昭和七年）ヨリ 東京商大國立學會刊 洋・中（東京商大研究年報） ネ 二 三三四九

商學研究雜誌 巻七（昭和五年一月）ヨリ 山口高等商業學校學友會學術部刊 洋・中 九四 サネ 九四

商學討究 巻五册上（昭和五年一〇月）ヨリ（有缺） 小樽高等商業學校刊 洋・中 九六 サネ 九六

商學評論 巻六號四至巻七號四 關西學院高等商業學部商學會刊 昭和三・四 洋・中（商光ノ改題） 二 サネ 二〇 二一二

商學論叢 號一至一一 立教大學商學研究室刊 昭和五至九 洋・中 五 サネ 二三

商家之友 號一至五五 時事新報社刊 明治三五至三九 洋・中・大 七 サネ 四七

商業英語 巻一號八至巻二號五 商業英語社刊 昭和三 洋・大 一 サホ 二九

商業英語 巻二號一（昭和九年一月）ヨリ 有朋堂刊 洋・大 サホ 四六

商業及經濟研究 册一至六〇 大阪高商商業及經濟研究會刊 大正五至昭和六 洋・中 二 サネ 六

商業界 巻一號一至巻一三號五（有缺） 同文館刊 明治三七至四三 洋・中 一〇 サネ 五二

商業經濟研究 號一 大倉高商經濟研究會刊 大正一五 洋・中 一 サネ 一六 一一

大倉學會雜誌 巻一號一 大倉高商經濟研究會刊 昭和三 洋・中（商業經濟研究ニ接ス） 一 サネ 一六 一二

商業と經濟 年一（大正一〇）ヨリ 長崎高商研究館刊 洋・中（研究館年報） サネ 一〇

大分高商 商業論集 巻一號一（大正一五年九月）ヨリ 同校商學研究會刊 洋・中 サネ 一九

商光 巻三號一・二 關西學院高等商業部商學會刊 大正一三・一四 洋・中 一冊 サネ 七四

商學評論 巻六號四至巻七號四 關西學院高等商業部商學會刊 昭和三・四 洋・中（商光ノ改題） 二 サネ 二〇 二一二

商工藝常識 巻二號四・五 商工藝社刊 明治四一 洋・中 一 サネ 五七

商工界常識 巻二號六至一〇 商工藝社刊（商工藝常識ノ改題） 明治四一 洋・中 一 サネ 五七

商工月報 號一〇至六一 臺灣總督府殖産局刊 明治四四至大正三 洋・大 五 サネ 六一 一五

臺灣商工月報 號六二至一二一 臺灣總督府殖産局刊（商工月報ノ改題） 大正三至八 洋・大 六 サネ 六一 一一

商工之天下 號一至五 英文通信社刊 明治四二 洋・大 一 サネ 三三

商士 號二一（明治四一年七月）ヨリ（有缺） 一誠社刊 洋・大 サネ 八六

商と工 巻五號二至巻六號六 商工社刊 大正六・七 洋・大 三 サネ 六五

臺灣商工月報 號六二至一二一 臺灣總督府殖産局刊（商工月報ノ改題） 大正三至八 洋・大 六 サネ 六一 一一

帝國通信 實業時報 號一至五六 帝國通信會社刊 明治四三至四五 洋・大 二 サネ 六〇

東京勸業博覽會彙報 號一至七 東京勸業博覽會彙報社刊 明治三九・四〇 洋・大 一 サネ 五五

東京商業雜誌 巻一・二（號一至二一） 奨商會刊 明治二三・二四 洋・中 二 サネ 四六

東洋時代 號二（昭和九年一〇月）ヨリ 東洋タイピスト協會刊 洋・中 サネ 一一六

度量衡 號六至二九（有缺） 日本度量衡協會刊 明治四五・大正二 洋・中 二 サネ 八八

日英商業雜誌 巻一・六（號八七至九五） 日英商業雜誌社刊 明治四二・四三 洋・大（英國商業雜誌ノ改題） 一 サネ 三三 三三

日本商業新報 巻一號一至巻三號四（有缺） 日本商業興信所刊 明治三三至三五 洋・大 二 サネ 四九

日本百貨店協會調査彙報 巻三號一至九 同協會刊 昭和八 洋・中 サネ 一〇五 一一

日本百貨店商業組合調査彙報 年一號一（昭和八年一月）ヨリ 同組合刊 洋・中 サネ 一〇五 一一

農商務省商工彙報 明治三九年號一〇至大正二年號一三（有缺） 同省商工局編 洋・大 一五 サネ 五四

彦根高商論叢 號四（昭和三年三月）ヨリ（有缺） 同校研究會刊 洋・中 サネ 九八

彦根高等商業學校 調査課月報 號一五（昭和七年六月）ヨリ 同課刊 洋・大 サネ 一〇三

府立東京商工奨勵館館報 號二（昭和六年四月）ヨリ 同館刊 洋・大 サネ 一〇三

ヘルメス 號二至二一 東京商大一橋本科會學術部刊 大正一三至昭和九 洋・中 五 サネ 三九

松下商店時報 巻六號三至昭和一〇年五月號 同店刊 昭和三至一〇 洋・大 九 サネ 三〇

滿蒙研究彙報 號四七至五〇 滿蒙研究會刊 大正九 洋・大 一 サネ 七三

明大商學論叢 巻二號一至巻九號六 明大學會刊 昭和二至六 洋・中（經濟及商業ニ接ス） 八 サヨ 二五 三一〇

山口商學雜誌 號一（昭和二年一〇月）ヨリ 山口高商商學會刊 洋・中 サネ 三三

山口高商 調査課時報 巻一號一至巻六號五 同課刊 昭和四至九 洋・中 六 サネ 二五

早稲田商學 巻一號一（大正一四年六月）ヨリ 早稲田商學同好會刊 洋・中 サネ 八

同 サネ 九

二 商業經濟 附商業史

總記

卸賣商業に影響する經濟的諸要素 全米卸賣商業會議編・東京商工會議所譯 昭和一一 洋・中（産業合理化資料） 一冊 ヨ 一 三五九七 二四

貨幣政策と景氣變動 平尾彌五郎撰 昭和九 洋・中 一 ネ 四 三七三

貨幣的景氣理論と不均衡說の交涉 高橋泰藏撰 洋・中（經濟學研究） 一 ヨ 一 三六七九 二

貨幣と景氣變動 塙・ハイエク撰・豊崎稔譯 昭和九 洋・小 一 ネ 四 三六九八

カルテルと景氣變動 麻生平八郎撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四七三 一二

簡易商業學 土屋長吉編 明治三七 和・中 二 ネ 二 三四〇七

生絲市場論 志村茂治撰 昭和八 洋・中（蠶絲問題研究本） 一 ネ 二 三三五九

銀行會社商店管理法 森川鎰太郎撰 明治三四 洋・中 一 ネ 二 三四八六

最新銀行會社商店管理法 森川鎰太郎撰 明治四〇 增訂四版 洋・中 一 ネ 二 三〇九八

經營學研究 馬場敬治撰 昭和七 洋・中 一 ヨ 二 三五三九

經營學原論 村本福松撰 昭和九 洋・中（商學全集本） 一 ヨ 二 三六三四

經營學講演集 長崎高等商業學校研究館刊 昭和三 洋・中 一 ヨ 二 三四五一

經營學全集 第七・八・一二・一八・二二・二四卷 東洋出版社刊 昭和九至一一 洋・中 册 六

經營金融論（室谷賢治郎） ネ 四・三七五二 經營勞務論（古林喜樂） ヨ 九・三六〇八

經濟心理學（藤林敬三） ロ 七・三二〇三 陸運經營論（島田孝一） ツ 二・二四七五

證券市場論（福田敬太郎） ネ 九・三四〇〇 産業組合經營論（向井鹿松） ヨ 二一・三四三八

經營學大系 第六・一一・一五・二三卷 千倉書房刊 昭和一二 洋・中 四册

商業經營論（松井辰之助） ネ 二・三四九九 外國爲替論（谷口吉彦） ネ 四・三四四九

生命保險論（末高信） ネ 五・三五一七 稅務論（船田勇） タ 四・三七五五

經營學通論 平井泰太郎撰 昭和一一 洋・中（商學全集本） 一 ヨ 二 三六三五

經營學年報 第一册 經營學に於ける原價計算と損益計算の位置外一四篇 日本評論社刊 昭和一〇 洋・中 一 ヨ 二 三六四八

經營學の基礎的諸問題 附錢科學としての經營學 馬場敬治撰 昭和九 洋・中 一 ヨ 二 三五八三

經營學文獻解說 平井泰太郎撰 昭和七 洋・中（商學全集本） 一 ヨ 一 三六一八

		冊	類	號	
經營學方法論	附錄獨逸經營經濟學界に於ける方法論的進作　馬場敬治撰　昭和六　洋・中	一	ヨ	二三五	一七
經營學論	小島昌太郎撰　昭和一〇　洋・中	一	ヨ	二三六	〇八
經營學論集	第一至一一輯　日本經營學會編　昭和二至一二　洋・中	二	ネ	二三四	七三
第一輯	**經營學論集**				
豫算に依る事業の統制管理	(吉田良三)外六篇				一
會計士(計理士)制度研究					一
歐米に於ける會計士制度	(渡邊鐵藏)外二篇				一
第二輯	**株式會社制度**				
株式會社制度					
我國に於ける會社金融の問題	(松崎壽)外三篇				二
經營學の諸問題					二
經濟性と經營性	(宮田喜代藏)外九篇				二
第三輯	**商業教育制度**				
商業教育制度					
中等商業教育改善論	(小林行昌)外三篇				三
經營學の諸問題					三
經營合理性の彼岸	(福田敬太郎)外四篇				三
產業の合理化					
產業に於ける人的要素	(田中寛一)外三篇				三
第四輯	**經營學自體の諸問題・官營及び公營事業**				
經營學自體の諸問題					
企業及び經營の目標	(村本福松)外六篇				四
官營及び公營事業					
中央卸賣市場に於ける卸賣業者の單複制度と市營制度	(原田博治)外一〇篇				四
第五輯	**中小商工業問題**				
中小商工業問題					
小賣商の將來	(平井泰太郎)外三篇				五
講演					
理論經營學の本質	(馬場敬治)外三篇				五
第六輯	**產業合理化と失業**				
產業合理化と失業					
產業合理化と失業	(赤松要)外二篇				六
講演					
絲價の變動に就て	(福本福三)外四篇				六
第七輯	**商品市場組織**				
商品市場組織					
商品配給組織の發展傾向に就て	(谷口吉彥)外八篇				七
時論					
企業精神に就て	(村本福松)外三篇				七
第八輯	**經營とインフレーション**				
經營とインフレーション					
金融とインフレーションと銀行信用	(春日井薫)外二篇				八
インフレーションと貿易					
貿易とインフレーション					
近時爲替相場の變動條件に關する統計的研究	(柴田銀次郎)外二篇				八
會計とインフレーション					
インフレーション下に於ける會計處理に就ての若干回想	(小宮山敬保)外三篇				八
時論					
世界經濟の現勢とインフレーションの效果	(高木友三郎)外二篇				八
第九輯	**貿易統制研究・經營學最近の問題**				
貿易統制研究					
輸出統制の現狀と其改善策	(猪谷善一)外五篇				九
經營學最近の問題					
豫算統制と變動分析	(古川榮一)外一二篇				九
時論					
經濟的見地より見たる一九三五・六年	(谷口吉彥)外二篇				九
第一〇輯	**カルテル及經營學の重要問題**				
自由論題					
經濟政策の論理的基礎	(氣賀健三)外七篇				一〇
カルテル問題					
セメント・カルテルの現狀について	(中川孫一)外四篇				一〇
公開講演					
中央銀行の一般銀行業務に就て	(田中金司)外四篇				一〇
第一一輯	**統制經濟と企業經營**				
統制經濟と企業經營					
統制經濟下の企業經營理論	(松井辰之助)外一〇篇				一一
自由論題					
經營體生活の複雜性に關する一考察	(宇尾野宗尊)外一一篇				一一
公開講演					
費利主義の再吟味	(平井泰太郎)外五篇				一二
經營經濟	(未定稿)　向井鹿松撰　昭和三　洋・中	一	ヨ	二四四	四
經營經濟學	中西寅雄撰　昭和六　洋・中　(現代經濟學全集)	一	ヨ	一	二四九四　二四
經營經濟學	增地庸治郎撰　洋・小　(經濟學全集)	一	ヨ	一	二四九三　四一
經營經濟學概論	宇尾野宗尊撰　昭和一一　洋・中	一	ヨ	二	三六一七
經營經濟學序說	池內信行撰　昭和一二　洋・中	一	ヨ	二	三六五三
經營經濟學總論	向井鹿松撰　昭和四　洋・中　(商學全集本)	一	ヨ	二	三六四一
經營經濟學に關する一考察	大越貞一撰　洋・中　(中央大學五十周年記念論文集)	一	ヨ	一	三九七四
經營經濟學の成立	增地庸治郎經營經濟學の歷史的研究に關する重要文獻　佐々木吉郎撰　昭和五　洋・中	一	ヨ	二	二五〇〇
經營經濟學の體系に就て	フレーゲ・アルトホツクの說に觸れて　窪谷寬治郎撰　洋・中　(經營學論集)	一	ネ	二	三五七三　一〇
經營經濟學の本質	二篇は增地經營經濟學の將來外六項　昭和四　洋・中　池內信行撰	一	ヨ	二	三四七〇
經營財務論	增地庸治郎撰　昭和九　洋・中　(會計學全集)	一	ネ	一〇	三四三九　五
經營分析の概念と其の發展	小管敏郎撰　洋・中　(經營學論集)	一	ネ	二	三四七三　九
景氣學說批判	附錄メントール・ノイニアチアンの最慣理論外二篇　波多野鼎撰　昭和一二　洋・中	一	ヨ	二	三六四七
景氣循環論	米・アダムス撰・小寺敬一譯　昭和二　洋・小	一	ネ	二	三四九〇
景氣循環論	勝田貞次撰　洋・中　(社會經濟體系)	一	ヨ	一	三四一六　三
景氣循還論	小林新撰　洋・小　(經濟學全集ノ內經濟學特殊理論上)	一	ヨ	一	三四九三　六
景氣循環論	米・ハンセン撰・小川福太郎譯　昭和八　洋・小	一	ヨ	二	三五五五
景氣轉換の可能性	東洋經濟新報社編　昭和七　洋・小　(東洋經濟新報第一五二六號附錄)	一	ヨ	一	三六五八
景氣讀本	大阪毎日新聞東京日日新聞エコノミスト部撰　昭和一一　洋・中	一	ネ	二	三三二九
景氣・不景氣論	勝田貞次撰　洋・中　(大思想エンサイクロペヂア)	一	イ	四	一一三五　一六
景氣變動	勝田貞次撰　洋・中　(經營學論集)	一	ネ	二	三四七三　五
景氣變動の理論	附錄ミツチエル景氣循環論(藤代達美)外七篇　梶浦廣一撰　昭和五　洋・中	一	ヨ	二	三四八五
景氣變動論	高田保馬撰　昭和三　洋・中　(現代經濟學全集)	一	ヨ	一	三四九四　一三
景氣變動論	附錄景氣統計技術入門　獨・ワーゲマン撰・明石嚴三等譯　昭和八　洋・中	一	ヨ	二	三五五〇
景氣豫測法研究	景氣研究法の批判的發展概說　豐崎稔撰　昭和七　洋・中　(大阪商科大學研究叢書本)	一	ヨ	一	三六四九
景氣理論	シュピートホフ　望月敬之譯　昭和一一　洋・中	一	ヨ	二	三六二四
景氣論	波多野鼎撰　昭和九　洋・中	一	ヨ	二	三五八七
景氣論の發展と資本主義の發展	井上鐙三撰　洋・中　(大倉高等商業學校創立三十周年記念論文集)	一	ネ	一	三六四一
現代商業概論	商業の基礎的知識　昭和一二　洋・中　向井鹿松撰	一	ネ	二	三四九六
現代商業經濟	米・ブリスコ撰・大石熊吉譯　大正五　洋・中	一	ネ	二	二八八
同		一	ネ	二	二八九

經營學論集 工業統制問題・商業學最近の問題 生業と家業（平井泰太郎）外二一篇 日本經營學會關西部會山口大會・山口高商三十周年記念事業委員編 昭和一〇 洋・中 一冊 ネ類二號 三三八二

工業の販賣管理 鈴木保良撰 洋・中（工業經營講座） 一 ヨ八 三四九九 一〇

購買管理及倉庫管理 上野陽一撰 昭和一二 洋・中（工業經營全書本） 一 ネ二 三三九九

小賣商業の發展と購買力 服部政一撰 洋・中（小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集） 一 ネ一 三七四七

國際商業原理 米・タウシッグ撰・宮川貞一郎譯 昭和五 洋・中 一 ネ二 三三三四

國際商業と交通 伊藤重治郎譯 大正一二 洋・中（文明協會刊行書） 一 イ四 七七一 二五

最近商業通論 稟田藤吉撰 昭和六 洋・小 一 ネ二 三三七四

最新商業要綱 土屋長吉撰 明治三五 洋・中 一 ネ二 三四〇六

最新商業要綱 土屋長吉撰 明治三八 六版 洋・中 一 ネ二 三四二〇

甲種程度 最新商事要項 武田英一撰 大正九 洋・中 二 ネ二 二八四四

產業經營學概說 馬場敬治撰（社會經濟體系） 洋・中 一 ヨ一 三四一六 四

產業經營理論 附錄經濟政策學の對象、其の成立の可能性及び其の限界 馬場敬治撰 昭和二 洋・中 一 ヨ二 三四二五

市場經濟と倉庫經濟 內池廉吉撰 昭和八 洋・中 一 ネ二 三三六三

市場組織論 內池廉吉撰 大正一三 洋・中 一 ネ二 三四八九

市場要論 內池廉吉撰 昭和四 洋・中 一 ネ二 三三二七

市場論 福田敬太郎撰 昭和五 洋・中（商學全集本） 一 ネ二 三三三三

市場論 內池廉吉撰 洋・小（經濟學全集ノ內經濟學特殊理論上） 一 ヨ一 三四九三 六

實踐的經營學の問題 上林貞治郎撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報） 一 ヨ一 三六三五 五

海上賣買論 附錄ワルソー・オックスフォード規則 上坂酉三撰 一冊 ネ類二號 三三七一

商學研究 一至四 昭和七 東京商科大學國立學會編 洋・中（東京商科大學研究年報） 四 ネ二 三三四九

衝突損害と海上保險との關係（藤本幸太郎） 一

自然的グッドウィルの研究（高瀨莊太郎） 一

鐵道特定貨物賃率の研究（渡邊大輔） 一

勞働學の構成と其勞働事故の研究（金子弘） 一

中華民國幣制改革問題の經過（高垣寅次郎） 一

昭和四・五年度我國銀行經營の動態的研究（高瀨莊太郎） 一

英吉利地金論爭書目解說（鬼頭仁三郎） 一

A Bibliography of bullion controversy in England, 1797–1828.（高垣寅次郎・鬼頭仁三郎編） 一

滿洲國の重要性と移民及交通問題（堀光龜） 二

生命保險に於ける癈疾條項の研究（石川文吾） 二

千九百三十一年の獨逸倉庫法（內池廉吉） 二

勞働時間問題の心理的考察（金子弘） 二

聖トマスに於ける職分社會思想の研究（上田辰之助） 二

製造間接費の配賦尺度に就て（吉田良三） 三

アメリカ鐵道業に於ける持株會社の發達（增地庸治郎） 三

廣告訴求の社會心理的研究に就いて（金子弘） 三

經濟動態理論と正常狀態の想定（高橋泰藏） 三

近時世界海運貿易の數量的考察（伊坂市助） 三

有機說に於ける會計と財務との交錯（岩田巖） 三

保險技術上の若干問題（藤本幸太郎・大林良一） 三

計理學の理論的構成（高瀨莊太郎） 四 固定資產會計（太田哲三） 四

ファン・スエーリンゲン系持株會社（增地庸治郎） 四

海難救助料に對する保險者の塡補責任（加藤由作） 四

獨逸に於ける小賣商統制政策の動向（深見義一） 四

比例規定の經營學的考察（大林良一） 四

中華民國の通貨と其價値主義に就いて（村松祐次）

商學研究二 東京商科大學國立學會編 昭和八 洋・中 一 ネ二 三三五七

商學通論 武田英一撰 大正一四 洋・中 一 ネ二 三四六四

商業概論 內池廉吉撰 洋・中（現代經濟學全集ノ內商業問題） 一 ヨ一 三四九四 二一

商業概論 上坂酉三撰 昭和一一 五版 洋・中 一 ネ二 三三九三

同 一 ネ二 三三九四

最新商業概論 上坂酉三撰 昭和一二 洋・中 一 ネ二 三四〇〇

商業概論 福田敬太郎撰 昭和六 洋・中（商學全集本） 一 ネ二 三三四五

商業學概論 內池廉吉撰 明治三九 再版 洋・中（高等商業叢書本） 一 ネ二 三四三〇

同 一 ネ二 三四三一

商業學概論 增訂改版 內池廉吉撰 大正一〇 一二版 洋・中 一 ネ二 三四七一

改修商業學概論 內池廉吉撰 昭和八 三〇版 洋・中 一 ネ二 三三七三

商業學講義要領 通論及賣買 石川文吾撰 明治三七 洋・中 一 ネ二 三四〇九

同 一 ネ二 三四〇五

商業學大意 總論 伊藤重治郎講（明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ二 三四一五

商業學大意 總論 伊藤重治郎講（明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ二 三四一四

簡本商業學通論 上坂酉三撰 昭和四 洋・中 一 ネ二 三三三五

商業學通論 原田祐三撰 大正三 洋・中（高等實業講座） 一 ネ一 一二六 一

商業學と經營學 村本福松撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報） 一 ヨ一 三六五三 六

商業各論 伊藤重治郎講（第七回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ二 三四三

商業各論 伊藤重治郎講（第八回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ二 三四四二

商業教科書 水島鎭也撰 明治三五 和・中 四 ネ二 三四六九

商業經營 增地庸治郎撰 昭和七 洋・中 一 ネ二 三三五〇

商業經營立地論 芳谷有道撰 洋・中（彦根高商論叢記念論文集） 一 ネ一 三七五一

商業經營要論 鈴木保良撰 昭和七 洋・中 一 ネ二 三三五二

商業經營論 佐々木吉郎撰 昭和八 洋・中 一 ネ二 三三六四

商業經營論 松井辰之助撰 昭和一二 洋・中（經營學大系本） 一 ネ二 三四九九

商業經濟 關一講（明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ二 一三九〇

商業經濟 關一講（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ二 三四五二

商業經濟 關一講（早稻田大學政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中 一 ネ二 一九五三

商業經濟 永田健助撰 明治二八 洋・小 一 ネ二 三三五

最新商業經濟學 資本論・物價論附 英・ギッビンス撰・西內青藍譯 明治三一 洋・中 一 ネ二 四〇二

商業經濟學 清水泰吉撰 明治三二 洋・中（帝國百科全書） 一 イ四 一五一 三八

商業經濟學 清水泰吉撰 明治三六 四版 洋・中（帝國百科全書本） 一 ネ二 八七一

商業經濟學 三浦新七撰 明治三六 洋・中（商業學本論本） 一 ネ二 三四〇一

商業經濟綱領 關一撰 明治三七 洋・中 一 ネ二 九二一

商業經濟談 商業世界社編 明治三六 再版 洋・小（商人文庫） 一 ネ一 八〇九 一

商業經濟論 獨・レキシス撰・岩村茂譯 明治二八 洋・中 一 ネ二 六五三

獨學自修 **商業研究法** 奥村二秋講（明治四二年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四一八

獨學自修 **商業研究法** 早稻田商業講義編輯部編（明治四三年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四一七

獨學自修 **商業研究法** 早稻田商業講義編輯部員講（第八回早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四四四

商業原理講話 大泉行雄撰　昭和六　洋・小　一　ネ　二　三三四四

商業綱要 阪本陶一撰　明治三七　洋・中　一　ネ　二　一〇三三

商業使用人問題の研究 井上貞藏撰　昭和一二　洋・中　一　ネ　二　三三九一

商業須知 土屋長吉講（明治四一年度高等國民教育）洋・中　一　ネ　二　三四五五

商業須知 土屋長吉講（明治四二年度高等國民教育）洋・中　一　ネ　二　三四五七

商業須知 土屋長吉講（明治四三年度高等國民教育）洋・中　一　ネ　二　三四一〇

商業總論 向井鹿松撰　洋・小（經濟學全集ノ內商業學上）　一　ヨ　一　三四九三 四二

商業組織論 平野常治撰　昭和一〇　洋・中　一　ネ　二　三三七八

商業大意 石川文吾講（明治四〇年度早稻田中學講義）洋・中　一　ネ　二　三四四六

商業大意 石川文吾講（明治四一年度早稻田中學講義）洋・中　一　ネ　二　三四四九

商業大意 小林行昌講（第五回早稻田中學講義）洋・中　一　ネ　二　三四一六

商業大意 小林行昌講（明治四一年度早稻田中學講義）洋・中　一　ネ　二　三四五〇

商業大意 小林行昌講（早稻田中學講義）洋・中　一　ネ　二　三四二三

最新 **商業通義** 平尾丹治撰　明治四一　再版　洋・中　一　ネ　二　三四六五

商業通義 北田正寅編　明治四一　洋・小（商業文庫）　一　ネ　一　一七三六 一

商業通論 石川文吾講（第一回早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四二七

商業通論 石川文吾講（明治三九年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四一八

商業通論 石川文吾講（明治四〇年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四三九

商業通論 石川文吾講（明治四一年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四四〇

商業通論 石川文吾講（早稻田大學政治經濟科明治四〇年度講義錄）洋・中　一　ネ　二　三四三六

商業通論 石川文吾講（早稻田大學政治經濟科明治四一年度講義錄）洋・中　一　ネ　二　三四三八

商業通論 石川文吾撰　明治四三　洋・中　一　ネ　二　三四六一

商業通論 石川文吾撰　大正二　四版　洋・中　一　ネ　二　三四三三

改訂 **商業通論** 石川文吾撰　大正四　六版　洋・中　一　ネ　二　三四六〇

改訂 **商業通論** 石川文吾撰　大正六　八版　洋・中　一　ネ　二　三四九二

商業通論 伊藤重治郎講（第七回早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四二九

商業通論 伊藤重治郎講（第八回早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四四一

商業通論 齋藤朋之丞撰　明治四二　洋・中　一　ネ　二　三四六二

同

商業通論 坂本陶一撰　明治三九　洋・中　一　ネ　二　三四二八

最新 **商業通論** 坂本陶一撰　大正七　六版　洋・中　一　ネ　二　三四九一

商業通論 增地庸治郎撰　昭和一一　三版　洋・中（商學全集本）　一　ネ　二　三三八九

商業通論及經營 附商業書式　明治四一　洋・中　阪本陶一撰　二　ネ　二　一七四四

商業通論新講 向井梅次撰　昭和一〇　洋・中　一　ネ　二　三三七七

實踐 **商業提要** 附商業書式　明治四三　改版一〇版　洋・中　坂本陶一撰　二　ネ　二　三四八八

新撰 **商業讀本** 卷之三　明治四四　洋・中　鈴木寬一・道野信藏撰　一　ネ　二　三四六七

同

商業賣買 小林行昌撰　大正五・九　洋・中　一　ネ　二　三四六八

商業賣買 小林行昌撰　大正八・九　初・再版　洋・中　二　ネ　二　三四七五

商業賣買 小林行昌撰　大正一一　三版・訂正三版　洋・中　二　ネ　二　三四七四

改訂 **商業賣買** 上卷　小林行昌撰　昭和三　洋・中　一　ネ　二　三四八五

商業汎論 飯田旗郎講（大日本實業學會講義錄）洋・中　一　ネ　二　三四〇三

實踐 **商業要義** 高橋邦二郎撰　明治三七　七版　洋・中　一　ネ　二　三四一一

實踐 **商業要義** 高橋邦二郎撰　明治三七　八版　洋・中　一　ネ　二　九五三

商業要項 祖山鐘三講（大日本實業學會講義錄）洋・中　一　ネ　二　三四〇四

商業要論 北澤新次郎撰　大正七　洋・中　一　ネ　二　三四七〇

商工經營 上田貞次郎撰　昭和五　洋・中（商學全集本）　二　ヨ　二　三五〇二

商工經營 渡邊鐵藏撰　洋・中（社會經濟體系）　一　ヨ　一　三四一六 四

商工經營綱要 鈴木保良撰　昭和八　洋・中　一　ヨ　二　三五五八

商事經營論 渡邊鐵藏撰　大正一一　洋・中　一　ネ　二　二九二二

商事要項及商業算術 小林行昌撰　大正元　洋・中　一　ネ　二　三四九五

商事要項及商業算術 小林行昌撰　大正二　訂正再版　洋・中　一　ネ　二　三四九四

商事要項各論 伊藤重治郎講（明治四二年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四一三

商事要項各論 伊藤重治郎講（明治四三年度早稻田商業講義）洋・中　一　ネ　二　三四一二

商事要項 武田英一撰　明治四一　再版　洋・中　二　ネ　二　三四四五

商店法論 井上貞藏撰　昭和八　洋・中　一　ネ　二　三四九三

新訂 **商店法論** 井上貞藏撰　昭和一二　洋・中　一　ネ　二　三五九七

商品配給論 附錄反產運動の全貌と其批判・商店統計表（東京市）　小林行昌撰　昭和一二　六版　洋・中　一　ネ　二　三四九八

商法小學 工藤助作譯　明治九　和・中　一　ネ　二　三四〇五

信用統制と景氣變動 高島佐一郎撰　昭和五　洋・中　一　ヨ　二　三五〇一

世界經濟機構と景氣變動 世界經濟的景氣變動に關する基礎理論　獨・ワーゲマン撰・小島昌太郎譯　昭和七　洋・中（京都經營學會邦譯叢書本）　一　ヨ　二　三五二七

ドイツ經濟學と「經營學」 杉村廣藏撰　洋・中（經濟學研究）　一　ヨ　一　三六七九 一

特權取引の理法 井浦仙太郎撰　洋・中（東京商科大學記念論文集）　一　ネ　一　三五六一

取引理論としての商學の內容 福田敬太郎撰　洋・中（經營學論集）　一　ネ　二　三四七三 四

暖簾の研究 高瀨莊太郎撰　昭和五　洋・小　一　ネ　二　三三三八

商號ノ讓渡 水津彌吉撰　明治三七　洋・中（京大法科大學論文集本）　一　ワ　一二　二一六九

支那に於ける外人の商標權 古館尙也編　大正一五　洋・中（滿鐵經濟資料）　一　ヨ　一　九六六 二〇

日本登錄商標大全 東京書院刊　明治三八　洋・大　二　ワ　一六　九二五

ハーバード景氣指數の統計學的性質 柴田銀次郎撰　洋・中（神戸高等商業學校創立二十五周年記念論文集）　一　ネ　一　三六二一

配給市場組織 財貨移動の社會的組織　向井鹿松撰　昭和三　洋・中（資本主義經濟組織本）　一　ネ　二　三三二二

配給組織の基礎的諸問題 加藤金次郎講 洋・中（關西大學創立五十周年記念論文集） 冊一 類イ 四 號一三三九

配給組織論 谷口吉彥撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 二 三三八〇

配給の方法 全米商業會議所編・東京商工會議所譯 昭和六 洋・中（產業合理化資料） 一 ヨ 一 二五九七 一〇

配給理論 向井梅次撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 二 二四九七

賣買 石川文吾講（第一回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 二 二四八四

賣買 石川文吾講（明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 二 二四八一

賣買 石川文吾講（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 二 二四七六

賣買事業に於ける信用取引を論ず 石川文吾講（東京商科大學創立五十周年記念論文集） 洋・中 一 ネ 一 三五六一

賣買組織論 貨物配給の原理・上巻 米・クラーク撰・緒方清・同豐喜譯 昭和五 洋・中 一 ネ 二 三三三三

賣買論 石川文吾撰 明治三九 洋・中 一 ネ 二 一一七三

賣買論 石川文吾撰 大正二 六版 洋・中 一 ネ 二 一六六四

賣買論 小林行昌撰 昭和五 洋・中（商學全集本） 一 ネ 二 三三三五

販賣經營論 鈴木保良撰 昭和一二 洋・小 一 ネ 二 八〇四

販賣心理 上野陽一撰 昭和六 洋・中（商學全集本） 一 ネ 二 三四八七

販賣心理の研究 青木庄左衞門撰 昭和九 洋・中 一 ネ 二 三四七三 一〇

百貨店問題の研究 堀新一撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 二 三三九五

物價指數論 附錄物價指數の研究文獻等 郡菊之助撰 昭和三 洋・中 一 ネ 二 三三二一

米國の經營學 經營學研究會編 昭和一一 洋・中 一 ネ 二 三三八七

米國の會計學（黑澤清）

サイエンティフィック・マネジメントと米國經營學（古林喜樂）

米國に於ける原價理論（馬場敬治） 米國に於ける配給論（佐々木吉郎）

アメリカに發展せる豫算統制（長谷川安兵衞）

アメリカに於ける市場分析研究（池田英次郎）

ホワイトの經營經濟學（佐々木吉郎）

エドワード・ジョーンズ及びレオン・カロル・マーシャルの經營學論（中村常次郎）

公益企業の評價問題（山邊六郎）

ホートレー景氣循環論 物部謹勝撰 洋・中（中央大學）五十周年記念論文集） 冊一 類ヨ 一 號三七九四

我國に於ける商業學及び經營學の發達について 上田貞次郎撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四七三 四

我國の景氣循環と景氣指數 附錄二項 田村市郎撰 昭和五 洋・中 二 ヨ 一 三五四一

商業政策

國際商業政策 古谷美貞撰 大正一二 洋・中 一 ネ 二 二九八二

國際商業政策 堀江歸一撰 明治四一 三版 洋・中 一 ネ 二 一八〇一

最近商業政策 上田貞次郎撰 昭和八 洋・中 一 ネ 二 三三五八

商業經濟政策 關一撰 明治三七 洋・中 一 ネ 二 八〇四

商業社會政策 井上貞藏撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四七三 一〇

商業政策 井上辰九郎講（早稻田大學政治經濟科講義錄） 洋・中 一 ネ 二 一〇八五

商業政策 井上辰九郎講（早稻田大學政治經濟科明治元年度講義錄） 洋・中 一 ネ 二 一二〇〇

商業政策 井上辰九郎講（早稻田大學政治經濟科明治四〇年度講義錄） 洋・中 一 ネ 二 一四八七

商業政策 井上辰九郎講（早稻田大學政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中 一 ネ 二 一九六三

商業政策 井上辰九郎講（早稻田大學政治經濟科明治四三年度講義錄） 洋・中 一 ネ 二 二三二八

商業政策 井上辰九郎講（早稻田大學政治經濟科明治四三年度講義錄） 洋・中 一 ネ 二 二三一九

商業政策 上田貞次郎撰 昭和五 洋・中（現代經濟學全集） 一 ヨ 一 二四九四 一七

商業政策 河津暹撰 昭和四 洋・中 一 ネ 二 二三二八

商業政策 河津暹撰 洋・中（社會經濟體系） 一 ヨ 一 二四一六 四

商業政策 竹內謙二撰 洋・小（經濟學全集ノ內經濟政策下） 一 ヨ 一 二四九三 一六

商業政策 田中貢撰 昭和九 洋・中 一 ネ 二 二三七五

商業政策 津村秀松撰 明治四四 初・再版 洋・中 二 ネ 二 二三一九

商業政策 津村秀松撰 明治四四・大正四 初・三版 洋・中 二 ネ 二 二二四二

商業政策 津村秀松撰 大正四 三版 洋・中 二 ネ 二 一六五二

商業政策 第一部外國貿易理論 油本豐吉撰 昭和七 洋・中 一 ネ 二 二三四八

商業政策と商權の消長 福田德三撰 洋・中（經濟學全集） 一 ヨ 二 二三六三 八

商政標準 天野爲之撰 明治一九 洋・小 一 ネ 二 四

同

商政論 天野爲之講（東京專門學校講義錄） 洋・中 一 ネ 二 二三四一

戰後の商業政策 獨・フアライラー撰・臨時產業調査局抄譯（農商務省臨時產業調査局） 大正八 洋・中 一 ヨ 一 一八三七 九

中世都市の商業政策の變遷 五十嵐壽撰 洋・中（中央大學・五十周年記念論文集） 一 ヨ 一 三七九四

改訂 內外商業政策 上卷 小林行昌撰 昭和四 四版 洋・中 一 ネ 二 三三四七

再訂 內外商業政策 上卷・附錄輸出重要品の統計外二表 小林行昌撰 昭和七 五版 洋・中 一 ネ 二 三三五五

同

商政論 天野爲之講（東京專門學校講義錄） 洋・中 一 ネ 二 二三四一

戰後の商業政策 獨・フアライラー撰・臨時產業調査局抄譯（農商務省臨時產業調査局） 大正八 洋・中 一 ヨ 一 一八三七 九

中世都市の商業政策の變遷 五十嵐壽撰 洋・中（中央大學・五十周年記念論文集） 一 ヨ 一 三七九四

改訂 內外商業政策 上卷 小林行昌撰 昭和四 四版 洋・中 一 ネ 二 三三四七

再訂 內外商業政策 上卷・附錄輸出重要品の統計外二表 小林行昌撰 昭和七 五版 洋・中 一 ネ 二 三三五五

商業史

〈度量衡史（ネ一）度量衡、商店史八同業雜書、貿易史・金融史（兩替史ヲ含ム）、貨幣史・銀行史・保險業史・市場取引史等ハ、夫々當該箇所參照〉

馬市考 西田彰三撰 洋・中（小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集） 冊一 類ネ 一 號三七四七

英國商業史 英・プライス撰・和田垣謙三・津田欽一郎譯 明治三七 洋・中（早稻田叢書本） 一 ネ 二 二二七

同 一 ネ 二 二二八

同 一 ネ 二 一八五一

同 一 ネ 二 一八五三

江戸書籍商史 上里春生撰 昭和五 洋・中 一 ネ 二 三三四二

大分市生石濱之市に關する調査 大分高等商業學校商事調査部刊（昭和五） 洋・中（調査報告本） 一 ネ 二 三三三七

大阪經濟史研究（續共） 菅野和太郎撰 昭和一〇 洋・中（大阪商科大學研究叢書本） 二 ヨ 四 三四八四

經濟上より觀たる大阪 一 大阪の商業と近江商人

德川時代の手形 一 外人の觀たる大阪開港

大阪開港と諸藩 一 大阪と天災

大阪開港當初外國商人の不正行爲 二 海運と外國貿易

米價引上策と堂島米市場 二 大阪と綿業

明治初年の手形 二 銀目廢止と太政官札

非常時財政と大阪 二 五代友厚

加藤祐一 二 我國の商工階級と歸化人

紀州家名目金 二 尾州家名目金

天災と我國の經濟 二

明治大正 大阪市史・經濟篇中（商業） 同市編 一 リ 五 五三一八 三

明治大正 大阪市史・史料篇 同市編 昭和八 洋・中 一 リ 五 五三一八 七

一般

大阪府管内巡察記

工業

皇國造幣寮濫觴記外一篇

外國貿易

外務省往復文書外六篇

商業

東京商法司關係文書外一八篇

交通

旗振信號沿革及仕方（附傳書鳩の事）

金融

通商局控外九篇

財政

三井家御用金文書外三篇

大阪商業史資料　寫本　和・大　二六冊　ネ二類八五八號

大坂商業習慣錄（遠藤芳樹編）一—五　堂島舊記　六—一五

大阪肥物商組合一斑（金澤仁作・松岡喬編）　一六—二〇

米商語彙　三　大坂兩替商舊記　二三—二三

大阪昔時の信用制度（大阪銀行通信錄編輯委員編）　二四

天明年間大坂町鑑　二五—二六

大阪商業史資料　卷九・一〇至一二　昭和四　洋・中（浪速叢書）　一　イ四一二一九

諸組合仲間問屋及其規約　商業工業諸職沿革

外國貿易竝商業上の慣例

大阪商業習慣錄　遠藤芳樹編　洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四七六五四四

大阪商業習慣錄　遠藤芳樹編　洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　ヨ五三四〇一三

古代商業史　英・ギルバルト撰・金谷昭譯　洋・中（經營學論集）　一　ネ二三三三六九

近世內外商業史　平沼淑郎講　（明治四一年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ二一九九六

近世內外商業史　平沼淑郎講　（明治四二年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ二二八五

京阪書籍商史　蒔田稻城撰　昭和三　洋・中　一　ネ二三三三〇

國際市の本質とその成立　井上龜三撰　洋・中（經營學論集）　一　ネ二三四七三六

古代商業史　英・ギルバルト撰・金谷昭譯　（經濟學講習會講義錄）　洋・中　一　ネ二一三五三

古代日本における「市」の起源と職能　靏田敬太郎撰　洋・中（靏田敬太郎博士經濟學研究追憶論文集）　一　ヨ一三六七二

大坂商業習慣錄（遠藤芳樹編）　一　鉛筆餘唾（遠藤芳樹）　一

商事慣習誌問報答書（大阪商法會議所編）　二

大坂商業習慣取調書（同上）　二　商業慣例調（大阪府農商課編）　二

商業習慣調（遠藤芳樹編）　二　兩替商沿革史（大阪兩替商組合編）　三

歐洲商業開化史　英・ギッビン撰・永田健助譯補　明治二九　洋・小　一冊　ネ二類一三三號

近江商人の活躍について　菅野和太郎撰・彥根高商調查課刊　洋・中（調查研究本）　一　ヨ五三四〇七

尾道商業沿革史料　洋・中（海事史料叢書）　一　ツ四五〇三九—七

生絲恐慌對策史　附生絲貿易史年表　森本宋撰　昭和六　洋・中　一　ネ二三三四三

業要錄　扇谷定繼撰　洋・小（未刊隨筆百種）　一　イ五一二九七

近世商業史　野村傳太郎撰　大正一五　洋・中　一　ネ二三三一三

近世商業史　平沼淑郎講　（明治三九年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ二一四〇七

近世商業史　平沼淑郎講　（早稻田大學政治經濟科明治四一年度講義錄）　洋・中　一　ネ二一九四七

近世商業史　平沼淑郎講　（早稻田大學政治經濟科明治四三年度講義錄）　洋・中　一　ネ二八九二

近世世界商業史　平沼淑郎講　（早稻田大學政治經濟科第三回講義錄）　洋・中　一　ネ二二五八〇

近世內外商業史　平沼淑郎講　（明治四〇年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ二一六八七

近世內外商業史　平沼淑郎講　（明治四一年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ二一九九六

近世內外商業史　平沼淑郎講　（明治四二年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ネ二二八五

京阪書籍商史　蒔田稻城撰　昭和三　洋・中　一　ネ二三三三〇

國際市の本質とその成立　井上龜三撰　洋・中（經營學論集）　一　ネ二三四七三六

古代商業史　英・ギルバルト撰・金谷昭譯　（經濟學講習會講義錄）　洋・中　一　ネ二一三五三

古代日本における「市」の起源と職能　靏田敬太郎撰　洋・中（靏田敬太郎博士經濟學研究追憶論文集）　一　ヨ一三六七二

最近商工史　報知社刊　大正七　和・大　一　ヨ四二三七三

堺市史　資料編　同史編纂部編　昭和四・五　洋・中　三　リ五四九八七四—六

商業沿革史　英・イーツ撰・河上謹一譯　明治一八　洋・小　二　ネ二二六一

商業工藝史　英・イーツ撰・大島貞益譯　明治二五　再版　洋・小　二　ヨ四三三四

商業史　平沼淑郎講　（早稻田大學政治經濟科明治三九年度講義錄）　洋・中　一　ネ二一三〇五

商業史　平沼淑郎講　（早稻田大學政治經濟科講義錄）　洋・中　一　ネ二三三四〇

商業史　平沼淑郎講　昭和五　洋・中　一　ネ二三三六六

商業史歌　附商業史年表　田口卯吉撰　洋・中（鼎軒田口卯吉全集）　一　ネ二一七六

商業史概論　平貞藏撰　昭和八　洋・中　一　ネ二三三六〇

商業史要　永田健助撰　明治三五　訂正三版　洋・中　一　ネ二一九三

商業史論　英・スティーヴンス撰・井上貞藏・大森英治郎譯　昭和三　洋・中　一　ネ二三三三三

商工業發達史　五十嵐榮吉編　洋・大（大正人名辭典附錄）　一　ヌ五三八二六

商事慣例類集　三篇　洋・中（日本經濟大典）　二　ヨ一四八一四九—五〇

商事慣例類集　三篇　明治一六・一七　洋・小　五　ワ一二六二七一

日本商事慣例類集　三篇　昭和七　洋・中　一　ワ一二六三四四

商法篇　黑川眞頼撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內黑川眞頼全集）　一　イ四七三五五

諸問屋再興調　江戸町會行調　洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四七六五四四

世界商業史　瀧澤喜子雄撰　昭和九　洋・中　一　ネ二三三六九

世界商業史總論・古代篇　野村傳太郎撰　昭和四　洋・小　一　ネ二三三三二

世界商業史　野村傳太郎撰　洋・中（社會經濟體系）　一　ヨ一三四一六二

世界商業史　光岡威一郎講　（大日本實業學會講義錄）　洋・中　一　ネ二三九一

世界商業史　橫井春野撰　昭和七　洋・中　一　ネ二三三五一

世界商業史　米・ウェブスター撰・上原好唉譯　大正一五　洋・中　一　ネ二三三一六

世界商業史　米・デー撰・三上正毅譯　明治四五　四版　洋・中　一　ネ二三三三九

世界商業史　附要領と問題　米・デー撰・三上正毅譯　大正三　修正增補六版　洋・中　一　ネ二一五一一

世界商業史綱要　佐伯三郎撰　昭和一〇　洋・中　一　ネ二三三八四

世界商業史綱　宮田千年撰　明治三七　洋・中　一　ネ二七四四

同

世界商業史要　野村傳太郎撰　洋・小（經濟學全集ノ內商業學下）　一　ヨ一三四九三四三

世界商工業史　桐生政永撰　明治三五　洋・中（商業叢書本）　一　ヨ四九三五八

大英商業史　一七卷　英・レヴィー撰・田口卯吉・藤田靜譯　明治一二　和・中　一七　ネ二二七三

大英商業史　卷一至四　英・レヴィー撰・田口卯吉譯　明治一二　和・中　四　イ一三七七九

大日本貨幣史參考　貸借・賣買・物價・金銀貨・外國貿易部（度量衡・爲替部缺）　吉田賢輔編　明治一〇・一一　洋・中　五　ネ四三三七一五

大日本貨幣史參考　吉田賢輔編・本庄榮治郎校　大正一五　洋・中　一　ネ四三三七一五

大日本商業史　附平戸貿易志　菅沼貞風撰　明治二五　洋・中　一　ネ二三一七

大日本商業史　附平戸貿易志　菅沼貞風撰　明治三五　訂正三版　洋・中　一　ネ二八六一

中國商業史　民國・王孝通撰　民國二五　洋・小　（中國文化史叢書）　一　リ八　四八六四　一七
新學制高級商業學校教科書中國商業史　民國・陳稼編　民國一四　洋・中　一　ネ二　三三一七
中國商業史　民國・鄒行異編　民國二一　洋・小　一　ネ二　三三八六
中古商業交通史雜考　福田德三撰（經濟學全集）　洋・小　一　ヨ二　三三六三　三
中世の商業と近江　江頭恒治撰・彦根高商調査課刊（昭和一一）　洋・中　（調査研究本）　一　ネ二　三三九六
糶糴賣買の發展史的考察　原田博治撰・彦根高商調査課刊　洋・中　（調査研究本）　一　ネ二　三三六八
帝國商業史講義錄　卷一・二　明治二五　横井時冬講　增訂　洋・中　一　ネ二　三〇二六
帝國商業史講義錄　卷一・二　明治三五　横井時冬講　洋・中　一　ネ二　三三七六
問屋沿革小誌　洋・中　（日本產業資料大系）　一　ヨ五　三四一三　八
問屋沿革小誌　洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四　七六五　四四
東京廻米問屋市場沿革　東京廻米問屋市場編　大正七　洋・中　一　ネ二　三九〇
東京市史稿　產業篇第一・二　東京市役所編　昭和一〇・一二　洋・中　二　リ五　三三六二　六二・七一
唐宋時代の市　加藤繁撰　洋・中　（支那經濟史考證　東洋文庫論叢　文集）　一　ヨ一　三六七三
德川時代高利貸附資本發展の必然性　遠藤正男撰　洋・中（一九大法文學部）十周年記念經濟學論文集）　一　ヨ一　三八四四
德川時代商業叢書　國書刊行會編刊　大正二・三　洋・中　（國書刊行會叢書）　三　イ四　七六三　四二―四四
富山賣藥業史史料集　高岡高等商業學校編　昭和一〇　洋・中　三　ヨ五　三四二七
日本近世商業資本發達史論　遠藤正男撰　昭和一一　洋・中　一　ヨ四　三五〇三
日本經濟史研究　幸田成友撰　昭和三　洋・中　一　ヨ四　三四二八

日本古代經濟　交換篇第一・二・四册　西村眞次撰　昭和八・九　洋・大　册　リ　類　八　號　四八六四　一七
總論・沈默貿易　一　市場　貨幣　四　二　ヨ　四　三四五三
日本財政經濟史料　商業　洋・中　大藏省編　二　タ二　三〇五六　三・七
日本商業史　菅野和太郎撰　昭和五　洋・小　一　ネ二　三三三六
日本商業史　横井時冬撰　明治三二　再版　洋・中　一　ネ二　一七二
日本商業史　維新後商業史共　横井時冬撰　明治三三・四三　初・六版　洋・中　二　ネ二　三一五七
日本商業史　横井時冬撰　大正一五　洋・中　（橫井時冬全集本）　一　ネ二　三三一二
日本商業志　遠藤芳樹編　洋・中　（日本產業資料大系）　一　ヨ五　三四一三　八
日本商業史要　橫井時冬撰　明治三二　洋・中　一　ネ二　一〇六二
日本商業歷史　橫井時冬撰　洋・中　（大日本實業學會講義錄）　一　ネ二　三九〇
日本商工史　同文館編　明治三三　洋・中　一　ヨ四　七九三
日本商工歷史　平沼淑郎講　（明治四二年度早稻田商業講義）　洋・中　一　ヨ四　九八五
日本小商業史　橫井時冬撰　昭和七　洋・小　一　ネ二　三三五三
日本商業史　日本殖產史　かたらひくさ　ことばのいづみ
日本商人史　日本歷史地理學會編　大正一四　洋・中　（歷史地理第三〇〇號記念號）　一　ネ二　三三二六
日本商人史觀（三浦周行）　古代の商人（喜田貞吉）　平安時代の商業及び商人生活について（西岡虎之助）　鎌倉時代の商人（大森金五郎）　中世の商人と海賊衆（相田二郎）　搖籃期に於ける近江商人（牧野信之助）　江戸時代に於ける町人に對する思想（中村孝也）

德川時代の商人（赤堀又次郎）　町人全盛の世（笹川種郎）　江戸文學に現れたる商人及び商業（高須芳次郎）　明治時代商人の第一歩（藤井甚太郎）　明治元年の兵庫及び大阪（幸田成友）　日本古代の貿易（西村眞次）　神社と商業（山本信哉）　土俗學上より見たる商習慣（中山太郎）　商業道德（有馬祐政）

日本商人史　日本商人史觀（三浦周行外一五篇）　日本歷史地理學會編　大正一四　洋・中（歷史地理第三〇號記念號）　一　ネ二　三四七三
日本染織商工史　五卷・泉俊秀撰　昭和一〇　再版　洋・中　一　ヨ八　三四七三
日本橋魚市場沿革紀要　川井忠兵衛撰　明治二二　和・中　三　ネ一　七七九
日本橋魚市場沿革紀要　川井忠兵衛撰　洋・中　（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四　七六五　四二
日本橋魚市場ノ沿革及現狀　東京市役所勸業課刊　洋・中　（市場市營ニ關スル調査報告書附錄）　一　ネ一　三八三〇
日本米價變動史　中澤辨次郎撰　昭和八　洋・中　一　ヨ七　三五三八
延米商濫觴記　洋・中　（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四　七六五　四三
萬國商業歷史　英・ギッビンス撰・林曾登吉譯補　明治二五　洋・小　一　ネ二　六〇
比律賓在留邦人商業發達史　渡邊薰撰　昭和一〇　洋・小　一　ネ二　三三八三
札差沿革小誌　大澤正道編　寫本　和・中　（金穀雜載）　一　ヨ五　九七一
物價百年史　バートン竝セルデン撰・大阪野村銀行抄譯　大正一〇　洋・中　一　ヨ五　二九九一
古着問屋舊記　江戸町奉行記　（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　洋・中　一　イ四　七六五　四四
米價記　柴田善伸撰　洋・中　（近世社會經濟叢書）　一　ヨ五　三三八八　七
本朝物價表　西村兼文撰　洋・中　（日本產業資料大系）　一　ヨ五　三四一三　八
三組書物問屋諸規定　寫本　和・中　四　ネ二　＊一三三

明治維新後に於ける近江商人落魄の原因に就いて　菅野和太郎撰・彦根高等商業學校研究部刊　洋・中　（調査研究本）　一　ヨ五　三四〇六
明治商工史　報知社刊　明治四三　和・大　一　ヨ四　二一二四
明和天保年中糸高直一件記錄　洋・中　（近世社會經濟叢書）　一　ヨ五　三三八八　八
我國商品相場統計表　金融研究會編　昭和一二　洋・中　（金融資料）　二　ネ四　三八三二　五
我國に於ける百貨店の沿革　瀧本誠一・向井鹿松編　洋・中　（日本產業資料大系）　一　ヨ五　三四一三　九

○

商海英傑傳　瀨川光行編　明治二六　洋・中　一　ヌ五　四七六五
商界の奇傑　篠田鑛造撰　明治三五　洋・中　一　ヌ五　一二九
商界の十傑　石尾新太郎撰　明治三五　洋・小　一　ヌ五　一一〇五
町人考見錄　三井高房撰　寫本　和・中　三　ヌ五　二七一八
町人考見錄　三井高房撰　洋・中　（日本經濟叢書）　一　ヨ一　二五二八　一五
町人考見錄　三井高房撰　洋・中（日本經濟大典）　一　ヨ一　三四八一　二二
町人考見錄　三井高房撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四　七六五　四二
町人考見錄追加　洋・中　（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四　七六五　四四
內外豪商列傳　坪谷善四郎編　明治二四　洋・小　一　ヌ一　四一五七
商人龜鑑博多三傑傳　江島茂逸・大熊淺次郎編　明治二五　洋・中　一　ヌ五　一九〇八
町方書上江戸　洋・中　（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）　一　イ四　七六五　四二

三 貿易

總記

一般日用品中輸入防壓ニ關スル調査	東京市商工調査會刊 大正三・洋・中	一	ネ	三	一三九一
英國と自由貿易	井上次郎撰 洋・中 (立合館三十論文集)	一	イ	四	一三三六
英國の改造と貿易	後藤新平撰 大正九 再版 洋・中	一	ネ	三	二五〇〇
F・O・B・契約に於ける費用の負擔	大谷敬治撰 洋・中 (小樽高等商業學校創立二十週年記念論文集)	一	サ	ネ	九六二
オーリンの貿易理論	谷口重吉撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	三	二五〇七
海外新市場	北田正寅編 明治四一 洋・小 (商業文庫)	一	ネ	一	一七三六二
海外貿易擴張論	荻原利貞・中村千太郎撰 明治三一 洋・中	一	ネ	三	四九八
外國貿易	井上辰九郎講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中	一	ネ	三	九九五
外國貿易	安川雄之助撰 洋・中 (現代產業叢書)	一	ヨ	一	二五〇〇三
外國貿易及金融市場	英・シュスメー撰・東京銀行集會所譯 明治三七 洋・中 (東京銀行集會所特別調査)	一	ネ	四	一四九九一
外國貿易擴張論附里昂蠶絲取引	大越成德撰 明治二二 洋・小	一	ネ	三	二七〇
グリッフキン博士外國貿易原論	原猛雄譯 昭和四 洋・中	一	ネ	三	二四〇九
外國貿易原論	野坂誉治・辻宏吉撰 明治四〇 洋・中 (帝國百科全書)	一	イ	四	一五一一四八
外國貿易策論	河原林穆一郎撰 明治四二 洋・大	一	ネ	三	一八四三
外國貿易實踐	栗原一平撰 大正九 洋・中	一	ネ	三	二六〇二
外國貿易實踐附錄輸出組合法外六項	栗原一平撰	一	ネ	三	二三七五
最新外國貿易實踐及び英語商業通信	石井靜人撰 昭和五 洋・中	一	ネ	三	三四一七
外國貿易事務研究	白井健次撰 大正一〇 訂正四版 洋・中	一	ネ	三	二八〇三
外國貿易政策	井上辰九郎講 (明治三九年度早稻田商業講義) 洋・中	一	ネ	三	一四一六
外國貿易政策	井上辰九郎講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中	一	ネ	三	一六七三
外國貿易政策	井上辰九郎講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中	一	ネ	三	三三六六
外國貿易政策	井上辰九郎講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中	一	ネ	三	二二九三
外國貿易政策第一卷	油本豐吉撰 昭和一二 洋・中 (商業政策本)	一	ネ	三	三五四九
外國貿易の手續	上坂酉三撰 昭和四 洋・大	一	ネ	三	三四〇一
外國貿易の見方	野田澤軍治撰 大正一四 洋・小	一	ネ	三	三三四九
外國貿易問題	堀江歸一撰 洋・中 (社會經濟體系)	一	ヨ	一	三四一六四
外國貿易理論	油本豐吉撰 昭和七 洋・中 (商業政策本)	一	ネ	二	三三四八
外國貿易論	天野爲之講 (東京專門學校講義錄) 洋・中	一	ネ	三	六八七
外國貿易論	井上辰九郎講 (早稻田大學講義錄) 洋・中	一	ネ	三	七二八
外場貿易論	井上辰九郎講 (早稻田大學行政科明治三八年度講義錄) 洋・中	一	ネ	三	一一八一
外國貿易論	井上辰九郎撰 明治四〇 洋・中 (早稻田叢書本)	一	ネ	三	一二九〇
同		一	ネ	三	一二九一
外國貿易論	添田壽一撰 明治二七 洋・小 (社會文庫本)	一	ネ	三	六四七
外國貿易論	英・バステーブル撰・土子金四郎譯 (東京專門學校講義錄) 洋・中	一	ネ	三	一〇八
同		一	ネ	三	三五九
外國貿易論	英・バステーブル撰・土子金四郎譯 明治二〇 洋・中 (經濟學論集)	一	ネ	三	二三五
外國貿易論附錄世界經濟變遷ト貿易ノ通商條約	生島廣治郎撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	三	一七四
外國貿易論附錄横濱生絲貿込問屋申合規則外一〇項	早川眞藏撰 昭和三 洋・中	一	ネ	三	三三九八
改版生絲と其貿易	白井啓二郎・松田昌壽編 大正一五 洋・中 (横濱正金銀行調査報告)	一	ネ	四	二八四九七
生絲貿易と外國爲替	白井啓二郎・松田昌壽編 昭和六 洋・中 (日本產業資料大系)	一	ヨ	五	二四三九
生絲の輸出統制	本位田祥男撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二	二四七三七
銀行及貿易	乘竹孝太郎撰 大正元 洋・中 (肅堂遺稿本)	一	ネ	四	二四二
ケアンズの外國貿易論	油本豐吉撰 洋・中 (仙崎教授還曆記念經濟學研究)	一	ヨ	一	二五一〇一
現代の貿易と貿易政策附錄世界經濟變遷ト貿易ノ通商條約	生島廣治郎撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	三	二五一〇
交易心得草前編	加藤祐一撰 明治元 和・中	一	ネ	三	一七四
交易問答	加藤弘之撰 明治二 和・小	二	ネ	三	二九九
交易問答	加藤弘之撰 洋・中 (明治文化全集)	一	イ	四	一二三九
交易論	洋・中 (日本經濟大典)	一	ネ	三	六七
交易論	氣賀勘重撰 洋・中 (經濟全書)	一	ヨ	一	二五八一四六
國際賣買と其契約	虎尾正助撰 昭和一一 洋・中 (虎尾實踐貿易叢書本)	一	ネ	三	三五一一
國際貿易政策思想史研究	手塚壽郎撰 昭和六 洋・中	一	ネ	三	二四五
國際貿易と金融	服部文四郎撰 大正一五 洋・小 (交明レクチュア)	一	ネ	三	三三六〇
國際貿易に於ける價値問題	名和統一撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報)	一	ヨ	一	三六三五八
國際貿易論	檀野禮助撰 明治三五 洋・中 (商業叢書本)	一	ネ	三	一七六
ハーバラー國際貿易論	松井清・岡倉伯士譯 昭和一二 洋・中	二	ネ	三	三五四五
爲替及外國貿易	高槻純之助撰 明治二六 洋・小 (商業全書本)	一	ネ	四	三三六
爲替の變動と外國貿易	小林行昌撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二	二四七三九
最新外國貿易實務	畠山豐吉等撰 大正一四 洋・中	一	ネ	三	三三一五
產業貿易觀附錄幸福への途外六篇	安川雄之助撰 昭和九 洋・小	一	ヨ	一	三七三五
C・I・F・契約の理論と實際	木倉榮作撰 洋・中 (小樽高等商業學校創立二十週年記念論文集)	一	サ	ネ	九六二
自由通商運動に就いて	上田貞次郎撰 昭和六 洋・中	一	ネ	三	二四四一
自由貿易及保護關稅論	高畠素之・安部浩譯編 大正一三 洋・中 (經濟學說大系)	一	ヨ	二	二三五九一〇
自由貿易乎保護貿易乎	植松考昭撰 明治四三 洋・小	一	ネ	三	二〇三〇
同		一	ネ	三	二五〇三
自由貿易論	獨・マルクス撰・安部浩譯 洋・中 (マルクス全集)	一	ヨ	三	二八一五二一
畢業論文自由保護貿易得失論	清・錢應清撰 明治四〇 洋・中	一	ネ	三	一三三八
自由保護貿易論	井上辰九郎講 (東京專門學校講義錄) 洋・中	一	ヨ	二	二五一六
自由保護貿易論	井上辰九郎講 (東京專門學校講義錄) 洋・小 (經濟原論ト同冊)	一	ネ	三	六七
自由保護貿易論	英・フォーセット撰・駒井重格譯	一	ネ	三	二五二
數量的輸入統制の政策と理論	獨・ヘファー撰・國政研究會譯 洋・小 (國政一新譯叢)	一	カ	一	三七四二一〇
「ター・ミューラン」案	大阪高商銀行業務研究室刊 大正一一 洋・中 (調査報告)	一	ネ	四	二九四五一
第一回貿易會議々案ニ對スル意見	横濱輸出協會刊 大正一五 洋・大	一	ネ	三	三三九三
ダンピング	上田貞次郎撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二	三四七三五

		冊	類	號
點取交通論	佐田介石撰 (明治一六) 和・中	一	ネ	三 四七
答問十策	青木定遠撰 洋・中 (日本經濟叢書)	一	ヨ	一 二五八 二
答問十策	青木定遠撰 洋・中 (日本經濟大典)	一	ヨ	一 三四八一 二〇
內外商取引上注意すべき慣習其他に關する調査	附輸出商品の製作上注意すべき海外の風習及好尙 農商務省商務局刊 明治四四 洋・大	一	ネ	三 二三三四
同		一	ネ	三 二三三五
フウバア外國貿易實踐	栗林定次郎・今泉浦治郎譯註 昭和三 洋・中	一	ネ	三 三四〇八
不換紙幣下の國際貿易	※エンゼル撰・大阪高商銀行業務研究室刊 大正一三 洋・中 (調査報告)	一	ネ	四 二九四五 一
不當廉賣の研究	滿鐵東亞經濟調査局刊 大正一四 洋・中 (經濟資料)	一	ヨ	一 二九五三 二〇
貿易及貨幣銀行	前田利器譯 洋・大 (百科全書)	一	イ	四 二三五 三
貿易及貿易統制	附錄參考資料竝びに統計 竹內謙二撰 洋・中 (基礎經濟學全集)	一	ヨ	一 三七二一 四
貿易會計	附錄外國爲替管理法に伴ふ手續外三項 濱谷源藏撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	一〇 三四五九
貿易夏期大學講義集	昭和五至七 昭和五至八 橫濱貿易協會編 洋・中	三	ネ	三 三四四四
外國貿易概觀 (立石信郎)		一	ネ	三 生絲貿易概論 (森本宋)
海運政策概論 (田邊良三男)		一	ネ	三 外國爲替通論 (柴田丈夫)
關稅通說 (中島鐵平)		一	ヨ	一 海上保險概說 (吉井桃磨呂)
我外國貿易の現狀 (齋藤眞)		二	ネ	三 織物類の貿易に就て (上甲信弘)
生絲貿易三問題 (森本宋)		二	ネ	三 輸出補償制度概說 (齋藤眞)
國際金融とフーヴァー提案 (柴田丈夫)		二	ネ	三 世界海運界概況 (清水安治)
港灣と貿易との關係 (中野金次郎)		二	ネ	三 景氣恢復策の要諦 (志立鐵次郎)
通貨の變遷と購買力 (片山繁雄)		三	ネ	三 滿洲國經濟事情 (齋藤眞)
米國の絹業 (橋本十五郎)		三		
最近貿易業務論	中井省三撰 昭和二 洋・中	一	ネ	三 二四六
貿易金融	兒玉謙次述 洋・中 (東京商科大學創立五十周年記念講演集)	一	ネ	一 三五六五
貿易金融方法の商學的考察	木曾榮作撰 洋・中 (小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集)	一	ネ	一 三七四七
貿易經營概說	附錄貿易會社に於ける執務心得 濱谷源藏撰 昭和一二 洋・中	一	ネ	三 三五四〇
貿易經營實務	上坂酉三撰 昭和一〇 洋・中 (商工實務全書本)	一	ネ	三 三四九五
貿易經營論	上坂酉三撰 昭和五 洋・中	一	ネ	三 三四二五
實地調査貿易指針	橫山耕一郎撰 明治二五 洋・小	一	ネ	三 三五二八
貿易思想史	北野大吉撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	三 三三六七
改訂增補貿易實務	昭和一二年度補修版 上坂酉三撰 改增再版 洋・中	一	ネ	三 三五三一
最近貿易實務誌	濱谷源藏撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ	三 三四九七
貿易政策原論	景山哲夫撰 昭和九 洋・中	一	ネ	三 三四八〇
貿易政策論	濱田恒一撰 昭和九 洋・中	一	ネ	三 三四八二
貿易政策論第一・二分冊	昭和一一・一二 楢崎敏雄撰 洋・中	二	ネ	三 三五〇九
貿易統制研究	日本經營學會編 昭和一〇 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 九
輸出統制の現狀と其改善策 (猪谷善一)	輸出生絲販賣統制 (井上鎧三)			
輸出組合の統制事業について (尾形繁之)				
新貿易政策としての爲替決濟制度 (宮川貞一郎)				
我國に於ける貿易統制の實證的考察 (上坂酉三)				
貿易統制に就て (井上潔)				
貿易統制の研究	谷口吉彥撰 昭和一〇・一二 洋・中	二	ネ	三 三四九四
貿易統制の政策的考察	上坂酉三撰 洋・中 (早稻田經濟統制の研究)	一	ヨ	二 三五四五
貿易統制論	現代貿易政策の理論と實際 竹內謙二撰 昭和八 洋・中	一	ネ	三 三四六九
貿易統制論	谷口吉彥撰 昭和九 洋・小 (新經濟全集)	一	ヨ	一 三七九六 五
貿易とインフレーション	日本經營學會編 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 八
近時爲替相場の變動條件に關する統計的研究 (柴田銀次郎)				
インフレーションと貿易との關係 (竹島富三郎)				
日印貿易と爲替問題 (二宮丁三)				
貿易備考	第一册 (い至か部) 柳田幾作纂編 明治一八 洋・中	一	ネ	三 二四六
同		一	ネ	三 五九二
保護貿易資料	米・ビヤルス撰・白井喜代松摘譯 明治四二 洋・中	一	ネ	三 二九五四
保護政策調査資料	第一・二集 東京商業會議所編 明治三七 洋・中	二	ネ	三 七五六
本邦輸出補償制度	日本貿易協會編 昭和五 洋・中 (日本貿易協會經濟調査會パンフレット本)	一	ネ	三 三四三三
輸出金融保險の提唱	齋藤眞撰 大正一五 洋・中	一	ネ	三 三三六八
輸出振興に就て	山本博一撰 大正一四 洋・小	一	ネ	三 三三九〇
輸出信用の保險竝保證	附論我國輸出振興の根本問題・附錄輸出荷爲替の方法 上坂酉三撰 昭和三 洋・小 (銀行講座本)	一	ネ	三 三三八七
輸出信用保險の組織に就て	瀧谷善一撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 四
輸出信用保證制度に就いて其一	昭和一 金融研究會編 洋・中 (金融研究會調書)	一	ネ	四 三五二二 一一
輸出信用補償論	上坂酉三撰 昭和一一 洋・小 (現代金融經濟全集)	一	ネ	四 三七三五 二
輸出統制の改善問題	東京商工會議所編 昭和一〇 洋・中 (商工調査本)	一	ネ	三 三四一五
輸出統制の諸問題	谷口吉彥撰 昭和九 洋・中 (貿易統制の研究本)	一	ネ	三 三四七九
輸出統制問題管見	尾形繁之撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報)	一	ヨ	一 二六五三 七
輸出と輸入	北田正寅編 明治四一 洋・小 (商業文庫)	一	ネ	一 一七三六 四
輸出取引の仕方	全米商業會議所外國貿易部編・東京商業會議所譯 昭和六 洋・中 (產業合理化資料)	一	ヨ	一 三五九七 八
輸出品の包裝	商工省商務局譯 昭和二 洋・中	一	ネ	三 三三七三
輸出貿易實務誌	上坂酉三撰 大正一四 洋・中	一	ネ	三 三三五〇
輸出貿易振興の一策	大西爲市撰 大正一五 洋・中	一	ネ	三 三三六九
輸出補償法解說	商工省貿易局刊 昭和七 洋・中 (昭和七年貿易第三號)	一	ネ	三 三四五二
輸出補償法關係法規	商工省貿易局刊 昭和七 洋・中 (昭和七年貿易第二號)	一	ネ	三 三四五一
輸入貨物包裝ニ關スル調査報告	松倉順一・梅津健介撰 明治三九 洋・大	一	ネ	三 三五三七
輸入防遏ニ關スル調査	東京市商工調査會刊 大正四 洋・中	一	ネ	三 一四三三
我が海外貿易と日支經濟關係	安川雄之助・白岩龍平撰 昭和三 洋・小 (國際聯盟協會叢書本)	一	ネ	三 三四五九
我が外國貿易と國民經濟との關係	齋藤眞撰 昭和二 洋・中	一	ネ	三 三三七一
輸出割當制 (Quota System) に就いて	谷口吉彥撰 昭和九 洋・中 (經濟論叢第三八卷第四號抜刷)	一	ネ	三 三四七三
貿易史				
異國へ通商の御朱印寫	洋・小 (改定史籍集覽)	一	リ	四 二五九 一六
維新前後外國貿易論	下田博撰 洋・中 (明治初期經濟史研究)	一	ヨ	四 三五一五 二
絲割符由緒書	洋・中 (近世社會經濟叢書)	一	ヨ	五 三三八八 八

絲割符由緒書 洋・中 (國書刊行會叢書ノ内德川時代商業叢書) | イ 四 | 七六五 四二
絲割符由緒書 伊藤權左衞門撰 洋・中 (續々群書類從) | イ 四 | 五五三 一六
同 | イ 四 | 六五〇 一六
印度貿易と産業革命 東晉太郎撰 洋・中 (福田博士還暦記念論文集 經濟學研究) | ヨ 一 | 三六七二
江戸時代初期の日比貿易 村上直次郎撰 洋・中 (臺北高等商業學校開校十周年記念論文集) | ネ 一 | 三七五二
大久保内務卿時代の貿易海運保護奬勵政策 土屋喬雄撰 洋・中 (河津教授還暦記念 經濟學の諸問題) | ヨ 一 | 三七七九
大阪開港當初外國商人の不正行爲 菅野和太郎撰 洋・中 (明治大阪市史論文篇) | ヨ 四 | 三四八四 二
大阪開港と諸藩 菅野和太郎撰 洋・中 (大阪經濟史研究) | ヨ 四 | 三四八四 一
海運と外國貿易 菅野和太郎撰 洋・中 (續大阪經濟史研究) | ヨ 四 | 三四八四 二
外交通商史談 渡邊修二郎撰 明治三〇 洋・中 | カ 五 | 三七三
外國貿易 益田孝撰 洋・中 (開國五十年史) | リ 五 | 二七〇六 二
外人の觀たる大阪開港 菅野和太郎撰 洋・中 (大阪經濟史研究) | ヨ 四 | 三四八四 一
外人の觀たる大阪開港 菅野和太郎撰 洋・中 (明治大正大阪市史論文篇) | リ 五 | 五三一八 五
華英通商事略 英・偉烈亞力口譯・清・仲嘏編 唐・小 (西學原始考ト同刊) | ニ 一 | 九三五
生絲貿易史年表 森本宋撰 洋・中 (生絲恐慌對策史附錄) | ネ 二 | 三三四三
舊倫敦東印度會社と我國との交通貿易 武藤長藏撰 洋・中 (長崎高等商業學校記念論文集) | ネ 一 | 三七四八
近代支那通商史論 附錄一九三年以降の支那外國貿易 米・リー マー撰・小林幾次郎譯撰 昭和五 洋・小 | ネ 三 | 三四二六
潛商議論 陶山鈍翁撰 洋・中 (日本經濟叢書) | ヨ 一 | 三四八一

慶元イギリス書翰 岩生成一譯註 昭和四 洋・中 (異國叢書) | イ 四 | 一二八 一〇
減銅錄 花井一好撰 洋・中 (日本經濟叢書) | ヨ 一 | 三五二六 三二
減銅錄 花井一好撰 洋・中 (日本經濟大典) | ヨ 一 | 三四八一 四七
神戸港外國貿易の變遷 石橋五郎撰 洋・中 (神戸市史) | リ 五 | 四三七一 四
貿易史傳 御朱印船 海上王鏡屋五兵衞外七篇 近藤泥牛撰 大正六 洋・小 | ネ 三 | 三三七七
御朱印船と日本人の海外進出 西村眞次撰 洋・中 (日本精神講座) | リ 四 | 四七六七 二
シーボルト日本交通貿易史 吳秀三譯註 昭和四 洋・中 (異國叢書) | イ 四 | 一二八 九
支那日本通商史 淺井虎夫撰 明治三九 洋・中 | ネ 三 | 一一五 五
朱印船貿易史 川島元次郎撰 大正一〇 洋・中 | ネ 三 | 三五二四
十七世紀に於ける日暹關係 郡司喜一撰・外務省調査部刊 (昭和九) 洋・中 | カ 五 | 三六〇四
諸侯と外國貿易 菅野和太郎撰 洋・中 (幕末經濟史研究) | ヨ 四 | 三四九二
絲亂記 七卷・絲割符御由緒共 寫本 和・大 | ネ 三 | 一六四五
絲亂記 七卷・絲割符由緒書共 寫本 和・中 | ネ 三 | 二七三〇
絲亂記 七卷・絲割符由緒書共 洋・中 (國書刊行會叢書ノ内德川時代商業叢書) | イ 四 | 七六五 三
清朝治下臺灣の貿易と外國商業資本 東嘉生 洋・中 (臺北帝國大學文政學部政學科研究年報) | カ 一 | 三七一〇 四
新日本史 貿易篇 河津暹撰 洋・中 | リ 五 | 四七一一 二
吹塵錄 外國通商之部 勝安芳編 洋・大 | ワ 三 | 六一 二
吹塵錄 外國通商之部 勝安芳編 洋・中 (海舟全集) | イ 四 | 一一三四 四
潛商議論 陶山鈍翁撰 洋・中 (日本經濟叢書) | イ 四 | 一二五二八 一三

潛商議論 陶山鈍翁撰 洋・中 (日本經濟大典) | ヨ 一 | 三四八一 一八
潛商之儀被仰上書 陶山鈍翁撰 洋・中 (日本經濟叢書) | ヨ 一 | 二五二八 一三
潛商之儀被仰上書 陶山鈍翁撰 洋・中 (日本經濟大典) | ヨ 一 | 三四八一 一八
大意書 洋・中 (近世社會經濟叢書) | ヨ 五 | 三三八八 七
大唐清朝商船入津記 洋・中 (海事史料叢書) | ツ 四 | 五〇三九 一三
大日本貨幣史參考 外國貿易部 洋・中 | ネ 四 | 一八 一五
大日本貨幣史參考 外國貿易部 吉田賢輔編 洋・中 | ネ 四 | 三三七一 六
中外通商始末記 二〇卷・首一卷 清・王之春編 光緒二二 唐・小 | カ 五 | 八六二
沈默貿易 西村眞次撰 昭和九 洋・大 | ヨ 四 | 三四五三 一
通航一覽 林鵞等撰 明治四五・大正二 洋・中 (國書刊行會叢書) | イ 四 | 七六五 二五—三二
通商始末記 六卷・首一卷 清・王之春編 光緒二八 唐・小 | カ 五 | 八八五 一一
通商物品目錄 洋・中 (海事史料叢書) | ツ 四 | 五〇三九 一二
通商表 清・李圭撰 光緒二一 唐・大 | ネ 三 | 一四九
天壽隨筆 佐久間茂之撰 洋・中 (三十輯) | イ 四 | 八八二 三
天壽隨筆 續共 洋・中 (日本經濟叢書ノ内三貨圖彙附錄) | ヨ 一 | 二五三八 二八
天壽隨筆 續共 洋・中 (日本經濟大典ノ内三貨圖彙附錄) | ヨ 一 | 三四八一 四〇
天壽隨筆 續共 洋・中 (日本經濟大典ノ内三貨圖彙附錄) | イ 四 | 六三三 一
本朝寶貨通用事略 新井君美撰 洋・中 (新井白石全集ノ内五事略) | イ 四 | 一一七九 一三
本朝寶貨通用事略 新井君美撰 和・中 (五事略) | イ 四 | 一一八七 一二
本朝寶貨通用之事略 新井君美撰 洋・小 (改定史籍集覽) | リ 四 | 二五九 一七
本朝寶貨通用之事略 新井君美撰 和・小 (史籍集覽ノ内史料叢書) | リ 四 | 一五〇八 三〇
本邦貿易の變遷 農商務省商務局貿易課編 洋・中 (日本產業資料大系) | ヨ 四 | 三四一三 一〇

日英交通史之研究 武藤長藏撰 昭和一二 洋・中 | ツ 一 | 三三七五
十六世紀日歐交通史の研究 岡本良知撰 昭和一一 洋・中 | ツ 一 | 三三六五
日暹交通史考 三木榮撰 昭和九 洋・小 | ツ 一 | 三三五三
日麗通商管見 青山公亮撰 洋・中 (白鳥博士還曆記念東洋史論叢) | リ 七 | 四六四七
日本古代の貿易 西村眞次撰 洋・中 (日本商人史) | ネ 二 | 三三三六
日本財政經濟史料 外國通商 大藏省編 洋・中 | タ 二 | 三〇五六 三・七・八
萬國通商史 英・ソーメルス撰・經濟雜誌社譯 明治二八 洋・小 (經濟叢書本) | ネ 三 | 四九二
同 | ネ 三 | 八五七
平戸外國貿易志 寫本 和・中 | ネ 三 | 一五三一
平戸貿易志 菅沼貞風撰 洋・中 (大日本商業史ノ附錄) | ネ 二 | 三一七
平戸貿易志 菅沼貞風撰 洋・小 (訂正三版大日本商業史ノ附錄) | ネ 二 | 八六一
貿易史上の平戸 附錄添 村上直次郎撰 大正六 洋・中 | ネ 三 | 二三八七
本朝寶貨事略 新井君美撰 洋・中 (日本經濟叢書ノ内三貨圖彙附錄) | ヨ 一 | 二五二八 二八
本朝寶貨事略 新井君美撰 洋・中 (日本經濟大典ノ内三貨圖彙附錄) | ヨ 一 | 三四八一 四〇
本朝寶貨通用事略 新井君美撰 和・中 (白石叢書ノ内五事略) | イ 四 | 六三三 一
本朝寶貨通用事略 新井君美撰 洋・中 (新井白石全集ノ内五事略) | イ 四 | 一一七九 一三
本朝寶貨通用事略 新井君美撰 和・中 (五事略) | イ 四 | 一一八七 一二
本朝寶貨通用之事略 新井君美撰 洋・小 (改定史籍集覽) | リ 四 | 二五九 一七
本朝寶貨通用之事略 新井君美撰 和・小 (史籍集覽ノ内史料叢書) | リ 四 | 一五〇八 三〇
本邦貿易の變遷 農商務省商務局貿易課編 洋・中 (日本產業資料大系) | ヨ 四 | 三四一三 一〇

		冊	類	號
明治年間の外國貿易額に就いて	石黒五郎講演 洋・中 (帝國學士院紀要第十五卷第二號 昭和二十周年紀念講演及論文集)	一	ネ	一
橫濱開港以後の外國貿易	肥塚龍撰 洋・中 (橫濱開港五十年史)	一	リ	五
橫濱開港當時之貿易狀態竝洋銀相場取引之沿革	東京高等商業學校刊 大正三 洋・中	一	ネ	三
琉客談記	赤嵜楓幹撰 洋・小 (改定史籍集覽)	一	リ	四

貿易事情

		冊	類	號
愛知縣生產品輸移出調	大正三年 愛知縣刊	一折	ネ	三
亞爾然丁の最近經濟事情竝に日亞貿易に就いて	內山岩太郎撰 洋・中	一	ヨ	一
安東商工會議所統計年報	大正四至六(昭和三)年 洋・大 同所編	六	ヨ	一〇
印度外國貿易の近狀	松尾晉永郎編 大正八 洋・中 (商務彙纂本)	一	ネ	三
印度產業貿易情勢	副島八十六撰 昭和一〇 洋・中	一	ヨ	一
印度貿易概況	明治四三・四四年 洋・大 農商務省商務局刊	二	ネ	三
印度棉花事情	附錄日本向積出費用概算外七項 朝長正男撰 昭和七 洋・中	一	ネ	三
浦鹽港ニ於ケル最近朝鮮貿易概況	鹽島豐治編 大正二 洋・大 (朝鮮銀行月報附錄集)	一	ヨ	一
浦潮斯德商港	小林九郎編 大正一〇 洋・大 (滿鐵調查報告書)	一	ヨ	一
英國最近の通商政策	外務省調查部編 昭和一一 洋・中	一	ネ	三
英國植民地の織物輸入割當制	東京商工會議所刊 昭和九 洋・中 (商工調查本)	一	ネ	三
英國に於ける貿易統制諸提案	松方義三郎編 昭和七 洋・中 (統制經濟に關する資料)	一	ヨ	五
英國ノ對印度輸出振興策ト印度ニ於ケル日本品消長	外務省通商局刊 昭和五 洋・大	一	ネ	三
英國の貿易政策	瀧谷善一撰 大正八 洋・中 (時局經濟調查資料)	一	ヨ	一
英支兩國の紛爭と日英貿易の消長	橫濱商業會議所調查部刊 昭和二 洋・中 (調查資料)	一	ネ	一
英領印度貿易指針	附英領印度遷羅及佛領印度產業調查 農商務省商務局刊 明治四四 洋・大	一	ネ	三
同		一	ネ	三
埃及經濟事情と日埃貿易	附錄本邦品取扱業者 商務局編 昭和三 洋・中 (商工省商)	一	ネ	三
遠洋航路關係諸外國トノ貿易狀況	明治四一至大正元年對照表 洋・大	一	ネ	三
大阪商業會議所年報	明治三七至大正元年 洋・大 同所刊	九	ヨ	一〇
大阪商業會議所統計年報	大正元至一三年 洋・中 同所刊	一〇	ヨ	一〇
大阪商工會議所統計年報	昭和二至七・一二年 洋・中 同所刊	七	ヨ	一〇
大阪貿易彙纂	大正八年 洋・中 大阪府立商品陳列所刊	一	ネ	三
歐洲戰後本邦貿易ノ趨勢	東京商工會議所刊 昭和五 洋・大 (商工調查本)	一	ネ	三
歐洲戰爭ト楊子江流域ニ於ケル列國ノ貿易	上塚司編 大正七 洋・中 (滿鐵調查資料)	一	ヨ	一
歐洲戰亂影響報告書	(開戰後一ヶ年間) 橫濱商業會議所 懇話會刊 大正四 洋・中	一	ネ	三
歐洲戰亂と世界の貿易	橫濱商業會議所懇話會刊 大正三 洋・中	一	ネ	三
歐洲戰亂ニ依リ東洋方面ヘ輸出增進ノ見込アル商品調	農商務省商工局刊 大正三 洋・大	一	ネ	三

		冊	類	號
歐洲戰亂の大阪港に及ぼせる影響	大阪市役所港灣部刊 大正五 洋・中	一	ネ	三
歐洲露西亞ニ於ケル日本紅茶販路開設上ノ實況	神戸應一撰 洋・中 (東京地學協會報告)	一	ル	一
小樽出入貨物統計	大正一三年中 洋・大 (小樽商業會議所月報第二百號附錄)	一	ネ	三
小樽商業統計一斑	第五至一〇回 明治三六至四〇 小樽商業會議所刊 洋・中	一	ヨ	一〇
小樽商工業統計一斑	第一回 明治四一 小樽商業會議所刊 洋・中	一	ヨ	一〇
小樽商工業統計書	第二至五・七至一三回 明治四二至大八 洋・中・大 小樽商業會議所	一〇	ヨ	一〇
小樽商業會議所統計年報	第二三至二六回 大正八至一一年 洋・大 同所刊	四	ヨ	一〇
小樽商工會議所統計年報	第三一・三三回 昭和二三年 洋・大 同所刊	二	ヨ	一〇
織物市場としての蘭領印度	第一・二輯 (昭和一〇・一一) 洋・中 (商務局) (臺灣總督官房外事課刊 南支部及南洋調查)	一	ル	五
海外市場に於ける本邦綿布	商工省商務局編 大正一四 洋・中	一	ネ	三
海外市場ニ於ケル本邦輸出帽子及同材料ノ需給竝外國品トノ競爭狀況	商工省貿易局刊 昭和六 洋・中 (昭和六年通報第三號)	一	ネ	三
海外貿易事情	大阪市役所商工課刊 大正五 洋・中 (商工時報附錄)	一	ネ	三
海關中外貿易統計年刊	民國二三至二五年 (有獻) 洋・大 上海總稅務司署統計科編	一六	ネ	三
概觀日濠問題	大谷敏治撰 洋・中 (水產講習所專攻科創立二十五周年紀念論文集)	一	ネ	一
外國貿易	明治一六至大正二年 其一 後藤市藏撰寫本 和・大	一	ネ	三
外國貿易	大正二年一二月至四年五月 洋・大 (日本統計通信本)	一	ネ	三
外國貿易概覽	明治二九・三〇・四二至大正九・一一至昭和三年 洋・大 大藏省主稅局編 明治三〇至昭和四	一	ネ	三
外國貿易額對照表	農商務省商工局編 大正三 洋・大	一	ネ	三
外國貿易に於ける橫濱港の地位	橫濱商業會議所調查部刊 昭和二 洋・中 (調查資料)	一	ネ	一
外國貿易年表	明治三六年 洋・大 (東洋經濟新報社刊)	一	ネ	三
外國貿易年報	大正一二至一五年 昭和二 洋・大 橫濱商業會議所刊	一	ネ	三
開戰以後ニ於ケル哈爾賓貿易概況	朝鮮銀行調查局譯 大正七 洋・中 (朝鮮銀行調查局調查書・調乙)	一	ヨ	一
開戰後著シク輸出入額ヲ增減シタル物品ノ概況	大正七年四月調 大藏省主稅局編 大正七 洋・中	一	ネ	三
各開港場輸出入物品高	明治三・四年 和・大 外務省・大藏省刊	一	ネ	三
各國求償貿易協定概要	橫濱正金銀行譯 洋・大 (橫濱正金銀行調查課) 調查資料	一	ネ	四
各國通商の動向と日本	昭和一〇・一一年版 洋・中 外務省通商局編 (日本國際協會叢書本)	二	ネ	三
各國ニ於ケル輸入關係手續	商工省貿易局刊 昭和六 洋・中 (昭和六年通報第六號)	一	ネ	三
各府縣重要商品調查報告	附產業概況 農商務省商務局刊 明治四四・四五 洋・大	四	ネ	三

沖繩縣	一	福岡縣
長崎縣	二	佐賀縣
熊本縣	二	鹿兒島縣
宮崎縣	二	大分縣
島根縣	三	鳥取縣
廣島縣	三	岡山縣
山口縣	三	三重縣
岐阜縣	四	愛知縣
靜岡縣	四	山梨縣

長野縣 四 各府縣重要商品調査報告 附産業概況 明治四五 農商務省商務局刊 洋・大 冊 ネ 類 三 號 三五四四
各府縣輸出重要品調査報告 附産業概況 明治三九至四二 農商務省商工局刊 洋・大 一二 ネ 三 三五四一
山形縣 一 秋田縣 一
青森縣 一 巖手縣 一
宮城縣 一 福島縣 一
新潟縣 一 北海道 一
群馬縣 二 茨城縣 二
栃木縣 二 山梨縣 二
長野縣 二 福井縣 二
石川縣 三 富山縣 三
德島縣 四 香川縣 四
愛媛縣 四 高知縣 四
大阪府 五 奈良縣 五
三重縣 五 滋賀縣 五
和歌山縣 五 東京府 六
沖繩縣 七 京都府 八
兵庫縣 八 愛知縣 八
岐阜縣 八 神奈川縣 九
埼玉縣 九 千葉縣 九
靜岡縣 九 福岡縣 一〇
長崎縣 九 佐賀縣 一〇
熊本縣 一〇 鹿兒島縣 一〇
宮崎縣 一〇 大分縣 一〇
岡山縣 一〇 廣島縣 一一
山口縣 一一 島根縣 一一
鳥取縣 一一
各府縣輸出重要品調査報告 附産業概況 明治四〇・四二 農商務省商工局刊 洋・大 二 ネ 三 三五四二
カリビアン海沿岸諸國ト本邦貿易 大阪商船株式會社刊 (昭和八) 洋・中 一 ネ 三 三五四六
漢口貿易事情一斑 長崎稅關刊 明治四〇 洋・中 一 ネ 三 一四九五
漢口貿易便覽 井村薰雄編 大正六 洋・大 一 ネ 三 三一〇三
同 一 ネ 三 三二六〇
漢口貿易便覽 井村薰雄編 大正八 訂增再版 洋・中 一 ネ 三 三二六一
勸商局第三次年報 同局刊 洋・中 一 ネ 三 三五三八
間島ノ貿易及金融狀況 鈴木淵之助編 大正四 洋・大 (朝鮮銀行月報附錄集) 一 ヨ 一 七七二 三
生絲貿易之變遷 附絹織物貿易 明治三五 洋・中 橋本重兵衛撰 一 ネ 三 七九六
機械の輸出販賣に就て 金米商業會議所編・東京商工會議所譯 昭和八 洋・中 (產業合理化資料) 一 ヨ 一 三五九七 一九
北支那の外國貿易と列國の商勢 細見俔三撰 昭和一一 洋・小 (北支那經濟叢書) 一 ヨ 一 三八二八
北支那貿易年報 大正六至昭和四年上編 (滿洲) 滿鐵總務部調査課編 大正八至昭和六 洋・大 二五 ネ 三 二四一三 一二五
滿洲貿易年報 昭和六年 滿鐵總務部經濟調査會編 昭和七 洋・大 (北支那貿易年報ニ接ス) 一 ネ 三 二四一三 二六
北支那貿易年報 大正六年 大正八 南滿洲鐵道株式會社總務部調査課編 洋・大 一 ネ 三 二四一四
北日本沿岸に於ける指定港灣の貿易狀況 日滿實業協會刊 昭和一一 洋・中 (日本海商業委員會資料) 一 ネ 一 三六九一 三
近時世界海運貿易の數量的考察 伊坂市助撰 洋・中 (東亞同文會調査編第六 商學研究) 一 ネ 二 三三四九 三
拳銃の密輸に就て 齋藤正一撰 昭和九 洋・中 (司法研究) 一 ワ 一 六三三七 四九
濠洲・アレキサンダー・ブラオン視察復命書 (日本貿易品ニ關スル調査) 農商務省 (商工局編 大正四 (商工叢書) 一 ネ 三 三三一七
濠洲の產業金融及貿易 安西千賀夫撰 (大正九) 洋・中 一 ヨ 一 二六〇〇
同 一 ヨ 一 二六〇一
濠洲の對日高關稅と通商擁護法發動迄の經緯概略 日濠協會刊 昭和一一 洋・中 一 ネ 三 三五一四
濠洲貿易事情 橫濱商業會議所懇話會刊 大正四 洋・中 一 ネ 三 一四九三
同 一 ネ 三 一四九三
濠洲貿易ト新關稅 蔦田五郎撰 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) 一 ネ 四 二八四九 二
高知縣輸出入統計 明治三六至大正元年 明治三七至大正二 高知商業會議所編 洋・大 一〇 ネ 三 九六〇
神戸港外國貿易概況 明治四一年 神戸稅關刊 明治四二 洋・大 一 イ 一三 二九六
神戸港外國貿易概況 大正九年 大正一〇年 神戸稅關刊 洋・大 一 ネ 三 二七四三
神戸港之外國貿易 神戸市役所刊 大正三 洋・中 一 ネ 三 一九六八
神戸商業會議所年報 第一回・明治四〇・大正二年度 明治四〇至大正三 洋・大 同所刊 一 ヨ 一〇 一八六九
神戸貿易會社書類 寫本 和・大 一 ヨ 一〇 三五五四
國際水產物竝罐詰類貿易統計 附錄內外國貿比較表外三表 日本罐詰協會編 昭和八 洋・大 一 ネ 三 三四六三
國際貸借改善と國產愛用 日本商工會議所刊 昭和九 洋・小 (國產愛用運動パンフレット本) 一 ネ 三 三四八五
國際貸借の現狀 金原賢之助撰 洋・中 (世界經濟問題講座) 一 ヨ 一 三六五五 二
國際貿易戰 獨・フォルストマン撰・國政研究會譯 洋・小 (國政一新論叢) 一 カ 一 三七四二 一〇
國產臺帳 國產振興會刊 昭和三 洋・中 二 ヨ 一 三四九七
國產品ヲ以テ代用シ得ベキ輸入品 臨時產業合理局調・東京商工會議所刊 昭和五 洋・中 一 ネ 三 三四二四
國產品ヲ以テ代用シ得ベキ輸入品調 臨時產業合理局刊 昭和六 洋・中 一 ネ 三 三四四三
國產品調査資料 農商務省商工局刊 大正四 洋・中 一 ヨ 一 一三七一
國產品調査資料 四日市商業會議所刊 大正三 洋・大 一 ネ 三 二一一八
最近五年間外國貿易の趨勢 東京手形交換所刊 昭和七 洋・中 一 ネ 三 三四五四
最近三箇年本邦輸出入品調 農商務省農務局刊 明治四二 洋・中 一 ネ 三 二一四六
最近支那貿易商 滿鐵東亞經濟調査局刊 昭和三 洋・中 (經濟資料) 一 ヨ 一 九六六 一一
最近支那貿易 東亞同文會調査編纂部編 大正五 洋・中 (滿鐵調査資料) 一 ネ 三 一六〇三
最近世界貿易及通商政策の研究 猪谷善一撰 洋・中 (東亞商科大經濟學研究) 一 ヨ 一 三六七九 三
最近世界貿易概觀 一九三二・一九三三・一九三五年度 國際聯盟事務局財政經濟部編・同局東京支局調 (橫濱正金銀行調査報告) 三 ネ 三 三四六六
最近ニ於ケル各國ノ輸出貿易振興策 高瀨肿等撰 (橫濱商業會議所調査部刊) 大正一〇 洋・中 一 ネ 四 二八四九 二
最近に於ける內外貿易と橫濱港の地位 橫濱商業會議所調査部刊 昭和四 洋・中 (調査資料) 一 ネ 一 三五九四 二
最近の貿易構成の變化について 谷口吉彥撰 (貿易統制の研究本) 洋・中 一 ネ 三 三五一二
在留支那貿易商 滿鐵東亞經濟調査局刊 昭和三 洋・中 (經濟資料) 一 ヨ 一〇 三五五四
山西省の產業と貿易概況 伊藤公幸撰・滿鐵天津事務所調査課刊 洋・中 (北支經濟資料) 一 ネ 三 三四六三
山東省ノ經濟的發展 獨・ベッツ撰・澤逸與譯 洋・中 (交涉資料本) 一 ヨ 一 三八二五 一
時局ノ內外貿易竝ニ商工業ニ及ボセル影響調査報告 附滿韓貿易市場ニ及ボセル戰爭ノ影響 農商務省商工局刊 明治三七 洋・大 一 ネ 三 一二四〇

支那・英領海峽植民地・英領香港及佛領印度支那に於ける水產貿易竝に漁業狀況　附靈鷲・青島及關東州に於ける漁業　大正九　洋・中　（農商務省臨時漁業調査局調査資料）　冊 ヨ 類 一 號 一八三七 冊数 一

支那及南洋貿易要覽　大正三至七年　洋・大　臺灣銀行調査課刊　ネ 三 一 二五五二

支那開港場誌　第一卷（中部支那）　大正一一　洋・中　東亞同文會調査編纂部編　ル 五 一 三〇三九

支那外國貿易統計表　昭和二・三年度　昭和四　洋・大　東京商工會議所編　ネ 三 一 三四一二

中華民國外國貿易統計表　昭和四至六・八年度　昭和五至九　洋・大　東京商工會議所編　ネ 三 二 三四一二 一四

中華民國及滿洲國貿易統計表　昭和九・一〇年度　昭和一〇・一一　洋・中　東京商工會議所編　ネ 三 二 三四一二 四

支那關稅改正と日本の商工業　乾精末撰　大正一五　洋・小　（綿業特別號）　ネ 三 一 三三八九

支那最近の時局と貿易關係　井出季和太編　昭和四　洋・中　（南支部及南洋調査）　ル 五 一 二五三九 二〇

支那重要貿易品解說　第一・二編　（大正一五・昭和六）　洋・中　（鮫島清譯南支那及南洋調査）　ル 五 一 二五三九 六

支那新輸入稅率と日支貿易　支那の資本主義化と關聯して・附錄二項　東亞經濟調査局編　昭和六　洋・中　ネ 三 一 三四四六

支那長江貿易詳覽　附支那物產竝二鐵道圖　大正一一　洋・中　伊夫伎琢治郎遺稿　ネ 三 一 二八六九

支那通商　支那調査會編　明治三四　洋・大　ネ 三 一 一六七

支那通商概況　田邊太一撰　明治一八　洋・中　（東京地學協會報告）　ル 一 一 五六八 七

支那に於ける日貨排斥運動　滿鐵東亞經濟調査局刊　大正一三　洋・中　（經濟資料）　ヨ 一 一 二九五三 一五

支那ニ於ケル日本ノ貿易　上野專一撰　洋・中　（東京地學協會報告）　ル 一 一 五六八 一四

支那の時局と支那貿易の消長　附錄一九二四至一九二六年支那各港貿易額　井田季和太編・臺灣總督官房調査課刊　昭和二　洋・中　（南支那及南洋調査）　ル 五 一 二五三九 一二

支那の砂糖貿易　本村增太郎撰　大正三　再版　洋・中　ネ 三 一 二五五二

支那の動亂と對支貿易　（橫濱商業會議所調査部刊）　（昭和三）　洋・中　（調査資料）　ネ 一 一 三五九四 二

支那貿易　織田一撰　明治三二　洋・中　（早稻田小篇本）　ネ 三 一 一三〇

同　ネ 三 一 四一九

改版支那貿易　東亞同文會調査編纂部編　大正九　洋・中　ネ 三 一 三五六五

同　ネ 三 一 二六三六

支那貿易案內　附錄地圖　長谷川宇太治撰　大正三　洋・中　ネ 三 一 二九三

同　ネ 三 一 三〇六

支那貿易事情　附改定清國輸入稅率　吉田虎雄撰　明治三五　洋・中　ネ 三 一 七九二

支那貿易說　附唐方渡俵物諸色大略繪圖　陽其二撰　明治一一　洋・小　ネ 三 一 九

一九一六年に於ける支那貿易概況　吉田虎雄編　大正六　洋・中　（農商務省臨時產業調査局）　ヨ 一 一 一八三七 一

一九一八年に於ける支那貿易の概況　吉田虎雄編　大正八　洋・中　（農商務省臨時產業調査局調査資料）　ヨ 一 一 一八三七 一三

支那貿易ノ概況　一九〇九至一一年　農商務省商務局編　明治四三至大正元　洋・大　ネ 三 一 二四〇 一

日支貿易ノ概況　一九一二至一五年　農商務省商工局編　大正二至五　洋・大　（支那貿易ノ概況ニ接ス）　ネ 三 一 二四〇 一

支那貿易の概況　一九一八・一九二一・一九二三年　農商務省商務局編　大正八至一三　洋・大　（日支貿易ノ概況ニ接ス）　ネ 三 一 二四〇 二

支那貿易ノ概況　一九〇九・一九一〇年　農商務省商務局編　明治四三・四四　洋・大　ネ 三 一 三三二九

日支貿易ノ概況　一九一二至一九一四年　農商務省商工局編　大正二至四　洋・大　（支那貿易ノ概況ニ接ス）　ネ 三 一 三三二九

支那貿易ノ概況　一九〇九年　明治四三　洋・大　農商務省商務局刊　ネ 三 一 三三二九

支那貿易の現狀　武內文彬撰　洋・小　（東亞研究講座）　ル 五 一 二九五三 四

支那貿易の趨勢　二編　滿鐵東亞經濟調査局刊　大正一三・昭和三・五　洋・中　（經濟資料）　ヨ 一 三 二九五三 一五・二一・二六

支那貿易ノ大勢　明治四二・四五年調査　明治四二・四五　洋・大　吉田虎雄撰・農商務省商務局刊　ネ 三 一 一九〇八

支那貿易ノ大勢　明治四二年調査　明治四二　洋・大　吉田虎雄撰・農商務省商務局刊　ネ 三 一 二一〇五

支那貿易物產字典　上野專一撰　明治二一　洋・小　ネ 三 一 三三五五

支那防穀令　眇田熊右衛門編・滿鐵總務部交涉局刊　洋・中　（交涉資料本）　ネ 三 一 三三四五

支那防穀令　中島宗一撰　大正一二　洋・中　（滿鐵調査資料）　ヨ 一 一 九六六 六

支那輸出入重要品研究　甲篇第一册　榎米吉・田村源四郎撰　大正一三　洋・小　ネ 七 一 三九〇

支那輸出羊毛調査報告書　總永敞一編　洋・中　（北海道輸出昆布調査報告ノ附錄）　ネ 三 一 一一七

支那輸入關稅改訂竝戰後ノ對支綿製品貿易　日本銀行調査局調査書　大正八　洋・中　（日本銀行調査局調査書）　ヨ 一 九四六 五

西伯利亞經濟狀態ト日露貿易資料　附圖・附錄添　滿鐵總務部編　大正六　洋・大　ヨ 一 二一〇〇

西比利亞ニ於ケル日露貿易ノ將來　鈴木於菟平撰　洋・中　（東京地學協會報告）　明治三〇　ル 一 五六八 三

支那輸入關稅改訂竝戰後ノ對支綿製品貿易　日本銀行調査局調査書　大正八　洋・中　（日本銀行調査局調査書）　ヨ 一 九四六 五

西伯利亞經濟狀態ト日露貿易資料　附圖・附錄添　滿鐵總務部編　大正六　洋・大　ヨ 一 二一〇〇

西比利亞ニ於ケル日露貿易ノ將來　鈴木於菟平撰　洋・中　（東京地學協會報告）　明治三〇　ル 一 五六八 三

數字上より見たる浦鹽斯德商港　岡部志津夫編　大正一五　洋・中　（滿鐵哈爾濱調査資料）　ヨ 一 一〇五八 一〇

清國牛莊地方需用木材商況　（明治三六年五月三十日牛莊領事館報告）　洋・中　（南滿洲ニ於ケル商業ノ內）　ネ 一 一三三七

清韓露貿易視察報告書　函館商業會議所刊　明治三七　洋・大　ネ 三 四一八

食用水產物貿易要覽　農商務省水產局刊　明治三四　洋・大　ナ 八 一七二八

商況年報　明治一一至一三年度（一二年ハ第一款ノミ）　農商務省商工局刊　洋・中　ネ 一 一一

重要輸入品要覽　上欠　農商務省商務局刊　明治四二　洋・大　ネ 三 二二〇一

重要輸出品要覽　農商務省商務局刊　明治四三　洋・大　ネ 三 二一二八

同　ネ 三 二二〇三

重要輸入品要覽　農商務省商務局刊　明治四二　洋・大　ネ 三 一九一五

同　ネ 三 一九一六

同　ネ 三 一九二一

重要輸出品要覽　明治四一・四二年　農商務省商工局刊　ネ 三 一六〇六

重要輸出工產品要覽　明治四一年前編・四二年　農商務省商工局刊　明治四一・四二　洋・大　ネ 三 三二〇〇

重要輸出工產品要覽　明治四二年　農商務省商工局刊　ネ 三 一七九四

同　ネ 三 二四二九

世界各國對外對日貿易統計　外務省通商局編　昭和一二　洋・大　ネ 三 三五二三

青島ノ商業及港灣埠頭ニ關スル獨領時代ノ諸規則　獨・モール撰・清水友次郎譯・滿鐵總務部交涉局刊　（大正四）　洋・中　（交涉資料本）　ネ 三 三三四八

西南米・殊に智利との貿易に就て　北田正元述・橫濱貿易協會刊　昭和五　洋・中　ネ 三 三四二八

同　ネ 三 三四二九

青島港貿易統計年報　昭和一〇年　青島日本商工會議所刊　洋・中　ネ 三 三五一九

青島貿易月報　大正四年四月中　青島埠頭局刊　青島稅關　折 一 ネ 三 一五九六

敷字上より見たる浦鹽斯德商港　岡部志津夫編　大正一五　洋・中　（滿鐵哈爾濱調査資料）　ヨ 一 一〇五八 一〇

清國牛莊地方需用木材商況　（明治三六年五月三十日牛莊領事館報告）　洋・中　（南滿洲ニ於ケル商業ノ內）　ネ 一 一三三七

清韓露貿易視察報告書　函館商業會議所刊　明治三七　洋・大　ネ 三 四一八

食用水產物貿易要覽　農商務省水產局刊　明治三四　洋・大　ナ 八 一七二八

商況年報　明治一一至一三年度（一二年ハ第一款ノミ）　農商務省商工局刊　洋・中　ネ 一 一一

重要輸入品要覽　上欠　農商務省商務局刊　明治四二　洋・大　ネ 三 二二〇一

重要輸出品要覽　農商務省商務局刊　明治四三　洋・大　ネ 三 二一二八

同　ネ 三 二二〇三

重要輸入品要覽　農商務省商務局刊　明治四二　洋・大　ネ 三 一九一五

同　ネ 三 一九一六

同　ネ 三 一九二一

世界經濟と國際貸借 津島壽一述・金融研究會刊 昭和六 洋・小（講演集本） 一 ネ 四 二六二五

世界市場に雄飛する日本商品 栗林正修撰 洋・中（非常時國民全集） 一 イ 四 一三七

世界貿易統計 第一輯 神戸商業大學商業研究所刊 昭和五 洋・大 一 ネ 三 三四三

世界貿易年鑑 昭和三至一二年版 橫濱貿易協會刊 昭和三至一二 洋・中 一〇 ネ 三 三四〇五

世界貿易年鑑 昭和四年版 橫濱貿易協會刊 昭和四 洋・中 一 ネ 三 三三九二

一九二七年度に於けるソウエート聯邦の對東方諸國貿易 滿鐵哈爾濱事務所編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和三 洋・中（パンフレット） 一 ヨ 一 三二四三 五

戰後世界ノ貿易狀況 英佛獨ニ於ケル外國貿易發展ニ關スル準備施設 日本銀行臨時調査委員會譯 大正八 洋・中（日本銀行臨時調査委員會調査書） 一 ヨ 一 二八四八

戰時及戰後ニ於ケル南洋貿易事情 橫濱正金銀行調査課編 大正一一 洋・中（橫濱正金銀行調査報告） 一 ネ 四 二八四九 四

戰時及び戰後の國際貿易 神戸高等商業學校商業研究所刊 大正九 洋・中（商業研究所彙報） 一 ネ 一 二五四一 一

戰時竝に戰後の世界貿易と米國 米・ロウ著・臨時産業調査局抄譯 大正七 洋・中（臨時産業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 二

ソヴエート聯邦外國貿易の制度及組織 田中有年譯・滿鐵庶務部調査課刊 大正一四 洋・中（露文勞農露國調査資料） 一 カ 一 三一三〇 六

ソヴエート聯邦通商事情 小山猛男譯・滿鐵庶務部調査課刊 大正一四 洋・中（露文勞農露國調査資料） 一 カ 一 三一三〇 六

ソヴエート聯邦の輸出採算に就て 田中有年譯・滿鐵庶務部調査課刊 大正一五 洋・中（露文勞農露國調査資料） 一 カ 一 三一三〇 六

同 一 ネ 三 三四〇七

同 一 ネ 三 三五二七

對滿貿易の現狀及將來 我國對滿輸出貿易の促進及在滿邦商の發展策 昭和二 洋・中 三 ネ 三 三三七八

對滿輸出貿易に關する參考資料 附北滿に於ける邦商取扱輸入商品の建値及取引條件一覽表 昭和七 洋・中 一 ネ 三 三四五八

代用國產品の愛用奬勵について 日本商工會議所刊 昭和七 洋・小 一 ネ 三 三四五五

大連營口兩港に於ける支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 昭和二 洋・中 一 ネ 三 三三八五

大連港と沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正七 洋・大 一 ネ 三 三三三八

大連港ト支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正六年 洋・大 一 ネ 三 二四九三

大連港貿易年報 大連商業會議所刊 大正七 洋・大 一 ネ 三 二四〇二

大連港輸出入貨物明細表 大正八年・附圖二葉添 洋・大 滿鐵埠頭事務所編 一 ネ 三 二五九五

大連港輸入品の現勢 第一・二編 大連商工會議所刊 昭和四・五 洋・中 二 ネ 三 二四〇六

大連商業會議所統計年報 大正四至一五年 大正五至昭和二 同所刊 洋・大 一三 ヨ 一〇 二三一一 一一三

大日本外國貿易四十一年對照表 明治元至四一年 明治四二 洋・大 大藏省編 一 ネ 三 三五二五 五

大日本外國貿易四十六年對照表 明治元至大正二年 農商務省商工局編 大正三 洋・大 一 ネ 三 三五二六

大日本外國貿易五十六年對照表 明治元至大正一二年 東洋經濟新報社刊 大正一四 洋・大（東洋經濟新報第一一二九號附錄） 一 ネ 三 二四〇四

同 一 ネ 三 二四〇七

同 一 ネ 三 二五二七

對滿貿易の現狀及將來 我國對滿輸出貿易の促進及在滿邦商の發展策 昭和二 洋・中 三 ネ 三 三三七八

對滿輸出貿易に關する參考資料 附北滿に於ける邦商取扱輸入商品 昭和七 洋・中 一 ネ 三 二四五八

代用國產品の愛用奬勵について 日本商工會議所刊 昭和七 洋・小 一 ネ 三 二四五五

大連營口兩港に於ける支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 昭和二 洋・中 一 ネ 三 二四〇二

大連港と沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正七 洋・大 一 ネ 三 三三八五

大連港ト支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正六 洋・大 一 ネ 三 三三三八

大連港貿易年報 大正六年 大正七 洋・大 大連商業會議所刊 一 ネ 三 二四九三

大連港輸出入貨物明細表 大正八年・附圖二葉添 洋・大 滿鐵埠頭事務所編 一 ネ 三 二五九五

大連港輸入品の現勢 第一・二編 大連商工會議所刊 昭和四・五 洋・中 二 ネ 三 二四〇六

大連商業會議所統計年報 大正四至一五年 大正五至昭和二 同所刊 洋・大 一三 ヨ 一〇 二三一一 一一三

大日本外國貿易四十一年對照表 明治元至四一年 明治四二 洋・大 大藏省編 一 ネ 三 三五二五 五

大日本外國貿易四十六年對照表 明治元至大正二年 農商務省商工局編 大正三 洋・大 一 ネ 三 三五二六

大日本外國貿易五十六年對照表 明治元至大正一二年 東洋經濟新報社刊 大正一四 洋・大（東洋經濟新報第一一二九號附錄） 一 ネ 三 二四〇四

同 一 ネ 三 二四〇七

同 一 ネ 三 二五二七

對滿貿易の現狀及將來 我國對滿輸出貿易の促進及在滿邦商の發展策 昭和二 洋・中 三 ネ 三 三三七八

對滿輸出貿易に關する參考資料 附北滿に於ける邦商取扱輸入商品 昭和七 洋・中 一 ネ 三 二四五八

代用國產品の愛用奬勵について 日本商工會議所刊 昭和七 洋・小 一 ネ 三 二四五五

大連營口兩港に於ける支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 昭和二 洋・中 一 ネ 三 二四〇二

大連港と沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正七 洋・大 一 ネ 三 三三八五

大連港ト支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正六 洋・大 一 ネ 三 三三三八

大連港貿易年報 大正六年 大正七 洋・大 大連商業會議所刊 一 ネ 三 二四九三

大連港輸出入貨物明細表 大正八年・附圖二葉添 洋・大 滿鐵埠頭事務所編 一 ネ 三 二五九五

大連港輸入品の現勢 第一・二編 大連商工會議所刊 昭和四・五 洋・中 二 ネ 三 二四〇六

大連商業會議所統計年報 大正四至一五年 大正五至昭和二 同所刊 洋・大 一三 ヨ 一〇 二三一一 一一三

大日本外國貿易四十一年對照表 明治元至四一年 明治四二 洋・大 大藏省編 一 ネ 三 三五二五 五

大日本外國貿易四十六年對照表 明治元至大正二年 農商務省商工局編 大正三 洋・大 一 ネ 三 三五二六

大日本外國貿易五十六年對照表 明治元至大正一二年 東洋經濟新報社刊 大正一四 洋・大（東洋經濟新報第一一二九號附錄） 一 ネ 三 二四〇四

同 一 ネ 三 二四〇七

同 一 ネ 三 二五二七

對滿貿易の現狀及將來 我國對滿輸出貿易の促進及在滿邦商の發展策 昭和二 洋・中 三 ネ 三 三三七八

對滿輸出貿易に關する參考資料 附北滿に於ける邦商取扱輸入商品 昭和七 洋・中 一 ネ 三 二四五八

代用國產品の愛用奬勵について 日本商工會議所刊 昭和七 洋・小 一 ネ 三 二四五五

大連營口兩港に於ける支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 昭和二 洋・中 一 ネ 三 二四〇二

大連港と沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正七 洋・大 一 ネ 三 三三八五

大連港ト支那沿岸貿易 大連商業會議所刊 大正六 洋・大 一 ネ 三 三三三八

大連港貿易年報 大正六年 大正七 洋・大 大連商業會議所刊 一 ネ 三 二四九三

大連港輸出入貨物明細表 大正八年・附圖二葉添 洋・大 滿鐵埠頭事務所編 一 ネ 三 二五九五

大連港輸入品の現勢 第一・二編 大連商工會議所刊 昭和四・五 洋・中 二 ネ 三 二四〇六

大連商業會議所統計年報 大正四至一五年 大正五至昭和二 同所刊 洋・大 一三 ヨ 一〇 二三一一 一一三

大連商工會議所統計年報 昭和二至七年 同所刊 昭和三至八 洋・大（大連商業會議所統計年報ノ改題） 一一 ヨ 一〇 二三一一 一四一二四

大連特產市場不振の原因と其對策 大連商工會議所刊 昭和四 洋・中 一 ネ 三 三四〇三

大連附近諸港（營口・天津・芝罘・秦皇島・青島）背後地歐米向商品事情 大連港中繼貿易振興策參考資料 昭和四 洋・中（滿鐵調査資料） 南鄕龍晉等編 一 ヨ 一 九六六 五〇

對露通商問題一斑 萩原貞雄撰 洋・中（橫濱正金銀行調査報告） 大正一〇 一 ネ 四 二八四九 三

對露貿易重要輸出入品表 大正六年九月 大正六 日露協會編 折 二 ネ 三 二三八〇

對露貿易表 大正一〇年 大正一〇 日露協會編 洋・大 二 ネ 三 二七六〇

臺灣外國間及內地間貿易年表 附朝鮮貿易・大正二・三年 臺灣總督府殖產局編 折 二 ネ 三 一二三八

臺灣外國間及內地間貿易年表 附朝鮮貿易・大正三年 臺灣總督府殖產局編 折 一 ネ 三 一四〇〇

臺灣外國貿易概覽 明治三五年 臺灣總督府民政部編 洋・大 一 イ 一三 三三七

臺灣外國貿易概覽 明治三六至三八年 臺灣總督府財務局編 洋・大 明治三九至昭和六・八・九年 昭和二 三 ネ 三 八六五 一一三

臺灣貿易概覽 大正一〇 洋・中（橫濱正金銀行調査報告） 臺灣總督府財務局・稅關編 二〇 ネ 三 八六五 四一二三

臺灣貿易概覽 明治四二至大正五・七至昭和四年 臺灣總督府財務局・稅關編 明治四五至昭和五 洋・大 一二 ネ 三 二二九八

臺灣外國貿易十年報 明治二九至三八年 明治四〇 洋・大 臺灣總督府民政部財務局編 一 ネ 三 一四五七 一

臺灣外國貿易拾五年對照表 明治二九至四三年 明治四四 洋・大 臺灣總督府財務局編 一 ネ 三 一四五七 二

同 一 ネ 三 二三八四

同 一 イ 一三 三三八

臺灣外國貿易二十年對照表 明治元至大正四年 大正五 洋・大 臺灣總督府財務局編 一 ネ 三 一四五七 三

臺灣貿易二十五年對照表 明治二九至大正九年 臺灣總督府財務局編 洋・大 大正一一 一冊 ネ三 一四五七 四
臺灣貿易三十年對照表 明治二九至大正一四年 臺灣總督府稅關編 昭和二九至昭和二洋・大 一 ネ三 一四五七 五
臺灣貿易四十年表 明治二九至昭和一〇年 臺灣總督府財務局編 昭和一一 洋・大 一 ネ三 一四五七 六
臺灣外國貿易年表 明治三五・三六・四一至大正六年 臺灣總督府編 明治三六至昭和一〇 洋・大 一二 ネ三 一〇七二 一一二
臺灣貿易年表 大正七至昭和六・八至一〇年 臺灣總督府編 大正八至昭和二一 洋・大 （臺灣外國貿易年表ノ改題） 一七 ネ三 一〇七二 一一二
臺灣外國貿易年表 明治四二・大正元・五年 臺灣總督府編 明治四三至大正六 洋・大 三 イ一三 三一九
臺灣外國貿易年表 大正元・二年 臺灣總督府編 大正二・三 洋・大 二 ネ三 二〇〇二
臺灣諸開港外國貿易概覽 明治三一年・附臺灣內地間貿易景況 淡水稅關編 明治三二 洋・中 一 イ一三 三三二
臺灣對支那香港及南洋方面貿易一覽 大正三・一四年分 臺灣總督官房調查課・稅關刊 洋・小 六 ネ三 三三五三 一一六
臺灣對中華民國・香港及南洋貿易一覽 昭和六・七年分 臺灣總督府稅關刊 （昭和六・七） 洋・中 （臺灣對支那香港及南洋方面貿易一覽ノ改題） 一 ネ三 三三五三 七
臺灣對中華民國・滿洲國・香港及南洋貿易一覽 昭和七至九年分 臺灣總督府稅關刊 昭和七至一〇 洋・中 （臺灣對中華民國・香港及南洋貿易一覽ノ改題） 一 ネ三 三三五三 八
臺灣對南支・南洋貿易表 附・中支・北支・滿洲國・關東州 昭和一〇至一一年分 臺灣總督府財務局稅務課刊 昭和一〇至一二 洋・中 （臺灣對中華民國・滿洲國・香港及南洋貿易一覽ノ改題） 一 ネ三 三三五三 九
臺灣嶋ニ於ケル日本貿易物品ノ實況 上野專一撰 明治二四 洋・中 （東京地學協會報告） 一 ル一 五六八 一三
臺灣の貿易 附錄臺灣朝鮮間移出入品價額表外六表 臺灣總督府財務局刊 昭和一〇 洋・中 一 ネ三 三五〇一
臺灣貿易事情 栗屋關一編 洋・中 （大日本實業學會講義錄） 一 ネ三 一四五七 四
西藏の資源と邦品進出の可能性 多田等觀述・東京商工會議所刊 昭和一〇 洋・中 （商工資料本） 一 ネ三 三四三八
中外交涉類要表 竝光緒通商綜覈表 清・錢恂撰 （光緒一四） 唐・大 二 カ五 一五〇
同 二 カ五 一五一
中國通商物產字典 第二冊迄 上野專一撰・清・鐘觀光・鐘觀誥譯 光緒一二 唐・小 二 ネ三 三三五六
中南米諸國加奈陀及其他ノ輸入關係手續 商工省貿易局刊 昭和六 洋・中 （昭和六年通報第四號） 一 ネ三 三四七四
中・南米諸國向輸出貨物領事手續一般 橫濱商工會議所・橫濱市商工奬勵館編 洋・中 （商工奬勵館資料本） 二 ネ三 三四八一
中南米貿易事情 田中辰之助述 昭和二 洋・中 一 ネ三 三三八二
中部及北部支那に於ける貿易狀況 荻田才之助撰 洋・中 大正一二 一 ネ三 三〇九一
朝鮮貿易年表 大正三至七・一〇・一三・昭和五至一二年 朝鮮總督府刊 大正三至昭和一一 洋・大 一六 ネ三 一四九七
朝鮮貿易要覽 大正三至七・二〇・二・昭和五・六年 朝鮮總督府編 大正五至昭和八 洋・大 九 ネ三 一五七九
智利國爲替及貿易管理 南雲克太郎編・外務省通商局刊 （昭和一〇） 洋・中 一 ネ四 三七三六 八
通商彙編 明治一四年・一九年第一回 外務省記錄局編 明治一五・一九 洋・大 二 ネ三 二九七八
天津雜貨視察復命書 定留五郎編 洋・中 （韓國旅行報告ト同刊） 一 ヨ一 四六六
天津貿易統計年報 昭和八・九年度 天津日本商工會議所刊 洋・大 二 ネ三 三四八四
天津貿易年報 大正六・七・九至一一年度 天津日本總領事館編 洋・大 五 ネ三 二三五五
世界的發展を遂げたる獨逸外國貿易の組織 米國商務省內外商務局編・松尾音治郎抄譯 大正八 洋・中 （遞信省通商時報・遞信省通商彙報・商工省臨時產業調查局調查資料） 一 ヨ一 一八三七 一〇
獨逸行商人制度の研究と獨逸貿易の振興に貢獻せる朝野の諸機關 附錄獨逸諸外國の行商事業取締に關する諸規定及制度外三項 中村龍・太田三次郎譯 洋・中 （滿鐵調查資料） 一 ヨ一 九六六 五
獨逸國外國貿易管理ニ關スル法規 外務省臨時調查部刊 大正九 洋・中 一 ネ三 二五六七
〔東京輸出協會〕資料叢書 第五至九・一二 昭和四・一二 同會刊 洋・中 六 ネ三 三五〇八
日蘭會商の經過と其後の貿易狀況 〔岡野繁藏〕 一
東京貿易に於ける輸出運輸上の缺陷（佐々木仁一） 二
米國の主要都市に於ける百貨店名 三
南阿弗利加事情に就て（高井清吉） 四
輸出通關手續に就て（藤崎銳樹） 五
亞米利加瑣談（安本重治） 六
〔東京輸出協會〕資料叢書 第五七 昭和一一 同會編 洋・中 二 ネ三 三五三〇
東洋及南洋ヲ風靡スベキ我國產 蜷川親志撰 大正四 洋・中 一 ヨ一 一四八五
東洋及南洋諸國の國際貿易と日本の地位 三菱經濟研究所編 昭和八再版 洋・大 一 ネ三 二四七一
東洋及南洋向本縣物產之研究 三重縣勸業課編 大正三 洋・中 一 ネ三 二〇九四
東洋諸國に於ける風俗嗜好に伴ふ新需要調查 附同上に於ける新需要品に對する企業概況 農商務省商務局刊 明治四四 洋・大 一 ネ三 二三四〇
內國貿易ニ於ケル橫濱港ノ地位 橫濱商業會議所調查部刊 大正一五 洋・中 （調查資料） 一 ネ一 二五九四 一
長崎港外國貿易概況 明治四〇至四四年・附錄管內諸外國貿易概況 長崎稅關編 洋・中 五 ネ三 一七三四
長崎港海產物貿易調查報告書 池邊龍一・坂西由藏編 明治三五 洋・中 一 ネ三 八四六
長崎港最近二十五年概觀 長崎商業會議所調查部編 大正八 洋・中 （長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書） 一 ヨ一 二二五九 九
南淸貿易 小山松壽撰 明治三四 洋・中 （早稻田小篇本） 一 ネ三 一七〇

長崎港輸出鰯調查報告書 木下有編 明治三九 洋・中 一 ネ三 一一六
長崎商工會議所年報 昭和六・七・一〇年 同所刊 昭和七・一一 洋・大 二 ヨ一〇 三四六八
長崎稅關管內開港外國貿易年表 明治四二年 長崎稅關刊 洋・大 一 ネ三 二〇七四 一
長崎港外國貿易年表 明治四三至大正元年 長崎稅關刊 （長崎稅關管內開港外國貿易年表ノ改題） 三 ネ三 二〇七四 一四
名古屋市輸出入貨物地方別表 大正二年名古屋商業會議所統計年報附錄 名古屋商業會議所刊 大正四 洋・大 一 ネ三 一四九九
名古屋商業會議所統計年報 明治四〇・大正一八至昭和三年 同所刊 八 ヨ一〇 一三八〇 一一八
名古屋商工會議所統計年報 昭和四至一一年 同所刊 昭和五至一二 洋・大 （名古屋商業會議所統計年報ノ改題） 一〇 ヨ一〇 一三八〇 九一一八
何故貿易は好轉したか 附錄主要工業一時間當賃銀表・昭和七年度外二表 東京商工會議所刊 昭和九 洋・中 （商工調查本） 一 ネ三 三四七七
南阿の排日と日阿貿易に就て 山崎壯重撰 昭和六 洋・中 一 ネ三 三四四〇
南支南洋貿易概觀 附表南洋各國國別貿易外六表 臺灣總督官房外事課編 （昭和一〇） 臺灣總督 洋・中 一 ネ三 三四九六
南淸厦門港ノ貿易ニ就テ 上野專一述 洋・中 （東京地學協會報告） 明治二五 一 ル一 五六八 一四
南淸地方貿易概言 上野專一述 洋・中 （東京地學協會報告） 明治二五 一 ル一 五六八 一四

南清貿易 小山松壽撰 明治三四 洋・中 （早稲田小篇本） 冊 一 ネ 三 類 四三五 号

南清貿易調査復命書 第一編 花蓮ニ關スル報告 大丸藤太郎撰・農商務省商工局刊 明治四〇 洋・中 一 ネ 三 一二四九

同 一 ネ 三 二一九八

南洋諸邦輸出入禁制品一覽 大正七年六月一日現在 臨時産業調査局刊 洋・中 一 ネ 三 三三五六

南洋貿易企業關係法規 大正七至九 洋・中 （農商務省臨時産業調査局調査資料） 三 ヨ 一 一八三七 三・八・一四

蘭領東印度 三 比律賓群島 濠洲 一四 八・一四

南洋輸入重要品國別表 大正元至六年 臨時産業調査局調刊 折 一 ネ 三 二三七九

新潟夷港及清水諸港外國貿易 明治四四年四・五月 横濱税關調 洋・大 一 ネ 三 八八〇

日亞貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商工局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三七

同 一 ネ 三 三五五三

日伊貿易ノ概況 一九一一年 大正三 洋・大 （農商務省商工局編 商工彙纂本） 一 ネ 三 三三二四

同 一 ネ 三 三三三五

日印貿易概況 明治四三・四四年 明治四四・四五 洋・大 （農商務省商務局編） 二 ネ 三 二三八五

日印貿易ノ概況 一九一二・一九一三年 大正二・四 洋・大 （農商務省商工局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三二一

同 一 ネ 三 三三三八

日印貿易便覽 附錄印度略圖外三種 （昭和五） 洋・中 佐藤梅太郎・渡邊新一編 一 ネ 三 三四二一

日英貿易と英國經濟事情 渡貫尚撰 昭和二 洋・中 一 ネ 三 三三七三

日英貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商務局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三四

日英貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商工局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三四

日墺匈貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商工局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三四〇

同 一 ネ 三 三五五四

日歐貿易鬪爭 竹内謙二述・東京商工會議所刊 昭和九 洋・中 （商工資料本） 一 ネ 三 三四八三

日濠貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商務局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三二

同 一 ネ 三 三五五一

日濠貿易の危機 谷口吉彦撰 洋・中 （貿易統制の研究本） 一 ネ 三 三五一三

日獨貿易ノ概況 一九一一年 大正三 洋・大 （農商務省商工局編 商工彙纂本） 一 ネ 三 三三二二

同 一 ネ 三 三三二三

日白貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商工局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三九

同 一 ネ 三 三五五六

日佛貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商工局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三六

日米貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・大 （農商務省商務局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三三

日米貿易の近狀 附戰亂勃發前後比較 松尾音次郎編 大正六 洋・中 （農商務省臨時産業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 一

日墨貿易ノ概況 一九一一年 大正二 洋・中 （農商務省商務局編 商務彙纂本） 一 ネ 三 三三三五

日蘭貿易參考資料 日蘭會商委員會編 昭和一二 洋・中 一 ネ 三 三五三六

日露貿易 日露協會編 大正五 洋・中 一 ネ 三 一六二七

日露貿易 附日露度量衡貨幣對照表 關東都督府民政部庶務課刊 大正五 洋・中 一 ネ 三 一六九七

同 一 ネ 三 一六九八

日露貿易に關して 露・カヴインスキー談・小西增太郎譯 大正四 洋・中 一 ネ 三 一四〇八

日露貿易の回顧と展望 桑原晉撰・彦根高商調査課刊 洋・中 （調査研究本） 一 ネ 三 三四九三

日貨排斥の對支貿易上に及ぼせる影響 東京商業會議所刊 大正八 洋・中 一 ネ 三 二六二七

日加貿易に就て プレストン述 明治四一 洋・中 一 ネ 三 一七一九

日支貿易綜覽 日本之部 日支共同通信社調査部編 大正八 洋・中 一 ネ 三 二五一三

日清貿易事情 農商務省商工局刊 明治三七 洋・中 一 ネ 三 八一八

同 一 ネ 三 一二四一

日本及支那ニ於ケル毛織物及原料毛ノ需給關係 東洋拓殖株式會社刊 大正七 洋・中 一 ネ 三 三五三四

日本外國貿易之大勢 附纖詰食物輸出之大勢 橫濱商業會議所刊 大正五 折 一 ネ 三 一七〇六

日本外材輸入協會聯合會年報 一九二九・一九三〇年 同會刊 洋・中 二 ネ 三 三四一九

日本柑橘北米輸出問題の改善と販路擴張に關する 具體案 東良三撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 三 三五三三

日本絹人絹絲布輸出組合聯合會輸出統制規程 附錄輸出組合法外六項 同會刊 昭和一一 洋・中 一 ネ 三 三五一七

同 一 ネ 三 三五一八

日本產業及貿易之大勢 橫濱商業會議所刊 明治四四 洋・中 一 ヨ 一 七八〇

日本政表 海外貿易之部第四至六號（明治九至一一年） 調査局編 明治一〇至一二 洋・大 三 イ 一三 ＊ 四〇八

日本政表 海外貿易之部第六號（明治一一年） 調査局編 明治一二 洋・大 一 ヒ 四 五九

日本對外貿易地圖 外務省通商局刊 大正三至一三 折 五 ネ 三 一二八八

日本對南洋貿易大勢 農商務省商務局刊 明治四五 洋・大 一 ネ 三 八四五

日本の產業と貿易の發展 三菱經濟研究所刊 昭和一〇 洋・大 一 ヨ 一 二八〇二

同 一 ヨ 一 二八〇三

日本貿易額累年對照表 明治三六至大正三年 橫濱商業會議所懇話會編 折 一 ネ 三 一五九七

日本貿易誌 附錄歐米貿易事情 海外事情研究會編 昭和二 洋・中 一 ネ 三 二三七六

同 一 ネ 三 二三九九

日本貿易精覽 東洋經濟新報社編 昭和一〇 再版 洋・大 一 ネ 三 三四〇〇

同 一 ネ 三 三四九九

日本貿易之大勢 橫濱商業會議所刊 大正二 折 一 ネ 三 一一〇九

日本輸出羽二重工業組合聯合會事業報告書 昭和一〇年度 同會刊 洋・中 一 ネ 三 三五二九

牛莊卅七年貿易年報 卅八年九月廿一日付牛莊領事館報告 洋・中 （南滿洲ニ於ケル商業ノ內） 一 ネ 一 一三三七

牛莊ニ於ケル水產品調查 牛莊領事館報告 洋・中 （南滿洲ニ於ケル商業ノ內） 一 ネ 一 一三三七

紐育を中心とする小麥の國際取引調查 外務省通商局刊 （昭和四） 洋・中 一 ネ 三 三四一〇

農業關係重要品輸出入累年對照表 農商務省農務局編 大正三 洋・大 （農務彙纂本） 一 十 一 三二九七

函館商業會議所統計年報 明治三六・四〇至四三・大正七至一〇・一三至昭和元年 同所刊 明治三七至昭和三 洋・大 八 ヨ 一〇 二四二九 一一八

函館商工會議所年報 昭和二至一〇年 同所刊 （函館商業會議所年報ノ改題） 洋・大 九 ヨ 一〇 二四二九 九一七

釜山日本商業會議所年報 明治三七・三八年 明治三八・三九 同所刊 洋・中 二 ヨ 一〇 九五八

釜山日本商業會議所年報 明治三九至四二年 明治四一至四三 同所刊 洋・中 四 ヨ 一〇 一七一二

伯國ノ外國貿易ニ關スル調査 農商務省商工局編 大正五 一冊 ネ 類 三 號
洋・大（商工彙纂本） 一 ネ 七 三三〇一
同 一 ネ 三 三三二七
パナマ運河と列國貿易競爭 米・ハッチンソン撰・粟山博譯 大正六 洋・中 一 ネ 三 一八二二
阪・神兩港ニ於ケル戰爭ノ影響調査復命書 農商務省商工局刊 明治三八 洋・大 一 ネ 三 八七大
同 一 ネ 三 八七九
同 一 ネ 三 一二三九
日傘及象牙製品の海外需要狀況 横濱市商工奬勵館刊 昭和六 洋・中（商工奬勵館資料本） 一 ネ 三 三四三九
緬甸對外貿易事情 外務省通商局刊 昭和六 洋・中 一 ネ 三 三四三六
ブラジルに於ける珈琲輸出統制政策 本位田祥男撰（河合博士還曆記念經濟學の諸問題） 洋・中 一 ヨ 一 三七七九
米國ニューディールの發展と貿易事情 松本正雄述・東京商工會議所刊 昭和一〇 洋・中（商工資料本） 一 ヨ 一 三七七八
米國の外國貿易と海外投資 米・バーンス撰・池田了實譯（大正一〇） 洋・小（藤本ビル・ブローカー銀行週報附錄） 一 ネ 四 三八一八
米國の對支通商政策 道正安治郎編 大正一一 洋・中（滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 九六六 三
米人の見たる日本の棉工業と其の貿易 滿鐵東亞經濟調査局刊 昭和四五 洋・中（經濟資料） 二 ヨ 一 二九五三 三五・三六
米比間自由通商貿易問題と比律賓群島國際貿易の趨勢 二宮謙撰 昭和七 洋・中（（横濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九 一四
貿易作物論 佐々木祐太郎撰 明治三四 洋・中 一 ナ 三 一四九
同 一 ナ 三 二〇七
貿易事情 佐藤顯理撰 明治三六 洋・中（商業叢書本） 一 ネ 三 二〇九

貿易事情 佐藤顯理撰 明治三六 洋・中（商業叢書本） 一 ネ 三 類 九三七 號
貿易上より觀たる商品の智識 荒木勇美撰 大正一五 洋・中 一 ネ 七 三三〇一
貿易上より觀たる滿洲國國際收支の將來 附大同二年・康德元年滿洲國國際收支共 滿洲國財政部編 昭和一〇 洋・中 一 ネ 三 三五〇六
貿易統計圖表 神戸商業會議所刊 大正四・七 一 折 ネ 三 二五九七
紡織工業製品竝雜工業製品輸出入額統計表 臨時產業調査局第三部第三課編 大正八 洋・中（農商務省臨時產業調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 三
奉天省に於ける防穀令 民國一五年 伊地知重厚編・滿鐵庶務部調査課刊 洋・中（パンフレット） 一 ヨ 一 三三四三 二
邦品の中南米發展に就て 大阪商船株式會社刊 昭和八 洋・中 一 ネ 三 三四六五
北海道輸出昆布調査報告 支那輸出羊毛調査報告書附 田邊良三郎編 明治三九 洋・中 一 ネ 三 一二一七
北海道輸出豆類の調査 星野治編・小樽高等商業學校刊 大正七 洋・中（產業調査報告） 一 ヨ 一 一六八九 三
北海道輸出木材之調査 荒井晴治編・小樽高等商業學校刊 大正五 洋・中（產業調査報告） 一 ヨ 一 一六八九 二
北滿に於ける獨逸の經濟的勢力 附獨逸本國の經濟的概要 滿鐵哈爾濱事務所刊 昭和五 洋・小（哈爾濱事務所時報本） 一 ネ 三 三四二〇
北清地方巡回復命書 附長江沿岸視察復命書 外務省通商局刊 明治三四 洋・大 一 ネ 三 一八四
香港・上海に於ける海產物取引狀況 長崎商業會議所調査部編 大正七 洋・中（長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書） 一 ヨ 一 三二五九 二
本邦外國貿易上に於ける日米貿易の地位 添田參德編 大正七 洋・中（農商務省臨時產業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 三

本邦外國貿易ノ狀況 大正三年度 農商務省商工局商事課刊 大正三 菟葵版 洋・大 一 ネ 三 二一四五
本邦重要輸出品國別對照表 農商務省商工局編 大正三 和・大 一 ネ 三 三三六五
本邦對外通商政策の現狀及其の刷新 川島新太郎撰 洋・中（東京商科大學六十周年記念論文集） 一 ネ 一 三七五〇
大正三年八月一日本邦對外貿易狀況概表以降ニ於ケル 農商務省商工局刊 大正三 洋・中 一 ネ 三 一二九三
本邦電球の製產輸出現況及將來 大阪府立貿易館刊 昭和七 洋・中 一 ネ 三 三四五六
本邦麥稈眞田經木眞田業調査資料 農商務省商工局刊 明治三八 洋・大（工產調本） 一 ネ 三 一二四四
本邦貿易概觀 大阪商業會議所書記局編 昭和二 洋・中 一 ネ 三 三三八三
本邦貿易差及其他國際貸借の變遷 關本誠一・尚井潤松編 洋・中（日本產業資料大系） 一 ヨ 五 三四一三 一〇
本邦貿易年鑑 大正一三年度 海外事情研究會刊 大正一三 洋・中 一 ネ 三 三三一三
同 一 ネ 三 三三五八
本邦貿易の數量竝に單價統計法 田中瑞穗撰 昭和六 洋・中（（横濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九 一二
內外市場ニ於ケル本邦輸出玩具ノ取引狀況 商工省貿易局刊 昭和六 洋・中（昭和六年通報第一九・二〇號） 二 ネ 三 三四四七
本邦輸出絹織物に就て 橫濱商工會議所調査部刊（昭和三） 洋・中（調査資料） 一 ネ 一 三五九四 二
本邦輸出入品詳解 坂口武之助撰 大正一・一・一三 初・一二版 洋・小 三 ネ 七 三三一八
本邦輸入品ノ海外ニ於ケル買付方法ニ關スル調査 南洋及印度・歐米（昭和二） 外務省通商局編 洋・中 二 ネ 三 三三八一

本邦輸入統制の特異性 濱野恭平撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四三 一一
マニラ麻眞田ニ關スル調査 農商務省商務局刊 大正二 洋・大 一 ネ 三 九二二
滿韓貿易市場ニ及ボセル戰爭ノ影響 農商務省商工局刊 明治三七 洋・大 一 ネ 三 一二四〇
北清地方巡回復命書 附長江沿岸視察復命書 通商局刊 明治三四 洋・大 一 ネ 三 一八四
香港・上海に於ける海產物取引狀況 長崎商業會議所調査部編 大正七 洋・中（長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書） 一 ヨ 一 三二五九 二
本邦外國貿易上に於ける日米貿易の地位 添田參德編 大正七 洋・中（農商務省臨時產業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 三
本邦輸入統制の特異性 濱野恭平撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四三 一一
マニラ麻眞田ニ關スル調査 農商務省商務局刊 大正二 洋・大 一 ネ 三 九二二
滿韓貿易市場ニ及ボセル戰爭ノ影響 農商務省商工局刊 明治三七 洋・大 一 ネ 三 一二四〇
北清地方巡回復命書 附長江沿岸視察復命書 通商局刊 明治三四 洋・大 一 ネ 三 一八四
香港・上海に於ける海產物取引狀況 長崎商業會議所調査部編 大正七 洋・中（長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書） 一 ヨ 一 三二五九 二
本邦外國貿易上に於ける日米貿易の地位 添田參德編 大正七 洋・中（農商務省臨時產業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 三

滿洲物產の內地需要趨勢 滿鐵東亞經濟調査局刊 昭和二 洋・中（（滿鐵）經濟資料） 一 ネ 三 一二四四
滿洲貿易詳細統計 昭和元至五年 大連港・牛莊港・安東港及哈爾濱管區 滿鐵庶務部調査課編 昭和二至七 洋・大 五 ネ 三 三三八〇 一五
滿洲貿易詳細統計 昭和六年 南滿洲・北滿洲及東滿洲 滿鐵經濟調査會編 昭和七 洋・大 一 ネ 三 三三八〇 六
滿洲輸入貿易に於ける日本の位置 大連商業會議所刊 大正一五 洋・中 一 ネ 三 三三六二
滿洲輸入貿易に於ける日本の地位 大連商業會議所刊 昭和二 洋・中 一 ネ 三 三三八四
滿洲輸入本邦品と他國品との競爭事情 大連商工會議所刊 昭和七 洋・中 一 ネ 三 三四五三
滿鮮陸路貿易關係條約 附東省鐵路公司炭礦契約 滿鐵總務部交涉局刊 洋・中（交涉資料本） 一 ネ 三 三三四六
滿蒙牛日本輸出に關する調査 伊藤忱・植木剛編 昭和五 洋・中（滿鐵臨時經濟調査委員會資料） 一 ヨ 一 三五〇〇 七
南阿弗利加貿易事情 農商務省商工局編 大正六 洋・大（商工彙纂本） 一 ネ 三 三三三〇
同 一 イ 一三 八二一
南支那の開港場 第一至三編 井出季和太撰（昭和五・六） 洋・中（南支那及南洋調査） 一 ル 五 二五二九 三三
南滿洲三港仲繼貿易 大正一〇至一二年 谷村武編・滿鐵庶務部調査課刊 大正一三 洋・大 一 ネ 三 三三五四

最近調査 無盡藏の支那貿易 東洋タイムス社編纂局編 大正六 洋・中 冊 ネ 類 三 號 一八〇三
明治六年海外貿易表 政表課編（明治七） 洋・小 一 ネ 三 二五
同 一 イ 一三 * 四〇八
莫大小の輸出統制 附錄日本比律賓メリヤス輸出組合定款外六項 太田鉞次郎撰 昭和八 洋・小 一 ネ 三 三四六七
同 一 ネ 三 三四六八
蒙古貿易と東支鐵道 弓場盛吉譯編 大正一三 洋・中（滿鐵哈調資料） 一 ヨ 一 一〇五八 六
蒙古貿易と日本磚茶 細谷清撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 三 三五二一
木材貿易表 明治三十六年以降 臺灣總督府營林局編 大正六 洋・大 一 ネ 三 一八三〇
有望ナル蒙古貿易及對蒙投資 米・フワーリン撰・朝鮮銀行調査局譯（朝鮮銀行調査局調査書・調乙） 大正七 洋・中 一 ヨ 一 九三二 一〇
輸出玩具 鈴木範三編 大正七 洋・中（農商務省臨時產業調査局） 一 ヨ 一 一八三七 二
輸出生絲出荷制限實施成績報告 日本中央蠶絲會刊（昭和九） 洋・中 一 ネ 三 三四八八
輸出生絲の諸問題 橫濱商工會議所調査部刊（昭和三） 洋・中（調査資料） 一 ネ 一 三五九四 二
輸出重要品要覽 農商務省農務局・商工局刊 明治二九至四二 洋・中 一〇 ネ 三 一〇一

農產ノ部

蠶糸（第一至四次） 一・二 茶（第一至三次） 三
米（第一至三次） 四 麥稈眞田（第一次） 三
人參（第一・三次） 五 薄荷腦及薄荷油（第二至四次） 五
煙草（第二・三次） 六 菜子油（第一次） 六
落花生（同上） 六 蕃椒（同上） 六
蠶（同上） 六 百合根（同上） 六
絲瓜（同上） 六 蜜柑（同上） 六

水產ノ部

海參（同上） 三 鱶鰭（同上） 三

工產ノ部

絹布類（第五次） 四 綿ブランケット（第一次） 四
綿メリヤス肌衣（同上） 四 靴足袋（同上） 四
綿襦袢（同上） 四 青銅器及銅器（第四次） 四
鐵製品（第一次） 五 時計（同上） 五
ブラシ（同上） 五 鈕釦（同上） 五
石鹼（同上） 五 麥酒（同上） 五
清酒（同上） 五 醬油（同上） 五
セメント（同上） 五

林產ノ部

樟腦及樟腦油（第二次） 六 椎茸（同上） 六
木材及板類（同上） 六 竹材（同上） 六

輸出重要品要覽（農產ノ部（蠶絲第二次）・工產ノ部（第一次ノ一部）） 農商務省商工局刊 明治三八 洋・中 三
輸出セルロイド製品 鈴木範三編 大正七 洋・中（農商務省臨時產業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 二
明治二六年至三七年輸出入重要品價額國別表 外四種六表添 洋・大 一 ネ 三 五六九
輸出入品價額國別十ケ年對照表 大藏省關稅局編 明治四二 洋・大 一 ネ 三 二一六三
輸出入品ニ及ホセル時局ノ影響表示 農商務省商工局刊 大正五 洋・大 一 ネ 三 三三一六
輸出麥稈及經木眞田 伊藤正編 大正七 洋・中（農商務省臨時產業調査局調査資料） 一 ヨ 一 一八三七 二
輸出羽二重 北陸三縣 井上德之助撰 大正二 洋・中（東京高等商業學校叢書本） 一 ネ 七 一〇九五
同 一 ネ 七 三三六四
輸出羽二重調査資料 農商務省商工局刊 明治三 洋・大（工產調本） 一 ネ 三 一二四二
同 一 ネ 三 一二四三
輸出品ノ製作上ニ及ボス海外ノ風習 農商務省商工局刊 明治四〇 洋・大 一 ネ 三 一三五四

輸出貿易を中心として見たるレーヨン問題概觀 荒木精一撰 昭和六 洋・中（橫濱正金銀行調査報告） 一 ネ 四 二八四九 一一
輸出貿易ノ趨勢 （大正七年）（日本銀行調査局調査書） 洋・中 一 ヨ 一 九四六 一
輸出綿織物 橋本奇策撰 明治三六 洋・中 一 ネ 三 一九四
同 一 ネ 三 三五四八
輸入雜貨より見たる哈爾濱と大連 大連商業會議所刊 大正一五 洋・中（調査資料本） 一 ネ 三 三三八六
輸入重要品戰後見込概要 （大正七）（日本銀行調査局調査書） 洋・中 一 ヨ 一 九四六 一
輸入品調査報告書 第二至七・九篇 康德二・三 實業部臨時產業調査局刊 洋・中（產調資料） 七 ヨ 一 三八六〇 二一八

第二篇 絹及絹織物に關する調査報告書 二
第三篇 海產物に關する調査報告書 三
第四篇 石鹼に關する調査報告書 四
第五篇 フエルト帽子に關する調査報告書 五
第六篇 麥酒に關する調査報告書 六
第七篇 酒精に關する調査報告書 七
第九篇 煙草に關する調査報告書 八

橫濱生絲貿易概況 明治三〇・三四至大正九年 原合名會社刊 一七 ネ 三 一二四一
橫濱生絲貿易概況 明治三一至大正一〇 洋・中 一七 ネ 三 一二四二
橫濱生絲貿易概況 明治三六・三七年 原合名會社刊 二 ネ 三 三一三
橫濱生絲貿易概況 明治三七・三八 洋・中 二 ネ 三 三一三

横濱生絲貿易概況 明治三六年 原合名會社刊 明治三七 洋・中　一冊　ネ三類 七七三號

横濱港外國貿易 明治四三年八月・四四年四・五月 横濱稅關編 洋・大　一　ネ三 二一一

横濱港重要貿易品解說 其一至五 横濱商業會議所調査部刊 (昭和二・四) 洋・中 (調査資料)　二　ネ一 三五九四 一二

横濱港對支那貿易最近ノ狀況 明治四五年一・二月 洋・大　一　ネ三 二一四

横濱港之貿易 横濱商業會議所懇話會刊 大正二 洋・中　一　ネ三 一四五

横濱商業會議所年報 第一〇至一九回 同所刊 大正三至一二 洋・大　一〇　ヨ一〇 一四三 一一〇

横濱商工會議所年報 第二〇至二一・昭和一〇・一一年 同所刊 昭和七至一一 洋・大 (横濱商業會議所年報ノ改題)　四　ヨ一〇 一四三 一一一四

横濱の貿易 横濱輸出協會刊 大正一五・昭和二 洋・中　一　ネ三 三三五九

〔横濱貿易協會〕第十八回通常總會決議錄 昭和五年一月二〇日 横濱貿易協會刊 洋・中　一　ネ三 三四一八

蘭領印度の研究 商工省商務局編 昭和三 洋・中　一　ネ三 三三九五

蘭領東印度外國貿易要覽 在ニバタビヤ」小谷總領事代理報告 (昭和五)　一折　ネ三 三四二七

蘭領東印度に於ける綿業設立問題 ウイセルリンク教授著書要譯 外務省通商局刊 昭和七 洋・中　一　ネ三 三四五七

蘭領東印度貿易便覽 農商務省商工局編 大正三 洋・大 (商工彙纂本)　一　ネ三 三三一八

同　一　ネ三 三三一九

勞農露國對外貿易政策 岡本節三編 大正一四 洋・中 (滿鐵哈調資料)　一　ヨ一 一〇五八 七

勞農露國ト東方貿易ノ將來 附錄勞農露國東方商業會議所定款　一　ヨ一 一〇五八 六

岡本節三譯編 大正一四 洋・中 (滿鐵哈調資料)

勞農露西亞の産業狀態と外國貿易の前途 露・アルスキイ撰・北川勝夫重譯 洋・大 (露文調査資料)　一　ヨ一 一〇七四

我國生絲貿易の將來 附錄本論參考に關する新聞雜誌切拔集 田中篤撰・同鼎編 昭和八 洋・中　一冊　ネ三類 二四七〇號

我國の海外貿易に就て 奈佐忠行撰 洋・中 (東京商科大學創立五十周年記念論文集)　一　ネ一 三五六一

我國の貿易に就て 堀越善重郎述 洋・中 (東京商科大學創立五十周年記念講演集)　一　ネ一 三五九四 一二

我國輸出工業の優越性 東京商工會議所刊 昭和一〇 洋・中 (商工資料本)　一　ネ三 三五〇五

我對印輸出の現狀と發展策 日本貿易協會刊 昭和八 洋・中 (日本貿易協會經濟調査會パンフレット本)　一　ネ三 三四六〇

我對南洋貿易の現狀と其改善策 日本貿易協會刊 昭和五 洋・中 (日本貿易協會經濟調査會パンフレット本)　一　ネ三 三四一六

我が中南米貿易と此等諸國の爲替管理 東京商工會議所編 昭和一三 洋・中 (商工調査本)　一　ネ三 三五三三

○

日本貿易協會々員名簿 明治三四年一月改正 洋・小　一　ネ三 一六一七

英文 ヤング編・東洋廣告取次會社刊 大正二 洋・大　一　ネ三 九二八

〔滿洲輸入組合聯合會〕組合員名簿 附定款諸規定・昭和三五至七年 同會刊 昭和三至七 洋・小　四　ネ三 三四三三

〔滿洲輸入組合聯合會〕組合員名簿 附定款諸規定・昭和六年五月 同會刊 昭和六 洋・小　一　ネ三 三四〇三

社團法人 横濱貿易協會會員名簿 昭和五年一月末現在 同會刊　一　ネ三 三四一一

雜書

意見書 對支貿易振興策ト支那總稅務司制度 野波靜雄撰 (大正七) 洋・中　一　ネ三 二九七四

遠征 民友社刊 明治二八 洋・小 (青年叢書本)　一　ネ三 一二四

海外製茶貿易意見 松本君平撰 明治二九 洋・小　一　ネ三 二

外國貿易はどうなるか 望月丑彥商店調査部編 昭和五 洋・小 (望月商店調査叢書)　一　ヨ一 三四七七 三

外油輸入ニ關スル意見書 櫻井彥一郎撰 和・大　一　ネ三 二九七六

漢口貿易研究所設立趣意書 同所刊 明治三八 和・大　一　ネ三 一〇四〇

生絲貿易維持方案 河瀨秀治編 (明治二二) 和・大　一　ネ三 二九六八

蠶絲貿易改良私議 橋本重兵衞撰 洋・小　一　ネ三 一〇九

時局ト貿易 福島縣內務部編 大正三 洋・中　一　ネ三 二〇七一

自由港設置論 一匡社刊 大正一一 四版 洋・中　一　ネ三 二九三七

獨逸レーウェルト氏ノ私見戰後貿易復興策トシテ商務員制度ノ提唱 日本銀行調査局譯 (大正九) 洋・中 (日本銀行調査局調査書)　一　ヨ一 九四六 一一

戰時危險 (War Risk) の負擔問題 上坂酉三撰 昭和一〇 洋・中　一　ネ三 三四九八

戰爭・貿易・海賊 小林知治撰 昭和七 洋・小　一　カ五 三四八六

對支輸出貿易振興策 國政研究會編 洋・小 (國政一新論叢)　一　カ五 三七四二 八

對滿州通商的緊急施設ニ關スル私見 木村槗市撰 (明治三八) 洋・中　一　ネ三 九〇七

同　一　ネ三 三五三五

通商非常時の解剖 貴島桃隆編 昭和九 五〇版 洋・小　一　ネ三 三四八九

特種なる海上賣買に就て C.I.F.賣買と類似C.I.F.賣買の法律的研究 萩原調三郎撰 昭和一二 洋・中 (司法研究)　一　ワ一 六三一七 八二

日英綿業戰 其眞相と今後の展望 時事新報社刊 昭和八 洋・小 (時事パンフレット本)　一　ネ三 三四七二

日支貿易の促進について 谷口吉彥撰 洋・中 (經濟論叢第四巻第五號拔刷)　一　ネ三 三四三三

日本貿易協會五十年史 附創立滿五十年記念講演集 (金子堅太郎外三三家) 同會刊 昭和一一 洋・中　一　ネ三 三五〇二

日本貿易重要品番附 大正二至五・七年度 横濱商業會議所刊 大正三至八 洋・大　一　ネ三 一二一〇

日本輸出入主要品番附 大日本除蟲粉株式會社刊　一折　ネ三 三四七六

保護貿易と犬養毅 堀經夫撰 洋・中 (本邦憲政偉人犬養毅博士記念 社會經濟史論集)　一　ヲ一 三四二〇

綿花輸入關稅竭免請願ノ要旨 (明治二四) 洋・小　一　ネ三 三五四六

輸出絹手巾加工賃値上問題概要 橫濱貿易協會刊 (昭和二) 洋・中 (貿特・調本)　一　ネ三 三三八八

雜誌

印度、日本商品館々報 號一 同館本部刊 甲谷陀 昭和二 洋・中　一　サネ 一一八

交易 號四二 (大正一五年三月) ヨリ 橫濱輸出協會刊 洋・中・大 (橫濱輸出協會々報ノ改題)　七〇 一一

週刊 海外經濟事情 卷一號 (昭和三年四月) ヨリ 外務省通商局編 洋・大 (海外商報ニ接ス)　四三 一五一　サネ

日刊 海外商報 號一至一一三六 大正一四至昭和三 外務省通商局編 洋・中 (通商公報ニ接ス)　一三　四三 一三八一 五〇　サネ

外材 號四〇至八五 外國木材輸入協會刊 昭和二至五 洋・中 (東京外國木材輸入協會々報ノ改題)　四　四二 二一五　サネ

通商彙纂 號六六至大正七 外務省通商局編 洋・大　八六　四三 一八九　サネ

通商公報 號一至一二八 大正二至一三 外務省通商局編 洋・大 (通商彙纂ニ接ス)　五二　四三 八六一 三七　サネ

日刊 海外商報 號一至一三六 大正一四至昭和三 外務省通商局編 洋・中 (通商公報ニ接ス)　一三　四三 一三八一 五〇　サネ

週刊 海外經濟事情 卷一號一 (昭和三年四月) ヨリ 外務省通商局編 洋・大 (海外商報ニ接ス)　四三 一五一　サネ

通商報告 明治二三年一至九月 內閣官報局刊 明治二三 洋・中　一　サネ 五〇

東京外國木材輸入協會々報 號三六至三九 同協會刊 大正一五・昭和二 洋・中　二　サネ 四二 一二

外材 號四〇至八五 外國木材輸入協會々報ノ改題 昭和二至五 洋・中 (東京木材輸入協會々報ノ改題)　四　サネ 四二 二一五

內外商工時報 卷四號一至卷九號七 內外商工時報發行所刊 大正六至一一 洋・大 (貿易時報ノ改題)　二　サネ 三五 一一七

日本と歐洲大陸 號一至三〇(有缺) フオーゲト事務所刊 大正一三至昭和七 洋・中 冊五 類サネ 號二四

貿易 卷七號一一(明治三三年六月)ヨリ 日本貿易協會刊 洋・大

貿易彙報 號三至五 韓國度支部刊 隆熙四 洋・中 (財務彙報附錄)

貿易時報 卷一號一至卷三號一二 貿易時報發行所刊 大正三至五 洋・大

內外商工時報 卷四號一至卷九號七 內外商工時報發行所刊 大正六至一一 洋・大 (貿易時報ノ改題)

貿易通報 號二至一七五 大阪商業會議所刊 明治三九至大正一〇 洋・大

滿洲輸入組合聯合會々報 號一六(昭和五年一月)ヨリ 同會刊 洋・中

橫濱輸出協會々報 號三七至四一 同協會刊 大正一四 洋・中

交易 號四二(大正一五年三月)ヨリ 橫濱輸出協會刊 洋・中・大 (橫濱輸出協會々報ノ改題)

露亞時報 號二四至一五二 ハルビン商品陳列館刊 大正一〇至昭和七 洋・大

四 金融・貨幣

總記

貨幣及銀行論 服部敎授述 昭和三 (謄寫版) 洋・中 冊一 類ネ 四 號三五七五

貨幣及び金融政策の將來 町田義一郎抄譯 昭和一一 洋・中 (金融研究會叢書本) 一 ネ 四 三八〇七

貨幣銀行及爲替論 附錄法規 服部文四郎撰 昭和九 五版 洋・中 一 ネ 四 三七一四

貨幣・銀行・外國爲替 堀江歸一撰 大正一五 洋・中 二 ネ 四 三三九一

貨幣銀行通論 青木得三撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 四 三四四四

改訂貨幣銀行問題一斑 山崎覺次郎撰 大正七 三版 洋・中 一 ネ 四 二七二四

貨幣金融及物價の史的研究 近世英國金融史論 春日井薰撰 昭和二 洋・中 一 ネ 四 三四三四

貨幣金融統計資料解說 現代金融經濟全集編輯部編 昭和一〇 洋・小 (現代金融經濟全集) 一 ネ 四 三七二五

貨幣と爲替 正井敬次撰 昭和六 洋・中 一 ネ 四 三六〇〇

貨幣と金融 松崎壽撰 大正九 洋・中 一 ネ 四 二八六三

貨幣・物價・爲替論 佛・アフタリヨン撰・松岡孝兒譯 昭和一二 洋・中 一 ネ 四 二八五二

同 一 ネ 四 三八五九

改訂銀行及外國爲替 水島銕也撰 大正一〇 八版 洋・中 一 ネ 四 二八〇五

銀行及外國爲替論 田代循撰 明治三五 洋・中 一 ネ 四 六二六

銀行及金融 松崎壽撰 大正一二 洋・中 一 ネ 四 三〇八〇

銀行及金融研究 松崎壽撰 大正一一 洋・小 一 ネ 四 二八一二

金本位制と中央銀行政策 田中金司撰 昭和四 洋・中 一 ネ 四 三五四四

金融及信託 細矢祐治撰 大正一三 洋・中 二 ネ 四 三一七六

經濟學文獻大鑑 貨幣金融編 大阪商科大學經濟研究所刊 昭和一〇・一二 洋・大 二 ヨ 一 三七五五 一一三

經濟の統制と新立法 栗栖赳夫撰 昭和一一 洋・中 一 ヨ 一 三八三八

現時の金利及爲替問題 松崎壽撰・大阪高商銀行業務研究室刊 大正一三 洋・中 (調査報告) 一 ネ 四 二九四五 一

支那貨幣・金融發達史 廣畑茂撰 昭和一一 洋・中 一 ネ 四 三八〇三

支那の金融と通貨 井村薰雄撰 大正一三 七版 洋・中 一 ネ 四 三一八三

支那の金融と通貨 井村薰雄撰 大正一三 九版 洋・中 一 ネ 四 三三五九

社會主義論者の貨幣及銀行觀 左右田喜一郎撰 洋・中 (左右田喜一郎全集) 一 ヨ 二 三四九一 一

上海市場の圓爲替と滿洲の通貨 南鄕龍晉編 昭和二 洋・中 (上海滿鐵調査資料) 一 ヨ 一 三四九六 一

上海に於ける外國爲替及金融 附世界の銀需給及取引事情 吉田政治撰 大正一四 洋・小 一 ネ 四 三三七六

大連を中心として見たる滿洲の金融・爲替・貿易 關憲行撰 昭和二 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) 一 ネ 四 二八四九 八

中央銀行の組織及金融市場との關係 東京商工會議所刊 昭和四 洋・中 (商工調査本) 一 ネ 四 三五三七

通貨の種別と金融 井村薰雄撰 昭和二 洋・小 (支那財政經濟大系) 一 ヨ 一 三四〇八 四

伯國幣制ノ沿革竝ニ外國爲替騰落ノ原因 一ノ宮鈴太郎撰 大正一〇 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) 一 ネ 四 二八四九 三

哈爾濱に於ける通貨及金融機關 南鄕龍晉編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和四 洋・中 (ハンドレット本) 一 ネ 四 三五三四

哈爾濱に於ける通貨及金融幾關 南鄕龍晉編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和四 洋・中 (ハンドレット) 一 ヨ 一 三三四三 七

滿洲國幣制と金融 五十嵐直三等編 (昭和七) 洋・中 (金融研究會調書) 一 ネ 四 三五一二 六

滿洲ニ於ケル支那側金融機關ト通貨 大谷彌十次編 大正八 洋・中 (滿鐵調査資料) 一 ヨ 一 九〇六 五

滿洲に於ける通貨及金融の概要 安盧松之助編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和三 洋・中 (ハンドレット) 一 ヨ 一 三三四三 五

滿洲に於ける通貨・金融の過去及現在 滿洲事情案內所編 昭和一 洋・中 (滿洲事情案內所報告本) 一 ネ 四 三七八五

滿洲の金融機關と通貨 笠原博撰 大正八 洋・中 一 ネ 四 二七八五

リカアドオ貨幣銀行論集 小畑茂夫譯 昭和六 洋・中 一 ネ 四 三六一三

臨時調査集第三・四輯 大正八 洋・中 (日本銀行臨時調査委員會調査書) 二 ヨ 一 二八四八 一一二

我國通貨政策と日滿爲替安定問題に就て 滿洲國國務院總務廳情報處刊 康德三 洋・小 (滿洲國大系) 一 カ 一 三七二八 一六

井上準之助論叢 同編纂會編 昭和一〇 洋・中 四 ヨ 一 三七九八

事彙・辭書

金融辭典 銀行研究社刊 昭和七 洋・中 (銀行研究特輯) 一 サネ 二九 一七

金融大辭典 橋爪明男編 昭和九 洋・大 三 ネ 一 三六九三

信託辭典 銀行研究社刊 昭和八 洋・中 (銀行研究特別附錄) 一 サネ 二九 二〇

叢書

戰後に於ける我國の經濟及び金融 一 我國際金融の現狀及び改善策 一

國民經濟の立直しと金解禁 一 世界不景氣と我國民の覺悟 一

金再禁止と我財界の前途 一

演說・講演 二—三

英國に於ける銀行支店制度外六五篇

論文・雜錄

銀行の資本金高制限の議に就て外二二篇 四

日記

留學日記外三篇 四

書簡

明治二七至昭和七年 四

雜

東京銀行俱樂部晩餐會挨拶外五篇 四

(大阪高等商業學校)銀行業務研究室調査報告 第一至二〇冊 大阪高等商業學校銀行業務研究室刊 大正一〇至昭和五 洋・中 三 ネ 四 二九四五

戰時戰後の金及金貨問題(第一・二)一

「ター・ミューラン」案(松崎壽) 一

復興金融の諸問題(同上) 一

現時の金利及爲替問題(松崎壽) 一

米國預金保證制度の實績 一

英國の金融市場と財政 一

我國銀行經營の根本問題(同上) 一

不換紙幣下の國際貿易 一

信託會社と銀行との交涉(同上) 一

井上準之助氏の著「戰後に於ける我國の經濟及金融」を讀む（松崎壽・以下同） 二
社會問題と金融政策 二 金融制度の改善問題 二
金融市場の特質一斑 二
普通銀行制度改善と新銀行法 二 工業金融と我國の社債制度 三
金融恐慌後の諸問題 三 金輸出解禁問題の眞髓 三
金輸出解禁問題の續論 三
米國に於ける投資信託の發展（藤原泰） 三
〔金融研究會〕講演集 第一・三至一七編（昭和四至一一） 同會刊 洋・小 一六冊 ネ 四 三五四一
日英米金融事情（兒玉謙次） ネ 四 三五四二
英國の金融組織と英蘭銀行の機能（井上辰九郎） ネ 四 三五六七
國際金融（森賢吾） ネ 四 三五八〇
金と銀とに就て（五十嵐直三） ネ 四 三五九三
金の價値と通貨の價値（深井英五） ネ 四 三五九四
最近十年間に於ける我財界の動き（結城豐太郎） ヨ 一 三九〇四
金融界最近の趨勢（明石照男） ネ 四 三六〇四
世界經濟と國際貸借（津島壽一） ネ 四 三六三五
中小農商工業者に對する金融に就て（梶原仲治） ネ 四 三六四五
國際決濟銀行と世界恐慌（田中鐵三郎） ネ 四 三六八七
保險金融に就て（矢野恒太） ネ 四 三七二九
不動産金融（馬場鉄一） ネ 四 三六八五
財政と金融に關する若干の問題（同上） ネ 四 三七五二
圓貨の價値に就いて（鈴木嶋吉） ネ 四 三七八〇
中小工業の金融に就て（藤原銀次郎） ネ 四 三八一四
フラン切下を中心とする國際通貨問題（附歐米の財政經濟事情）（富田勇太郎） ネ 四 三八〇六 冊 五
〔金融研究會〕叢書 第一至三・五・六編 昭和一一・一二 同會刊 洋・中
獨逸外債政策批判（附錄ナチス經濟政策の現狀外一項）（獨・アインチツヒ撰・水野和一譯述） タ 八 二六八六

公社債株式論（栗栖赳夫） 九
世界恐慌と財政（阿部勇） 一〇
日本金融市場論（大島堅造） 一三
米國金融組織論（今野源八郎） 一五
起債市場論（飯田清三） 一七
普通銀行・貯蓄銀行論（野崎龍七） 一九
預金部論（小川郷太郎） 二一
保險會社金融論（石坂泰三） 二三
銀行取引法（妹尾一雄） 二五
外國爲替・爲替市場論（山崎靖純） 二七
物價水準の理論（北川富久二郎） 三一
明治銀行史（明石照男） 三三
金融市場金利論（三浦實） 三五
羅甸貨幣同盟（田尻稻次郎） 一 ネ 四 三九
日本古代通貨論（濱田健次郎）

經費理論・租稅負擔能力・賣上稅問題（獨・コルム撰・高木壽一譯述） タ 四 三三五九
貨幣及び金融政策の將來（町田義一郎抄譯） ネ 四 三八〇七
企業財務の分析（高瀨莊太郎） ネ 一〇 三四八二
明治維新後に於ける兩替商金融（松好貞夫） ネ 四 三八五一 冊 一三 裝 ネ 四 三五一二
〔金融研究會〕調書 第一至一三編（昭和三至一二） 同會刊 洋・中
國民貯蓄の現狀 一 郵便貯金の運用 二
生命保險と金融 三 銀行集中の大勢（英國・米國の部） 四
中華民國貨幣制度及銀問題文獻集錄 五
滿洲國幣制と金融 六 我國に於ける銀行合同の大勢 七
米國金融市場金利に就て 八 カナダニ於ける中央銀行創設問題 九
アメリカ復興金融會社の機能概要 一〇
輸出信用保證制度に就て（其一） 一二 中華民國幣制と金融（第一部） 一三
金輸出再禁止後の我國金融事情 一三
金融資料 第一・二號 昭和一・二 金融研究會刊 財團法人金融研究會調書別冊本 洋・中 三 ネ 四 三八三三
米國に於る政府關係金融機關一覽 一 貯蓄と投資の現狀に就いて 一
支那に於ける新貨幣制度 一 信用統制と支那中央準備銀行 一
金融日誌（昭和一二年一・二月） 一
附錄・金融日誌（昭和六年下半期至昭和一一年上半期） 二
我國最近に於ける銀行合同の進展に就て 三
支那幣制改革の一年 三 金融日誌（昭和一二年三・四月） 三
金融統計（昭和一二年五月編） 三
現代金融經濟全集 改造社刊 昭和一〇・一一 洋・小 三五 ネ 四 三七三五
金融論（橋爪明男） 一 輸出信用補償論（上坂酉三） 二
不動産金融要論（杉本正幸） 三 企業金融論（不破棄一郎） 四
中小商工業・庶民金融論（井關孝雄） 五
我國の國債（大竹虎雄） 六 我國の國債（各論）（同上） 七

金融統制論（高橋龜吉） 八
國際金融論（井出忠雄） 一〇
日本金融史（石橋湛山） 一三
日本の季節金融（森田優三） 一四
伊太利金融制度論（十龜盛次） 一六
中央銀行・日本銀行論（田中金司） 一八
特種金融機關論（青木得三） 二〇
信託金融論（奥文炳） 二三
證券取引所論（福田敬太郎） 二四
貨幣論（服部文四郎） 二六
世界貨幣制度上の若干問題（金原賢之助） 二七
通貨管理政策史論（高島佐一郎） 二八
滿・支幣制改革問題（荒木光太郎） 三〇
景氣論（豐崎稔） 三二
貨幣金融統計資料解說（編輯部編） 三四

專修學校講義錄雜纂 同校刊 洋・中

米國銀行沿革論（阪谷芳郎） 一 ネ 四 三九
租稅論（加藤彰廉）
日本財政ノ進歩（小池文雄）

朝鮮銀行月報附錄集 同月報第三卷第一號至第六卷第一號附錄 同銀行刊 明治四五至大正四 洋・大 三 ヨ 一 七七二

大邱地方特種產業ノ狀況（池田嘉吉） 一
大邱ニ於ケル令市ト金融ノ關係（飯泉幹太） 一
平壤ノ財界（阿部譲） 一
間島及琿春地方經濟狀況（津村甚之助） 一
浦潮斯德經濟狀況（阿部秀太郎） 一
平安北道產金ノ狀況（鈴木源之助） 一
金羅南道ニ於ケル棉花栽培ノ狀況（泉末治） 一
安東縣ニ於ケル支那商人（阿部譲） 一

大邱地方經濟事情（近藤徹） 二
群山米ノ改良（仙波正太郎） 二
安東縣ノ豆粕（同上） 二
慶尚北道重要物產配置圖
咸鏡北道ニ於ケル經濟狀況（高坂松男）
列國共同監督ノ下ニアル摩洛哥銀行
群山ト交通機關ノ變遷（仙波正太郎）
浦鹽港ニ於ケル朝鮮貿易概況（龜島豐治）
極東ニ活動スル佛國ノ印度支那銀行
安東縣ニ於ケル柞蠶（阿部譲）
全羅北道及忠淸南道ニ於ケル苧麻ト苧布（仙波正太郎）
時局ニ於ケル浦鹽斯德金融貿易竝ニ一般概況（龜島豐治）
アルジェリー銀行ノ發達及其現況
間島ノ貿易及金融狀況（鈴木源之助）

朝鮮銀行調査局調査書 調甲第三至一三號 同銀行刊 大正六・七 洋・中 九 ヨ 一 九二一

平安南北道ニ於ケル鑛業 一
大連ニ於ケル油房業 三
熱河蒙古地方ニ關スル調査 五
滿鮮產色豆取引狀況 七
運奉地方ニ於ケル經濟狀況 九

朝鮮銀行調査局調査書 調乙第一至二三號 同銀行刊 大正六至八 洋・中 二〇 ヨ 一 九二三

近世露國貨幣史（附現行露國貨幣制度大要）（宮村時一郎抄譯） 一
獨逸ノ商權擴張策ト銀行ノ活動 二
露國ニ於ケル物々交換取引ノ復興 三
戰後ノ海運競爭ニ對スル各國ノ準備 四
露國銀行界ニ於ケル外國資本 五
英米ニ於ケル製鐵業ノ趨勢 七
千九百十七年度世界金銀產額及其移動 九
北朝鮮ノ價値（佐藤源重） 二
鴨綠江ノ木材（阿部譲） 二
安東縣ノ大豆（同上） 二
慶尚北道ノ蠶業ト金融 二
奉天支那銀行兌換問題沿革 四
豌豆菜豆ニ關スル調査 六
朝鮮ノ石炭及發電水力 八
露國ニ於ケル獨逸ノ經濟的活動 六
開戰以後ニ於ケル哈爾賓貿易概況 八

有望ナル蒙古貿易及對蒙投資 一〇
幣制改革以降(自千九百九十七年至千九百十年)ノ露西亞中央銀行(獨・スタイベルグ撰) 一一
外國市場開拓ニ對スル獨逸ノ方策 一三
米國ニ於ケル生絲取引事情一斑 一三 露國ノ戰時財政 一四
埃及國立銀行及埃及農業銀行 一五 西比利亞經濟事情概要 一六
烏拉爾ノ鑛業 一七 戰時及戰後ニ於ケル英國財政 一八
浦潮以北ノ西伯利亞諸港 一九 露國銀行貨物課ノ業務 二〇

日本銀行調査局調査書(調活第七八至一四號(有缺) 同銀行刊 大正七至一二 洋・中) 一冊 ヨ一類 九四六號
日本銀行臨時調査委員會調査書(臨調活第二五至三一號 同銀行刊 大正七・八 洋・中) 二 ヨ 一 二八四八
佛國ノ戰後ニ關スル施設竝ニ調査機關(附佛伊兩國ニ於ケル物價騰貴ノ趨勢其他) 一
戰時財政(一九一四至一九一八年)一 歐洲主要交戰國ノ戰後經濟策 一
戰後世界ノ貿易狀況(英佛獨ニ於ケル外國貿易發展ニ關スル準備施設) 一
佛國ノ製鐵問題 一 佛國ノ對聯合與國貸附金 一
臨時調査集(第三・四輯) 一—二

藤本叢書 藤本ビル・ブローカー銀行刊 大正八 洋・小・中 二 ネ 四 九一六
英米獨佛の戰費と金融(英・ホルデン) 一
最近主要金融統計(大正八年) 二
藤本ビル・ブローカー銀行營業成績(同上) 二
藤本パンフレット 藤本ビル・ブローカー銀行調査部刊 大正一三 洋・小 二 ネ 四 三八一九
米國實業の精神 一 債券投資の本質に就いて 二
藤本ビル・ブローカー銀行週報號外及附錄集 藤本ビル・ブローカー銀行調査部刊 大正七至一〇 洋・小 一 ネ 四 三八一八
英佛公債案内 新法令集(舊規定對照) 一
英米佛の戰時金融施設(英・ホルデン) 最近獨逸政派の消長(伯林通信) 一

〔横濱正金銀行調査課〕調査資料(第一〇至三八號(有缺) 橫濱正金銀行調査課刊 大正一〇至昭和一二 洋・中 六 ネ 四 三八二
世界市場ニ於ケル銀ノ地位 一
戰時及戰後に於ける我國の對外金融(井上準之助) 一
一九二一年ノ銀塊市況 一
一九二二年會計年度獨逸財政計畫及稅制(堀江榮助) 一
獨逸政府强制公債(同上) 一
佛國不換紙幣 Assignats に就て(堀田時次郎譯) 一
一九二一年に於ける獨逸八大銀行の營業狀態(林昇太郎譯) 一
蘭領東印度貨幣制度の變遷と其現況(井上俊彦) 一
孟買地金銀市場(クライン撰・烏賀陽恒正譯) 一
橫濱正金銀行紐育及倫敦向賣爲替相場高低一覽表(同銀行頭取席計算課編) 一
一九三五年修正米國聯邦準備法(中島錡次譯) 二
墨西哥共和國に於ける手形法の概要(武內繁) 三
各國求償貿易協定概要(矢吹友庸譯) 四
獨逸封鎖馬克の種類及利用法(櫻井曜弘譯) 五

米國會社法概論(上) 米國の海外貿易と外國投資
產業組合と金融

鳳聚會懸賞當選論文 第二至七回 同會刊 大正一五至昭和五 洋・中 五冊 ネ 四類 三三九六號
本邦に於ける銀行の合同を論ず(安藝國雄) 一
購買力平價說を論ず(森伊之助) 一
日本銀行保證準備發行制限の擴張を論ず(藤原泰) 一
本邦金融界に於ける信託會社の地位を論ず(雨森恒次郎) 二
我國に於ける各種物價指數の比較研究(小倉讓三・西浦英夫) 二
歐洲戰後に於ける貨幣制度の改革(坂本一夫) 三
我國大銀行制度發達の下に於ける大銀行の中小商業者に對する金融方策を論ず(原田昌雄・伊原德三郎) 三
內外金利比較研究(花井益) 三
戰時戰後ニ於ケル我國爲替相場變動の研究(二篇・附錄一卷)(松本雅男・伊原德三郎) 四—五

銀價强氣觀(一九二〇年度銀の需給を論じて本年度に及ぶ)(萩原貞雄) 三
伯國幣制ノ沿革竝ニ外國爲替騰落ノ原因(一ノ宮鈴太郎) 三
東淸鐵道南部支線特產物出廻狀況(附錄双城貨幣農產信託有限公司辦事細則)(中原小平太) 三
紐育ニ於ケル「コールローン」(淺田振作) 四
戰時及戰後ニ於ケル南洋貿易事情(橫濱正金銀行調査課編) 四
孟買ニ於ケル東印度棉花協會(橫濱正金銀行孟買支店編) 四
孟買ニ於ケル Mactadam ニ就テ(難波勝二) 四
コール取引の研究(田中瑞穗・藤平大萠) 四
國際貸借決濟に關する創設案(村田八郎) 四
爲替を中心として見たる歐洲最近經濟事情(橋爪源吾) 五
獨逸賠償問題經過(有吉眞永・江口大輔) 五
生絲金融と外國爲替(三代幸) 五
國際債務問題(橫濱正金銀行調査課編) 五
ルール地方事情(橫濱正金銀行漢堡支店編) 五
購買力平價說(附錄印度爲替安定問題外二篇)(高瀨胖) 五
聯邦準備條令に基く引受再割制度竝に紐育に於ける割引市場概觀(淺田振作) 五
哈爾賓ニ於ケル通貨變遷ノ狀況(宗岡保太郎) 六
外國爲替ト其相場ノ變動(淸瀨次郎) 六
pacific South-West の棉花(多田守人) 六
埃及經濟事情(難波勝二) 六
英國大藏省證券と倫敦金融市場(加藤勝三郎) 六
Jute 及其製品(藤村爲次郎) 六 羊毛(多田守人) 六
ブラジルの珈琲(新井堯男) 六 羅府の映畫事業(飯岡幸吉) 六
北滿洲特殊通貨としての官帖に就て(公門仲) 六
最近に於ける勞農露國金融機關の概況(二關壽郎) 六
米國に於ける金と物價問題(武川虎之助) 七
北滿安達事情(橫濱正金銀行哈爾賓支店編) 七
The Investment Trust(小柴保雄) 七 奉天票の話(寺村和一) 七
傳家甸及び其の通貨(公門仲) 七

印度の現狀に就て(二宮謙) 六
〔橫濱正金銀行〕調査報告(第五至一三號(一〇・三・七・九)至九三・九・一〇一號缺) 同銀行調査課刊 大正八至昭和一一 洋・中 一六 ネ 四 三八四九
漢口ニ於ケル通貨(川村小三郎) 一
一九一九年印度貨幣爲替調査委員會ニ提出セル「ベンゴール」商業會議所意見書ノ大要(伊東愛吉) 一
佛領印度支那視察復命書(總論ノ部)(淸水義英編) 一
印度支那銀行報告(中西有三抄譯) 一
英領馬來ノ米穀管理ニ就テ(附錄一九二〇年印度政府ノ管米法梗概)(尾上利治) 一
香港事情(角野寬治) 一 銀價ノ騰貴ニ就テ(鶴見龍) 一
河南省鄭州事情(八江湊) 一 海峽殖民地最近事情(尾上利治) 一
本邦ノ生絲(森元勇) 一 南米向輸出爲替竝ニ同地商習慣 一
濠洲貿易ト新關稅(附錄主要輸入日本品新舊關稅率比較)(廣田五郎) 二
マニラ麻ニ就テ(附錄比律賓群島麻栽培目論見書)(元吉光大) 二
支那ハ現在果シテ直接ニ金本位制ヲ採用シ得ベキヤ(支那幣制改革問題一斑)(田中德義) 二
瓜哇之糖業(岡部尤一) 二
通商上ヨリ見タル日本ト亞爾然丁ノ關係(西一雄) 二
最近ニ於ケル各國ノ輸出貿易振興策(高瀨胖等) 二
蘭貢米買占事情(橫濱正金銀行蘭貢支店編) 二
千九百十五年以降瓜哇及「マグラ」島綿製品輸入狀況(同行スラバヤ支店編) 二
米國舊銀行制度ノ缺點ト聯邦準備法(多田守人) 二
印度爲替問題(尾上利治) 二 印度幣制委員報告ヲ讀ム(同上) 三
國際爲替安定ニ關スル諸說抄錄(附錄國際信用計畫〔一名ターミュラン案〕外一項)(橫濱正金銀行調査課編) 三
金ニ就キテ(岸浪義質) 三
對露通商問題一斑(附錄英蘭銀行保管ソヴィエット政府所有金貨に對する英法上の解釋)(萩原貞雄) 三
蘭領東印度法規ノ抜萃附慣習(平林好平) 三

生絲貿易と外國爲替（白井啓二郎・松田昌壽編）　一六　七
阿弗利加視察報告書（海上浩）　一六　七
米國戰時加視察報告書（酒井忠英編）　一六　七
米國戰時對外債權整理問題（酒井忠英編）　一六　七
大連を中心として見たる滿洲の金融・爲替・貿易（附錄最近十ケ年間海關兩對圓金平均相場表）（關惠行）　一六　八
紐育株式取引所の組織及金融（藤崎養幸）　一六　八
瓜哇に於ける「カッサバ」及其の製品（高比良健次）　一六　八
開原糧穀取引事情（須賀勝知）　一六　八
米國に於ける外債市場と日本公社債に就て（中山與四郎）　一六　八
The organization and system of the commonwealth bank of Australia (Yuzaburo Kurata)　一六　九
本邦金融の季節關係（田中瑞穗）　一六　九
「ドーズ」案から「ヤング」案まで（荒木精一）　一六　九
波斯經濟事情（附錄度量衡單位表外二表）（二關壽郎）　一六　九
紐育「ブローカースローン」に就て（清水五郎）　一六　九
米國に於ける Factor に就て（平柳安行）　一六　九
スマトラ事情（宇野總七）　一六　九
米國に於ける國內商取引の決濟方法と其金融（谷下松次郎）　一六　九
歐洲諸國戰後の通貨安定（中小諸國の部）（橫濱正金銀行調査課編）　一六　一〇
松花江に就て（宗岡保太郎）　一六　一一　重要商品の國際市場（坂田彥夫）　一六　一一
本邦貿易の數量竝に單價統計法（田中瑞穗）　一六　一一
輸出貿易を中心として見たるレーヨン問題概觀（荒木精一）　一六　一一
阿弗利加西部海岸視察報告書（大內彌一）　一六　一三
兵庫縣に於ける綿製靴下と百四靴下の統制に就いて（伊藤宏一）　一六　一三
支那漆に就いて（眞鍋勝）　一三　佛領印度支那貨幣史（名和田政一）　一三　一四
齊克・四洮・洮昂鐵道沿線經濟事情（西村晃文）　一四
米比間自由通商貿易問題と比律賓群島國際貿易の趨勢に就て（二宮謙）　一四
印度の金流出に就て（萩原貞雄）　一五
伯國幣制と貨幣史の梗概（名和田政一）　一五
戰後の「磅」爲替安定史（高原漠輔）　一五
天津を中心としたる支那及滿洲國羊毛に就て（安藤茂）　一六

金融・恐慌

赤字財政下のインフレーション研究　野村證券調査部編撰　一冊　ネ　四類　號　三七三
アメリカ金融制度改革論　米ヴァンダーリップ撰・橫濱經濟研究所譯　昭和一〇　洋・中　一　ネ　四　三七四九
アメリカ復興金融會社の機能概要　（昭和二一）（「金融研究會」調書）　一　ネ　四　三五二　一〇
伊國信用組合一名共同庶民銀行　伊藤平藏撰　明治二五　洋・中　一　ヨ　二一　三三八八
伊太利金融制度論　十龜盛次撰　昭和一一　洋・小　（現代金融經濟全集）　一　ネ　四　三七三五　一六
井上準之助氏の著『戰後に於ける我國の經濟及金融』を讀む　松崎壽撰・大阪高商銀行業務研究室刊　大正一四　洋・中　（調査報告）　一　ネ　四　二九四五　二
インフレーションに關する調査　第一至六卷　東京商工會議所刊　昭和八　洋・中　（商工調査本）　一　ネ　四　三六八一
壞國各種產業に及ぼしたるインフレーションの影響　一
大戰中獨逸に於けるインフレーションの情勢　二
佛國のインフレーションとフラン貨の安定　三—四
貨幣價値下落期に於ける資金調達と價格決定の方法　五
假裝利益に對する課稅方法　六
インフレーションの一考察　田中金司撰　洋・中　（經營學論集）　一　ネ　二　三四七三　九
インフレーションの理論と實際　石橋湛山撰　昭和七　洋・小　一　ネ　四　三六四〇
インフレ景氣の進行と株式　（經濟雜誌）ダイヤモンド社刊　昭和九　洋・小　（經濟雜誌）ダイヤモンド第二三卷第一四號別冊附錄）　一　ネ　四　三七〇六
營業權の擔保能力　高瀨莊太郎撰　洋・中　（經營學論集）　一　ネ　二　三四七三　一一
營業無盡論　木島由四郎撰　昭和九・一〇　洋・小　二　ネ　四　三五六九
英國大藏省證券と倫敦金融市場　加藤勝三郎譯　洋・中　（大正一三橫濱正金銀行）調査報告）　一　ネ　四　二八四九　六
英國金融事情　英・ベイジホット撰・小池靖一講　明治一六　洋・中　一　ネ　四　二四〇
英國の金融市場と財政　大阪高商銀行業務研究室編　大正一〇　洋・中　（調査報告）　一　ネ　四　二九四五　一
米國の金融組織と英蘭銀行の機能　井上辰九郎述・金融研究會刊　（昭和五）　洋・小　（講演集本）　一　ネ　四　三五六七
英米獨の戰時金融施設　英・ホルデン述・藤本ビルブローカー銀行調査部譯　大正七　洋・小　（藤本ビルブローカー銀行通報附錄）　一　ネ　四　三八一八
英米獨の戰費と金融　英・ホルデン述・藤本ビルブローカー銀行調査部譯　大正八　洋・小　（藤本ビルブローカー銀行調査部譯）　一　ネ　四　九一六　一
大阪府損失補償制度ニ依ル中小商工業及罹災復興資金融通狀況調　大阪府刊　洋・大　一　ネ　四　三七九二
歐洲戰後の財政及金融　田尻稻次郎撰　大正五　洋・小　一　タ　一　二六五一
最近歐洲列強の財政及金融　松崎藏之助撰　大正四　洋・中　一　タ　一　三五八四
海外金融市場　堀江歸一撰　明治四〇　洋・中　一　ネ　四　一三三五
海外金融市場　堀江歸一撰　明治四〇　三版　洋・中　一　ネ　四　一二六九
會社金融論　獨・シュマーレンバッハ撰・鍋島達譯　昭和七　洋・中　一　ネ　四　三六五四
開城ノ時邊ニ就テ　尾崎俊雨編　昭和四　洋・中　一　ネ　四　三五二一
貸付擔保品トシテノ倉庫貨物　米・リード撰・東京銀行集會所譯　（明治三）　洋・中　（東京銀行集會所特別調査本）　一　ネ　四　三八二四
各國インフレーション形態の研究　細野孝一撰　昭和八　洋・中　一　ネ　四　三六九六
金と物　武藤山治述・國民同志會調査部編　昭和五　洋・小　一　ネ　四　三五九八
株式社債年鑑　昭和九至一二年版　山一證券株式會社調査部編　昭和八至一一　洋・中　四　ヨ　一〇　三五〇三
株式年鑑　明治四三・大正三至六・八至一三・昭和六至一二年度　野村商店・大阪屋商店編　明治四五至昭和一一　洋・中　三〇　ヨ　一〇　三四五六
貨幣及び金融政策の將來　町田義一郎抄譯　昭和一一　洋・中　（金融研究會叢書本）　一　ネ　四　二八〇七
貨幣金融及物價の史的研究　近世英國金融史論　春日井薰撰　昭和二　洋・中　一　ネ　四　二四三四
貨幣金融統計資料解說　現代金融經濟全集編輯部編　昭和一〇　洋・小　（現代金融經濟全集）　一　ネ　四　二七三五　三四
貨幣と金融　松崎壽撰　大正九　洋・中　一　ネ　四　二八六三
閉島ノ貿易及金融狀況　鈴木源之助編　大正四　洋・大　（朝鮮銀行月報附錄集）　一　ヨ　一　七七二　三
廣東金融機關　吉江雄吉撰　大正八　洋・中　一　ネ　四　三四七三
生絲金融調査　內藤章編・東京高等商業學校刊　大正四　洋・中　（調査部報告本）　一　ネ　四　三三八〇
生絲金融と外國爲替　三代幸撰　大正一二　洋・中　（橫濱正金銀行）調査報告）　一　ネ　四　二八四九　五
企業金融論　林健二撰　昭和一一　洋・中　（商學全集本）　一　ネ　四　三七九五
同　一　ネ　四　二八〇一
企業金融論　不破棄一郎撰　昭和一一　洋・小　（現代金融經濟全集）　一　ネ　四　三七三五　四
起債市場論　飯田清三撰　昭和一〇　洋・小　（現代金融經濟全集）　一　ネ　四　三七三五　一七
紀州家名目金　菅野和太郎撰　洋・中　（續大阪經濟史研究）　一　ヨ　四　三四八四　二
季節金融に關する調査　日本勸業銀行調査課編　昭和三　洋・中　一　ネ　四　三四九五

金解禁を中心とせる我國經濟及金融　山室宗文撰　洋・小（經濟學全集）　一冊　ヨ一　三四九三　五〇
幣制改革後の影響金貨本位の日本　增田義一撰　明治三〇　洋・中　一　ネ四　三六六
幣制改革後の影響金貨本位の日本　增田義一撰　明治三〇　三版　洋・中　一　ネ四　三七四
銀行及金融　松崎壽撰　大正一二　洋・中　一　ネ四　三〇八〇
銀行及金融研究　松崎壽撰　大正一一　洋・小　一　ネ四　二八一三
銀行其の他金融業の發達　木村恒夫撰　洋・中（日本資本主義發達史講座）　一　ヨ四　三四四六　四四
金錢債務臨時調停法と營業無盡の機構に就いて　全國無盡集會所刊　洋・中　一　ネ四　三六四四
金本位の作用・殊に金融との關係　山崎覺次郎撰　昭和七　洋・中（啓明會講演集）　一　イ四　一二八三　五
金本位の後に來るもの　附錄姉妹書への批評文一〇篇　高島佐一郎撰　昭和七　洋・中　一　ネ四　三六四三
金融　小平權一撰　洋・中（產業組合講習錄）　一　ヨ二一　三三〇九　二
金融　田口卯吉撰・大內兵衛編　昭和二　洋・中（鼎軒田口卯吉全集）　一　イ四　一二三七　九
金融及信託　細矢祐治撰　大正一三　洋・中　二　ネ四　三一七六
金融界最近の趨向　明石照男逸・金融研究會刊（昭和六）　洋・小（講演集本）　一　ネ四　三六〇四
金融合作社に就て　國務院總務廳情報處刊　康德三　洋・小（滿洲國大系）　一　カ一　三七二九　一七
金融機關を利用する犯罪　末次梧郎撰　洋・中（司法研究）　一　ワ一　六三二七　一三
金融機關の綜合的研究　沖中恒幸撰　大正一四　洋・中　一　ネ四　三三一六
金融機構論　附錄我が國に於けるインフレーション　小島昌太郎撰　昭和九　洋・中　一　ネ四　三七〇四
金融業會計　太田哲三撰　昭和八　洋・中（會計學全集）　一　ネ一〇　三四二九　一〇
金融組合及金融組合聯合會概觀　朝鮮經濟協會編　大正一三　洋・中　一　ヨ二一　三一七七
金融組合及金融組合聯合會概況　朝鮮經濟協會編　大正一四・一五　洋・中　二　ヨ二一　三三七四
金融組合概況　朝鮮總督府刊　大正一〇　洋・中　一　ヨ二一　三〇三七
金融組合關係例規集　朝鮮經濟協會編　昭和二　改增三版　洋・小　一　ヨ二一　三三八七
金融組合に關する逸話　朝鮮總督府財務局理財課編　大正一二　洋・小　一　ヨ二一　三四六九
金融組合要覽　第一・二次（大正一〇・三年）朝鮮總督府財務局編　大正一一・一三　洋・大　二　ヨ二一　三一七一　一一二
金融組合統計年報　昭和八年度　朝鮮金融組合聯合會調査課編　昭和九　洋・大（金融組合要覽ノ改題）　一　ヨ二一　三一七一　一三
金融經濟講義　飯島幡司撰　大正一一　洋・中　一　ネ四　三〇六〇
金融經濟講義　小林新撰　大正一五　洋・中　一　ネ四　三四二八
金融經濟講義　小林新撰　昭和四　三版　洋・中　一　ネ四　三六四二
金融經濟情報　昭和一一年上期　日本勸業銀行調査課刊　昭和一一年　洋・大　一　ネ四　三八一五
金融經濟總論　森川太郎撰　昭和九　洋・中　一　ネ四　三七〇五
金融經濟大綱　附錄金融關係法規外二篇　小林新撰　昭和一〇　三版　洋・中　一　ネ四　三七七一
金融經濟統計　昭和元至一〇年　日本勸業銀行調査課刊　昭和一一　洋・大　一　ネ四　三七八三
金融經濟の諸問題　高島佐一郎撰　大正一一　洋・中　一　ネ四　三〇九八
金融經濟論　飯島幡司撰　大正七　洋・中　一　ネ四　二七〇二
金融事項參考書　明治二六至昭和一〇年（明治三五至三九・四一至大正一一・一三至昭和一一各年調）　大藏省理財局編　明治三五至昭和一一　洋・大　三　ネ四　一一三三

金融事項參考書　大正三年七月調・外國之部　第一至三卷　大藏省理財局編　三　ネ四　七七二
金融事項參考書　明治二八至四五年（明治二八・大正二年調）　大藏省理財局編　二　ネ四　九〇二
金融事項參考書　明治二八至四五年（明治四四・四五各年調）　大藏省理財局編　洋・大　二　イ一三　二八〇
金融事項參考書　明治二八至三八年（明治三八年調）　大藏省理財局刊　明治三八　洋・大　一　ネ四　一七八五
金融市場ノ近狀　日本銀行調査局編（大正九）　洋・中（日本銀行調査局調査書）　一　ヨ一　九四六　一一
金融市場の近狀　日本銀行調査局編　洋・中（日本產業資料大系）　一　ヨ五　二四一三　九
金融市場の世界的動搖　經濟批判會譯　昭和八　洋・小（世界經濟叢書本）　一　ネ四　三六七〇
金融市場の特質一斑　松崎壽撰・大阪高商銀行業務研究室刊　大正一五　洋・中（調査報告）　一　ネ四　二九四五　二
金融指標としての日本銀行週報　二寸丁三撰　洋・中（山口高等商業學校創立記念論文集）　一　ネ一　三七四九
金融資本と帝國主義　猪俣津南雄撰　洋・小（猪俣津南雄經濟學全集ノ內マルクス經濟學說の發展上）　一　ヨ一　二四九三　二七
金融資本論　猪俣津南雄撰　大正一四　洋・小　一　ネ四　三二九四
金融資本論　獨・ヒルファディング撰・林要譯　昭和六　洋・小（社會思想全集）　一　ネ四　三七四五　三五
金融政策　高島佐一郎撰　洋・小（經濟學全集ノ內經濟政策下）　一　ヨ一　二四九三　一六
金融制度の改善問題　松崎壽撰・大阪高商銀行業務研究室刊　大正一五　洋・中（調査報告）　一　ネ四　二九四五　二
金融統計年鑑　藤本ビルブローカー銀行調査部編　大正九至昭和二　洋・大　一　ネ四　二八五五
金融統計年鑑　藤本ビルブローカー銀行調査部編　大正一五　洋・大（藤本ビルブローカー銀行週報附錄）　一　ネ四　二四〇四
金融統制論　高島佐一郎撰　昭和六　洋・中（商學全集本）　一　ネ四　三六一一
金融統制論　高橋龜吉撰　昭和一〇　洋・小（現代金融經濟全集）　一　ネ四　三七三五　八
金融動態論　附錄公債政策の金融に及ぼす影響　小島昌太郎撰　昭和一〇　洋・中　一　ネ四　三七五五
金融と會計　野本悌之助撰　洋・中（經營學全集）　一　ヨ一　三七六〇
金融讀本　西野喜與作撰　昭和七　洋・小　一　ネ四　一七八五
金融に就いて　田尻稻次郎撰　明治三四　洋・中　一　ネ四　二六〇六
金融日誌　昭和六年下半期至一二年四月　金融研究會刊　洋・中（金融資料）　三　ネ四　二八三三　一一三
金融の基礎知識　高橋龜吉撰　大正一四　洋・中　一　ネ四　三二九六
金融の原理　附歐洲戰時の金融問題一斑　高島佐一郎撰　大正四　洋・中　一　ネ四　二六一六
金融の見方　同交會經濟研究部撰　大正一三　洋・小　一　ネ四　三一八四
金融法規大全　岸榮作編　明治三〇　洋・小　一　ネ四　一二三
同
金融問題　井上準之助撰　洋・中（現代產業叢書）　一　ネ四　三九八
金融問題　井上準之助撰　洋・中（社會經濟體系）　一　ヨ一　三四一六　三
金融問題　牧野輝智撰　洋・中（大思想エンサイクロペヂア）　一　イ四　一一三五　一六
金融問題と其對策　松崎壽撰　大正一四　洋・小　一　ネ四　二六八八
金融六十年史　東洋經濟新報社編　大正一三　洋・中（東洋經濟叢書本）　一　ネ四　三五七三
金融論　佐々木雄二郎撰　明治三七　洋・中（帝國百科全書）　一　イ四　五一一　一〇一
金融論　橋爪明男撰　昭和一〇　洋・小（現代金融經濟全集）　一　ネ四　三七三五　一
金融論　濱田健次郎講（專修學校講義錄）　洋・中　一　ネ四　三三

			冊	類	號
金融論	牧野輝智撰 昭和五 洋・中	（現代經濟學全集）	一	ヨ	一二四九四一四
金輸出再禁止後の我國金融事情		（金融研究會編 昭和一二） 洋・中 （金融研究會）調書）	一	ネ	四 三五一一二
金利概論	高城仙次郎撰 昭和四 洋・中		一	ネ	四 三五二三
金利低下の諸作用	望月乙彦商店調査部編 昭和三 洋・小	（望月商店調査叢書）	一	ヨ	一 三四七七二
熊本縣ノ農村金融概要	（日本銀行熊本支店編 大正七） 洋・中	（日本銀行調査局調査書）	一	ヨ	一 九四六一一
經營金融論	室谷賢治郎撰 昭和一〇 洋・中	（經營學全集本）	一	ネ	四 三七五二
經營とインフレーション	日本經營學會編 洋・中	（經營學論集）	一	ネ	二 三四七三八
金融とインフレーション					
インフレーションと銀行信用	春日井薫				
生命保險に對するインフレーションの影響とその對策	末高信				
金本位停止下の爲替相場に關する一考察	金原賢之助				
貿易とインフレーション					
近時爲替相場と變動條件に關する統計的研究	柴田銀次郎				
インフレーションと貿易との關係	竹島富三郎				
會計とインフレーション					
インフレーション下に於ける會計處理に就ての若干回想	小宮山敬保				
實質資本維持會計の本義	不破貞春				
インフレーションと企業の評價に就て	室谷賢治郎				
貨幣價値變動期の經營分析	高瀬莊太郎				
經濟及金融	附錄信託要義 大正三 洋・中	井上辰九郎撰・菊池曉汀編	一	ヨ	一 二五二九
經濟學文獻大鑑	貨幣金融編 昭和一〇・一二 洋・大	大阪商科大學經濟研究所刊	二	ヨ	一 三七五二二三
慶尙北道ノ鑛業ト金融	中野滋編 大正六 洋・中	（朝鮮銀行調査局調査書・調甲）	一	ヨ	一 九二一二
ケーンズ金融理論概說	吉田寬撰 昭和八 洋・中		一	ネ	四 三六七一
公社債要覽	大正一〇年 大正一〇 洋・大	大阪野村銀行調査部編	一	タ	八 三〇四五
濠洲の產業金融及貿易	安西千賀夫撰 （大正九） 洋・中		一	ヨ	一 二六〇〇
同			一	ヨ	一 二六〇一
同			一	ヨ	一 三五二一
國際金融	牧野輝智撰 洋・中 （社會經濟體系）		一	ヨ	一 三四一六
國際金融	附錄外貨公債發行目論見書外四項 昭和五	森賢吾述・金融研究會刊 洋・小 （講演集本）	一	ネ	四 三五八〇三
國際金融市場	英・ローズェンレード撰 明治三七 洋・中	東京銀行集會所譯 （東京銀行集會所特別調査）	一	ネ	四 一四九九一
國際金融總論	金原賢之助撰 昭和六 洋・小	（世界經濟問題叢書）	一	ネ	四 三六一五
國際金融と我が國策	服部文四郎撰 洋・中	（早稻田大學經濟學會經濟學研究）	一	ヨ	二 三〇〇九
國際金融問題	青木一男撰 洋・中	（大思想エンサイクロペヂア）	一	イ	四 一二三五一六
國際金融論	井川忠雄撰 昭和一〇 洋・小	（現代金融經濟全集）	一	ネ	四 三七五一〇
國際經濟と金融	服部文四郎撰 昭和一〇 洋・中		一	ネ	四 三七六七
國際經濟と金融	服部文四郎撰 昭和一一 三版 洋・中		一	ネ	四 三八一一
國際決濟銀行と世界恐慌	田中鐵三郎述・金融研究會刊 （大正八） 洋・小	（講演集本）	一	ネ	四 三六八七
國際資本及金融爭覇戰	金原賢之助撰 洋・中	（世界經濟問題講座）	一	ヨ	一 三六五五
國際貿易と金融	服部文四郎撰 大正一五 洋・小	（文明レクチュア本）	一	ネ	三 三四一三
國民銀行論	英・ウオルフ撰・東京專門學校編輯部譯 明治三〇 洋・中	（早稻田叢書本）	一	ヨ	一一 三七一
國民銀行論	英・ウオルフ撰・東京專門學校編輯部譯 明治三三 三版 洋・中	（早稻田叢書本）	一	ヨ	一一 六四三
國民銀行論	英・ウオルフ撰・柏原文太郎譯 明治三四 四版 洋・中	（早稻田叢書本）	一	ヨ	一一 一三四九
最近主要金融統計	藤本ビル・ブローカー銀行調査編部 大正八 洋・小	（藤本叢書本）	一	ネ	四 九一六二
最近に於ける勞農露國金融機關の概況	二關壽郎撰 大正一四 洋・中	（橫濱正金銀行調査報告）	一	ネ	四 二八四九六
最近の爲替と國際金融	大島堅造撰 昭和一〇 洋・中		一	ネ	四 三七五六
最近の金融學說	銀行研究社刊 昭和一〇 洋・中	（銀行研究特輯號）	一	サネ	二九一六
最近の金融事情	東京商工會議所刊 洋・中	（支那經濟事情に關する調査）	一	ヨ	一 三八二四一
四期拂五分利債券現價表	大藏省編 昭和二 洋・大		一	ネ	四 三四五六
低利率二期拂債券現價表	附佛貨四分利公債額面百圓當り換算價格表 日興證券株式會社刊 昭和一〇 洋・小		一	ネ	四 三七五七
財政と金融	田尻稻次郎撰 明治三四 洋・中		一	タ	一 一七九
財政と金融	田尻稻次郎撰 明治四二 訂增一八版 洋・中		二	タ	一 三五八二
財政と金融	田尻稻次郎撰 大正五 訂增二八版 洋・中		二	タ	一 三五九四
財政と金融に關する若干の問題	馬場鉄一述・金融研究會刊 洋・小 （講演集本）		一	ネ	四 三七六三
產業組合金融	小平權一撰 昭和一一・一二 洋・小	（產業組合全書本）	二	ヨ	一一 三四六一
〔產業組合中央金庫〕開業滿三箇年業務經過概要	同金庫刊 洋・中		一	ヨ	一一 三三九六
〔產業組合中央金庫〕業務報告書	昭和八年後半期至一一年前半期 同金庫刊 洋・大		六	ヨ	一一 三四四八
產業組合中央金庫十年誌	同金庫刊 昭和九 洋・大		一	ヨ	一一 三四三四
產業組合と金融	藤本ビル・ブローカー銀行調査部編 大正一三 洋・小 （藤本ビルブローカー銀行週報附錄）		一	ネ	四 三八一八一
產業組合文獻集	產業組合中央會編 昭和二 洋・中		一	ヨ	一一 三三八五
信用組合論	平田東助・杉山孝平	信用組合論（高橋昌・横井時敬）			
信用組合提要	附錄・傘松信用組合定款	（品川彌二郎・平田東助）			
「信用組合提要」第二版增補	（同上）				

産業と金融の聯絡	小倉文吉撰 大正四 洋・中	冊 一	類 ヨ 一	號 一五六一
市街地信用組合概況 大正一〇至昭和三年度 大正一二至昭和四	大藏省銀行局編 洋・大	八	ヨ 二	三一二六
市街地信用組合經營事例	產業組合中央會刊 昭和三・六 洋・中 (產業組合調査資料)	二	ヨ 二	三一三五 一七・三〇
市街地信用組合調 大正一二年末現在	大藏省銀行局編 洋・中	一	ヨ 二	三一三一
市街地信用組合論	廣瀨豐作撰 洋・中 (產業組合講習錄)	一	ヨ 二	三一三〇九 一
時局ノ推移ト世界金融市場	井上準之助撰 大正八 洋・中	一	ネ 四	二八〇三
市設質舖の利用狀況に關する調査	大阪市社會部刊 昭和二 洋・中 (大阪市社會部報告)	一	ヨ 九	三〇五一 七三
質屋業ノ統計調査	東京市統計課編 大正一五 洋・中	一	ネ 四	三四〇六
質屋公營論 附錄公益質庫制度要項	前田稔靖撰 昭和二 洋・小	一	ネ 四	三四四〇
最質屋之研究	小笠原繁夫撰 大正二 洋・小	一	ネ 四	一八四一
新質屋之研究	小笠原繁夫撰 大正二 再版 洋・小	一	ネ 四	二七三三
實踐金融論	高橋龜吉撰 昭和九 洋・中	一	ネ 四	三七〇七
支那貨幣・金融發達史	廣畑茂雄撰 昭和一一 洋・中	一	ネ 四	三八〇三
支那金融機關	東亞同文會調査編纂部編 大正八 洋・中	一	ネ 四	二七九四
支那金融資本論 附錄中國對外貿易表外七表 小林幾次郎譯	民國・王承志撰 昭和一一 洋・小	一	ネ 四	三七九九
支那に於ける無盡の慣習	山田弘之譯編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和三 洋・中 (パンフレット)	一	ヨ 一	三三四三 五
支那の金融と通貨	井村薰雄撰 大正一三 七版 洋・中	一	ネ 四	三一八三
同		一	ネ 四	三三五九
支那の産業と金融	田中忠夫撰 大正一〇 洋・中	一	ヨ 一	二九五一
支那の借款金融政策	附錄支那長期對外借款契約正文彙集 豐田多賀雄撰 大正七 洋・中	一	ネ 四	二七三
島根縣下農業金融ノ概況 (大正七)	(日本銀行松江支店編 洋・中 (日本銀行調査局調査書))	一	ヨ 一	九四六 一
社會問題と金融政策	松崎蓊撰・大阪高商銀行業務研究室刊 大正一五 洋・中	一	ネ 四	二九四五 二
社債狀況 大正一二・昭和二至六年	日本興業銀行調査課刊 洋・小・中	五	ヨ 一〇	三四〇九
社債の十年	日本興業銀行編 大正一〇 洋・小	一	ヨ 一〇	三四〇六
瓜哇金融及日瓜貿易	農商務省商工局編 大正七 洋・大 (商工彙纂本)	一	ネ 四	三八四三
上海の金融機關 上海に於ける外國爲替及金融	滿鐵東亞經濟調査局刊 昭和二 洋・中 (經濟資料)	一	ヨ 一	二九五三 二七
準備銀行と金融市場	米・バーダエス撰・東京銀行集會所譯 昭和四 再版 洋・中	一	ネ 四	三五三〇
小額金融制度論	井關孝雄撰 昭和八 洋・小	一	ネ 四	三六四四
商業證券の運用	高橋德太郎撰 大正一一 洋・小	一	ネ 四	二八〇七
證券利廻りの研究	望月乙彥商店調査部編 昭和二 洋・小 (望月商店調査叢書)	一 折	ヨ 一	三四七七 一
掌中割附便覽	太田定保訂考 文化一〇	一	ネ 四	九二八
庶民銀行	井關孝雄撰 昭和六 洋・小	一	ネ 四	二七九四
庶民金融談 附各國金融組合制度考	小林丑三郎撰 大正三 訂正三版 洋・中	一	ネ 四	三〇四八
庶民金融難と其の改善	前田榮一撰 洋・中 (大思想エンサイクロペヂア)	一	イ 四	一一三五 一六
清國商業慣習及金融事情	上海東亞同文書院刊 明治三七 洋・中	一	ネ 一	三七六
新市域中小商業者の金融調査について	矯谷善一撰 洋・中 (東京商業組合中央金庫編 本邦商業學術界大學 二十周年記念論文集)	一	ネ 一	三七五〇
農村市街地信用組合金融事情調査 第二至四回 大正一五至昭和三	產業組合中央金庫編 洋・中	三	ヨ 二	三三九七
信用組合事業の經營	佐藤寬次撰 洋・中 (產業組合講習錄)	一	ヨ 二	三三〇九 一
信用組合談	加納久宜撰 洋・中 (產業組合講義錄)	一	ヨ 二	三一九
增補再版 信用組合提要	品川彌二郎・平田東助撰 明治二九 洋・中	一	ヨ 二	四八六
信用組合提要 第二版增補添	品川彌二郎・平田東助撰 洋・中 (產業組合文獻集)	一	ヨ 二	三三八五
信用組合論	高橋昌・橫井時敬撰 洋・中 (產業組合文獻集)	一	ヨ 二	三三八五
信用組合論	佐藤寬次撰 昭和五 洋・中	一	ヨ 二	三四一六
信用組合論	平田東助・杉山孝平撰 明治二四 洋・中	一	ヨ 二	二六九
信用組合論	平田東助・杉山孝平撰 洋・中 (產業組合文獻集)	一	ヨ 二	三三八五
信用調査部の組織と運用	銀行研究社編 昭和四 洋・中	一	ネ 四	三五一八
製絲金融に關する調査	臨時產業調査局第一部第三課編 大正八 洋・中 (臨時財務會議・臨時產業調査局 調査資料)	一	ヨ 一	一八三七 一二
製絲金融の現況	橫濱商業會議所調査部刊 昭和二 洋・中 (調査資料)	一	ネ 一	三五九四 二
生命保險會社の金融的發展	小野清造撰 昭和一一 洋・中	一	ネ 五	三五〇一
生命保險業の社會的竝びに金融的職能	關乾治撰 洋・中 (經濟學講演集)	一	ヨ 二	三四五一
生命保險經營に於ける投資情勢	山一證券株式會社調査部刊 昭和一〇 洋・中	一	ネ 五	三四八六
生命保險と金融	(金融研究會編 昭和四) 洋・中 (金融研究會) 調書)	一	ネ 四	三五二 三
世界經濟の動向と日本の金融	青木得三述 昭和一二 洋・中 (帝國銀行會講演集)	一	イ 四	二八二 一二
世界戰爭と金融機關	米山梅吉撰 洋・中 (經濟時事講演集)	一	ヨ 一	二七三四 一
世界戰爭ニ於ケル主要交戰各國金融事項要覽	大藏省臨時調査局金融部編 大正八 洋・大	一	ネ 四	二七二
全國公社債明細表 第一一至二〇 二二至四三	日本興業銀行調査課編 大正五至昭和一二 洋・中・大	三三	タ 八	二六八八
全國社債明細表	大正二至四年 日本興業銀行編 洋・大	一	ヨ 一〇	二五二一
全國無盡會社要覽	昭和三年度上半期至一一年末現在 全國無盡會社集會所編 昭和四至三 洋・小 一〇	一	ネ 四	三五二五
戰後に於ける我國の經濟及金融	井上準之助撰 大正一四 三版 洋・中	一	ヨ 一	三四四三
戰後に於ける我國の經濟及び金融	井上準之助撰 洋・中 (井上準之助論叢)	一	ヨ 一	三七八八 一
戰時經濟とインフレーションドイツ・マルクの混亂より安定まで	附錄ドイツ經濟政策の諸原理 獨・シャハト撰・越智道順譯 昭和一〇 洋・小	一	ネ 四	三七六五
戰時に於ける米國金融事情	見城重平撰 洋・中 (戰時經濟財政調査報告)	一	タ 一	二八〇〇 一
對歐輸出貿易金融問題	日本銀行紐育代理店監督役編 (大正九) 洋・中 (日本銀行調査局調査書)	一	ヨ 一	九四六 一三
大邱ニ於ケル令市ト金融ノ關係	飯泉幹太編 洋・大 (朝鮮銀行月報附錄集) 明治四五	一	ヨ 一	七七三 一
生命保險會社の金融的發展	(經濟調査會刊 大正五) 和・大	一	ネ 四	三三七七
大戰後の世界金融史	陽馬尼斯・アインツイヒ撰・木村奉海譯 昭和一〇 洋・中	一	ネ 四	三七五九
臺灣金融事項參考書	第一至九次 臺灣銀行刊 明治三五至大正三 洋・大	二	イ 一三	三三一
臺灣金融事項參考書	第三・六至九・一一至一六次 臺灣銀行刊 明治三七至大正二 洋・大 一〇	一	ネ 四	一八六六
臺灣金融事項參考書	第七次 臺灣銀行刊 明治四二 洋・大	一	ネ 四	一八六七
臺灣金融小史	臺灣商工銀行刊 洋・小	一	ネ 四	二五四六
賴母子講及之に關する犯罪の研究	藤原來作撰 洋・中 (司法研究)	一	ワ 一	六三七 一〇

賴母子講と其の法律關係（附錄賴母子講規約の例示外一項）	由井健之助撰 昭和九 洋・中	一	ネ四	三七五八	一
賴母子講の法律關係	由井健之助撰 昭和九 洋・中（司法研究）	一	ワ一 六三二七		
〔地方金融組合會〕會員名簿	大正五年末現在 同會刊 大正五 洋・小	一	ヨ二一	二六七三	
中國最近金融史（附錄國民政府の通貨變革とその將來）	濱田峰太郎撰 昭和一一 洋・小	一	ネ四	三七七三	
中小工業金融機關としての貯蓄銀行及無盡	松崎壽撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報）	一	ヨ一	三六三五 四	
中小工業の金融に就て	藤原銀次郎述・金融研究會刊 昭和一二 洋・小（講演集本）	一	ネ四	三八一四	
同		一	ネ四	三八四七	
中小商工業金融と我國金融機關の現狀	東京商工會議所刊 昭和四 洋・中（商工調査本）	一	ネ四	三五四七	
中小商工業金融の改善策	東京商工會議所刊 昭和二 洋・中（商工資料本）	一	ネ四	三八一三	
中小商工業金融の現狀と諸改善案	西尾豐編 昭和五 洋・小	一	ネ四	三五八五	
中小商工業者の金融問題（業者側から見た）	東京市役所刊 昭和一〇 洋・中（中小商工業振興調査會資料本）	一	ネ四	三七七六	
中小商工業・庶民金融論	井關孝雄撰 昭和一〇 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ四	三七三五 五	
中小商工業金融改善策に關する資料	日本商工會議所刊 昭和七 洋・中（調査資料本）	一	ネ四	三八三八	
中小農商工業者に對する金融に就て	梶原仲治述・金融研究會刊 昭和七 洋・小（講演集本）	一	ネ四	三六四五	
朝鮮金融事項參考書（大正一二年調（續年））	朝鮮總督府財務局刊 大正一三至昭和一〇 洋・大	七	ネ四	三二三四	
朝鮮金融事情概觀	昭和一二年 朝鮮殖産銀行調査課刊 洋・大	二	ネ四	三四六六	
通貨の種別と金融	井村薰雄撰 昭和二 洋・小（支那財政經濟大系）	一	ヨ一	三四〇八 四	
都市及農村に於ける不動産抵當起債高（附錄道府縣別各都市不動産抵當起債高等）	日本勸業銀行調査課編 昭和四 洋・中	一	ネ四	三五五三	
帝都經濟復興と不動産金融問題	東京商工會議所刊 昭和四 洋・中（商工調査本）	一	ネ四	三七五六	
天保十四年の御用金につき	幸田成友撰（東京商科大學記念論文集） 洋・中（創立五十周年）	一	ネ一	三五六一	
獨逸金融組織論（附錄引用項目索引外一項）	楠見一正・島本融撰（財政金融研究會紀要本） 昭和一〇 洋・中	一	ネ四	三七五一	
同		一	ネ四	三七五三	
獨逸戰後の財政と金融	高城仙次郎撰 大正一三 洋・小	一	タ一	三二四三	
獨逸に於ける保證協會に就て	工藤昭四郎撰・東京商工會議所刊（商工資料本） 昭和一一 洋・中	一	ネ四	三八二六	
獨逸の産業組合金融に於ける保證金額見返貸付制度	獨・ヒルデブラント撰・産業組合中央金庫抄譯 昭和三 洋・中	一	ヨ一一	三四〇六	
東京市内小商工業金融調査資料	根本清六撰 大正七 洋・中	一	ネ四	二二九四	
東京市に於ける中小商業金融實地調査	昭和一一年 國政研究會編 昭和一二 洋・中	一	ネ四	三八三五	
東西コール市場の特質	藤原泰撰 洋・中（大阪商科大學經濟研究年報）	一	ヨ一	三六三五 一〇	
統制金融と自由金融	高橋龜吉撰 昭和一一 洋・中	一	ネ四	三七九〇	
東北地方に於ける水産金融策	渡邊東雄撰 洋・中（産業に關する懸賞論文）	一	ヨ一	三四九五	
東北地方に於ける特殊金融策	小橋堯作撰 洋・中（産業に關する懸賞論文）	一	ヨ一	三四九五	
東北地方に於ける特殊の金融	花田至明撰 洋・中（産業に關する懸賞論文）	一	ヨ一	三四九五	
特殊金融機關史論	石濱知行撰 昭和（二） 洋・中（日本政治・經濟研究叢書本）	一	ネ四	三八四五	
特殊金融機關論	青木得三撰 昭和一〇 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ四	三七三五 二〇	
都市金融概況	東京市政調査會編 洋・中（日本産業資料大系）	一	ヨ五	三四一三 九	
取引所と金融市場との關係	河合良成述・全國經濟調査機關聯合會刊（大正一二） 洋・小（彙報別冊本）	一	ネ四	一〇六一	
南支南洋金融機關一覽表	臺灣銀行調査課刊 大正一〇 洋・中	一	ネ四	三四七四	
南洋華僑ト金融機關	漢譯文添 臺灣銀行刊 大正三 洋・中	一	ヨ一二	二五七六	
南洋ニ於ケル華僑	附爲替關係 齋藤完治編・臺灣銀行刊 大正三 洋・中	一	ヨ一二	二五七七	
日英米金融事情	兒玉謙次述・金融研究會刊（昭和四） 洋・小（講演集本）	一	ネ四	三五四二	
同		一	ネ四	三五四三	
日露戰爭ト歐洲金融界（日露戰役及歐洲大戰前後ノ金融事情參考資料）	三菱合資會社資業課刊 大正八 洋・大	一	ネ四	二七八三	
日露戰爭ト歐洲金融界	園ヘルフェリッヒ撰・東京銀行集會所譯 明治四〇 洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 二	
二宮尊德と報德社運動	奥谷松治撰 昭和一一 洋・小	一	又六	五〇六二	
日本銀行と金融市場	三村稱平撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ四	三七六〇	
日本金融經濟史の研究	栗栖赳夫撰 昭和二 洋・中	一	ネ四	三四三五	
同		一	ネ四	三五四九	
日本金融史	石橋湛山撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ四	三七三五 一二	
日本金融史	石橋湛山撰（經濟學全集） 洋・小	一	ヨ一	三四九三 三二	
日本金融市場論	大島堅造撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ四	三七三五 一三	
日本金融資本發達史	野村順之助撰 昭和六 洋・中	一	ヨ四	三四三八	
日本金融資本論	小島精一撰 昭和四 洋・中	一	ヨ一〇	三四二四	
日本金融史論（稿本）	瀧澤直七撰 大正元 洋・中	一	ネ四	二四三八	

日本金融制度發達の研究	栗栖赳夫撰 昭和四 洋・中	一	ネ四	三五一九	
日本金融網の話	長谷川光太郎撰 昭和一〇 洋・小	一	ネ四	三七四〇	
同		一	ネ四	三七四一	
日本金融論（附錄參考統計表外一編）	高橋龜吉撰 洋・中	一	ネ四	三六一七	
日本信用組合論	宇佐美力撰 明治四四 洋・中（最近經濟問題）	一	ヨ一二	一九一二 一六	
日本の季節金融	森田優三撰 昭和一〇 洋・中（現代金融經濟全集）	一	ネ四	三七三五 一四	
日本の金融市場	高橋龜吉撰 洋・小（經濟學全集ノ內現代日本經濟の研究下）	一	ヨ一	三四九三 四七	
日本の國際金融	服部文四郎撰 洋・小（經濟學全集ノ內現代日本經濟の研究下）	一	ヨ一	三四九三 四七	
日本兩替金融史論	松好貞夫撰 昭和七 洋・中	一	ネ四	三六四八	
紐育ニ於ケル「コールローン」	淺田振作撰 洋・中（橫濱正金銀行調査報告） 大正一一	一	ネ四	二八四九 四	
紐育「ブローカースローン」に就て	清水五郎撰（橫濱正金銀行調査報告） 昭和四 洋・中	一	ネ四	二八四九 九	
農業金融	牧野輝智撰 大正一五 洋・小（農村問題大系本）	一	ネ四	三五四九	
農業金融論	伊藤清藏撰 明治三三 洋・中	一	ヨ一	一六六	
農村金融要覽（第一回）	農林省經濟更生部刊 昭和一二 洋・大	一	ネ四	三八一二	
農村庶民金融	石坂橘樹撰 昭和七 洋・中	一	ヨ七	三五〇四	
哈爾濱に於ける通貨及金融機關	南滿洲鐵道編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和四 洋・中（パンフレット本）	一	ネ四	三五三四	
哈爾濱に於ける通貨及金融機關	南滿洲鐵道編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和四 洋・中（パンフレット）	一	ヨ一	三三四三 七	
尾州家名目金（近江商人の金融力）	菅野和太郎撰・舊規高等商業學校調査課刊 洋・中（調査研究本）	一	ヨ五	三四二一	

尾州家名目金	菅野和太郎撰 洋・中（續大阪經濟史研究）	一	ヨ 四	類	號
肥料金融等ニ關スル調査	産業組合中央會編 昭和九 洋・大	一	ネ 四	三七二五	自設立當年至昭和二十四年 千九百二十四年
同		一	ネ 四	三七二六	
不正金融と之に關聯する犯罪の研究	星野武雄撰 昭和九 洋・中（司法研究）	一	ワ 一 四二	六三二七	
普通銀行ニ於ケル不動産抵當貸付金調査	大正一四至昭和二各年末現在 日本勸業銀行調査課編 昭和三至六 洋・大	三	ネ 四	三四九四	
復興金融の諸問題	松崎壽撰・大阪高商銀行業務研究室刊 大正一三 洋・中（調査報告）	一	ネ 四	二九四五 一	
佛領印度支那金融事情	田名瀬勝吉編（昭和四） 洋・中（南支那及南洋調査）	一	ル 五	二五三九 一七	
不動産金融	馬場鉄一述・金融研究會刊（昭和一〇） 洋・小（講演集本）	一	ネ 四	三六八五	
不動産金融機關論	杉本正幸撰 昭和一一 洋・中	一	ネ 四	三七七〇	
不動産金融に關する調査	日本商工會議所編 昭和三 洋・中（調査資料本）	一	ネ 四	三五五九	
不動産金融の知識	附錄世界經濟事情の解說 貴島桃隆撰 昭和七 五版 洋・小	一	ネ 四	三六三三	
不動産金融要論	杉本正幸撰 昭和一〇 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ 四	三七三五 三	
不動産金融論	杉本正幸撰 昭和五 洋・中	一	ネ 四	三五六六	
不動産抵當個人間貸借金利調	大正一〇至昭和各年四月調・昭和九・一〇年度 日本勸業銀行調査課刊 洋・大・中	二	ネ 四	三一二	
フラン切下を中心とする國際通貨問題	後附歐米の財政經濟事情 富田勇太郎述・金融研究會刊（昭和一二） 洋・小（講演集本）	一	ネ 四	三八〇六	
佛蘭西インフレの全貌	附錄統計表等 矢野庄太郎譯撰 昭和八 洋・中	一	ネ 四	三六八八	
保證責任盛田家小作人信用組合定款	（明治四二） 洋・小	一	ヨ 二一	二一六八	
保險金融に就て	矢野恒太述・金融研究會刊（昭和九） 洋・中（講演集本）	一	ネ 四	三七二九	
保證責任盛田家小作人信用組合定款	（明治四二） 洋・小	一	ヨ 二一	二一六八	
北海道及預金貸付金高調	大正四年上半期至一五年下半期 北海道拓殖銀行刊 大正九至昭和二 洋・中	一	ネ 四	二九四八	
北海道對各地間出入金高調	大正七至九・一三至昭和元年 北海道拓殖銀行刊	二	ネ 四	二八六三	
北海道金融史	北海道拓殖銀行刊 大正一一 洋・大	一	ネ 四	三〇八一	
北海道土地抵當貸付金高調	北海道拓殖銀行刊 大正一〇 洋・大	一	ネ 四	三〇九六 九	
香港金融機關	森永義忠編・臺灣銀行調査課刊 大正九 洋・中	一	ネ 四	二九六八	
本邦金融の季節關係	田中瑞穗撰 昭和三 洋・中（橫濱正金銀行調査報告）	一	ネ 四	二八四九 九	
本邦社債略史	附表社債事業別明細表 日本興業銀行調査係編 昭和二 洋・中	一	ヨ 一〇	三五六四	
本邦不動産金融ニ關スル諸統計	大正二・四至昭和四年 日本勸業銀行調査課刊 大正一四至昭和七 洋・中	六	ネ 四	三三八八	
本邦輸出補償制度	日本貿易協會編 昭和五 洋・中	一	ネ 三	三四三三	
滿洲金融及財界の現狀	篠崎嘉郎撰 昭和二・三 洋・中	二	ネ 四	三四六三	
滿洲金融改善調査資料	滿洲商業會議所聯合會刊 大正一五 洋・大	一	ネ 四	三四一七	
滿洲金融制度竝ニ政策改善ニ關スル要請書	滿洲商業會議所聯合會刊 大正一五 洋・大	一	ネ 四	三四一五	
滿洲金融制度竝ニ政策改善ニ關スル要請書	滿洲商業會議所聯合會刊 昭和二 洋・大	一	ネ 四	三四四五	
同		一	ネ 四	三四八七	
滿洲金融統計	大連商業會議所刊 大正一三 洋・大	一	ネ 四	三三七二	
滿洲國大系	金融篇 滿洲國國務院總務廳情報處刊 康德元 洋・小	一	カ 一	三七二八 五	
同		一	カ 一	三七二九 五	

普魯西産業組合中央金庫一九二六年事業報告・株式會社ライフアイゼン銀行一九二五年事業報告	産業組合中央金庫譯（産業組合中央金庫刊 昭和二） 洋・中	一	ヨ 二一	三三九五	
平價切下論	宮田喜代藏撰 昭和一一 洋・小（新經濟全集）	一	ヨ 一	三七九六 一	
米國金融市場金利に就て	附米國銀行預金利息に關する資料（昭和九） 洋・中（金融研究會編・金融研究會調書）	一	ネ 四	三五一二 八	
米國金融組織論	今野源八郎撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ 四	三七三五 一五	
米國に於ける政府關係金融機關一覽	金融研究會刊 洋・中（金融資料）	一	ネ 四	二八三三 一	
米國に於ける社債の發行	附參木邦證保附社債信託に於ける擔保の變更 重井與吉撰 昭和三 洋・小	一	ヨ 一〇	三五六三	
米國に於ける農産物の金融に就て	內池廉吉撰 洋・中（融合高等商業學校創立二十五周年記念論文集）	一	ネ 一	三六二一	
米國の金融事情	有賀長文撰 洋・中（專修學校經濟論集）	一	ヨ 二	二六〇四	
貿易金融	兒玉謙次述 洋・中（東京商科大學創立五十周年記念講演集）	一	ネ 一	三五六五	
貿易金融方法の商學的考察	木曾榮作撰 洋・中（小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集）	一	ネ 一	三七四七	
北米學派の利子學說	高田保馬撰 洋・中（關西大學創立五十年記念論文集）	一	イ 四	一三三九	
北滿金融事情 上	小田切政孝撰 昭和二 洋・小	一	ネ 四	三四八五	
北滿に於ける特產物擔保貸出	南鄕龍音編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和四 洋・中（パンフレット）	一	ヨ 一	三三四三 七	
保險會社金融論	石坂泰三撰 昭和一〇 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ 四	三七三五 二三	
滿洲國幣制と金融	金融研究會編（昭和七） 洋・中（金融研究會調書）	一	ネ 四	三五一二 六	
滿洲地方に於ける朝鮮人の經濟及金融狀況	大正一〇年調 朝鮮銀行刊 洋・中	一	ヨ 一	二四四五	
滿洲に於ける金融經濟問題	上田恭輔撰 洋・中（支那研究）	一	ル 五	二九五三	
滿洲ニ於ケル支那側金融機關ト通貨	大谷强十次編 大正八 洋・中（滿鐵調査資料）	一	ヨ 一	九〇六 五	
滿洲に於ける通貨及金融の概要	安盛松之助編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和三 洋・中（パンフレット）	一	ヨ 一	三三四三 五	
滿洲に於ける通貨・金融の過去及現在	滿洲事情案內所編 昭和一一 洋・中（滿洲事情案內所報告本）	一	ネ 四	三七八五	
滿洲の金融機關と通貨	笠原博撰 大正八 洋・中	一	ネ 四	二八五五	
滿蒙事情總覽	金融 安盛松之助撰・改造社刊 昭和七 洋・中	一	ル 六	二九八二	
民事裁判より觀たる無盡講	熊谷直之助撰 洋・中（司法研究）	一	ワ 一	六三二七 一〇	
無產階級金融論	井關孝雄撰 昭和四 洋・小（民衆政治講座）	一	カ 一	三四六一 一二	
無產者金融機關質屋の研究	附錄質屋取締法外一項 東京市役所編 昭和六 洋・小	一	ネ 四	三五九六	
無盡業態の研究	小坂珠城撰 昭和五 洋・中	一	ネ 四	三五七〇	
無盡業發展の爲めにその反省を望む	庶民經濟研究所刊 昭和一〇 洋・小	一	ネ 四	三七七五	
無盡業法講義	大野龍太・星野喜代治撰 昭和六 洋・中（無盡講習錄本）	一	ワ 一二	六三三一	
無盡講義	池田龍藏等撰 昭和六 洋・中（無盡講習錄本）	一	ワ 一二	六三三三	
無盡と契の研究	藤戸計太撰 昭和四 洋・小（朝鮮金融經濟叢書本）	一	ネ 四	三五八一	
無盡ニ關スル調査	大藏大臣官房銀行課刊 大正四 洋・大	一	ネ 四	一四一九	
無盡むじん物語	後附開平開立早術口傳・繪入 元祿版復製・大正一五・和・中（稀書複製會刊行書本）	一	ネ 四	三七三一	
無盡むじん物語	後附開平開立早術口傳・繪入 元祿版復製・大正一五・和・中村政榮編（稀書複製會刊行書）	一	イ 四	一二一七 七	

		冊	類	號
無盡論文集 第一輯	無盡に關する一考察（栗津清亮）外九篇 全國無盡集會所編 昭和四 洋・中	一	ネ 四	三五二三
村井式無盡掛金算出法	村井健之助撰 大正六 洋・大	一	ネ 四	三三六一
明治維新前後に於ける兩替商金融	松好貞夫撰 昭和一二 洋・中（金融研究會叢書本）	一	ネ 四	三八五一
明治金融史 附參考諸表	東洋經濟新報社編 明治四二 洋・大（東洋經濟新報臨時增刊本）	一	ネ 四	一八二一
增訂改版 明治金融史 附參考諸表	東洋經濟新報社編 明治四五 四版 洋・中	二	ネ 四	二四二三
明治初期の大阪の信用組織	松好貞夫撰 洋・中（明治大阪市史論文篇）	一	リ 五	五三一八 五
明治初年大阪の御用金	本庄榮治郎撰 洋・中（明治大阪市史論文篇）	一	リ 五	五三一八 五
明治初年の御用金	本庄榮治郎撰 洋・中（明治維新經濟史研究）	一	ヨ 四	三四三〇
明治政府の貸附金	吉川秀造撰 洋・中（明治維新經濟史研究）	一	ヨ 四	三四三〇
明治前期に於ける金融問題の解說	山口茂撰 洋・中（東京商科大學六十周年記念論文集）	一	ネ 一	三七五〇
山崎教授還曆祝賀記念 經濟學研究 第二卷（金融篇）	昭和四 洋・中 矢作榮藏編	一	ヨ 一	三五一〇 二
十七世紀末以前の金融と英蘭銀行の設立	（本位田祥男）投資會社について（河津暹）			
Finanz（Finance）といふことば	（大内兵衛）コール市場に就て（明石照男）貨幣の單位に關する一考察（荒木光太郎）			
銀行券の統制	（橋爪明男） 二 日本公債論（土方成美）			
債券價格表に就いて	（佐々木道雄） ハーバードのバロメーターに就いて（和田佐一郎）			
昭和二年恐慌後の金融市場	（山室宗文）			
郵便振替貯金 郵便貯金地方別金融統計	明治四四年八月調 明治四五 洋・大 郵便貯金局刊	一	イ 一三	三四一
郵便貯金の運用	金融研究會編 昭和四 洋・中（金融研究會）調書）	一	ネ 四	三五一二 二
輸出金融保險の提唱	齋藤眞撰 大正一五 洋・中	一	ネ 三	三三六八
輸出信用の保險竝保證	上坂酉三撰 昭和三 洋・中（銀行講座本）	一	ネ 三	三三八七
輸出信用保險の組織に就て	瀧谷善一撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ 二	三四七三 四
輸出信用保證制度に就いて	其一（昭和一）金融研究會編 洋・中（金融研究會）調書）	一	ネ 四	三五一二 一
輸出信用補償論	上坂酉三撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ 四	三七三五 二
輸出補償法解說	商工省貿易局刊 昭和七 洋・中	一	ネ 三	三四五三
輸出補償法關係法規	商工省貿易局刊 昭和七 洋・中	一	ネ 三	三四五一
蘭領印度に於ける金融狀況	臺灣銀行バタビヤ支店編（昭和六） 洋・中（南支那及南洋調査）	一	ル 五	二五三九 二五
蘭領東印度に於ける農園金融について	吉田正三撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報）	一	ヨ 一	三六五三 五
利權論	遠山景賢撰 洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ 一	二五二八 一一
利權論	遠山景賢撰 洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ 一	三四八一 一七
利子歩合論	高城仙次郎撰 大正八 洋・中	一	ネ 四	二七七八
フイッシャー利子論	氣賀勘重・同健三譯 昭和一〇 洋・中	一	ヨ 二	三六二二
利子論研究	高田保馬撰 昭和一〇 洋・中	一	ヨ 二	三六二〇
リフレーションの基礎理論	米・フヰッシャー撰・大岩鑛譯 昭和九 洋・小	一	ネ 四	三七二一
利廻採算法	芳野國雄撰 昭和九 洋・小	一	ネ 一〇	三四四〇
兩替商「兩替商舊記ノ異本」	寫本 利・中	二	ネ 四	一五三二
兩替商沿革史 附古金の種類	大阪兩替商組合編 明治三六 洋・中	一	ネ 四	三四五三
兩替商沿革史 附古金の種類	大阪兩替商組合編・羽黑兵治郎校 昭和一二 洋・中（大阪商業史料集成）	一	ネ 二	三三七九 三
兩替商舊記 兩替商行司定・兩替商仲間申定書・兩替屋順和大	（大阪商業史資料）	一	ネ 二	八五八 二二
兩替商舊記 兩替商行司定・兩替商仲間申定書・兩替屋順末共	洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）	一	イ 四	七六五 四四
校註 兩替年代記	榮引附 竹原文右衞門店久兵衞撰・三井高維校註竝增補 昭和七 洋・大	一	ネ 四	三六五三 一
新稿 兩替年代記關鍵	資料篇・考證篇 三井高維編撰 昭和八 洋・大	二	ネ 四	三六五三 二一三
臨時資金調整法逐條解說	迫水久常撰 昭和一二 洋・小	一	ワ 一六	五二三六
聯邦準備條令に基く引受再割制度竝に紐育に於ける割引市場概觀	淺田振作撰 大正一三 洋・中（橫濱正金銀行調査報告）	一	ネ 四	二八四九 五
倫敦金融市場の話	植野勳譯編 大正一三 洋・小	一	ネ 四	三一八八
我國庶民金融機關改善策	石塚直撰 洋・中（東京商科大學六十周年記念論文集）	一	ネ 一	三七五〇
我國に於ける會社金融の問題	松崎壽撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ 一	三四七三 二
我國の金融	山室宗文撰 洋・中（社會經濟體系）	一	ヨ 一	三四一六 三
我國の金融市場 續編共	山室宗文撰 大正一五 洋・中	二	ネ 四	三三九八
我國の金融と景氣	國際經濟及金融と我國民經濟の交涉 服部文四郎撰 昭和三 洋・中	一	ヨ 一	三四六六
戰後に於ける我國の經濟及金融	井上準之助撰 大正一四 三版 洋・中	一	ヨ 一	三四四三
我國際金融の現狀及改善策	井上準之助撰 大正一五 洋・中	一	ネ 四	三四〇七
我國際金融の現狀及び改善策	井上準之助撰 洋・中（井上準之助論叢）	一	ヨ 一	三七九八 一
○				
貨幣の發展と恐慌	洪・ヴァルガ譯・フメリニツカヤ編・太平洋研究會譯 昭和一一 洋・中	一	ネ 四	三七七八

		冊	類	號
郵便貯金の運用	金融研究會編（昭和四） 洋・中（金融研究會）調書）	一	ネ 四	三五一二 二
輸出金融保險の提唱	齋藤眞撰 大正一五 洋・中	一	ネ 三	三三六八
輸出信用の保險竝保證	上坂酉三撰 昭和三 洋・中（銀行講座本）	一	ネ 三	三三八七
輸出信用保險の組織に就て	瀧谷善一撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ 二	三四七三 四
輸出信用保證制度に就いて	其一（昭和一）金融研究會編 洋・中（金融研究會）調書）	一	ネ 四	三五一二 一
輸出信用補償論	上坂酉三撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ 四	三七三五 二
輸出補償法解說	商工省貿易局刊 昭和七 洋・中	一	ネ 三	三四五三
輸出補償法關係法規	商工省貿易局刊 昭和七 洋・中	一	ネ 三	三四五一
蘭領印度に於ける金融狀況	臺灣銀行バタビヤ支店編（昭和六） 洋・中（南支那及南洋調査）	一	ル 五	二五三九 二五
蘭領東印度に於ける農園金融について	吉田正三撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報）	一	ヨ 一	三六五三 五
利權論	遠山景賢撰 洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ 一	二五二八 一一
利權論	遠山景賢撰 洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ 一	三四八一 一七
利子歩合論	高城仙次郎撰 大正八 洋・中	一	ネ 四	二七七八
フイッシャー利子論	氣賀勘重・同健三譯 昭和一〇 洋・中	一	ヨ 二	三六二二
利子論研究	高田保馬撰 昭和一〇 洋・中	一	ヨ 二	三六二〇
リフレーションの基礎理論	米・フヰッシャー撰・大岩鑛譯 昭和九 洋・小	一	ネ 四	三七二一
利廻採算法	芳野國雄撰 昭和九 洋・小	一	ネ 一〇	三四四〇
兩替商「兩替商舊記ノ異本」	寫本 利・中	二	ネ 四	一五三二
兩替商沿革史 附古金の種類	大阪兩替商組合編 明治三六 洋・中	一	ネ 四	三四五三
兩替商沿革史 附古金の種類	大阪兩替商組合編・羽黑兵治郎校 昭和一二 洋・中（大阪商業史料集成）	一	ネ 二	三三七九 三
兩替商舊記 兩替商行司定・兩替商仲間申定書・兩替屋順和大	（大阪商業史資料）	一	ネ 二	八五八 二二
兩替商舊記 兩替商行司定・兩替商仲間申定書・兩替屋順末共	洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）	一	イ 四	七六五 四四
校註 兩替年代記	榮引附 竹原文右衞門店久兵衞撰・三井高維校註竝增補 昭和七 洋・大	一	ネ 四	三六五三 一
新稿 兩替年代記關鍵	資料篇・考證篇 三井高維編撰 昭和八 洋・大	二	ネ 四	三六五三 二一三
臨時資金調整法逐條解說	迫水久常撰 昭和一二 洋・小	一	ワ 一六	五二三六
聯邦準備條令に基く引受再割制度竝に紐育に於ける割引市場概觀	淺田振作撰 大正一三 洋・中（橫濱正金銀行調査報告）	一	ネ 四	二八四九 五
倫敦金融市場の話	植野勳譯編 大正一三 洋・小	一	ネ 四	三一八八
我國庶民金融機關改善策	石塚直撰 洋・中（東京商科大學六十周年記念論文集）	一	ネ 一	三七五〇
我國に於ける會社金融の問題	松崎壽撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ 一	三四七三 二
我國の金融	山室宗文撰 洋・中（社會經濟體系）	一	ヨ 一	三四一六 三
我國の金融市場 續編共	山室宗文撰 大正一五 洋・中	二	ネ 四	三三九八
我國の金融と景氣	國際經濟及金融と我國民經濟の交涉 服部文四郎撰 昭和三 洋・中	一	ヨ 一	三四六六
戰後に於ける我國の經濟及金融	井上準之助撰 大正一四 三版 洋・中	一	ヨ 一	三四四三
我國際金融の現狀及改善策	井上準之助撰 大正一五 洋・中	一	ネ 四	三四〇七
我國際金融の現狀及び改善策	井上準之助撰 洋・中（井上準之助論叢）	一	ヨ 一	三七九八 一
○				
貨幣の發展と恐慌	洪・ヴァルガ譯・フメリニツカヤ編・太平洋研究會譯 昭和一一 洋・中	一	ネ 四	三七七八
恐慌學說	改造社刊 昭和七年 洋・小（經濟學全集）	一	ヨ 一	三四九三 一四
恐慌に關する諸學說	（谷口吉彥）マルクス恐慌論序說（南部誠一郎）恐慌と金問題（氷川透）			
恐慌下の日本資本主義	猪俣津南雄撰 昭和六 洋・小（經濟學全集）	一	ヨ 一	三四九三 三四
恐慌史論	志儀長撰 昭和一一 洋・中	一	ヨ 四	三五〇七
恐慌對策	三邊金藏・小高泰雄撰 洋・中（世界經濟問題講座）	一	ヨ 一	三六五五 四
恐慌と金問題	氷川透撰 洋・小（經濟學全集ノ內恐慌學說）	一	ヨ 一	三四九三 一四
恐慌と失業	園乾治撰 洋・中（世界經濟問題講座）	一	ヨ 一	三六五五 四
恐慌と世界經濟	慶大金融研究會編 昭和七 洋・中	一	ヨ 一	三六四二
恐慌と獨占	小島精一撰 昭和三 洋・中（產業統制史論本）	一	ヨ 一〇	三四〇八
恐慌に關する諸學說	谷口吉彥撰 洋・小（經濟學全集ノ內恐慌學說）	一	ヨ 一	三四九三 一四
恐慌の新段階と世界經濟の動向	慶大金融研究會編 昭和九 洋・中	一	ヨ 一	三七〇三
金・銀・世界恐慌	平尾彌五郎撰 昭和一〇 洋・小	一	ネ 四	三七六六
銀行恐慌と獨逸金融市場の整備	楠見一正撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報）	一	ヨ 一	三六五三 三
金本位と世界恐慌	高垣寅次郎撰 洋・中（現代經濟學全集ノ內世界恐慌）	一	ヨ 一	三四九四 二八
金融恐慌後の諸問題	松崎壽撰・大阪商業銀行業務研究室刊 昭和三 洋・中（調査報告）	一	ネ 四	二九四五 三
金融恐慌ト其ノ影響 附錄參考法令等	東京商業會議所編 昭和二 洋・中	一	ネ 四	三四七九
經濟恐慌論	高畠素之・安部浩譯編 大正一四 四版 洋・中（經濟學說體系）	一	ヨ 二	三二五九 一一
現時の世界經濟恐慌概觀	町田義一郎撰 洋・中（世界經濟問題講座）	一	ヨ 一	三六五五 四
現代經濟恐慌と資本主義の將來	英・ホブソン撰・岩田百合治譯 昭和八 洋・小	一	ヨ 一	三六七五

國民經濟組織の缺陷と世界恐慌 附錄バロメーター構成の技術について等 獨・ワーゲマン撰・小島昌太郎譯 昭和七 洋・中 一冊 ヨ 二類 三五三五

古典派恐慌理論における二つの流れ 谷口吉彥撰 洋・中 (一九大法文學部)十周年記念經濟學論文集) 一 ヨ 一 三八四四

支那の經濟恐慌に關する調査 第一至四卷 東京商工會議所刊 昭和一〇至一二 洋・中 (商工調査本) 四 ネ 四 三五六一

金融及國際貸借(小林幾次郎) 一 農業(同上) 二

商工業(同上) 三 支那經濟恐慌の特質(木村增太郎) 四

資本蓄積と經濟恐慌 大塚金之助・渡邊謙吉撰 洋・中 (日本資本主義發達史講座) 一 ヨ 四 三四四六 八

昭和二年金融恐慌史 東洋經濟新報社編 昭和三 洋・大 (東洋經濟銀行年鑑第五回) 一 ネ 四 三〇四三 五

世界恐慌史 日本評論社刊 昭和七 洋・中 (現代經濟學全集) 一 ヨ 一 三四九四 二八

最近世界及び日本の關稅政策(上田貞次郎) 日本農業恐慌(東畑精一)

金本位と世界恐慌(高垣寅次郎) 滿洲問題(永雄策郎)

世界恐慌史 野村兼太郎撰 洋・中 (世界經濟問題講座) 一 ヨ 一 三六五五 四

世界恐慌と國際政治の危機 有澤廣巳・阿部勇撰 洋・小 (經濟學全集) 一 ヨ 一 三四九三 六七

世界恐慌と財政 阿部勇撰 昭和一一 洋・小 (現代金融經濟全集) 一 ネ 四 三七三五 一一

世界恐慌文獻 一九二九…一九三一 大塚金之助撰 洋・中 (經濟學研究) 一 ヨ 一 三六七九 一

世界金融恐慌の眞相 英・アインチッヒ撰・木村禧八郎譯 昭和七 洋・小 一 ネ 四 三六二〇

世界經濟恐慌史 一八四八―一九三五年 第一卷第一部 洪・ヴァルガ撰・永住道雄譯 昭和一二 洋・中 一 ヨ 四 三五二〇

世界經濟恐慌の經過と現勢 平野常治編 昭和七 洋・小 二 ヨ 一 三六二七

世界農業恐慌 伊藤秀一撰 洋・中 (世界經濟問題講座) 一 ヨ 一類 三六五五 四

大恐慌と其政治的結果 洪・ヴァルガ撰・經濟批判會譯 昭和一〇 洋・小 一 ヨ 一 三七七三

日本農業恐慌 東畑精一撰 洋・中 (現代經濟學全集ノ內世界恐慌) 一 ヨ 一 三四九四 二八

日本農業恐慌研究 改造社刊 昭和七 洋・小 一 ヨ 七 三五一三

農村窮乏史を貫く二重性(小野道雄) 日本農村の階級構成(藤井米藏)

農業恐慌に就て(河西太一郎) 農村救濟對策の批判(山川均)

農民運動の新展開(河野密)

紐育恐慌顚末 東京銀行集會所刊 明治四一 洋・中 一 ネ 四 一四九八

農村經濟と農業恐慌 和川春喜撰 洋・中 (日本資本主義發達史講座) 一 ヨ 四 三四四六 四六

米國の金融恐慌と金本位制度の將來 宮川眞一郎譯 洋・小 (不換紙幣インフレーションの史的發展附錄) 一 ネ 四 三六六七

マルクス恐慌理論 奧田忠雄撰 洋・中 (世界經濟問題講座) 一 ヨ 一 三六五五 四

マルクス恐慌論序說 南部誠一郎撰 洋・小 (經濟學全集ノ內恐慌學說) 一 ヨ 一 三四九三 一四

モラトリアム後の我財界 野村證券株式會社編 昭和三 洋・小 (野村放資研究叢書本) 一 ネ 四 三四六一

貨幣

アメリカ貨幣政策批判 米・ケメラー撰・橫濱經濟研究所譯 昭和九 洋・中 一 ネ 四 三七一二

アリストテレースの貨幣觀 小泉功撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報) 一 ヨ 一 三六五三 五

エルスターの貨幣概念 增井光藏撰 洋・中 (神戸高等商業學校記念講演及論文集) 一 ネ 一 三三〇一

價値及貨幣 櫛田民藏撰・大內兵衞等編 昭和一〇 洋・中 (櫛田民藏全集) 一 ヨ 一 三七七〇 二

各國貨幣制度概說 荒木光太郎撰 洋・中 (現代經濟學全集ノ內貨幣制度) 一 ヨ 四 三五二〇

貨幣 井上辰九郎講 (第一回早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ 四 一〇六八

貨幣 井上辰九郎講 (明治三九年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ 四 一四一〇

貨幣 井上辰九郎講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ 四 二三三六

貨幣 井上辰九郎講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 一 ネ 四 二四八一

貨幣 第一册・貨幣の基礎概念 友岡久雄撰 昭和九 洋・中 一 ネ 四 三七二〇

貨幣及銀行論 服部文四郎述 昭和三 (謄寫版) 洋・中 一 ネ 四 三五七五

貨幣及信用政策 吉井一三撰 明治三六 洋・中 一 ネ 四 一〇三一

貨幣及物價の原理 附列國幣制の新傾向と歐洲戰爭 高島佐一郎撰 大正四 洋・中 一 ネ 四 二六二七

貨幣概論 附錄法規外二項 荒木光太郎撰 昭和一一 洋・中 一 ネ 四 三八〇五

貨幣概論 附錄法規外二項 山崎覺次郎撰 昭和四 洋・中 一 ネ 四 三五二四

貨幣概論 山崎覺次郎撰 洋・中 (社會經濟體系) 一 ヨ 一 三四一六 三

貨幣學 高田早苗講 (東京專門學校講義錄) 洋・中 一 ネ 四 二七六

貨幣學說研究 不換紙幣篇 春日井薰撰 昭和四 洋・中 一 ネ 四 三五二七

貨幣學の實證的研究 牧野輝智撰 昭和四 洋・中 一 ネ 四 三五三三

貨幣價値の研究 正井敬次撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 四 三七五四

貨幣價値の本質及び其の成立 中村重夫撰 洋・中 (東北帝國大學法文學部十周年記念經濟論集) 一 ヨ 一 三七三六

貨幣價値變動と評價問題 黑澤清撰 洋・中 (中央大學五十周年記念論文集) 一 ヨ 一 三七九四

貨幣新論 高田早苗撰 明治一七 洋・小 一 ネ 四 七

貨幣政策と景氣變動 平尾彌五郎撰 昭和九 洋・中 一 ネ 四 三七二三

貨幣制度概說 附錄世界各國通貨一覽表外三表 荒木光太郎撰 昭和八 洋・中 一 ネ 四 三五五六

貨幣制度總說 高垣寅次郎撰 洋・中 (現代經濟學全集ノ內貨幣制度) 一 ヨ 一 三四九四 一一

貨幣價値論ニ關スル一私見 高城仙次郎撰 洋・中 (和田垣教授經濟論叢) 一 ヨ 一 八二〇

貨幣銀行及爲替論 附錄法規 服部文四郎撰 昭和九 五版 洋・中 一 ネ 四 三七一四

貨幣・銀行・外國爲替 堀江歸一撰 大正一五 洋・中 二 ネ 四 三三九一

貨幣銀行通論 青木得三撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 四 三八四四

改訂增補貨幣銀行問題一斑 山崎覺次郎撰 大正七 三版 洋・中 一 ネ 四 二七二四

改訂增補貨幣銀行問題一斑 山崎覺次郎撰 大正九 四版 洋・中 一 ネ 四 三〇五四

貨幣研究上ノ重要觀念 山崎覺次郎撰 洋・中 (和田垣教授經濟論叢) 一 ヨ 一 八二〇

最近貨幣原論 小野鍵一撰 明治四二 洋・中 一 ネ 四 一八三〇

貨幣原論 竹島富三郎撰 大正一三 洋・中 一 ネ 四 三二六七

貨幣原論 獨・エルスター撰・入澤民政譯 昭和三 洋・中 一 ヨ 一 三五〇九

貨幣國定學說 獨・クナップ撰・宮田喜代藏譯 大正一一 洋・中 一 ネ 四 三〇九九

同 一 ネ 四 三一〇六

貨幣錯覺 米・イッシャー撰・山本米治譯 昭和五 洋・小 一 ネ 四 三五六八

貨幣・信用及びインフレーションの理論 橋俣津南雄撰 洋・小 (經濟學全集) 一 ヨ 一 三四九三 五六

貨幣信用及商業 附錄貨幣の發達に就ての諸考察等 英・マーシャル撰・松本金次郎譯 昭和二 洋・中 一 ネ 四 三四三八

貨幣價値論研究 左右田喜一郎撰 昭和五 洋・中 (左右田喜一郎全集) 一 ヨ 二 三四九一 一二

クナップ新貨幣學說と貨幣の本質 貨幣と價値

未定稿貨幣論の一節 貨幣論上の限界效用學說

貨幣概念を中心として

	冊	類	號
貨幣制度の動向と本位政策上の若干問題（世界經濟問題講座） 金原賢之助撰 洋・中	一	ヨ	三六五五
貨幣中心論に對する修正の試み 杉村廣藏撰 洋・中（福田徳三博士經濟學研究 福田徳三博士還曆記念論文集）	一	ヨ	三六七三
貨幣と價値 論理的一研究・附錄貨幣概念を中心として 左右田喜一郎撰・川村豐郎譯 昭和三 洋・中	一	ヨ	三四三〇
貨幣と爲替 正井敬次撰 昭和六 洋・中	一	ネ	三六〇〇
貨幣と金融 松崎壽撰 大正九 洋・中	一	ネ	二八六三
貨幣讀本 附錄法規外一項 山崎覺次郎撰 昭和八 洋・中	一	ネ	三六七六
同	一	ネ	三七三〇
貨幣と景氣變動 埃・ハイエク撰・豐崎稔譯 昭和九 洋・小	一	ネ	三六九八
貨幣と限界效用說 松本金次郎撰 洋・中（大倉高等商業學校創立三十周年記念論文集）	一	ネ	三六四一
貨幣と信用 資本主義篇 露・カズロフ編・米村正一譯 昭和八 洋・中	一	ネ	三六九二
貨幣と信用 資本主義篇 露・カズロフ編・米村正一譯 昭和一二 洋・中	一	ネ	三八一七
貨幣と物價 荒木光太郎撰 昭和九 洋・中（基礎經濟學全集）	一	ヨ	三七二一
貨幣の價値の特性 梅田政勝撰 洋・中（福田徳三博士經濟學研究 福田徳三博士還曆記念論文集）	一	ヨ	三六七二
貨幣の購買力 米・フィッシャー撰・金原賢之助・高城仙次郎譯 昭和一一 洋・中	一	ネ	三七八九
貨幣の實際知識 宮田保郎撰 昭和九 洋・小	一	ネ	三七一八
貨幣の職能 佐原貴臣撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	三七八七
貨幣の職能 佐原貴臣撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ	二三四七
貨幣の職能 貨幣の理論第二 高垣寅次郎撰 昭和三 洋・中	一	ネ	三四九五
貨幣の生成 貨幣の理論第一 高垣寅次郎撰 大正一五 洋・大	一	ネ	三四二九
貨幣の發展と恐慌 洋・ヴァルガ・露・フメリニッカヤ編・太平洋研究會譯 昭和一一 洋・中	一	ネ	三七七八
「經濟學批判」への準備的勞作から 恐慌理論に關するマルクスの新しい資料について（レオンチェフ） マルクスの恐慌理論とそれの社會ファシスト的歪曲（ヴァルガ） 改良主義の階級的根帶に關するマルクス・エンゲルスの見解（ゾルキー） マルクスと東洋問題（サファーロフ） 農業の社會主義的改造に關する第一インタナショナルの見解（マヂヤール） 活動しつゝある科學的ソシアリズム（フメリニッカヤ）	一	ネ	三四六二
貨幣の本質 貨幣の理論第三 高垣寅次郎撰 昭和二 洋・中	一	ヨ	三四七四
貨幣の理論 高田保馬撰 昭和五 洋・中（經濟學新講）	一	ヨ	三五九五
同	一	ヨ	三七九三
貨幣品質學說の論據とその批評 大野純一撰 洋・中（小樽高等商業學校創立二十周年記念論文集）	一	サネ	九六二
貨幣本質の諸問題 岡橋保撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	三七九六
貨幣問題 高市佳太郎・川上忠平譯編 明治二六 洋・小	一	ネ	七三
同	一	ネ	三三三
貨幣問題雜觀 附錄貨幣銀行問題一斑目次外一篇 山崎覺次郎撰 昭和八 洋・中	一	ネ	三六九〇
貨幣理論 橋爪明男撰 昭和三 洋・中	一	ネ	三四八三
貨幣理論 獨・ワーゲマン撰・青木孝義譯 昭和四 洋・中	一	ネ	三五三八
貨幣論 天野爲之講（東京專門學校講義錄） 洋・中	一	ネ	三四一八
貨幣論 金屬貨幣之部 井上辰九郎講（東京專門學校講義錄） 洋・中	一	ネ	四六
貨幣論 井上辰九郎撰 洋・中（經濟叢書）	一	ヨ	一一七

	冊	類	號
貨幣論 河津暹講（東京專門學校講義錄） 洋・中	一	ネ	六七三
貨幣論 河津暹講（中央大學明治四一年度講義錄） 洋・中	一	ネ	二二五九
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中	一	ネ	一九五九
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科明治四三年度講義錄） 洋・中	一	ネ	二四四七
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科明治四四年度講義錄） 洋・中	一	ネ	三四二二
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科大正元年度講義錄） 洋・中	一	ネ	二六三三
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第二九回講義錄） 洋・中	一	ネ	二九〇七
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三〇回講義錄） 洋・中	一	ネ	三四二七
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三一回講義錄） 洋・中	一	ネ	二九〇九
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三二回講義錄） 洋・中	一	ネ	二九一〇
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三三回講義錄） 洋・中	一	ネ	二九一一
貨幣論 河津暹講（早稻田大學講義錄） 洋・中	一	ネ	八三三
貨幣論 佐野善作撰 明治四〇 再版 洋・中	一	ネ	一八〇三
最新貨幣論 杉程次郎撰 大正一一 洋・中	一	ネ	三〇四九
貨幣論 高田早苗講（東京專門學校講義錄） 洋・中	一	ネ	八九
貨幣論 高畠素之等譯編 大正一四 洋・中（經濟學說體系）	二	ヨ	三三五九 八一九
貨幣論 橋爪明男撰 昭和五 洋・中（現代經濟學全集）	一	ヨ	三四九四 一〇
貨幣論 服部文四郎撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ	四 三七三五 二六
最新貨幣論 堀江歸一撰 新貨幣論 明治三八 三版 洋・中	一	ネ	四 一〇二八
貨幣論 河津暹講（東京專門學校講義錄） 洋・中	一	ネ	四 六七三
貨幣論 河津暹講（中央大學明治四一年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二二五九
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四 一九五九
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科明治四三年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二四四七
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科明治四四年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四 三四二二
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科大正元年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二六三三
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第二九回講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二九〇七
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三〇回講義錄） 洋・中	一	ネ	四 三四二七
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三一回講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二九〇九
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三二回講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二九一〇
貨幣論 河津暹講（早稻田大學政治經濟科第三三回講義錄） 洋・中	一	ネ	四 二九一一
貨幣論 河津暹講（早稻田大學講義錄） 洋・中	一	ネ	四 八三三
貨幣論 佐野善作撰 明治四〇 再版 洋・中	一	ネ	四 一八〇三
最新貨幣論 杉程次郎撰 近代貨幣論 大正一一 洋・中	一	ネ	四 三〇四九
貨幣論 高田早苗講（東京專門學校講義錄） 洋・中	一	ネ	四 八九
貨幣論 高畠素之等譯編 大正一四 洋・中（經濟學說體系）	二	ヨ	三三五九 八一九
貨幣論 橋爪明男撰 昭和五 洋・中（現代經濟學全集）	一	ヨ	三四九四 一〇
貨幣論 服部文四郎撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ	四 三七三五 二六
最新貨幣論 堀江歸一撰 新貨幣論 明治三八 三版 洋・中	一	ネ	四 一〇二八
最新貨幣論 堀江歸一撰 明治四二 八版 洋・中	一	ネ	四 一八〇二
貨幣論 堀江歸一撰 大正三 再版 洋・中	一	ネ	四 二六〇二
改訂貨幣論 堀江歸一撰 大正八 八版 洋・中	一	ネ	四 二七四六
增訂貨幣論 堀江歸一撰 改版貨幣論 大正一一 一五版 洋・中	一	ネ	四 三〇五三
貨幣論 村上祐講（專修學校講義錄） 洋・中	一	ネ	四 八
貨幣論 獨・カウツキー撰・向坂逸郎・岡崎二郎譯 昭和九 洋・中	一	ネ	四 三七〇二
貨幣論 附クニースの著書および論文目錄 獨・クニース撰・山口正吾譯 昭和五 洋・中	一	ネ	四 三五六〇
貨幣論・銀行論 田中金司撰 洋・小（經濟學全集ノ內經濟學特殊理論下）	一	ヨ	三四九三 七
單複本位貨幣論集 乘竹孝太郎譯編 明治一九 洋・中	一	ネ	四 二五三
貨幣論上に於ける限界效用說の再吟味 我國に於ける論爭を中心とする論理的研究 三宅喜二郎撰 洋・中（ヘルメス第一九號拔刷）	一	ネ	四 三六三五
管理通貨論 高島佐一郎撰 昭和九 洋・小（新經濟全集）	一	ヨ	一 三七九六 八
金及通貨論 附錄明治三十年貨幣法（現行）制定に關し松方公（當時伯）が閣議へ提出した提案理由書及帝國議會に於ける公の演說 片山繁雄撰 昭和七 洋・小	一	ネ	四 三六四九
近代貨幣理論の種々相 附錄米國新銀行法に表はれたる預金保證制度	一	ネ	四 三七〇一
銀・通貨爲替論 附錄紐育・桑港及び倫敦の條銀運輸施設保管並に運賃 外追錄共九篇 大槻爲八撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ	四 三七六三
クナップの貨幣國定學說に就いて 宮田喜代藏撰 洋・中（商業經濟論叢）	一	ネ	一 三一七四

ハイ景氣と貨幣 貨幣理論と景氣理論・附錄著者の序文外二篇 エグ 野口弘毅譯 昭和一〇 洋・中 ネ 四類 一冊 三七五〇號

ケインズ貨幣改革問題 附錄ゼノア會議の財政決議外一篇 ケインズ 岡部雪司・内山直譯 大正一三 洋・小 ネ 四 一 三三三

ケインズ貨幣論 鬼頭仁三郎譯 昭和七至九 洋・中 ネ 四 五 三六三六

通貨管理政策史論 高橋正雄撰 昭和一一 洋・中 ケインズ ネ 四 一 三七六九

通貨信用統制批判 笠信太郎撰 昭和九 洋・中 ケインズ 金融理論と管理通貨 吉田寛撰 昭和九 洋・中 ネ 四 一 三七三五

現代貨幣問題 荒木光太郎撰 昭和一〇 洋・中 ネ 四 一 三七三九

通貨調節論 深井英五撰 昭和三 洋・中 ネ 四 一 三四九三

通貨論 福澤諭吉撰 明治一一 洋・小 ネ 四 一 三三八九

同 ネ 四 一 五三八

通貨論 福澤諭吉撰 洋・中 (福澤全集) イ 四 一 三九九 四

Die Mittel としての貨幣とDie Mittel としての貨幣 小泉功撰 洋・中 (大阪商科大學經濟研究年報) ヨ 一 三六三五 一〇

日本貨幣制度論 信夫淳平・中村千太郎撰 明治二九 洋・中 ネ 四 一 九六

日本貨幣制度論 寺島一夫撰 昭和一二 洋・小 (日本産業經濟全書本) ネ 四 一 三八六〇

日本貨幣學入門 獨・シュティリッヒ撰・高後虎雄譯 昭和七 洋・中 ネ 四 一 三六一九

物價決定の法則 米・ケメラー撰・糸井靖之・大田信吉譯 大正一〇 洋・小 ヨ 二 三〇〇〇

平價切下論 宮田喜代藏撰 昭和一一 再版 洋・小 (新經濟全集) ヨ 一 三七九六 一一

本邦貨幣制度改正論 山崎覺次郎撰 洋・中 (現代經濟學全集) ヨ 一 三四九四 二七

マルクス主義貨幣論 獨・カウツキー撰・高村雪夫譯 昭和八 洋・小 ネ 四 一 三六六八

名目學說と貨幣制度改革 内藤章撰 洋・中 (東京商科大學創立五十周年記念論文集) ネ 一 三五六一

世界の貨幣問題 購買力平價說 昭和三 洋・中 瑞典・カッセル撰・田村敏雄・毛里英於菟譯 ネ 四類 一冊 三四九六號

ゼボン氏貨幣論 田尻稻次郎講 明治一五 洋・小 ネ 四 一 二四一

租稅・公債・通貨新論 附錄高島教授の管理通貨論と宮田教授の平價切下論(赤松要) 高島佐一郎撰 昭和一〇 洋・中 タ 一 三六二一

通貨管理政策史論 高島佐一郎撰 洋・小 (現代金融經濟全集) ネ 四 一 三七三五 二八

通貨信用統制批判 笠信太郎撰 昭和九 洋・中 (日本統制經濟全集) ヨ 二 三五七七 二

通貨調節論 深井英五撰 昭和三 洋・中 ネ 四 一 三四九三

通貨論 福澤諭吉撰 明治一一 洋・小 ネ 四 一 五三八

同 ネ 四 一 三九九 四

通貨論 福澤諭吉撰 洋・中 (福澤全集) イ 四 一 三九九 四

Die Mittel としての貨幣とDas Mittel としての貨幣 小泉功撰 洋・中 (大阪商科大學經濟研究年報) ヨ 一 三六三五 一〇

日本貨幣制度論 信夫淳平・中村千太郎撰 明治二九 洋・中 ネ 四 一 九六

日本貨幣制度論 寺島一夫撰 昭和一二 洋・小 (日本産業經濟全書本) ネ 四 一 三八六〇

物價決定の法則 米・ケメラー撰・糸井靖之・大田信吉譯 大正一〇 洋・小 ヨ 二 三〇〇〇

平價切下論 宮田喜代藏撰 昭和一一 再版 洋・小 (新經濟全集) ヨ 一 三七九六 一一

本邦貨幣制度改正論 山崎覺次郎撰 洋・中 (現代經濟學全集) ヨ 一 三四九四 二七

マルクス主義貨幣論 獨・カウツキー撰・高村雪夫譯 昭和八 洋・小 ネ 四 一 三六六八

名目學說と貨幣制度改革 内藤章撰 洋・中 (東京商科大學創立五十周年記念論文集) ネ 一 三五六一

リカアドオ貨幣銀行論集 小畑茂夫譯 昭和六 洋・中 ネ 四 一 三六一三

○

赤字財政下のインフレーション研究 野村證券調査部編撰 昭和一〇 洋・中 ネ 四 一 三七三三

印度幣制改革問題 附英領印度の棉花・カラチ事情 臺灣總督官房調査課編 (大正一五) 洋・中 (南支那及南洋調査) ル 五 二五三九 七

印度の金流出に就て 荻原眞雄撰 昭和八 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) ネ 四 一 二八四九 一五

印度幣制委員報告ヲ讀ム 尾上利治郎 大正一〇 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) ネ 四 一 二八四九 三

千九百印度幣制調査委員會最終報告書 大藏省理財局 大正六 大藏省理財局調査月報別號 大藏省理財局 大正六 洋・大 ネ 四 一 二九五〇

インフレーションに關する調査 第一至六卷 昭和八 洋・中 (商工調査) 東京商工會議所刊 ネ 四 六 三六八一

墺國各種產業に及ぼしたるインフレーションの影響 一

大戰中獨逸に於けるインフレーションの情勢 二

佛國のインフレーションとフラン貨の安定 三—四

貨幣價値下落期に於ける資金調達と價格決定の方法 五

假裝利益に對する課稅方法 六

インフレーションの一考察 田中金司撰 洋・中 (經營學論集) ネ 二 三四七三 九

インフレーションの理論と實際 石橋湛山撰 昭和七 洋・小 ネ 四 一 三六四〇

營口の過爐銀 滿鐵東亞經濟調査局刊 大正一三 洋・中 (經濟資料) ヨ 一 二九五三 一六

英國金銀調査委員會報告書概要 大藏省刊 明治二六 洋・中 ネ 四 一 六〇四

英・米・獨・佛・伊の金解禁經緯 東亞經濟調査局譯編 昭和六 洋・中 (經濟資料) ヨ 一 二九五三 四〇

英米獨佛國際聯盟金委員會に提出せられたる四論文 國際聯盟事務局東京支局編 昭和六 洋・中 金移動問題における ネ 四 一 三六一四

圓貨の價値に就いて 附表外債各年發行高・償還高竝各年末現在高外六表 鈴木鳴吉述 洋・小 (金融研究會講演集本) ネ 四 一 三七八〇

圓・弗・磅・法の話 木村禧八郎撰 昭和九 洋・小 ネ 四 一 三七〇八

澳洪國幣制調査委員會速記錄 貨幣制度調査會譯 明治二七 洋・大 ネ 四 一 六〇八

歐洲開戰前後ニ於ケル倫敦銀塊・南北滿洲通貨及 折 ネ 四 一 二六四三

歐洲開戰前後ニ於ケル倫敦銀塊・南北滿洲通貨及 大連爲替相場一覽 大連商業會議所刊 大正四 折 ネ 四 一 二六四三

大連爲替相場高低表 大連商業會議所刊 大正四 ネ 四 一 二六四一

印度幣制委員報告ヲ讀ム 橫濱正金銀行調査報告 昭和五 ネ 四 一 二八四九 一〇

歐洲諸國戰後の通貨安定 中小諸國の部 (橫濱正金銀行調査報告) ネ 四 一 二八四九 一〇

オーステン氏ノ銀生產費調査報告書 大藏省主計局譯 明治二六 洋・中 ネ 四 一 六〇〇

歐米諸國紙幣制度 米・コッフィン撰・東京銀行集會所譯 明治四一 洋・大 ネ 四 一 一四六一

外國爲替・金・銀 金原賢之助撰 昭和九 洋・中 (基礎經濟學全集) ヨ 一 三七二 三

外國人の見た金解禁問題の考察 ジエームス述 昭和四 洋・小 ネ 四 一 三五三九

價原 三浦晉撰 洋・中 (日本經濟叢書) ヨ 一 二五二八 一一

價原 三浦晉撰 洋・中 (日本經濟大典) ヨ 一 三四八一 一七

各國インフレーション形態の研究 細野孝一撰 昭和八 洋・中 ネ 四 一 三六九六

各國貨幣比較及簡易換算表 ブレー撰・柴田丈夫譯 明治四二 洋・小 ネ 四 一 一八三三

同 ネ 四 一 一八三三

貨幣及び金融政策の將來 町田義一郎抄譯 昭和一一 洋・中 (金融研究會叢書本) ネ 四 一 三八〇七

貨幣金融統計資料解說 現代金融經濟全集編輯部編 昭和一〇 洋・小 (現代金融經濟全集) ネ 四 一 三七三五 三四

		冊	類	號
貨幣瑣話 附錄民法第四〇二條と金約款に就て外七篇	山崎覺次郎撰 昭和一一 洋・小	一	ネ	四 三七九七
貨幣制度調査會議事速記錄 參考書	洋・大	一	ネ	四 八六一
貨幣制度調査會報告	同會編 明治二八 洋・大	一	ネ	四 九五
貨幣制度調査會報告及附錄	同會編 明治二八 洋・大	二	ネ	四 二九四
貨幣制度調査會報告及附錄	同會編 昭和七 洋・中 (明治財政經濟史料集成前期)	一	タ	二 三二九七 一二
貨幣度量考	瓜生三寅撰 明治元 和・小	一	ネ	四 三五五一
貨幣度量衡換算表	洋・中 (租稅第一號及第二號調查參考書號外)	一	ネ	四 三三七六
貨幣便覽 附錄實際に實れる古金銀貨幣の價段表外一篇	林勇撰 昭和五 洋・小	一	ネ	四 三六一六
過爐銀ニ關スル報告	洋・中 (南滿州ニ於ケル商業ノ內)	一	ネ	一 一三三七
漢口ニ於ケル通貨	川村小三郎撰 大正八 洋・中 (橫濱正金銀行調查報告)	一	ネ	四 二八四九 一
韓國貨幣整理報告書	韓國銀行刊 明治四三 洋・大	一	ネ	四 二一四二
韓國ニ於ケル貨幣ト金融	東京高等商業學校刊 明治四二 洋・中	一	ネ	四 一八九六
カン支那通貨論 金及び銀取引の研究・附錄アメリカ發見以後世界に於ける金及び銀の生產外六項	附錄宮下忠雄譯 昭和九 洋・中	一	ネ	四 三七二三
贋造通貨	山鹿義教撰 昭和八 洋・大	一	ネ	四 三六九五
貫幣の話	山鹿義敎述 (昭和四) 洋・中 (貴族院定例午餐會講演集)	一	カ	一 一〇九八 一五
北滿洲特殊通貨としての官帖に就て	(公門仲彌・大正一四 洋・中 (橫濱正金銀行)調查報告)	一	ネ	四 二八四九 六
舊貨幣と新貨幣との換算法に就いて	遠藤佐々喜撰 洋・中 (本位制研究 故博士社會經濟史論集 古稀祝賀記念)	一	フ	一 三四二〇
救時策	大塚考威撰 洋・中 (日本經濟叢書)	一	ヨ	一 二五二八 一六
救時策	大塚考威撰 洋・中 (日本經濟大典)	一	ヨ	一 三四八一 三二
金貨本位論集	遠山景福編 明治三〇 洋・小	一	ネ	四 三六八
金・銀・貨幣の話	柏通明撰 昭和八 洋・中	一	ネ	四 二六八〇
銀經濟論	栃倉正一撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	四 三七八四
金再禁止と我財界の前途	井上準之助撰 洋・中 (井上準之助論叢)	一	ヨ	一 三七九八 一
金相場はどうなるか 世界貨幣制度の將來・附錄恐慌中の金外九篇 ツィピ銀・大阪商事株式會社調查部譯 昭和一〇	英・アヴィンガー 洋・小	一	ネ	四 三七三七
銀・通貨爲替論 各國別—支那・滿洲 昭和一〇	大槻爲八撰 洋・中	一	ネ	四 三七六三
金と銀とに就て	(五十嵐直三述・金融研究會刊 昭和五) 洋・小 (講演集本)	一	ネ	四 三五九三
金に關する二三の問題に就て	鈴木島吉述 (大正一四) 洋・中 (奏薦先生記念「述」會パンフレット本)	一	ネ	四 三三九七
金ニ就キテ	岸浪義實撰 大正一〇 洋・中 (橫濱正金銀行)調查報告)	一	ネ	四 二八四九 三
金の價値と通貨の價値	深井英五述・金融研究會刊 (昭和六) 洋・小 (講演集本)	一	ネ	四 三五九四
金の經濟學	猪俣津南雄撰 昭和七 洋・小	一	ネ	四 三六二八
金の武裝抗爭	繪所陣平撰 昭和七 洋・小	一	ネ	四 三六二四
金の問題	金原賢之助撰 洋・中・(世界經濟問題講座)	一	ヨ	一 三六五五 二
銀の問題	外務省調查部編 昭和一二 洋・中 (日本國際協會叢書本)	一	ネ	四 三八〇八
金本位制への復歸	遠藤湊三撰 洋・中 (臺北高等商業學校記念論文集 即校十周年)	一	ネ	一 三七五三
金本位制と中央銀行政策	田中金司撰 昭和四 洋・中	一	ネ	四 三五四四
金本位制度の理論と實際	宮川貞一郎解說 昭和六 洋・小	一	ネ	四 三五九一
金本位制の研究	東洋經濟新報社編 昭和七 洋・小	一	ネ	四 三六三九
金本位の意義・作用及び將來 (貨幣法制定の理由から見た金本位制破壞の意義 金本位專用上の矛盾と金恐慌の後に來るもの)	(山崎覺次郎 柏通明撰 昭和八 洋・中)	一	ネ	四 三六二九
最近に於ける金本位崩壞の意味 (英國金本位制の停止と金本位制の將來 荒木光太郎)	(高島佐一郎 高橋錦吉)	一	ネ	四 三六二九
金本位から實物準備紙幣へ	(高木友三郎)	一	ネ	四 三六二九
過渡的金本位	(春日井薰)	一	ネ	四 三六二九
金本位制度の現狀と將來の展望	(木村禧八郎)	一	ネ	四 三六二九
金本位の動搖と其の前途	(服部文四郎) (金本位制は根本的に不適當 早や)	一	ネ	四 三六二九
金本位制の動搖と存續性	(金原賢之助)	一	ネ	四 三六二九
不換紙幣下に於ける爲替と貿易	(宮川貞一郎)	一	ネ	四 三六二九
フランの安定を中心として	(山村喬)	一	ネ	四 三六二九
金本位に對する世界的不安と其對策	(高垣寅次郎)	一	ネ	四 三六二九
我國金本位制の實質と將來	(石橋湛山)	一	ネ	四 三六二九
金本位と管理通貨	(同上)	一	ネ	四 三六二九
附錄・世界の主要貨幣學說	(購買力安定と物價指數本位制度 フィッシャー) 外一二篇	一	ネ	四 三六二九
金本位制の本質に關する若干の考察	江口行雄撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 九
金本位と米國の金の傳統	米・アンダースン撰・經濟攻究會譯 昭和六 洋・中	一	ネ	四 三五五七
金本位の作用・殊に金融との關係	山崎覺次郎撰 昭和七 洋・中 (啓明會講演集)	一	イ	四 一二八二 五
金本位の停止と貨幣價値の動搖	竹島富三郎撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報)	一	ヨ	一 三六五三 六
金本位の後に來るもの	高島佐一郎撰 昭和七 洋・中	一	ネ	四 三六四二
銀問題	米・フレイ撰・永住道雄譯 洋・中 (資本主義貨幣制度論ト同刊)	一	ネ	四 三八〇〇
金問題概論	栃倉正一撰 昭和九 洋・中 (新經濟全集)	一	ヨ	一 三七九六 九
銀及銀價低落の研究	水野政直撰・東亞經濟調查局刊 昭和八 洋・中 (經濟資料本)	一	ネ	四 三六六二
銀及銀政策 附錄米國貿易弗及本位銀貨鑄造高外二表	前田美稻撰 昭和一一 洋・小	一	ネ	四 三七七二
金解禁 附錄經濟難局の打開について	(濱口雄幸) 井上準之助撰 昭和四 洋・小	一	ネ	四 三七四六
金解禁	土方成美撰 昭和四 洋・小 (時事問題講座本)	一	ネ	四 三六五八
金解禁直後の財界	勝田貞次撰 昭和四 洋・中	一	ネ	四 三五四八
金解禁と國民經濟 附錄英國に於ける正貨準備に關する覺書外三項	英・ケインズ撰・堤哲次譯 昭和三 洋・小	一	ヨ	一 三四九二
金解禁に就いて 金解禁斷行發表當日井上藏相の第一聲	井上準之助述 昭和四 洋・小 (保險パンフレット)	一	ネ	五 三三九八 四
金解禁問題に就て	鈴木武雄撰 洋・中 (京城法學會論集)	一	ワ	一 六二九五
金解禁問題早わかり	武藤山治撰 大正一四 洋・中	一	ネ	四 三三五六
金解禁問題早わかり	武藤山治撰 大正一四 三版 洋・中	一	ネ	四 三五七四
銀價と銀爲替 附錄共	早坂喜一郎撰 大正一四 洋・中	二	ネ	四 三二八五
銀貨の過去現在未來	伊藤鏢三郎撰 明治二六 再版 洋・中 (平民叢書)	一	イ	四 四四四 一一
銀價ノ騰貴ニ就テ	鶴見龍撰 大正九 洋・中 (橫濱正金銀行)調查報告)	一	ネ	四 二八四九 一
銀價の崩落と大連に於ける物價勞銀	篠崎嘉郎撰 昭和五 洋・中	一	ネ	四 三五九二
金貨本位へ復歸の經路	藤澤利喜太郎撰 洋・中 (藤澤博士遺文集)	一	イ	四 一二三九 一
金貨本位制	小手川豐次郎撰 明治三〇 洋・中	一	ネ	四 三六五五
金貨本位制實施滿二十年記念	和・大	一	ネ	四 二七一七
金貨本位はやわかり	民友社刊 明治三〇 洋・小	一	ネ	四 六九二

金問題研究 附錄著者名索引他一項 昭和八 洋・中	松岡孝兒撰	一冊	ネ四類	三七〇〇號		
銀問題の大要 滿鐵調査課商事係編 昭和六 洋・中	（パンフレット）	一	ヨ一類	三三四三八		
金輸出解禁前後に於ける英國財界の推移	野村合名會社調査部刊 大正一五 洋・中	一	ネ四類	三六六四		
金輸出解禁問題に關する日本工業倶樂部會員の意見 附錄金輸出解禁問題に關する三土大藏大臣・井日本銀行副總裁の演說 外一篇 日本工業倶樂部調査課編 昭和二 洋・中（調査報告本）		一	ネ四類	三五五五		
同		一	ネ四類	三五五八		
金輸出解禁問題に就て	望月乙彥商店調査部編 昭和三 洋・小（望月商店調査叢書）	一	ヨ一類	三四七七一		
金輸出解禁問題の眞髓 續篇共 昭和三・四 洋・中	松濤書院（大阪高商銀行業務研究室刊調査報告）	一	ネ四類	三五九五二		
金輸出再禁止論 不景氣打開の基本對策 昭和五 洋・小	高橋龜吉撰	一	ネ四類	三六二一		
銀兩と銀元との勢力比較	民國・唐林撰・黃典元譯 大正二 洋・中（滿鐵調査資料）	一	ヨ一類	三四七三八		
經營とインフレーション	日本經營學會編 洋・中（經營學論集）	一	ネ二類	三三三九		
金融とインフレーション						
インフレーションと銀行信用（春日井薫）						
生命保險に對するインフレーションの影響とその對策（末高信）						
金本位停止下の爲替相場に關する一考察（金原賢之助）						
貿易とインフレーション						
近時爲替相場と變動條件に關する統計的研究（柴田銀次郎）						
インフレーションと貿易との關係（竹島富三郎）						
日印貿易と爲替問題（二宮丁三）						
會計とインフレーション						
インフレーション下に於ける會計處理に就ての若干回想（小宮山敬保）						
實質資本維持會計の本義（不破貞春）						
インフレーションと企業の評價に就て（堅谷賢治郎）						
貨幣價値變動期の經營分析（高瀨莊太郎）		二冊	ヨ一類	三七五五二三		
經濟學文獻大鑑 貨幣金融編 昭和一〇・一一 洋・大	大阪商科大學經濟研究所刊					
國際金本位制の運營に就て	堺井光藏撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ二類	三四七三七		
國民經濟の立直しと金解禁	井上準之助撰 洋・中（井上準之助論叢）	一	ヨ一類	三七九八一		
國民に問ふ 金輸出再禁止是非 昭和七	明治圖書出版協會編輯部編 洋・小	一	ネ四類	三六二二		
在英河瀨公使ノ貨幣問題ニ關スル報告	貨幣制度調査會刊 明治二六 洋・大	一	ネ四類	六〇七		
在外正貨の激減と其の影響	望月商店調査部編 昭和四 洋・小（望月商店調査叢書）	一	ヨ一類	三四七七二		
最近支那銀問題の檢討	東亞產業協會編 （康德二） 洋・中（產協經報本）	一	ネ四類	三七四三		
同		一	ネ四類	三七四五		
最近に於ける貨幣現象	島田英一譯撰 昭和四 洋・小（中外文化協會定期刊行書本）	一	ネ四類	三六二三		
支那及滿洲の通貨と幣制改革 附錄參考文獻 昭和一二	根岸佶・越智元治撰 洋・中	一	ネ四類	三八五〇		
支那貨幣に就きて （大正一三）	久重福三郎撰 洋・大	一	ネ四類	三三二九		
支那貨幣論 昭和一〇	有本邦造撰 洋・中	一	ネ四類	三七四二		
支那貨幣論	民國・章乃器撰・淺川謙次譯 昭和一一 洋・中	一	ネ四類	三八〇二		
支那に於ける銀と物價	東亞經濟調査局刊 昭和一一 洋・中（東亞小冊）	一	カ五類	三三八三一		
支那に於ける新貨幣制度	金融研究會譯 洋・中（金融資料）	一	ネ四類	三八三三一		
支那の貨幣制度	木村增太郎撰 洋・中（支那研究）	一	ル五類	二九九〇		
支那の關稅金徵收と幣制改革論 關稅金徵問題（續篇增補） 大連商業會議所編	外三篇 昭和二 洋・中	一	ネ四類	三四七七		
支那の金融と通貨	井村薰雄撰 大正一三 七版 洋・中	一	ネ四類	三一八三		
世界經濟の動向と金本位制の將來	山室宗文撰 昭和八 洋・小（經濟學全集）	一	ヨ一類	三四九三五八		
世界經濟の動向と金問題	三輪末彥譯 洋・中（中央大學）五十周年記念論文集	一	ヨ一類	三七九四		
世界主要諸國貨幣制度一覽	橫濱正金銀行調査課刊 昭和六（調査資料本）	折一	ネ四類	三六〇三		
支那幣制改革論 附錄各國金銀貨幣の單位重位品位比較表外一篇	大藏省理財局刊 大正六 洋・大（大藏省理財局調査月報特別號）	一	ネ四類	二九五〇		
戰時經濟とインフレーション ドイツ・マルクの混亂より安定まで シヤハト著・越智道顯譯 昭和一〇	獨逸 洋・小	一	ネ四類	三七六五		
戰時戰後の金及金貨問題 第一・二	大阪高商銀行業務研究室編 大正九・一〇 洋・中（調査報告）	一	ネ四類	二九四五一		
千八百八十一年乃至千八百九十年ノ間ニ於ケル貴金屬ノ產出及使用	獨・ゾエットベール述・貨幣制度調査會譯 明治二七 洋・中	一	ネ四類	六〇一		
造幣局研究報告 第一至四號 昭和二至七	同局刊 洋・大	四	ネ四類	三四六五		
銀銅合金に就て（英文）（廣瀨亞夫）						
アルミニウム・ブロンズの腐蝕に就て（柴田武）						
銅ニッケル合金中に炭素の吸收される割合（川村董）						
電氣分銀に關する工業的實驗（附電氣分金ニ關スル實驗）（小松原久治）						
自動開閉 Collar を裝置する爲壓印機一部の改造（前田成次）						
極印鋼の熱處理と其の組織に就て（綱干哲雄）						
引揚白銅貨の再鎔解に就て（中馬信行・高內順四郎）						
滿俺含有ニッケル貨の腐蝕に就て（岡田左一郎）						
金電解に就て（八木秀雄） ニ 鹽化銀の電解還元に就て（同上）						
青銅鍍金に就いて（同上） ニ カドミユムの鍍金に就いて（同上）						
銅・カドミユム合金の鍍金に就いて（同上）						
幣材熔解に於ける原價の考察（中馬信行）						
原價計算制度改定に就て（益滿正道）						
造幣局工場改築に就いて（廣瀨亞夫）						
W. Kurnakow の金・銅系合金の研究に就いて（岡田左一郎）						
電氣鍍金に於ける投布力に就いての一考察（岡村馨）						

金銀の電氣分解に於ける電極の性狀に就いて（小松原久治） 三
銀の電鑄に關する研究（小松原久治・八木秀雄） 三
礎素定量法の改良に就いて（網干哲雄） 三
造幣局に於ける酸及アルカリ工業（小松原久治） 三
昭和三年に於ける造幣局現業員の脚氣及其の豫防成績に就いて（伊藤久榮） 三
金銀の電氣分解に就て（小松原久治） 四
銀の容量分析に於て Diphenylamine blue を指示藥とする方法の批判的實驗（田中篤） 四
ケラー氏法によるセレニウムの分析法に就きて（近内權一・森下一二） 四
白色金（ホワイト・ゴールド）の乾式試金に就て（岡田左一郎） 四
極印下地燒鈍方法の改良に就て（大山高良） 四
電壓滴定法に關する研究（一・二）（西川悅） 四

造幣策 馬場正通撰 洋・中（日本經濟叢書） 冊 一 ヨ 類 一 號 二五二八 一九
造幣策 馬場正通撰 洋・中（日本經濟大典） 一 ヨ 一 三四八一 二九
大連を中心として觀たる銀市場と銀相場の研究 南郷龍晉編 昭和五 洋・中（滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 九六六 六三
大連上海銀市相場の開き竝に大連支那錢莊の鞘取賣買の研究 大連商業會議所編 昭和二 洋・中 一 ネ 四 三四七八
大連重要物産取引公定相場倫敦銀塊及金銀相場高低表 大正五年 大正六（滿蒙實業彙報附錄） 一 折 ネ 四 一七八九
大連錢鈔市場資料 大正六至昭和八年 洋・大 大連取引所錢鈔信託株式會社編 一 ネ 四 三七一九
臺灣貨幣問題 木村匡撰 明治三六 洋・小 一 ネ 四 七四九
臺灣に於ける秤量貨幣制と我が幣制政策 北山富久二郎撰 洋・中（臺北帝國大學政學部政學科研究年報） 一 カ 一 三七一〇 二
中華民國貨幣制度及銀問題文獻集錄（昭和六） 洋・中（金融研究會調書） 一 ネ 四 三五一二 五
中華民國の通貨と其價值主義に就いて 村松祐次撰 洋・中（東京商大商學研究年報） 一 ネ 二 三三四九 四
中華民國幣制改革問題の經過 高垣寅次郎撰 洋・中（東京商大商學研究年報） 一 ネ 二 三三四九 一
中華民國幣制と金融 第一部・銀問題 昭和一 洋・中（金融研究會）調書） 一 ネ 四 三五二三 一二
中國貨幣論考正 民國・裘葵能撰 洋・大（滿鐵統計季刊第二卷第二期別刷） 一 ネ 四 三七一七
中國漸進的金本位通貨實施法草案及びその理由報告書 米・ケメラー編・三井雄三郎譯 昭和五 洋・中（上海滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 三四九六 二
中國に於ける輕質銅元問題 南郷龍晉編 大正一二 洋・中（滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 九六六 四
中國幣制及生計問題 民國・劉冕執撰（民國三） 洋・大 一 ネ 四 二五二六
中國幣制問題 附錄二種 民國一七 民國・金國寶撰 洋・中 一 ネ 四 三五六五
鎭平銀 安東に於ける馬蹄銀の調査 安盛松之助編 大正一四 洋・中（滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 九六六 一七
通貨經濟會議の顚末 二編 日本國際協會刊 昭和八 洋・中（日本國際協會叢書本） 一 ネ 四 三六八九
通貨統制の一斷面 小林新撰 洋・中（早稻田經濟統制の研究） 一 ヨ 二 三五四五
通貨統制の目標に就て 大野純一撰 洋・中（經營學產業統制研究） 一 ヨ 一 三七〇〇
通貨の種別と金融 井村薰雄撰 昭和二 洋・小（支那財政經濟大系） 一 ヨ 一 三四〇八 四
通貨問題としての金解禁 深井英五撰 昭和四 洋・中 一 ネ 四 三五四五
獨逸貨幣沒落物語 附錄伯林取引所弗相場表（大正九年一月一日至一二年末日） 外九九表 老川茂信撰 昭和六 五版 洋・小 一 ネ 四 三五九九
南支南洋ノ通貨 臺灣銀行調査課編 大正九 增訂 洋・中 一 ネ 四 二八三〇
南支南洋ノ通貨 臺灣銀行交書係編 大正一三 增訂 洋・中 一 ネ 四 三三五二
南洋群島パラオ及びヤップの貨幣 矢内原忠雄撰（經濟學教授經歷二十五年記念 經濟學の諸問題） 洋・中 一 ヨ 一 三七七九
日本國造幣寮首長年報書 第一號（明治四年七月至五年六月） 大藏省刊 明治五 和・中 一 ネ 四 一九〇九 一
皇國造幣寮首長報告書 第二・三週年・第四回（明治五年六月至八年一月） 大藏省刊 洋・小 二 ネ 四 一九〇九 二一三
造幣權頭報告書 第一（明治八年二至六月半周年） 大藏省刊 洋・小 一 ネ 四 一九〇九 四
造幣權頭年報書 第二（明治八年八月至九年六月） 大藏省刊 和・小 一 ネ 四 一九〇九 五
造幣局長年報書 第三至六（明治一〇至昭和一〇年度） 大藏省刊 明治一〇至昭和一二 洋・小・中 三 ネ 四 一九〇九 五一二七
日本國造幣寮首長年報書 第一號 島村泰譯 洋・中（明治文化全集） 一 イ 四 一二三二 九
造幣局長年報書 第二六至四〇（明治三二至大正二年度） 大藏省刊 明治三三至大正三 洋・小 一五 イ 一三 三三三
牛莊港ニ於ケル通貨 牛莊領事館報告 洋・中（南滿洲ニ於ケル商業ノ內） 一 ネ 一 一三三七
伯國幣制と貨幣史の梗概 名和田政一撰 昭和八 洋・中（橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九 一五
伯國幣制ノ沿革竝ニ外國爲替騰落ノ原因 一ノ宮鈴太郎撰 大正一〇 洋・中（橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九 三
哈爾濱に於ける通貨及金融機關 南郷龍晉編 昭和四 洋・中（滿鐵庶務部調査課刊 パンフレット本） 一 ネ 四 三五三四
哈爾濱に於ける通貨及金融機關 南郷龍晉編 昭和四 洋・中（滿鐵庶務部調査課刊 パンフレット） 一 ヨ 一 三三四三 七
不換紙幣の史的發展 宮川貞一郎撰 昭和八 洋・小（不換紙幣叢書本） 一 ネ 四 三六六七
複本位制失敗史 米・コナント撰・東京銀行集會所譯 明治三六 洋・中（東京銀行集會所特別調査本） 一 ネ 四 三八三三
傅家甸及び其の通貨（フヂイアデン） 公門仲撰 大正一五 洋・中（橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九 七
フラン切下を中心とする國際通貨問題 富田勇太郎述・金融研究會刊 昭和二 洋・小（講演集本） 一 ネ 四 三八〇六
佛蘭西インフレの全貌 矢野庄太郎撰 昭和八 洋・中 一 ネ 四 三六八八
一千八百七十七年米合衆國貨幣取調委員報告書 卷一 小野一郎譯 明治二二 洋・小 一 ネ 四 二四九

米國正貨準備制度の本質 米・ヴァールバーグ撰・淺田惠一譯補 昭和七 洋・中 一 ネ 四 三六三三
米國に於ける金と物價問題 武川虎之助撰 大正一四 洋・中（橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九 七
幣制調査に關する諸大家の意見 外三項（大日本實業學會講義錄） 洋・中 一 ネ 四 三五四
奉天票と東三省の金融 南郷龍晉編 大正一五 洋・中（滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 九六六 二一
奉天票の話 寺村和一撰 大正一五 洋・中（橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 一九〇九 五一二七
墨銀ニ關スル取調書 附廣東造幣局略況 大藏省主計局編 明治二六 洋・中 一 ネ 四 五九八
北米合衆國聯邦準備制度調査報告 東京高等商業學校刊 大正六 洋・中（調査部報告本） 一 ネ 四 三三七九
保證準備擴張問題 附錄各國發券準備制度ニ關スル參考表（昭和二年三月調） 東京商工會議所刊 昭和三 洋・中（商工調査本） 一 ネ 四 三五一三
補助銀貨改鑄の議に就て 藤澤利喜太郎撰（藤澤博士遺文集） 洋・中 一 イ 四 一二九四 一
滿・支幣制改革問題 荒木光太郎撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集） 一 ネ 四 三七三五 三〇
滿洲貨幣相場集成 其一二 南郷龍晉編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和三 洋・中（パンフレット） 一 ヨ 一 三三四三 四
滿洲國幣制と金融 金融研究會編（昭和七） 洋・中（金融研究會）調書） 一 ネ 四 三五二一 六
滿洲國通貨統計 B（貨幣相場編） 昭和七 洋・大 一 ネ 四 三六三一
滿洲ニ於ケル銀 附錄滿洲ニ於ケル銀資金關聯ト大連銀市場恐慌ノ眞相 大石悅雄撰 大正八（謄寫版） 洋・小 一 ネ 四 二九七九
滿洲に於ける金資と銀資 附錄滿洲に於ける通貨の現狀他十六項 渡邊精吉郎撰 昭和二 再版 洋・小 一 ネ 四 三五一一五
滿洲ニ於ケル支那側金融機關ト通貨 大谷彌十次編 大正八 洋・中（滿鐵）調査資料） 一 ヨ 一 九〇六 五
滿洲に於ける通貨及金融の概要 安盧松之助編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和三 洋・中（パンフレット） 一 ヨ 一 三三四三 五
滿洲に於ける通貨・金融の過去及現在 滿洲事情案內所編 洋・中（滿洲事情案內所報告本） 一 ネ 四 三七八五
滿洲ニ於ケル通貨事情 外務省通商局刊 大正八 洋・大 一 ネ 四 二七四

232130

		冊	類	號
滿洲ニ於ケル幣制改革ニ關シ對策講究ノ件說明書	大連商工會議所刊 昭和三 洋・中	一	ネ	四 三六六四
滿洲幣制の現在及將來 附錄滿洲國貨幣制度關係法令集	昭和七 洋・中（滿鐵講座） 安盧松之助撰	一	力	五 三四七一 八
明日の貨幣 各國貨幣制度改革案・附錄中央銀行の手形再割引に關する業務外三項	東京商工會議所調査部編 昭和八 洋・小	一	ネ	四 三六九一
預金通貨の研究	中谷實・大野榮一郎撰 昭和八 洋・中（財政金融研究會紀要本）	一	ネ	四 三八五六
橫濱開港當時之貿易狀態並洋銀相場取引之沿革	東京高等商業學校調査部刊 大正三 洋・中（調査部報告本）	一	ネ	三 一四三一
遼寧の準備庫と現大洋票	藤井諒撰 昭和五 洋・中（滿鐵調査資料）	一	ヨ	一 九六六 五九
レキシス氏銀及本位論	大藏省主計局譯 明治二六 洋・中	一	ネ	四 五九七
列國幣制の新傾向と歐洲戰爭	高島佐一郎撰 大正四 洋・中	一	ネ	四 二六二七
我國通貨政策と日滿爲替安定問題に就て	滿洲國國務院總務廳情報處編 昭和一一 洋・中	一	ネ	四 三七七四

○

貨政考要 法令編	大藏省刊 明治一八 洋・中	三	ネ	四 一一六一
貨幣條例	造幣寮刊 和・中	一	ネ	四 二三五
紙幣條例	大藏省刊 和・大	一	ネ	四 二三三
新貨條例 官版	寫本 和・小	一	ネ	四 三七六一
新貨幣法規 瑞典・和蘭・墨西哥・西班牙	造幣局譯 昭和二 洋・中	一	ネ	四 三四七二
米國貨幣法規	造幣局刊 大正一五 洋・中	一	ネ	四 三四一一

○

貨政考要 法令編	大藏省刊 明治一八 洋・中	三	ネ	四 一一六一
貨幣條例	造幣寮刊 和・中	一	ネ	四 二三五
紙幣條例	大藏省刊 和・大	一	ネ	四 二三三
官版新貨條例	寫本 和・小	一	ネ	四 三七六一
瑞典・和蘭・墨西哥・西班牙貨幣法規	造幣局譯 昭和二 洋・中	一	ネ	四 三四七二
米國貨幣法規	造幣局刊 大正一五 洋・中	一	ネ	四 三四一一

歐洲貨幣史 附日本貨幣史	英・シヨウ撰・信夫淳平譯 明治三五 洋・中（經濟學叢書本）	一	ネ	四 五五二
同		一	ネ	四 五五三
貨政考要	大藏省刊（明治二〇） 洋・大	三	ネ	四 一一六〇
貨政考要 法令編	大藏省刊 明治一八 洋・中	三	ネ	四 一一六一
明治貨政考要 法令編共	大藏省編 昭和九 洋・中（明治財政經濟史料集成）	二	タ	二 三三九七 一一一四
貨幣	西村眞次撰 昭和八 洋・大（日本古代經濟交換篇）	一	ヨ	四 三四五三 四
貨幣祕錄	佐藤治左衞門撰 洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ	一 二五二八 三二
貨幣祕錄	佐藤治左衞門撰 洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一 三四八一 四五
咸豐大錢攷	民國・張綱伯編 唐・小（銀行週報增刊本）	一	ネ	四 三三七四
金銀考	洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一 三四八一 四二
金銀錢沿革攷 九卷・目一卷・附錄金銀山等四卷	寫本 和・大	一四	ネ	四 三七八三
金銀通用記評判 二卷	洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ	一 二五二八 三〇
金銀通用記評判 二卷	洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一 三四八一 四二
金銀吹替評	洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ	一 二五二八 六
金銀吹替評	洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一 三四八一 一一
金座考	鈴木俊三郎撰 洋・大（日本貨幣史別編）	一	ネ	四 * 三五八三
金座由緒書	後藤庄三郎撰 洋・中（史籍雜纂ノ內諸由緒）	一	リ	四 三三一九 三
銀座由緒書	洋・中（史籍雜纂ノ內家傳史料）	一	リ	四 三三一九 三
銀座由緒書	寫本 和・中（工藝家由緒書）	一	リ	四 二七三三

近世露國貨幣史 附現行露國貨幣制度大要	宮村時一郎抄譯 大正六 洋・中（朝鮮銀行調查局調查書・調乙）	一	ヨ	一 九二三 一
銀目廢止と太政官札	菅野和太郎撰 洋・中（續大阪經濟史研究）	一	ヨ	四 三四八四 二
皇國造幣寮濫觴之記	久世治作述 洋・中（明治大正大阪市史史料篇）	一	リ	五 五三一八 七
甲州金座記錄	洋・中（甲斐叢書）	一	イ	四 一二三九 七
欽定古今圖書集成	食貨典錢鈔部 清・蔣廷錫等編・圖書集成鉛版印書局重印 唐・小	三	イ	三 二四〇 一四一七一四一九
古事類苑 泉貨部	神宮司廳刊 洋・大	一	イ	三 一四六 一二
古事類苑 泉貨部	古事類苑刊行會刊 洋・中	二	イ	三 一八三七 一二六
古泉學 第二・三期	中國古泉學會編刊 民國二五 洋・中	二	ネ	四 三八三〇
古泉雜詠	清・葉德輝撰（觀古堂所著書） 唐・大	二	イ	四 四五九 一五一一六
後藤氏由緒書 異本共	洋・中（史籍雜纂ノ內家傳史料）	一	リ	四 三三一九 三
後藤庄三郎由緒書	洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書）	一	イ	四 七六五 四二
後藤庄三郎由緒書	寫本 和・中（工藝家由緒書）	一	ヌ	四 二七三三
今古米錢略考	和・小	一	ネ	四 一二三三
今古米錢略考	洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一 三四八一 四七
三貨圖彙 二〇卷・物價之部一〇卷・附錄九卷・遺考三卷	草間直方撰 大正五 洋・中（日本經濟叢書）	二	ヨ	一 二五二八 二七一二八
三貨圖彙 二〇卷・物貨之部一〇卷・附錄九卷・遺考三卷	草間直方撰 昭和四・五 洋・中（日本經濟大典）	二	ヨ	一 三四八一 三九一四〇
支那貨幣・金融發達史	廣畑茂雄 昭和一一 洋・中	一	ネ	四 三八〇三
支那貨幣考	蘭・ヴイツセリング撰・駒井重格譯（專修學校講義錄） 洋・中	一	ネ	四 四七九

支那貨幣史錢莊攷	廣畑茂雄撰 昭和八 洋・中	一	ネ	四 三六七七
紙幣整理始末	大藏省刊 洋・大	一	ネ	四 五九五
紙幣整理始末	大藏省編 洋・中（明治財政經濟史料集成）	一	タ	二 三三九七 一一
準備金始末	大藏省編（明治二三） 洋・大	一	ネ	四 五九四
上代貨幣經濟史	細川龜市撰 昭和九 洋・小	一	ネ	四 三七一三
上代鈑金考 附京目田舍目ノ說	拍木貨一郎撰（明治一二） 和・小	一	ネ	四 一二三九
正德年中金銀吹替覺書	洋・中（改定史籍集覽）	一	リ	四 二五九 一七
新日本史 貨幣篇	永井繁・池田敬八撰 洋・中	一	リ	五 四七二一 二
吹塵錄 貨幣之部	勝安芳編 洋・大	二	ワ	三 六一 一一二
吹塵錄 貨幣之部	勝安芳編（海舟全集） 洋・中	一	イ	四 一二三四 三
周防鑄錢司史	米光長三郎編 大正一一 和・中	一	ネ	四 三〇四一
泉貨分量考	朽木昌綱撰 洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一 三四八一 一六
錢座鳴見平藏書上	和・小（史籍集覽ノ內史料叢書）	一	リ	四 一〇五八 二九
錢座鳴海平藏書上	洋・小（改定史籍集覽）	一	リ	四 二五九 一六
錢貨譚叢	酒井忠衛撰 洋・中（日本藝林叢書）	一	イ	四 一一三九 八
錢幣攷遺圖錄共	狩谷望之撰 洋・小（日本古典全集）	二	イ	四 一三三〇 一五一一六
錢幣略記	青木敦書撰 洋・中（日本經濟叢書ノ內三貨圖彙附錄）	一	ヨ	一 二五二八 二八
錢幣略記	青木敦書撰 洋・中（日本經濟大典ノ內三貨圖彙附錄）	一	ヨ	一 三四八一 四〇
造幣局沿革誌	造幣局刊 大正一〇 洋・中	一	ネ	四 三三九九

		冊	類	號
造幣局創業當時の狀況	長谷川爲治述　洋・中（明治大正大阪市史史料篇）	一	リ	五三一八七
造幣局六十年史	同局刊　昭和六　洋・中	一	ネ	四　三六二一
大日本貨幣史　二〇卷・附錄二六卷	吉田賢輔編　明治九至一六　和・大	四六	ネ	四　三一三
大日本貨幣史參考	貨幣・賣買・物價・金銀貨・外國貿易部（度量衡・爲替部缺）吉田賢輔・米本少藏編　明治一〇・一一　洋・小	五	ネ	四　一八
大日本貨幣史	本篇二〇卷・附錄二六卷・參考三五卷・補錄四卷　吉田賢輔編・本庄榮治郎訂　大正一四・二五　洋・中	八	ネ	四　三三七一
中外錢史	穗井田忠友撰　洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ	一　二五二八　二九
中外錢史	穗井田忠友撰　洋・事（日本經濟大典）	一	ヨ	一　三四八一　四一
鑄貨圖錄	佐野英山編　大正二　和・大	二	ネ	四　二五〇八
	錢座部　一　金銀座部			二
朝鮮錢史	乾（高麗朝之部）　藤間治郎作撰　大正七　和・中	一	ネ	四　二七〇〇
通貨と風俗	入田整三撰　洋・中（日本風俗史講座）	一	ヲ	六　三〇七四　五
當今金錢米布江水通貨考	洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一　三四八一　四七
唐宋時代に於ける金銀の研究	但し其の貨幣的機能を中心として　加藤繁撰　大正一四・一五　洋・大（東洋文庫論叢本）	二	ネ	四　三五四九　六
德川氏貨幣志	齋藤坦藏編　寫本　和・大	一	ネ	四　三四三六
德川氏貨幣志	齋藤坦藏編　明治二一　洋・小	一	ネ	四　四八四
同		一	ネ	四　三五五二
德川時代の金座	木村莊五撰　昭和六　洋・小（東京市史外篇）	一	リ	五　五二八七　二
鳴海氏由緒書	寫本　和・中（工藝家由緒書）	一	ヌ	四　二七三三
鳴海氏由緒書	洋・中（史籍雜纂ノ內家傳史料）	一	リ	四　三三一九　三

		冊	類	號
ニツケル貨幣史	英・モンド・ニツケル會社編・造幣局抄譯　昭和三　洋・中	一	ネ	四　三四九一
日本貨幣考	瑞典・ツンベルグ撰・山田珠樹譯　洋・中（異國叢書）	一	イ	四　一二二八　四
日本貨幣史	信夫淳平撰　洋・中（歐州貨幣史ノ附錄）	一	ネ	四　五五三
日本貨幣史	瀧本誠一撰　昭和四　洋・小（春秋文庫本）	一	ネ	四　三六〇六
日本貨幣史	別編金座考（鈴木俊三郎）添　塚本豐次郎編　大正一二　洋・大	一	ネ	四　＊三五八三
日本貨幣の沿革	福地源一郎撰　洋・中（早稻田商科講演）	二	ネ	一　一二二四
日本貨幣流通史	附錄我邦貨幣と感勝的使用との關係に就きての考察　小葉田淳撰　昭和五　洋・中	一	ネ	四　三五八六
日本古代通貨考	濱田健次郎撰　明治二一　洋・小	一	ネ	四　二六五
日本古代通貨は如何	田口卯吉撰　洋・中（鼎軒田口卯吉全集）	一	イ	四　一一三七　二
日本財政經濟史料	貨幣・鑛山・紙幣　大藏省編　洋・中	二	タ	二　三〇五六　一一六
貝幣ノ變遷	新渡戶稻造撰　洋・中（和田垣教授經濟論叢）	一	ヨ	一　八二〇
哈爾濱大洋票流通史	附錄東三省銀行關係訓令外八項・南鄉龍音編　昭和三　洋・中（滿鐵調查資料）	一	ヨ	一　九六六　四五
哈爾濱ニ於ケル通貨變遷ノ狀況	宗像保太郎撰　洋・中（橫濱正金銀行調查報告）　大正一三	一	ネ	四　二八四九　六
佛領印度支那貨幣志	名和田政一撰　昭和七　洋・中（橫濱正金銀行調查報告本）	一	ネ	四　三六三七
佛領印度支那貨幣史	名和田政一撰　昭和七　洋・中（橫濱正金銀行調查報告）	一	ネ	四　二八四九　一三
文久錢吹方一件	竝銅小錢方附明和鑄錢一件竝撮要　寫本和・小	一	ネ	四　二一三五
幣制改革參考書	大藏省理財局編　明治三〇　洋・大	一	ネ	四　五九一
寶貨雋	洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川文藝類聚）	一	イ	四　七九九　一四
寶貨漫文抄	木村富成撰　洋・中（國書刊行會叢書ノ內鳳瑛十種）	一	イ	四　八五一　二

		冊	類	號
本朝寶貨通用事略	新井君美撰　寫本　和・大	一	ネ	四　二三〇
本朝寶貨通用事略	新井君美撰　寫本　和・大	一	ネ	四　一〇八九
本朝寶貨通用事略	新井君美撰　和・中（白石叢書ノ內五事略）	一	イ	四　六二三
本朝寶貨通用事略	新井君美撰　洋・中（新井白石全集ノ內五事略）	一	イ	四　一一七九　三
本朝寶貨通用事略	新井君美撰　和・中（五事略）	一	イ	四　一一八七　二
本朝寶貨通用之事略	新井君美撰　和・小（史籍集覽ノ內史料叢書）	一	リ	四　一〇五八　三〇
本朝寶貨通用之事略	新井君美撰　洋・小（改定史籍集覽）	一	リ	四　二五九　一七
白石先生寶貨事略追加	柘植英勝撰　洋・小（未刊隨筆百種）	一	イ	五　一一二九　一一
明治財政史　第一三篇（通貨）	明治三八　洋・大　同史編纂會編	二	タ	二　三四一四　一一二
明治財政の基礎的研究	澤田章撰　昭和九　洋・中	一	タ	二　三四〇七
明治三十年幣制改革始末概要	（明治三二）　大藏省編　洋・大	一	ネ	四　四一三
同		一	ネ	四　四八六
明治三十年幣制改革始末概要	（明治財政經濟史料集成）　大藏省編　洋・中	一	タ	二　三三九七　一一
明治四年の幣制改革	堀江保藏撰　洋・中（明治維新經濟史研究）	一	ヨ	四　三四三〇
蘭領東印度貨幣制度の變遷と其現況	井上俊彥撰　洋・中（橫濱正金銀行調查課）調查資料）	一	ネ	四　三八二二　一
兩替商沿革史	附古金の種類　明治三六　洋・中　大阪兩替商組合編	二	ネ	四　三四五三
兩替商沿革史	附古金の種類　昭和一二　洋・中　大阪兩替商組合編・羽黑兵治郎校	一	ネ	二　三三七九　三

○

		冊	類	號
增補改正孔方圖鑑	小澤辰元撰　寬政二　和・中	一	ネ	四　三八七二
唐阿蘭陀持渡金銀錢圖鑑	寫本　和・大	二	ネ	四　＊一二三四
寬永錢譜　三卷・附錄一卷	藤井貞幹編・源尙友校　寫本　和・大	一	ネ	四　＊一二八六
金銀圖錄　六卷・附言一卷（文化七）	近藤守重編　和・中	七	ネ	四　一五八九
金銀圖錄　六卷・附言一卷	近藤守重編　明治二六　求版　和・中	七	ネ	四　七〇六
金銀圖錄續編	洋・中（日本經濟叢書）	一	ヨ	一　二五二八　三二
金銀圖錄續編	洋・中（日本經濟大典）	一	ヨ	一　三四八一　四五
欽定錢錄　一六卷	清・梁詩正等奉勅編	八	ネ	四　九六六六
金譜續編　附金銀圖錄續編	揚本　和・中　小幡信節編	一	ネ	四　＊二七七
古今泉貨鑑　二〇卷	朽木昌綱撰　和・中（寬政一〇）	一三	ネ	四　一二一九
古今錢略　三二卷・首尾各一卷	清・倪模撰　（光緒五）　唐・大	一六	ネ	四　三四五五
古札便覽　一名古札位附	澤京治郎編　明治四四　和・中	一	ネ	四　二五四八
新古錢價附	佐野英山編　大正二　再版　和・中	一	ネ	四　二五〇九
古泉匯　五〇卷・首四卷・續一四卷・首一卷・補遺二卷	清・李佐賢編　同治三　唐・大	二〇	ネ	四　三八七三
國家金銀錢譜　一卷・續集一卷	青木敦書撰　寫本　和・大	一	ネ	四　七一
三貨圖彙　三〇卷・物價之部一〇卷・附錄九卷・遺考三卷	（日本經濟叢書）　大正五　洋・中	一	ヨ	一　二五二八　二七一二八
三貨圖彙　三〇卷・物價之部一〇卷・附錄九卷・遺考三卷	草間直方撰　昭和四・五　洋・中（日本經濟大典）	二	ヨ	一　三四八一　三九一四〇
新校正珍貨圖鑑凡例	草間直方撰　狩谷望之撰　洋・中（日本藝林叢書）	一	イ	四　一一三九　九
新刻百錢譜	寬齋撰　洋・小（隨筆文學選集）	一	イ	五　一一二四　四

新撰古泉名鑑 鴛田呆仙撰 大正二 和・中 — ネ 四類 二六四四 一
新撰錢譜 五巻 朽木昌綱撰 (天明二) 和・中 — ネ 四 一七四八 一
泉貨鑑 二〇巻 朽木昌綱撰 (寛政一〇) 和・中 — ネ 四 一一九 一三
泉貨鑑 第二至一四巻 朽木昌綱撰 寛政二 和・中 — ネ 四 一四五九 六
泉志 一五巻 宋・洪遵撰・明・鮑山校 (萬曆三二) 唐・大 — ネ 四 三五七七 二
泉志 一五巻 宋・洪遵撰 唐・小 (津逮祕書) — イ 四 一一七〇 一〇九一一〇 二
泉志 宋・洪遵撰 唐・大 (說郛) — イ 一二 * 九三 六 一
泉志校誤 四巻 清・金嘉采撰 唐・大 (觀自得齋叢書) — イ 九 五六五 一四 一
錢譜 宋・董逌撰 唐・大 (說郛) — イ 一二 * 九三 六 一
錢譜 藤井貞幹撰 洋・中 (日本藝林叢書) — イ 四 一一三九 八 一
錢錄 近藤守重撰 洋・中 (近藤正齋全集) — イ 四 四九七 三 一
造幣局製貨章牌類圖錄 附錄古金銀銅貨幣 昭和三 和・大 同局編 — ネ 四 三五〇〇 一
續古泉大全 四巻 今井貞吉編 明治二一 和・中 (古泉大全卷三三至三六) — ネ 四 一二八 四
東西錢譜 撮本 和・中 — ネ 四 * 二八三 一
南部錢譜 同別集附 (昭和七) 太田孝太郎選竝拓 和・大・小 — ネ 四 * 三六九三 二
日本古金銀貨大全一目表 藤島常興撰 明治二三 和・大 — ネ 四 九七八 一
日本古紙幣類鑑 荒木豐三郎編 昭和五至七 和・中 — ネ 四 三八〇九 八
藩札圖錄 四巻・同附錄一巻 大正一〇 和・中 佐野英山編 — ネ 四 三四五五 五
明治新撰泉譜 三集 成島弘・守田寶丹編 明治一五至二二 和・大 — ネ 四 二〇七〇 三
洋外貨品 巻一・二 揚本 和・中 — ネ 四 * 一九三三 二
洋貨圖錄 松園主人編 (安政六) 和・中 — ネ 四 一二〇 一
歷代鍾官圖經 八巻 陳榮考撰 寫本 和・大 — ネ 四 三八七一 四
魯西亞錢譜 森島中良編 洋・中 (日本經濟叢書ノ內三貨圖彙附錄) — ヨ 一 二五二八 二八 一
魯西亞錢譜 森島中良編 洋・中 (日本經濟大典ノ內三貨圖彙附錄) — ヨ 一 三四八一 四〇 一

銀行・信託・爲替・貯金

應用銀行學 卷一・二 米・剖爾斯撰・金谷昭譯 明治一八 和・中 — ネ 四 一二 二
貨幣論 服部文四郎述 昭和三 (謄寫版) 洋・中 — ネ 四 三五七五 一
貨幣銀行及爲替論 附錄法規 服部文四郎撰 昭和九 五版 洋・中 — ネ 四 三七一四 一
貨幣・銀行・外國爲替 堀江歸一撰 大正一五 洋・中 — ネ 四 三三九一 二
貨幣銀行通論 青木得三撰 昭和一二 洋・中 — ネ 四 二八四四 一
貨幣論・銀行論 田中金司撰 洋・小 (經濟學全集ノ內經濟學特殊理論下) — ヨ 一 三四九三 七 一
金・銀・爲換 第一編 岡崎遠光編 明治三九 洋・小 — ネ 四 九七七 一
銀行 池田成彬・大矢知昇撰 洋・中 (現代產業叢書) — ヨ 一 三五〇〇 二 二
銀行 池田成彬・大矢知昇撰 洋・中 (社會經濟體系) — ヨ 一 三四一六 五 一
銀行 村田俊彥講 (明治三九年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ 四 一三七〇 一
銀行 村田俊彥講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ 四 二〇〇四 一
改訂銀行及外國爲替 水島銕也撰 大正一〇 八版 洋・中 — ネ 四 二八〇五 一
銀行及外國爲替論 田代循撰 明治三五 洋・中 — ネ 四 六二六 一
銀行及金融 松崎壽撰 大正一二 洋・中 — ネ 四 三〇八〇 一
銀行及金融研究 松崎壽撰 大正一一 洋・小 — ネ 四 二八一二 一
銀行及貿易 乘竹孝太郎撰 大正元 洋・中 (肅堂遺稿本) — ネ 四 二四二五 一
銀行經營論 田中金司・新庄博撰 昭和一〇 洋・中 — ネ 四 三七六四 一
銀行原論 服部文四郎撰 大正三 洋・中 — ネ 四 一二六三 一
最新銀行講話 松島喜作撰 大正一三 洋・小 — ネ 四 三二〇〇 一
銀行國營論の三系統 春日井薰撰 洋・中 (經營學論集) — ネ 二 三四七三 四 一
銀行集中論 高垣寅次郎撰 大正三 洋・中 — ネ 四 一一七四 一
銀行新論 附外國爲替 野口弘毅撰 洋・中 (帝國百科全書) — イ 四 一五一 八八 一
銀行政策 岡崎遠光撰 明治三五 洋・中 — ネ 四 一四四 一
銀行讀本 高山藤次郎撰 昭和一〇 洋・中 — ネ 四 三七三二 一
銀行讀本 橋爪明男撰 昭和一〇 洋・中 — ネ 四 三七三四 一
銀行取引法 妹尾一雄撰 昭和一〇 洋・小 (現代金融經濟全集) — ネ 四 三七三五 二五 一
銀行論 青木得三撰 大正一三 洋・中 — ネ 四 三一四八 一
銀行論 天野爲之講 (東京專門學校講義錄) 洋・中 — ネ 四 二六 一
銀行論 天野爲之撰 明治二三 洋・小 (講習全書本) — ネ 四 四一 一
銀行論 天野爲之講 (早稻田大學講義錄) 洋・中 — ネ 四 一九〇二 一
銀行論 天野爲之・井上辰九郎講 (東京專門學校講義錄) 洋・中 — ネ 四 六五 一
銀行論 宇都宮鼎講 (早稻田大學講義錄) 洋・中 — ネ 四 七二六 一
銀行論 吳文炳撰 昭和一一 洋・中 — ネ 四 三七七七 一
銀行論 佐野善作撰 明治三六 增訂再版 洋・中 — ネ 四 七七七 一
銀行論 佐野善作・高垣寅次郎撰 大正一一 九版 洋・中 — ネ 四 二八〇三 一
最近銀行論 杉程次郎撰 大正一一 洋・中 — ネ 四 二七八二 一
銀行論 高垣寅次郎撰 昭和五 洋・中 (現代經濟學全集) — ヨ 一 三四九四 一一 一
銀行論 田尻稻次郎講 (專修學校講義錄) 洋・中 — ネ 四 三四八 一
銀行論 土子金四郎講 (東京專門學校講義錄) 洋・中 — ネ 四 一四三 一
銀行論 內藤章撰 大正九 再版 洋・中 — ネ 四 二五〇六 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科明治四四年度講義錄) 洋・中 — ネ 四 八九六 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科大正元年度講義錄) 洋・中 — ネ 四 一五五四 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科第二九回講義錄) 洋・中 — ネ 四 二五八一 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科第三〇回講義錄) 洋・中 — ネ 四 二五八二 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科第三一回講義錄) 洋・中 — ネ 四 二五八三 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科第三二回講義錄) 洋・中 — ネ 四 二五八四 一
銀行論 服部文四郎講 (早稻田大學政治經濟科第三三回講義錄) 洋・中 — ネ 四 二五八五 一
銀行論 服部文四郎講 (大正二年度早稻田商業講義) 洋・中 — ネ 四 二三三八 一
同 英・ハンキー撰・可兒三隆譯 明治二四 洋・小 — ネ 四 二八八 一

最新銀行論	堀江歸一撰 明治四二 六版 洋・中	一	ネ	四類	一七九八
銀行論	堀江歸一撰 大正四 三版 洋・中	一	ネ	四	一五一四
改訂銀行論	堀江歸一撰 大正五 五版 洋・中	一	ネ	四	一六七九
增訂改版銀行論	堀江歸一撰 大正一一 一七版 洋・中	一	ネ	四	二八七〇
銀行論	英・マクレヲード撰・後藤博見等譯 明治一七至二三 洋・中	四	ネ	四	二四七
銀行論	山崎覺次郎撰 洋・中（經濟叢書）	一	ヨ	一	一七七 六
銀行論	山崎覺次郎講 （中央大學）明治四一年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四	二三六〇
銀行論	山崎覺次郎講 （早稻田大學）行政科明治三九年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四	二一一三
銀行論	山崎覺次郎講 （早稻田大學）政治經濟科明治三九年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四	一二〇四
銀行論	山崎覺次郎講 （早稻田大學）政治經濟科明治四〇年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四	一四七三
銀行論	山崎覺次郎講 （早稻田大學）政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四	一九五七
銀行論	山崎覺次郎講 （早稻田大學）政治經濟科明治四三年度講義錄） 洋・中	一	ネ	四	八九四
銀行論	山崎覺次郎撰 大正七 四版 洋・中	一	ネ	四	二三〇二
コナント氏銀行論	附錄本邦銀行法規 大正五 洋・中 高島誠一解說	一	ネ	四	一六七八
ダン氏銀行論	堀江歸一解說 明治三六 洋・中 （世界經濟叢書本）	一	ネ	四	七二
支那銀行論	民國・吳承禧撰・玉木英夫譯 昭和一二 洋・中	一	ネ	四	三八一六
社會主義論者の貨幣及銀行觀	左右田喜一郎撰 洋・中 （左右田喜一郎全集）	一	ヨ	二	三四九一 一
殖民地銀行論	岡樂三撰 洋・中 （最近經濟問題）	一	ヨ	二	一九二 一七
中央銀行・日本銀行論	田中金司撰 昭和二 洋・小 （現代金融經濟全集）	一	ネ	四	三七三五 一八
哲理銀行論	英・マクレオード撰・金谷昭譯 明治二三 洋・小	一	ネ	四類	二八七
獨逸信用銀行論	附錄貨幣價値安定以來の獨逸信用銀行の業績外一篇 串本三郎撰 昭和二 洋・小 （銀行講座本）	一	ネ	四	二五〇三
土地抵當銀行論	佛・ジョツソー撰 明治二 洋・大 （財務參考書）	二	タ	一	五一〇 二一三
普通銀行・貯蓄銀行論	野崎龍七撰 昭和一〇 洋・小 （現代金融經濟全集）	一	ネ	四	三七三五 一九
不動產銀行論	矢作榮藏撰 明治四四 洋・中	一	ネ	四	二二七五
米國銀行制度論	附錄聯邦準備條例 大正一三 洋・中 太田黑敏男撰	一	ネ	四	三一五五
本邦地方銀行論	榎並赴夫撰 大正一一 洋・小	一	ネ	四	二九〇〇
リカアドオ貨幣銀行論集	小畑茂夫譯 昭和六 洋・中	一	ネ	四	二六一三
勞働銀行研究	長沼弘毅撰 昭和一〇 洋・小	一	ネ	四	三七九一
同		一	ネ	四	三七九三

○

アルジェリー銀行ノ發達及其現況	朝鮮銀行調查室編 大正四 洋・大 （朝鮮銀行月報附錄集）	一	ヨ	一	七七二 三
印度の銀行制度	大阪商大銀行業務研究室編 昭和六 洋・中 （研究室彙報本）	一	ネ	四	三六〇一
英國に於ける Moneyed Interest の發達と英蘭銀行の創立	金田近二撰 洋・中 （誇立二十五周年記念論文集）	一	ネ	一	三六二
英國の銀行及金融	附錄英國銀行の眞髓 昭和二 洋・小 春日井薰撰 （銀行講座本）	一	ネ	四	三五〇四
英米獨佛最近の銀行事情	英・マッケンヂー撰・伊地知軍司譯 昭和七 洋・小	一	ネ	四	三六二九
埃及國立銀行及埃及農業銀行	逸出書編 大正四 洋・中 （朝鮮銀行調查局調查書・調乙）	一	ヨ	一	九二二 一五
歐洲諸國銀行制度	米・ムールマン述・東京銀行集會所譯 昭和二 洋・大 （銀行通信錄附錄）	一	ネ	四	一七四一
海外銀行一斑	朝鮮銀行調查室編 大正四 洋・大	一	ネ	四	一九九五
海外銀行ノ活動ト朝鮮銀行	美濃部俊吉撰 大正七 洋・中	一	ネ	四	二三七四
海外商業實務	銀行及手形篇 今井友次郎撰 明治四二 洋・大	一	ネ	一	一七七〇
同		一	ネ	一	一七七一
同		一	ネ	一	一七七二
外國不動產銀行調	大藏省銀行局刊 大正六 洋・中	一	ネ	四	一八三四
官會社辨板	福地源一郎譯 明治四 和・中	一	ネ	四	五二五
官會社辨板	福地源一郎譯 洋・中（明治文化全集）	一	イ	四	一二三三 九
各國植民地銀行制度	附錄本邦特殊銀行の業務一覽表 昭和五 洋・中（滿鐵調查資料） 坂田讓吉編	一	ヨ	一	九六六 六三
各國手形交換所制度	米・バイレー稿・伴野乙彌譯 （專修學校講義錄） 洋・中	一	ネ	四	三一〇
各國ニ於ケル貯蓄銀行ノ組織及關係法規	貯金局抄譯 （昭和二） 洋・中 （貯金局）業務資料）	一	ツ	六	二九六五 三
各國に於ける貯蓄金庫事業	大阪市社會部調查課譯 昭和二 洋・中（社會部報告）	一	ヨ	九	三〇五一 二五
各國の對支投資機關	滿鐵庶務部調查課編 昭和三 洋・中 （パンフレット）	一	ヨ	一	三三四三 三
カナダに於ける中央銀行創設問題	金融研究會編 （昭和一〇） 洋・中（金融研究會）調書）	一	ネ	四	三五一二 九
爲替尻操縱方法	松川隸治撰 昭和二 洋・小 （銀行講座本）	一	ネ	四	三四五一
休業銀行の整理と和議	齋藤常三郎撰 （昭和二） 洋・中 （國民經濟雜誌抜別）	一	ネ	四	三四七一
極東ニ活動スル佛國ノ印度支那銀行	朝鮮銀行調查室編 大正二 洋・大（朝鮮銀行月報附錄集）	一	ヨ	一	七七二 三
銀行及銀行員の內幕	櫻下隱士撰 明治三九 再版 洋・小	一	ネ	四	二一九四
銀行會社業績內容總覽	第二・三・五編（大正一五・昭和二年） 成瀨省一商店調查部編 洋・大	三	ヨ	一〇	三四〇五
銀行會社新設擴張計畫資本調	附會社解散・減資及社債償還調（昭和五・六年） 三井銀行調查課刊 洋・大	一	ヨ	一〇	三五二一
全國銀行會社統計要覽	東京興信所編 明治四二 洋・小	一	ネ	四	一八六〇
銀行會社年鑑	經濟雜誌ダイヤモンド社編 昭和三 洋・大	一	ヨ	一〇	三四一七
同		一	ヨ	一〇	三四一九
銀行會社の實質B編	經濟雜誌ダイヤモンド社編 昭和六 洋・大 經濟雜誌ダイヤモンド臨時增刊）	一	ヨ	一〇	三四八四
銀行會社要錄	第五至四〇版（有缺） 明治三四至昭和一一 東京興信所編 洋・小	二	ヨ	一〇	一七〇九
銀行貸出業務	附錄正米相場の統計的豫測法 昭和五 洋・中 青木萃一撰	一	ネ	四	三五七一
銀行家の法律顧問	銀行研究社刊 昭和七 洋・中 （銀行研究特別附錄）	一	サネ		二九 一八
銀行課報告	第一・二次（明治六至一三）・三次（明治三八至四五）・四次（大正四至一〇） 大藏省銀行局刊	二	ネ	四	一一三 一一三
銀行局年報	第四〇至四六次（大正四至一〇） 大藏省銀行局刊 大正五至一二 洋・大	一〇	ネ	四	一一三 一〇一一九
銀行課報告	第一次（明治六至一二年） 大藏省銀行課刊 （明治一三） 洋・大	七	ネ	四	一一三 二〇一二六
銀行からくり物語	岩塚源也撰 昭和二 洋・小	一	ネ	四	六
銀行業成功ノ要素	英・ハーグ撰・東京銀行集會所譯 明治四〇 洋・中（東京銀行集會所特別調查）	一	ネ	四	三四三九
銀行業務例取調報告	高等商業學校刊 明治三三 洋・中	一	ネ	四	一四九九 二
		一	ネ	四	八五一
		一	ネ	四	一一九四
		一	ネ	四	一一三 三一九
		一	ネ	四	一一三 一一一
		一	ネ	四	一一三 一一一
		一	ネ	四	一一三 一一一

銀行規略	加藤祐一撰 洋・中（明治文化全集）	一	イ四	類 一二三	號 一九
銀行倶樂部案内	銀行倶樂部刊 明治四〇 改訂版 洋・小	一	ネ四	一四四三	
銀行形情 第一・二冊	三輪信次郎譯 明治二一 洋・小	二	ネ四	五三二	
銀行罪惡史	吾輩の最新銀行論 遠藤棲外棲撰 大正一一 五版 洋・小	一	ネ四	三一六二	
銀行實務改良方法	水野淳二撰 大正九 洋・中	一	ネ四	二五六四	
銀行實務誌	土子金四郎撰 明治二五 洋・中	一	ネ四	五一	
銀行實務誌	土子金四郎撰 明治二六 再版 洋・中	一	ネ四	六九一	
銀行實務誌	原靜撰 大正一一 再版 洋・中	一	ネ四	二八〇六	
銀行事務	米・バッテン撰・池部駒男・鈴木純一郎譯 明治三三 三版 洋・中	一	ネ四	四二一	
同		一	ネ四	三四九〇	
銀行事務及簿記	畠山豐吉撰 大正一三 再版 洋・中	一	ネ四	三二七四	
銀行事務・會計	角野政雄撰 昭和一二 洋・中	一	ネ四	三八二〇	
銀行集中の大勢	米國・英國の部 金融研究會編（昭和五・六） 洋・中（（金融研究會）調書）	二	ネ四	三五一二 四	
銀行小言	富田鐵之助編 明治一八 和・中	二	ネ四	二一三	
銀行小言	富田鐵之助編（明治文化全集） 洋・中	一	イ四	一一三三 九	
銀行新設と合同	畠山豐吉撰 昭和五 洋・中	一	ネ四	三五八七	
銀行信用調査の研究	勝田貞次撰 大正一一 洋・小	一	ネ四	二八〇四	
銀行出納實務	附錄東京手形交換所規則等 中村光次撰 昭和二 洋・中	一	ネ四	三四三六	
銀行總覽	第九・三五・三七回（明治三四・昭和三・五各年末現在） 大藏省銀行局編 明治三五・昭和四・六 洋・中	三	ネ四	三五二九	
銀行知識と金融	岩塚源也撰 大正一三 洋・小	一	ネ四	三一五四	
銀行と顧客の爲めに	甲斐精一撰 昭和二 洋・小	一	ネ四	三四五八	
同		一	ネ四	三六七三	
銀行と社會	市吉徹夫撰 明治四〇 再版 洋・小	一	ネ四	一三五〇	
銀行取引の實際と之に關する法律問題の研究	鹿島重夫撰 昭和九 洋・中（司法研究）	一	ワ一	六三二七 三七	
銀行内の諸規定	附論銀行會社に於ける主要諸訂正手續外一篇 藤城敬二撰	一	ネ四	三四四八	
銀行ニ對スル國家ノ干渉ヲ論ズ	米・コナント撰・東京銀行集會所譯 洋・大（重要ニ關スル調査參考書ノ附錄）	一	タ一	一四三五	
銀行の管理及經營	藤城敬二撰 大正一五 洋・中	一	ネ四	三四四七	
銀行ノ系統ト其經營	服部文四郎撰 洋・中（和田垣教授經濟論叢 三十五年記念）	一	ヨ一	八三〇	
銀行の檢査部	藤城敬二撰 大正一五 洋・小（銀行講座本）	一	ネ四	三四五〇	
銀行の新經營法	銀行研究社編 昭和三 洋・小（銀行講座本）	一	ネ四	三五〇三	
銀行の創設信用と物價	北山富久二郎撰 洋・中（臺北帝國大學文政學部 政學科研究年報）	一	カ一	三七一〇 四	
銀行ノ手形引受制度	米・ジェーコブ撰・日本銀行調査局譯（大正八） 洋・中（日本銀行調査局調査書）	一	ヨ一	九四六 五	
銀行破綻と和議	齋藤常三郎撰 洋・中（經營學講演集）	一	ヨ二	二四五一	
銀行便覽	明治三九・四二・大正五各年十二月現在 大藏省理財局・銀行局編	三	ネ四	一四六三	
銀行預金實務	梶川有撰 昭和七 洋・中	一	ネ四	三六二七	
銀行預金實務	坂井正撰 昭和二 洋・中	一	ネ四	三四六〇	
銀行預金增減研究	甲斐精一撰 昭和一一 洋・小	一	ネ四	三七八六	

銀行流動性の機構	森川太郎撰 洋・中（關西大學創立五十周年記念論文集）	一	イ四	一三三九	
近世銀行業ノ趨勢	米・コナント撰・東京銀行集會所譯 明治三八 洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 二	
金本位制と中央銀行政策	田中金司撰 昭和四 洋・中	一	ネ四	三五四四	
金融制度改善案	經濟攻究會編 昭和三 洋・中	一	ネ四	三四八六	
景氣循環と銀行信用	小林新撰 昭和七 洋・中（銀行叢書本）	一	ネ四	三六四七	
最近の獨逸銀行業	串本友三郎撰 大正一五 洋・小	一	ネ四	三四〇〇	
同		一	ネ四	三四〇三	
濟債簡易法	澳・ノイマン撰・大藏省譯 明治二一 洋・小	一	ネ四	五三七	
最新米國銀行事務	米・フイスケ撰・高塚慶助譯述 大正一四 洋・小	一	ネ四	三二四	
支店銀行制度論	米・フォルガン撰・東京銀行集會所譯 明治三五 洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 一	
支那國立銀行に關する研究	米・ホール撰・南郷謙譯 大正一四 洋・中（滿鐵調査資料）	一	ヨ一	九六六 一二	
上海錢業公會營業規則	久重福三郎譯 大正一三 洋・大	一	ネ四	三二七一	
準備銀行と金融市場	米・バーデェス撰・東京銀行集會所譯 昭和四 洋・中	一	ネ四	三五一七	
準備銀行と金融市場	米・バーデェス撰・東京銀行集會所譯 昭和四 再版 洋・中	一	ネ四	三五三〇	
昭和四・五年度我國銀行經營の動態的研究	高瀨莊太郎撰 洋・中（東京商大商學研究）	一	ネ二	三三四九 一	
庶民銀行	井關孝雄撰 昭和六 洋・小	一	ネ四	三六〇二	
庶民銀行概觀	附錄英國金融機關系統外二篇 大藏省銀行局刊 大正六 洋・中	一	ネ四	三四二五	
新銀行法と破產及和議	齋藤常三郎撰（昭和三） 洋・中（國民經濟雜誌抜刷）	一	ネ四	三四八三	
新法案の銀行業態に就いて	附現行法對照銀行法案 藤木ビルブローカー 洋・中（同銀行週報附錄）	一	ネ四	三四六七	
蘇格蘭國銀行制度	獨・マムロート撰・東京銀行集會所譯 洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 一	
世界各國手形交換高一覽表	東京銀行集會所編（明治三六） 洋・中	一	ネ四	三八二五	
船舶抵當銀行問題	松岡均平撰 洋・中（交通第二號提案本）	一	ネ四	三三七五	
地方銀行は何故疲弊するか	和田六灘子撰 洋・中（非常時國民全集）	一	イ四	一二三七 五	
中央銀行の一般銀行業務に就て	田中金司撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ二	三四七三 一〇	
中央銀行の公開市場政策	田中金司撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ二	三四七三 二	
中央銀行の組織及金融市場との關係	東京商工會議所刊 昭和四 洋・中（商工調査本）	一	ネ四	三五三七	
中央銀行の發券機能	キッシュ竝エルキン撰・倉持德久抄譯 昭和三 洋・中（商工調査本）	一	ネ四	三五一四	
朝鮮殖產銀行一覽	同銀行刊 洋・小	一	ネ四	二六一四	
朝鮮殖產銀行と朝鮮の產業	同銀行編 大正一三 和・中	一	ネ四	三一〇三	
貯金銀行業ノ發達	米・コナント撰・東京銀行集會所譯 明治四〇 洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 二	
帝國銀行會社要錄	第一至昭和三年版（有缺） 大正元至昭和三 洋・大 帝國興信所編	七	ヨ一〇	二六二六	
手形交換所の實務	石卷良夫撰 大正一一 洋・小	一	ネ四	二八九〇	
手形交換所論	石卷良夫撰 大正一四 洋・中	一	ネ四	三三八五	
手形交換制度ノ發達	米・コナント撰・東京銀行集會所譯 明治三九 洋・中	一	ネ四	一四三三	
手形交換ニ關スル調査	東京銀行集會所刊 明治三九 洋・大	一	ネ四	一四三八	
手形仲買業ニ關スル調査	東京銀行集會所編 明治三六 洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 二	

歐米手形の交換に就て 参照	東京手形交換所刊（昭和八）	洋・小	一冊	ネ四類	三七一六號
獨逸國土地抵當銀行視察報告書	北海道拓殖銀行刊 大正四	洋・中	一	ネ四	一四五三
獨逸信用銀行	日本銀行獨逸駐在員宗像書記撰（大正一二）	洋・中（日本銀行調査局調査書）	一	ヨ一類	九四六一五
獨逸ニ於ケル證券銀行	洋・大（産業第三號及第四號提案參考書本）		一	ネ四	三三七八
獨逸ノ商權擴張策ト銀行ノ活動	朝鮮銀行調査局譯（朝鮮銀行調査局調査書・調乙）	大正七 洋・中	一	ヨ一	九三二二
獨逸の大銀行及金融	富岡久次郎撰 大正五	洋・中	一	ネ四	一六四九
東京銀行集會所一覽	（明治四〇）	和・小	一	ネ四	一四四〇
東京銀行集會所特別調査	第一至一七（明治三五至四〇）	東京銀行集會所刊 洋・中	二	ネ四	一四九九
中井芳楠君談話及問答筆記			一		
英國貯蓄制度ニ關スル調査		支店銀行制度論	一		
蘇格蘭國銀行制度		小切手納稅ニ關スル調査	一		
貸付擔保品トシテノ倉庫貨物		手形仲買業ニ關スル調査	一		
國際金融市場		複本位制失敗史	一		
軍費支辨上公債ト租稅トノ關係		外國貿易及金融市場	一		
社債權者ノ債券保護ニ關スル調査報告			二		
私設鐵道ヲ抵當權ノ目的ト爲スコトニ關スル調査報告			二		
株式相場ガ物價及財產價格ニ及ボス影響			二		
近世銀行業ノ趨勢		銀行業成功ノ要素	二		
預金銀行業ノ發達		米國銀行營業ノ變遷	二		
日露戰爭ト歐洲金融界	小西春雄編（大正六 洋・中（朝鮮銀行調査局調査書・調甲）		二		
東京交換所要覽	明治三九年二月訂正	同所刊 洋・小	一	ネ四	一四四二
東京手形交換所一覽	昭和二年一月調	同所刊 洋・小	一	ネ四	一四九九
〔東京手形交換所〕年報	大正一三至昭和一一年	同所刊 洋・大	一三	ネ四	三三八七
島内銀行會社摘要	大正八年末現在 大正九 洋・大	臺灣銀行刊	一冊	ヨ一〇類	二四九七號
東洋經濟新報銀行號	第一・二回 大正一二・一三	東洋經濟新報社刊 洋・大	二	ネ四	三〇四三 一一二
東洋經濟銀行年鑑	第三至五回 大正一四至昭和三	東洋經濟新報社編（東洋經濟新報附錄） 洋・大	三	ネ四	三〇四三 二一五
東洋經濟新報銀行號	第二回 大正一三	東洋經濟新報社刊 洋・大	一	ネ四	三五三三
東洋ニ於ケル獨亞銀行ノ活動		胡鮮銀行調査室編 大正元 洋・大（胡鮮銀行月報附錄集）	一	ヨ一	七七二 一
中井芳楠君談話及問答筆記		東京銀行集會所刊（東京銀行集會所特別調査） 明治三五 洋・中	一	ネ四	一四九九 一
日本銀行統制力の問題	望月乙彥商店調査部編 昭和三	洋・小（望月商店調査叢書）	一	ヨ一	三四七七 一
日本銀行と金融市場	三村稱平撰 昭和一〇	洋・中	一	ネ四	三七六〇
紐育諸銀行ノ系統竝ニ其ノ產業界トノ聯繫ニ關スル調査	日本銀行調査局刊（大正一四）	洋・中	一	ネ四	三三八九
普通銀行制度改善と新銀行法	松崎蒼撰（大阪高商銀行業務研究室刊 昭和三 洋・中（調査報告）		一	ネ四	二九四五 二
佛國庶民銀行概觀	附錄佛國中小商工業ニ對スル信用制度法案 大藏大臣官房銀行課刊 大正四	洋・中	一	ネ四	一三九七
不動產銀行特設に關する卑見	木村桑市撰 明治四三	洋・大	一	ネ四	二二七三
佛蘭西のホテル貸付銀行に就いて	國際觀光局刊 昭和六	洋・小	一	ネ四	三六一八
普魯西ノ地代銀行	多木晃撰 大正一一	洋・大	一	ネ四	三〇八三
米國舊銀行制度ノ缺點ト聯邦準備法	多田守人撰 大正一〇	洋・中（（横濱正金銀行）調査報告）	一	ネ四	二八四九 二
米國銀行營業ノ變遷	米ヤングマン撰・東京銀行集會所譯 明治四〇	洋・中（東京銀行集會所特別調査）	一	ネ四	一四九九 二
米國銀行集會所視察概要	塚本正巳撰	洋・小	一	ネ四	三七〇九
米國預金保證制度の實績	大阪高商銀行業務研究室刊 大正一四	洋・中（調査報告）	一	ネ四	三五五四
幣制改革以降（自千八百九十七年至千九百十年）ノ露西亞中央銀行	獨・スタイベルグ撰・朝鮮銀行調査局譯（大正七）	洋・中（朝鮮銀行調査局調査書・調乙）	一	ヨ一	九二二 一一
奉天支那銀行兌換問題沿革	小西春雄編	大正六 洋・中（朝鮮銀行調査局調査書・調甲）	一	ヨ一	九二一 四
北米合衆國の投資銀行業	丹後愛二郎撰	洋・中（中央大學五十周年記念論文集）	一	ヨ一	三七九四
募債引受銀行シンヂケート	三井銀行調査課編	洋・中（日本產業資料大系）	一	ヨ五	三四一三 九
香港上海銀行ノ發達及其ノ現況	朝鮮銀行調査室編	大正四 洋・大（朝鮮銀行月報臨時增刊）	一	ネ四	三四五三
滿洲に於ける支那銀行の概要	藤井誠撰 昭和五	洋・中（滿鐵調査資料）	一	ヨ一	九六六 五七
三井銀行歐米出張員報告書	米・英ノ部・附歐米倉庫事業取調報告	池田成彬等編 明治三四 洋・中	一	ネ四	一六五五
南支那金融機關一覽表	大正九年一二月調	臺灣銀行調査課刊	一折	ネ四	二九四四
モリス式勤勞銀行	米・ヘルツオツグ撰・西崎正譯 昭和六	洋・小	一	ネ四	三六六六
官立會略則	澁澤榮一撰 和・中		一	ネ四	二二三七
板立會略則	澁澤榮一撰	洋・中（明治文化全集）	一	ヨ一〇	二三七
列國共同監督下ニアル摩洛哥銀行	朝鮮銀行調査室編	大正三 洋・大（朝鮮銀行月報附錄集）	一	イ四	一二三九
露國銀行界ニ於ケル外國資本	朝鮮銀行調査局譯 大正七	洋・中（朝鮮銀行調査局調査書・調乙）	一	ヨ一	七七二 二
露國銀行貨物課ノ業務	朝鮮銀行調査局譯 大正八	洋・中（朝鮮銀行調査局調査書・調乙）	一	ヨ一	九二五
滙豐銀行研究	民國・馬寅初撰・大連商業會議所譯 昭和二	洋・中	一	ヨ一	九二二 二一〇
我國銀行經營の根本問題	松崎蒼撰・大阪高商銀行業務研究室刊 大正一二	洋・中（調査報告）	一	ネ四	三四八〇
我國銀行の合同問題	東京商工會議所刊 昭和五	洋・中（商工調査本）	一	ネ四	二九四五 一
我國最近に於ける銀行合同の進展に就いて	金融研究會編 昭和一二	洋・中（金融資料）	一	ネ四	三五一二 七
我國に於ける銀行合同の大勢	金融研究會編（昭和九）	洋・中（（金融研究會）調書）	一	ネ四	三五一二 七

○

浦手形	破損手形のひかへ外三一篇	洋・中（海事史料叢書）	一	ツ四	五〇三九 七
英蘭銀行史論	町田義一郎譯 昭和七	洋・中	一	ネ四	三六五二
英蘭銀行生成史の一側面	山下宇一撰（羅田博士三博士經濟學研究）	洋・中	一	ヨ一	三六七二
大阪通商會社及大阪爲替會社	菅野和太郎撰	洋・中（明治大正大阪市史論文篇）	一	リ五	五三一八 五
會社全書	大藏省紙幣寮編 昭和一〇	洋・中（明治前期財政經濟史料集成）	二	タ二	三三九七 一五一六
唐津宿手形控		洋・中（海事史料叢書）	一	ツ四	五〇三九 一五
銀行誌	澁澤榮一撰	洋・中（開國五十年史）	一	リ五	二七〇六 二
銀行其の他金融業の發達	木村恒夫撰	洋・中（日本資本主義發達史講座）	一	ヨ四	三四四六 四四
上海銀行公會事業史	民國・徐滄水編 民國一四	洋・小（銀行週報第四百號記念增刊）	一	ネ四	三三八六
商社規則	（明治二）	和・中	一	ヨ一〇	三四〇一
新日本史	銀行篇 黒田秀雄撰	洋・中	一	リ五	四七一一 二
住友銀行三十年史	同銀行刊 大正一五	洋・中	一	ネ四	三四〇九
同			一	ネ四	三六七八
全國農工銀行發達史	附錄關係法規 杉本正幸撰 昭和三 訂補四版	洋・中	一	ネ四	三五〇八

		冊	類	號
第一銀行五十年小史	佐々木勇之助編・同銀行刊 大正一五 洋・中	一	ネ四	三四一四
臺灣銀行十年志	同銀行刊 明治四三 洋・大	一	ネ四	二〇八四
同		一	ネ四	二一八六
臺灣銀行二十年誌	同銀行刊 大正八 洋・大	一	ネ四	二四五七
同		一	ネ四	二六二一
朝鮮銀行五年志	高久敏男編・同銀行刊 大正四 洋・大	一	ネ四	二七二三
朝鮮銀行二十五年史	附錄朝鮮銀行年表外三表 同銀行刊 昭和九 洋・大	一	ネ四	三七二六
朝鮮殖產銀行十年志	附錄株式會社朝鮮殖產銀行年表外七表 同銀行刊 昭和三 洋・大	一	ネ四	三五一一
同		一	ネ四	三六七九
通商會社・爲替會社	菅野和太郎撰 洋・中（明治維新經濟史研究）	一	ヨ四	三四三〇
通商司政策に於ける爲替會社	伊藤彌之助撰 洋・中（明治初期經濟史研究）	一	ヨ二	三五一五 二
東京手形交換所沿革大要	（創立滿二十年記念）同所刊 明治四〇 和・大	一	ネ四	一二五〇
同		一	ネ四	一四三四
德川時代の手形	菅野和太郎撰 洋・中（大阪經濟史研究）	一	ヨ四	三四八四 一
株式會社名古屋銀行創立四十年誌	同銀行刊 大正一一 和・小	一	ネ四	二八六八
日本勸業銀行創業二十年志	同銀行刊 大正六 和・大	一	ネ四	二一七五
同		一	ネ四	二六三〇
日本勸業銀行三十年志	同銀行刊 昭和二 洋・大	一	ネ四	三四六八
日本銀行の成立過程	松本貞雄撰 洋・中（明治初期經濟史研究）	一	ヨ四	三五一五 二

○

漢譯銀行法	五十嵐敬止撰 明治三九 洋・小	一	ネ四	一一三四
銀行關係法令集	銀行研究社編 大正一四 洋・中	一	ネ四	三四四六
銀行條例	附銀行條例施行細則 大阪銀行集會所刊 大正五 洋・中	一	ネ四	一六二三
銀行法規全集	東京銀行集會所編 明治四〇 洋・中	一	ネ四	一三四二
銀行法規全集	東京銀行集會所編 改訂增補 明治四四 洋・中	一	ネ四	八〇四

		冊	類	號
日本興業銀行最近十年史	附錄日本興業銀行法（大正一〇年末現在）外三項 同銀行刊 昭和九 洋・中	一	ネ四	三七二七
八丈島浦手形	洋・中（海事史料叢書）	一	ツ四	五〇三九 一五
米國銀行制度發達史	奥田勳撰 大正一五 洋・中	一	ネ四	三四〇二
北海道拓殖銀行創業十年誌	同銀行刊 明治四三 和・大	一	ネ四	二二五二
北海道拓殖銀行二十年誌	同銀行刊 大正九 洋・大	一	ネ四	二五三一
本邦銀行發達史	石澤久五郎撰 大正九 洋・中	一	ネ四	二五二〇
三井銀行五十年史	同銀行刊 大正一五 洋・中	一	ネ四	三四二二
同		一	ネ四	三四一三
明治銀行史	明石照男撰 昭和一〇 洋・小（現代金融經濟全集）	一	ネ四	三七三五 三三
明治財政史	第一四篇（銀行）同史編纂會編 明治三八 洋・大	三	タ四	二三四一四 二一一四
明治初年の手形	菅野和太郎撰 洋・中（續大阪經濟史研究）	一	ヨ四	三四八五 二
横濱正金銀行行員錄	大正一一至一二・昭和三至一〇年各七月・一二月現在 洋・小	九	ネ四	三〇一三
我邦手形の沿革に就て	寺尾元彥撰 洋・中（本治學部博士社會經濟史論集）	一	ヲ四	三四二〇

○

大阪北濱銀行式紙竝通帳	同銀行刊 和・大	一	ネ四	一五一七
大阪第百三十一國立銀行讓請願書及指令	寫本 和・大	一	ネ四	三八三八
金門銀行調査及交涉顚末報告書	綾部純撰 明治四二 洋・中	一	ネ四	一八四四
十五銀行營業報告摘要	明治三八年下半期 洋・中	一	ネ四	一七五八
全國銀行會社決算報告	明治四三年上半期 田阪社編 明治四三 洋・中	一	ネ四	二二五〇
住友信託株式會社要覽	同社刊 昭和一一 洋・中	一	ヨ一〇	二四〇三
千九百十八年度佛蘭西銀行營業報告	日本銀行調査局譯（大正八年）洋・中（日本銀行調査局調査書）	一	ヨ一	九四六 七
千九百廿一年度佛蘭西銀行營業報告	日本銀行調査局譯（大正一一）洋・中（日本銀行調査局調査書）	一	ヨ一	九四六 一五
全國農工銀行營業狀況表	大正六年下半期至九年下半期 日本勸業銀行刊 洋・大	一	ネ四	二三三一
第一銀行定款竝式紙	同銀行刊 和・大	一	ネ四	一五〇五
第三國立銀行及第百二十一國立銀行コルレスポンデンス		一	ネ四	三八四一
繼約證書	寫本 和・大	一	ネ四	一五五九
第三銀行定款・式紙竝執務規程	同銀行刊 和・大	一	ネ四	一五〇三
第三十八國立銀行創立證書・定款・株主金祿高調	寫本 和・大	一	ヨ一〇	三五四八
第五十六國立銀行關係書類	寫本 和・大	一	ネ四	三八〇〇

改正銀行法釋義	附錄銀行法 昭和三 洋・中 小原正樹撰	一	ネ四	三四七〇
改正銀行法釋義	附錄銀行法 昭和三 六版 洋・中 小原正樹撰	一	ネ四	三五〇五
銀行法通釋	附錄銀行法と銀行條例との對照外七項 昭和四 洋・中 笹原正志撰	一	ネ四	三五三六
新撰銀行法典大全	戸田翠香編 明治三三 洋・中	一	ネ四	一五二六
銀行法論	青木得三撰 大正六 洋・小	一	ネ四	一七七七
銀行法論	青木得三撰 大正一五 六版 洋・小	一	ネ四	三四四九
諸外國銀行監督及預金者保護に關する法制參考資料	實業同志會調査部編 昭和二 洋・中	一	ネ四	三四七六
新銀行法理由	小川鄕太郎撰 昭和五 洋・中	一	ネ四	三五六四
兌換銀行條例改正勅令案	附改正理由書 寫本 和・中	一	ネ四	三三八二
日本勸業銀行法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 洋・中	一	ネ四	一五六三
日本銀行條例改正私見	武藤山治撰（大正一二） 和・大	一	ネ四	二九七三
農工銀行法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 和・中（日本勸業銀行法逐條說明竝理由書ト同綴）	一	ネ四	一五六三
農工銀行補助法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 和・中（日本勸業銀行法逐條說明竝理由書ト同綴）	一	ネ四	一五六三
兌換銀行條例改正勅令案	附改正理由書 寫本 和・中	一	ネ四	三三八二
日本勸業銀行法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 洋・中	一	ネ四	一五六三
日本銀行條例改正私見	武藤山治撰（大正一二） 和・大	一	ネ四	二九七三
農工銀行法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 和・中（日本勸業銀行法逐條說明竝理由書ト同綴）	一	ネ四	一五六三
農工銀行補助法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 和・中（日本勸業銀行法逐條說明竝理由書ト同綴）	一	ネ四	一五六三
新銀行法理由	小川鄕太郎撰 昭和五 洋・中	一	ネ四	三五六四
兌換銀行條例改正勅令案	附改正理由書 寫本 和・中	一	ネ四	三三八二
日本勸業銀行法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 洋・中	一	ネ四	一五六三
日本銀行條例改正私見	武藤山治撰（大正一二） 和・大	一	ネ四	二九七三
農工銀行法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 和・中（日本勸業銀行法逐條說明竝理由書ト同綴）	一	ネ四	一五六三
農工銀行補助法逐條說明竝理由書	「第九議會提出案」 和・中（日本勸業銀行法逐條說明竝理由書ト同綴）	一	ネ四	一五六三
〔大正年修正〕米國聯邦準備法	中島錢次譯 昭和一一 洋・中（〔橫濱正金銀行〕調査資料）	一	ネ四	三八二二

○

印度支那銀行報告	中西有三抄譯 大正八 洋・中（〔橫濱正金銀行〕調査報告）	一	ネ四	二八四九 一
塊國土地抵當銀行定款	日本勸業銀行調査課刊 大正七 洋・中	一	ネ四	三四一六

第五十六國立銀行創立證書 寫本 和・大 一 ヨ一〇 三五五三
第五十六國立銀行頭取及取締役誓詞 寫本 和・大 一 ネ 四 三八四三
第百廿一國立銀行定款 寫本 和・大 一 ヨ一〇 三五四七
第百三十七國立銀行定款 寫本 和・大 一 ヨ一〇 三五五五
朝鮮殖産銀行概覽 附錄朝鮮殖産銀行本店爲替取引主要地一覽表・昭和三年版 同銀行刊 洋・小 一 ネ 四 三四九八
手形交換所調査報告書 武田近次郎撰・高等商業學校刊 明治三三 洋・中 一 ネ 四 八五三
(東京交換所)第三十八回成績報告 大正一二年下半期 東京交換所刊 洋・中 一 ネ 四 一三一五
日本銀行調査局譯 (大正八) 洋・中 (日本銀行調査局調査書) 一 ヨ 一 九四六七
名古屋銀行報告書 第八三期(大正三年下半期) 同銀行刊 洋・中 一 ネ 四 三一二七
株式會社新高銀行營業報告書 第六期(大正七年下半期)(大正八) 洋・中 同銀行刊 一 ネ 四 二三九二
日本勸業銀行營業報告 第一四・一七至二一・二五至二六期(明治三七年上半期至大正一四年上半期) 同銀行刊 洋・大 五 ネ 四 一五六〇
明治三六年六月末現在日本勸業銀行貸付表 同銀行刊 洋・大 一 ネ 四 一五〇九
日本勸業銀行紀要 同銀行刊 大正四 洋・中 一 ネ 四 三四一九
日本勸業銀行月報 第一五至二一七號(有缺) (明治三九至四〇) 洋・大 一 ネ 四 一五一六
日本勸業銀行法・定款・借入請求案内・營業一斑 同銀行刊 昭和中 一 ネ 四 一五三九
日本銀行營業報告 明治四〇至大正七年 明治四一至大正八 同銀行刊 洋・大 一 ネ 四 一六四五
日本銀行定款 洋・中 一 ヨ一〇 二四〇五
日本興業銀行半季報告 第五〇至七四・八九至九二・九四回(明治四〇年上半季至昭和四年上半季) 洋・大 一冊 ネ 類 一六四四號
日本興業銀行營業報告書 第六・八・九・二至二七期(明治三七年下半季至四三年上半季) 洋・大 一 ネ 四 一五六二
〔日本興業銀行〕營業報告書 第六七・六八期(昭和一〇年上下半季) 洋・大 二 ネ 四 二五六二 二一三
日本興業銀行營業報告書 第五至一七期(明治四二年上半季至四三年上半季) 洋・大 三 ネ 四 一八四五
日本興業銀行法竝定款 同銀行刊 一折 ネ 四 一五四八
日本貯蓄銀行營業報告書 明治三七年下半期 洋・小 一 ネ 四 一七五九
株式會社八十九銀行營業報告書 第八・九期(明治三三年下半季・三四年上半季) 洋・小 二 ネ 四 一六一六
早川ビル・ブローカー銀行營業報告書 第七期(大正一〇年下半期) 大正一〇 洋・中 同銀行刊 一 ネ 四 二七六八
兵庫國立銀行創立願 二通 寫本 和・大 一 ネ 四 三八三九
藤本ビル・ブローカー銀行營業成績一覽 大正九至昭和二年(有缺) 一 ネ 四 二八五五
藤本ビル・ブローカー銀行營業報告 同銀行刊 大正九至昭和二 洋・大 (金融統計年鑑ト同刊) 一 ネ 四 二三九二
北條銀行創立願・定款・發行人引受株數上申書 寫本 和・大 一 ヨ一〇 三五四九
橫濱正金銀行定款 洋・中 一 ヨ一〇 二四〇四
印度信託法 正文 洋・中 花岡敏夫撰 (國家學會雜誌第廿五卷第廿六號菊池先生還曆記念) 一 ワ 一三 五九三九
英國衡平法と信託制度 豐浦與七撰 昭和二 洋・中 (商法論文選) 一 ワ 一九 六三八三
大阪市に於ける信託業の發達 汐見三郎撰 洋・中 (大阪市史論文篇) 一 リ 五 五三一八

外國ニ信託ニ關スル調査 附錄米國ノ部外二項 大藏省銀行局刊 大正五 洋・中 一 ネ 四 二九八五
關西信託株式會社營業報告書 大正三・四・六各年上半期 洋・小 三 ネ 四 一五九九
銀行業と信託業との分野問題 遊佐慶夫撰 大正一五 洋・中 一 ネ 四 三四三一
金錢信託 附本邦の銀行に信託業の兼營を許すべきや 王金海撰 昭和三 洋・中 一 ネ 四 三五一五
金融及信託 細谷祐治撰 大正一三 洋・中 二 ネ 四 三一七六
經濟上より見たる信託の理論及實際 附錄信託法規 吳文炳撰 大正一五 洋・中 一 ネ 四 三四一〇
經濟問題としての信託 吳文炳撰 大正一五 洋・中 一 ネ 四 三三九二
公益信託の解說と有價證券の意義に就て 青木徹二述 (大正一五) 洋・中 (法學博士青木徹二氏講演本) 一 ネ 四 三四三三
社債及社債信託論 附社債關係法規 栗栖赳夫撰 大正一五 洋・中 一 ヨ一〇 三三九二
信託 米山梅吉撰 洋・中 (社會經濟體系) 一 ヨ 一 三四一六 五
信託及信託會社 細矢祐治撰 大正七 洋・中 一 ネ 四 二七三一
改訂增補 信託及信託會社 細矢祐治撰 大正一〇 三版 洋・中 一 ネ 四 二七一五
信託及其事業 吳文炳撰 昭和三 洋・中 一 ネ 四 三五一〇
信託及附隨業務の研究 栗栖赳夫撰 大正一二 洋・中 一 ネ 四 三〇五〇
信託會社政策を如何にすべきや 細矢祐治撰 大正一四 洋・中 一 ネ 四 三三七八
信託會社と銀行との交涉 松崎壽撰・大阪高銀行業務研究室刊 大正一三 洋・中 (調査報告) 一 ネ 四 二九四五 一
信託會社の人格其他に就て 大野謙太述 大正一五 洋・中 (大藏事務官大野謙太講演本) 一 ネ 四 三四三三
信託業 吳文炳撰 洋・小 (經濟學全集ノ內商業學) 一 ヨ 一 三四九三 四二
信託業法研究 吳文炳撰 大正一一 洋・小 一 ネ 四 二九〇一
信託業法ニ關スル陳情 附錄信託法綱領外五項 菅原通敬撰 大正一〇 洋・中 一 ネ 四 二七六三
信託業法論 二篇 王金海撰 昭和六 洋・中 一 ネ 四 三六一〇
信託業務の理論と實際 豐浦與七撰 大正九 洋・中 一 ネ 四 二五一九
信託金融論 吳文炳撰 昭和一〇 洋・小 (現代金融經濟全集) 一 ネ 四 三七三五 三三
信託經營論 野守廣・內藤章撰 昭和六 洋・中 (商學全集本) 一 ネ 四 三五九〇
信託行爲の意義及び本質 岩田新撰 洋・中 (法學研究別刷) 一 ネ 四 三六七三
信託行爲の意義及び本質 岩田新撰 洋・中 (法學研究) 一 ワ 一 六三四五 二
信託事業一斑 井上辰九郎撰 洋・中 (和田博士還曆記念經濟論叢) 一 ヨ 一 八三〇
信託辭典 銀行研究社刊 昭和八 洋・中 (銀行研究特別附錄) 一 サネ 二九 三〇
信託揷話 第一輯 關西信託株式會社刊 洋・小 一 ネ 四 三五九〇
信託と遺言 附錄ルーズヴェルトの遺言書外一項 湯淺恭三撰 昭和四 洋・小 一 ネ 四 三六五七
信託に關する調査 日本銀行調査局編 洋・中 (日本產業資料大系) 一 ヨ 五 三四一三 九
信託法解說 上村春馬撰 (謄寫版) 和・大 一 ネ 四 三一〇一
信託法原論 入江眞太郎撰 昭和三 洋・中 一 ネ 四 三五一六
信託法制評論 附信託關係法規集 遊佐慶夫撰 大正一三 洋・中 一 ネ 四 三三三三
信託法通釋 三淵忠彥撰 大正一五 洋・中 一 ネ 四 三三九五
信託法提要 遊佐慶夫撰 大正八 洋・中 一 ネ 四 二四八二
信託法の新研究 附錄信託關係法規外一項 濱田德海撰 昭和二 洋・小 一 ネ 四 三四五七

引用條文挿入信託法令全集 稻村眞介編 昭和九 洋・小 — 一冊 — ワ一七 — 六二三
信託法論 青木徹二撰 大正一五 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四〇五
信託類例 附錄遺言書例 三井信託株式會社編 昭和一〇 洋・小 — 一 — ネ四 — 三五七六
信託論 吳文炳撰 昭和一一 洋・中 (經濟學體系本) — 一 — ネ四 — 三四四三
第四回信託講習會講演集 註 關信託協會刊 昭和七 洋・大 (信託協會會報臨時號ノ抜) — 一 — ネ四 — 三六六一
抵當證券制度に就て(上山英三) 重要産業の統制に就て(吉野信次) 經濟恐慌に於ける有價證券市場(北崎進) 商法改正要綱の說明(大森洪太) 附錄・商法改正要綱(第一編總則・第二編會社) — 一 — ネ四 — 三六八四
改正擔保附社債信託法 信託協會刊 昭和八 洋・小 (信託協會々報附錄) — 一 — ネ四 — 三五七三
擔保附社債信託法論 池田寅次郎撰 明治四二 洋・中 — 一 — ネ四 — 三三八四
擔保附社債論 附外債論 栗栖赳夫撰 大正一四 洋・中 — 一 — ネ四 — 三五八八
獨逸信託業概說 獨・ヒントナー撰・白井規矩稚譯並補註 昭和六 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六四六
投資信託論 證券投資會社の研究 江口行雄撰 昭和七 洋・中 — 一 — ネ四 — 二九〇八
日本信託會社論 吳文炳撰 大正一一 洋・中 — 一 — ネ四 — 三七二八
日本信託業論 白井規矩稚撰 昭和一〇 洋・中 — 一 — ネ四 — 一七〇四
日本ニ於ケル信託ニ關スル調査 大藏省銀行局刊 大正五 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四八四
破産及び和議と信託 齋藤常三郎撰 昭和三 洋・中 (商業研究所講演集本) — 一 — ネ四 — 三四八四
米國信託會社業務調査報告書 高木正義撰 (明治三四) 洋・中 — 一 — ネ四 — 九一五
同 — 一 — ネ四 — 一八八

米國信託會社總論 米・キルクブライド等撰・高塚慶助譯 大正一五 洋・中 — 一冊 — ネ四類 — 三三八三
米國信託業十二講 吳文炳撰 大正一五 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四〇一
米國に於ける信託會社に關する研究 吳文炳撰 大正一〇 洋・中 — 一 — ネ四 — 二六七九
米國に於ける投資信託の發展 藤原泰撰・大阪商銀行業務研究室刊 昭和五 洋・中 (調査報告) — 一 — ネ四 — 二九四五
米國繁榮の基礎投資信託 米・ロビンソン撰・後藤勝三譯註 昭和四 再版 洋・中 — 一 — ネ四 — 三五二〇
同 — 一 — ネ五 — 三三九八
保險信託 石川忠治撰 昭和三 洋・小 (保險パンフレット) — 一 — ネ四 — 三五三一
本邦信託論 細矢祐治撰 大正一一 洋・中 — 一 — ネ四 — 二八八二
有價證券信託論 王金海撰 昭和五 洋・中 — 一 — ネ四 — 三五七八
同 — 一 — ネ四 — 三五七九
米山前會長演說集 信託協會刊 昭和一一 洋・小 — 一 — ネ四 — 三七九四
我邦に於ける信託事業の現狀 野守廣撰 洋・中 (經營學論集) — 一 — ネ二 — 三四七三

○

アクセプタンス 引受手形ニ就キテ (大正七) 洋・中 (日本銀行調査局調査書) — 一 — ヨ — 九四六五
印度爲替問題 尾上利治撰 大正一〇 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) — 一 — ネ四 — 二八四九二
圓爲替政策の研究 滿鐵東亞經濟調査局刊 大正一三 洋・中 (經濟資料) — 一 — ヨ — 二九五三一七
圓爲替の研究 前田薰一撰 大正一四 洋・小 — 一 — ネ四 — 三三〇一
海外爲替要論 英・ゴスシエン撰・成瀨正恭譯述 明治二九 洋・中 — 一 — ネ四 — 九二
外國爲替 柯津遞講 (明治三九年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一三六三

外國爲替 河津遞講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一六八一
外國爲替 河津遞講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一九八八
外國爲替 河津遞講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 二三五〇
外國爲替 河津遞講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 二四七九
訂正外國爲替 附錄世界各國物價指數表(英文)外五篇 增補 小林行昌撰 昭和一〇 洋・中 — 一 — ネ四 — 三七四四
理論實務外國爲替 附錄最近の橫濱正金銀行爲替相場外五篇 小林行昌撰 昭和一一 洋・中 — 一 — ネ四 — 三八一〇
最新外國爲替 水野重也撰 明治四一 洋・中 — 一 — ネ四 — 一六四七
外國爲替 森廣藏撰 洋・中 (現代產業叢書) — 一 — ヨ — 三五〇〇二
外國爲替 森廣藏撰 洋・中 (社會經濟體系) — 一 — ヨ — 二四一六三
外國爲替概論 青木嗣夫撰 大正一三 洋・中 — 一 — ネ四 — 三一七九
外國爲替・爲替市場論 山崎靖純撰 昭和二 洋・小 (現代金融經濟全集) — 一 — ネ四 — 三七三五二九
外國爲替換算表 津村宏一編 昭和八 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六六三
外國爲替換算法 玉水千市・柳樂健治撰 大正九 洋・小 — 二 — ネ四 — 二八五八
外國爲替管理法の機能 第六四回帝國議會衆議院本會議竝に外國爲替管理法案委員會の會議錄 大口喜六等編 昭和八 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六六九
外國爲替記帳法 小林祿撰 昭和三 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四九三
外國爲替矯正策 東田藤吉撰 大正五 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四三〇
外國爲替・金・銀 金原賢之助撰 昭和九 洋・中 (基礎經濟學全集) — 一 — ヨ — 三七二一三
外國爲替講話 大島堅造撰 昭和二 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四四一

外國爲替 河津遞講 (明治四〇年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一六八一
外國爲替 河津遞講 (明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一九八八
外國爲替 河津遞講 (明治四二年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 二三五〇
外國爲替 河津遞講 (明治四三年度早稻田商業講義) 洋・中 — 一 — ネ四 — 二四七九
訂正外國爲替 附錄世界各國物價指數表(英文)外五篇 增補 小林行昌撰 昭和一〇 洋・中 — 一 — ネ四 — 三七四四
理論實務外國爲替 附錄最近の橫濱正金銀行爲替相場外五篇 小林行昌撰 昭和一一 洋・中 — 一 — ネ四 — 三八一〇
最新外國爲替 水野重也撰 明治四一 洋・中 — 一 — ネ四 — 一六四七
外國爲替 森廣藏撰 洋・中 (現代產業叢書) — 一 — ヨ — 三五〇〇二
外國爲替 森廣藏撰 洋・中 (社會經濟體系) — 一 — ヨ — 二四一六三
外國爲替概論 青木嗣夫撰 大正一三 洋・中 — 一 — ネ四 — 三一七九
外國爲替・爲替市場論 山崎靖純撰 昭和二 洋・小 (現代金融經濟全集) — 一 — ネ四 — 三七三五二九
外國爲替換算表 津村宏一編 昭和八 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六六三
外國爲替換算法 玉水千市・柳樂健治撰 大正九 洋・小 — 二 — ネ四 — 二八五八
外國爲替管理法の機能 第六四回帝國議會衆議院本會議竝に外國爲替管理法案委員會の會議錄 大口喜六等編 昭和八 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六六九
外國爲替記帳法 小林祿撰 昭和三 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四九三
外國爲替矯正策 東田藤吉撰 大正五 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四三〇
外國爲替・金・銀 金原賢之助撰 昭和九 洋・中 (基礎經濟學全集) — 一 — ヨ — 三七二一三
外國爲替講話 大島堅造撰 昭和二 洋・中 — 一 — ネ四 — 三四四一

外國爲替講話 附錄外國爲替編正策外二篇 昭和七 洋・小 — 一 — ネ四 — 三六二六
外國爲替實務誌 大槻爲八撰 明治四二 洋・中 (高等商業叢書本) — 一 — ネ四 — 一八五六
外國爲替實務誌 大槻爲八撰 大正一〇 修正一一版 洋・中 — 一 — ネ四 — 三〇五一
外國爲替實務誌 米國銀行 外國爲替實務誌 岡上虎三郎譯 大正一三 再版 洋・小 — 一 — ネ四 — 三五〇六
商家必携外國爲換抄 目賀田庫次郎撰 明治二〇 洋・中 — 一 — ネ四 — 二六〇
外國爲替詳解 土子金四郎撰 明治二八 洋・中 — 一 — ネ四 — 八〇
同 — 一 — ネ四 — 三三一
改訂外國爲替詳解 土子金四郎撰 明治三九 四版 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六〇九
外國爲替と共相場の變動 清瀨次郎編 大正一三 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) — 一 — ネ四 — 二八四九六
外國爲替取引解說 岡田重藏撰 大正一四 洋・中 — 一 — ネ四 — 三三〇三
外國爲替ニ就キテ 日本銀行宗像書記撰 (大正一二) 洋・中 (日本銀行調査局調査書) — 一 — ヨ — 九四六一五
外國爲替ノ基礎知識 木村增太郎撰 昭和八 洋・中 — 一 — ネ四 — 三六八三
外國爲換の實際 圖一四枚添 成川圭司撰 大正一一 洋・中 — 二 — ネ四 — 三〇六六
外國爲替の說明 富田源太郎撰 明治二七 洋・小 — 一 — ネ四 — 三二八
外國爲替論 天野爲之講 (早稻田大學講義錄) 洋・中 — 一 — ネ四 — 七二七
外國爲替論 天野爲之講 (早稻田大學政治經濟科明治三九年度講義錄) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一二一八
外國爲替論 天野爲之講 (早稻田大學政治經濟科明治四〇年度講義錄) 洋・中 — 一 — ネ四 — 一四七五
外國爲換論 英・グーセン撰・田尻稻次郎講 明治一五 洋・小 — 一 — ネ四 — 二七八
外國爲替論 添田壽一撰 洋・小 (社會文庫本外國貿易論ト同刊) — 一 — ネ一 — 六四七

外國爲替論 谷口吉彦撰 昭和一二 洋・中 （經營學大系本） 一 ネ 四類 三八四九號
外國爲替論 古屋美貞撰 大正一二 洋・中 一 ネ 四 三一七〇
外國爲替論 增井光藏・篠島省三撰 昭和一一 洋・中 一 ネ 四 三七六八
外國郵便爲替業務狀況 昭和一〇・一一各年三月調 貯金局刊 二 ツ 六 三〇〇五
各國爲替管理令 東京商工會議所刊 昭和七 洋・中 （商工調査本） 一 ネ 四 三六四一
貨幣銀行及爲替論 附錄法規 服部文四郎撰 昭和九 五版 洋・中 一 ネ 四 三七一四
貨幣・銀行・外國爲替 堀江歸一撰 大正一五 洋・中 二 ネ 四 三三九一
貨幣と爲替 正井敬夫撰 昭和六 洋・中 一 ネ 四 三六〇〇
爲換及外國貿易 高槻純之助撰 明治二六 洋・小 （商業全書本） 一 ネ 四 三三六
爲替を中心として見たる歐洲最近經濟事情 橋爪源吾撰 大正一二 洋・中 （横濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九四
爲替管理と其實際 附錄外國爲替管理法竝に關係命令外三項 長山浩撰 昭和八 洋・小 一 ネ 四 三六七五
爲替管理の運用と其影響 附錄統制經濟主義の檯頭外二篇 大久保一路撰 昭和七 洋・小 一 ネ 四 三六三二
爲替管理論 服部文四郎撰 洋・中 （早稻田大學商學部經濟統制の研究） 一 ネ 二 三五四五
爲替市場としての横濱港 兒玉謙次述 洋・中 一 ネ 四 三四四四
爲替政策 金原賢之助撰 洋・中 （世界經濟問題講座） 一 ヨ 一 三六五五五
爲替相場と物價 獨・ミュラア撰・金原賢之助譯 昭和六 洋・中 一 ネ 四 三六〇五
爲替相場變動に對する私見と國定說の提唱 鈴木益三撰 洋・中 （東京商科大學六十周年記念論文集） 一 ネ 一 三七五〇
爲替と金銀問題 大島堅造撰 昭和八 再版 洋・中 一 ネ 四 三八四九
內爲替取組便覽 東京銀行集會所編 明治三九 洋・中 一 ネ 四 三一七〇
爲替の賣買と採算 井村薰雄撰 大正一五 洋・小 （支那財政經濟大系） 一 ヨ 一 三四〇八一
爲替理論と爲替問題 谷口吉彦撰 昭和八 洋・中 一 ネ 四 三六六五
爲替論 天野爲之講 （東京專門學校講義錄） 洋・中 一 ネ 四 四五
爲替論 天野爲之講・山澤俊夫編 洋・中 一 ネ 四 八五
生絲金融と外國爲替 三代幸撰 洋・中 （横濱正金銀行）調査報告） 大正一三 一 ネ 四 二六四九五
生絲貿易と外國爲替 白井啓二郎・松田昌壽編 洋・中 （横濱正金銀行）調査報告） 大正一五 一 ネ 四 二六四九七
生絲貿易と外國爲替 白井啓二郎・松田昌壽編 洋・中 （日本產業資料大系） 一 ヨ 五 三四一三九
銀價と銀爲替 附錄共 早坂喜一郎撰 大正一四 洋・中 二 ネ 四 三三八五
金爲替本位制の研究 松岡孝兒撰 昭和一一 洋・中 一 ネ 四 三七八八
改定銀行及外國爲替 水島銕也撰 大正一〇 八版 洋・中 一 ネ 四 二八〇五
銀行及外國爲替論 田代循撰 明治三五 洋・中 一 ネ 四 六二六
銀・通貨爲替論 各國別——支那・滿洲 大槻爲八撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 四 三七六三
金本位制の停止と爲替の統制 竹島富三郎撰 洋・中 （大阪商大經濟研究年報） 一 ヨ 一 三六三五一
現時の金利及爲替問題 松崎壽撰・大阪高商銀行業務研究室刊 大正一三 洋・中 （調査報告） 一 ネ 四 二九四五一
實踐國際爲替 附錄邦貨比較表等 小林絲撰 明治四三 洋・中 一 ネ 四 一九一八
實踐國際爲替 小林絲撰 大正九 訂正一五版 洋・中 一 ネ 四 三〇五三
國際爲替安定ニ關スル諸說抄錄 橫濱正金銀行調査課編 洋・中 （橫濱正金銀行）調査報告） 大正一〇 一 ネ 四 二八四九三

國際爲替實務誌 附錄普通銀行の外國爲替保證事務取扱手續 小林絲撰 昭和三 洋・中 一 ネ 四 三四九七
國際貸借決濟ニ關スル創設案 爲替安定の研究第一篇 洋・中 （横濱正金銀行調査報告） 村田八郎撰 大正二 一 ネ 四 二八四九四
國際貸借の現狀 金原賢之助撰 洋・中 （世界經濟問題講座） 一 ヨ 一 三六五五二
國際的な資本移轉の機構と圓爲替の動向 大野信三撰 洋・中 （中央大學五十周年記念論文集） 一 ヨ 一 三七九四
國際貿易と金融 服部文四郎撰 大正一五 洋・小 一 ネ 三 三四一三
最近外國爲替 附錄添 土忠夫撰 大正一五 洋・中 一 ネ 四 三四〇八
最近各國に於ける爲替ダンピング稅の賦課 日本商工會議所刊 昭和七調査資料本 一 ネ 四 三六三四
最近の外國爲替市場 上卷 鈴木益三撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 四 三七四八
最近の爲替と國際金融 附錄外國爲替管理法外一一編 大島堅造撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 四 三七五六
實用手形法釋義 勝部國臣撰 明治三四 洋・中 （商業叢書本） 一 ネ 四 一七七
支那內國爲替 田中忠夫撰 大正一〇 洋・小 一 ネ 四 三〇一二
支那の爲替と金銀 井村薰雄撰 大正一三 一一版 洋・中 一 ネ 四 三三五八
上海銀元對日本圓裁定相場表 滿鐵經濟調査會編 昭和九 洋・大 一 ネ 四 三七二四
上海市場の圓爲替と滿洲の通貨 南鄕調普編 洋・中 （上海滿鐵調査資料） （昭和一二） 一 ヨ 一 三四九六一
上海に於ける外國爲替及金融 附世界の銀需給及取引事情 吉田政治撰 大正一四 洋・小 一 ネ 四 三三七六
商業手形流通方法案 大阪經濟會刊 明治二三 洋・小 一 ネ 四 三三六五
震災手形問題早わかり 實業同志會刊 昭和二 再版 洋・中 一 ネ 四 三四八一
瑞獨郵便小切手及振替計算法規 郵便貯金局譯 明治四三 洋・中 一 ツ 六 七六一
瑞獨郵便小切手及振替計算法規 郵便貯金局譯 明治四三 洋・中 一 ツ 六 五一〇二
世界各國の爲替相場比較表 古屋美貞撰 大正一二 洋・中 （外國爲替論ノ附錄） 一 ネ 四 三一七〇
世界經濟と國際貸借 津島壽一・遠藤金融研究會刊 昭和六 洋・小 （講演集本） 一 ネ 四 三六三五
戰後の「磅」爲替安定史 高原鐐輔撰 昭和八 洋・中 （横濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九一五
對歐輸出貿易金融問題 （大正九）洋・中 （日本銀行調査局調査書） 一 ヨ 一 九四六一三
對外爲替の變動と景氣の消長 望月乙彥商店調査部編 昭和二 洋・小 （望月商店調査叢書） 一 ヨ 一 三四七七一
大日本貨幣史參考 爲替部 吉田賢輔編・本庄榮治郎校 洋・中 一 ネ 四 三三七一七
訂正版擔保附手形取引論 附參照裁判例 松浦穎孝撰 明治四一 洋・中 一 ネ 四 一六二〇
第二版 智利國爲替及貿易管理 南鄕克太郎編 （昭和二〇） 洋・中 一 ネ 四 三七三六
改正手形と小切手の書き方と見方 宮崎直二撰 昭和九 洋・小 一 ネ 四 三七二一
商家必携手形之心得 田口卯吉編 明治一五 三版 洋・小 一 ネ 四 二四四
同 一 ネ 四 二四五
獨佛兩國の爲替管理竝資本逃避防止に關する法令 東京商工會議所刊 昭和七 洋・中 （商工調査本） 一 ネ 四 三六三〇
內國爲替實務誌 水野淳三撰 大正七 五版 洋・中 一 ネ 四 三三〇〇
內國爲替實務誌 水野淳三撰 昭和二 改訂一二版 洋・中 一 ネ 四 三五〇七
內國郵便爲替業務狀況 昭和一〇・一二各年三月調 貯金局刊 昭和二 一〇・一一 洋・中 二 ツ 六 三〇〇三
南米向輸出爲替竝ニ同地商習慣 橫濱正金銀行ペルナンブコ・アイレス支店編 大正八 洋・中 （橫濱正金銀行）調査報告） 一 ネ 四 二八四九一

荷爲替業務論 妹尾一雄撰 大正一四 洋・中 一冊 ネ類 四 三三八一
荷爲替信用狀論 伊藤和雄撰 大正一四 三版 洋・中 一 ネ 四 三二九五
伯國の爲替研究 海本徹雄稿 (一九三〇) 洋・中 (ブラジル研究叢書本) 一 ネ 四 三五八二
伯國幣制ノ沿革竝ニ外國爲替騰落ノ原因 一ノ宮鈴太郎撰 大正一〇 洋・中 (〔横濱正金銀行〕調査報告) 一 ネ 四 二八四九三
兵庫縣爲替方ニ關スル公文書 寫本 和・大 三 ネ 四 三八二六
貿易金融 兒玉謙次述 洋・中 (東京商科大學創立五十周年記念講演集) 一 ネ 四 三五六五
貿易金融方法の商學的考察 木曾榮作撰 洋・中 (小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集) 一 ネ 一 三七四七
本邦貿易差及其他國際貸借の變遷 福本誠一・尚井鹿松撰 洋・中 (日本產業資料大系) 二 ヨ 五 三四一三一〇
滿洲に於ける私帖 滿鐵東亞經濟調査局刊 昭和四 洋・中 (經濟資料) 一 ヨ 一 二九五三三四
實用約束手形使用心得 小山信次郎撰 明治三四 洋・小 一 ワ 二 六四三
我國金融政策の一手段としての銀行手形引受制度 大島堅造撰 洋・中 (東京商科大學六十周年記念論文集) 一 ネ 一 三七五〇
我國通貨政策と日滿爲替安定問題に就て 滿洲國國務院總務廳情報處刊 康德三 洋・小 (滿洲國大系) 一 カ 一 三七二八一六
我が中南米貿易と此等諸國の爲替管理 東京商工會議所編 昭和一二 洋・中 (商工調査本) 一 ネ 三 三五三三
〇
伊・西・葡・白貯金機關論 洋・大 一 ネ 四 六一〇
伊太利貯金機關論(ルペルチエー) 西班牙及葡萄牙貯金機關論(同上)
白耳義國貯金機關論(ドュフールマンテル)
英國貯蓄制度ニ關スル調査 東京銀行集會所編 明治三五 洋・卜 (東京銀行集會所特別調査) 一冊 ネ 四 一四九九一
壜國郵便貯金機關ノ小切手制度 レート撰・郵便貯金局譯 明治四三 洋・中 一 ツ 六 七六三
歐米諸國貯金機關論 洋・大 一 ネ 四 六〇九
米合衆國貯金機關論(ルペルチエー)
北歐諸國ニ於ケル貯金機關論(ドュフールマンテル)竝ルペルチエー)
英國及其殖民地ニ於ケル貯金機關論(ルペルチエー)
獨逸貯金機關論(ドュフールマンテル)
爲替貯金局事業概觀 明治四二至大正二年 一折 ツ 六 一三二
教育貯金法 赤川菊村編 大正一〇 洋・小 一 ネ 四 二九六九
勤儉貯蓄處世訓 井坂寅吉撰 明治三六 洋・中 一 ネ 四 八五九
勤儉貯蓄新論 附錄日本銀行總裁演說等 天野爲之撰 明治三四 洋・中 一 ネ 四 一七五
二宮勤儉貯蓄法 美土路昌一撰 尊德 洋・小 一 ネ 四 三四二
國際勤儉會議及び國際勤儉協會に關する調査 不動貯金銀行刊 昭和六 洋・中 一 ネ 四 三六〇七
國民貯蓄の現狀 金融研究會編 昭和三 洋・中 (〔金融研究會〕調書) 一 ネ 四 三五二二一
町村の郵便貯金を府縣別に比較す 貯金局刊 昭和一〇 洋・中 一 ツ 六 三〇二四
〔貯金局〕業務資料 第一二至一四輯 同局刊 (昭和二) 洋・中 三 ツ 六 二九六五
佛蘭西・獨逸・瑞西郵便小切手制度概要

各國ニ於ケル貯蓄銀行ノ組織及關係法規 森恒太郎撰 明治四四 三版 洋・小 一 ネ 四 二三七六
貯金道話 金森通倫撰 明治三六 增補一六版 洋・小 一 ネ 四 七〇七
貯金のすゝめ 金森通倫撰 明治三七 二六版 洋・小 一 ネ 四 三七九八
貯金のすゝめ資金運用祕傳 河野仙吉撰 大正九 一〇版 洋・中 二 ネ 四 二九六〇
誰にも出來る貯金法百種公開 有本歡之助撰 昭和八 洋・小 一 ネ 四 三六五五
シエルズ式割增附貯蓄制大意 神戸正雄撰 明治三七 洋・中 一 ネ 四 七六八
東北地方の冷害と郵便貯金 貯金局刊 昭和一〇 洋・中 一 ツ 六 三〇二五
富と貯蓄 下村宏撰 明治四四 洋・中 一 ツ 六 二九六八
內國郵便振替貯金業務狀況 昭和一〇・一一各年三月調 貯金局刊 昭和一〇・一一 洋・中 二 ツ 六 三〇〇四
再び市の郵便貯金を比較す 貯金局刊 昭和一〇 洋・中 一 ツ 六 三〇二六
本市に於ける工場勞働者の貯蓄金 附錄外國に於ける勞働者貯蓄金 大阪市社會部調査課編 昭和三 洋・中 (社會部報告) 一 ヨ 九 三〇五一二六
郵便爲替貯金事業概況 昭和三至六年七月中 貯金局刊 洋・中 二 ツ 六 三〇〇八一一二
貯金局統計月報 昭和六年八月至九年一二月 同局刊 洋・中 (郵便爲替貯金事業概況ノ改題) 一 ツ 六 三〇〇八三
郵便爲替貯金事業概要 第六至一二・一五・一八・一九回 (明治二九至四二) 洋・中 九 イ 一三 四一三
郵便爲替貯金事業概要 第一七回 (明治四〇) 郵便爲替貯金 管理所編 明治四二 洋・中 一 ツ 六 一八五五
郵便貯金局統計年報 第二〇・二一回 (明治四三・四四) 同局編 明治四四・大正元 洋・中 二 ツ 六 八〇一
爲替貯金局統計年報 第三至二四回 (大正元至三・大正四・六年度 同局編 大正三至七 洋・中 五 ツ 六 二九七五
爲替貯金局統計年報 第三至二七回 (大正二至六・大正七年度 同局編 大正三至九 洋・中・大 一〇 イ 一三 二六三
貯金局統計年報 大正六・一〇・一三至昭和元年・第三五至四三回 (昭和二至一〇) 同局編 大正九至昭和一一 洋・大 一五 ツ 六 二九六四
郵便爲替貯金局統計年報 第三至二七回 (大正二至六・大正七年度 同局編 大正三至九 洋・中・大 一〇 イ 一三 二六三
郵便爲替貯金事業統計圖表 郵便貯金局編 明治四四至大正三 和・中 四 ツ 六 八一七
郵便爲替貯金事業統計圖表 郵便貯金局編 明治四五至大正三 和・中 三 イ 一三 四一三
郵便貯金概觀 大正一五年末調 貯金局編 昭和二 洋・小 一 ツ 六 二九七一
郵便貯金業務狀況 昭和一〇・一一各年三月調 貯金局刊 昭和一〇・一一 洋・中 二 ツ 六 三〇〇三
郵便貯金局行賞賜金事務史 同局編 明治四四 洋・大 一 ツ 六 七五九
郵便貯金局郵便貯金事務史 第一・二篇 同局編 明治四三 洋・大 二 ツ 六 七五八
郵便貯金局郵便振替貯金事務史 同局編 明治四三 洋・大 一 ツ 六 七六〇
六十年間に於ける郵便貯金經濟史觀 (附錄我國郵便貯金を諸外國に於けるものと比較す 貯金局刊 昭和一〇) 洋・中 一 ツ 六 三〇一三
郵便貯金事業功程概要報告 明治四二・四三年 郵便貯金局編 明治四三・四四 洋・中 二 ツ 六 七六二
郵便貯金制度及其發達史 レート撰・遞信省通信局譯 明治四二 洋・中 一 ツ 六 七六四
郵便貯金制度の改善問題 松崎壽撰 洋・中 (經營學論集) 一 ネ 二 三四七三四
郵便貯金ニ關スル諸表 昭和二年度末 貯金局刊 和・大 一 ツ 六 二九六七
郵便貯金府縣別職業別統計表 貯金局刊 (昭和一〇) 洋・中 二 ツ 六 三〇一二
郵便爲替貯金事業概要 第一七回 (明治四〇) 郵便爲替貯金 管理所編 明治四二 洋・中 一 ツ 六 三〇三八
郵便振替貯金加入者心得 明治四三年一一月現行 郵便貯金局刊 明治四三 洋・小 一 ツ 六 一八五五
郵便貯金加入者心得 大正元年一二月現行 郵便貯金局刊 大正元 洋・小 一 ツ 六 一三〇〇
一粒千金理財の種蒔き 米・フランクリン撰・黑田太久馬譯 明治二〇 洋・小 一 ネ 四 五四三

雜書

雜誌

大阪銀行通信錄 號二九至三八二（大阪）銀行集會所刊 明治三三至昭和四 洋・大 | 册 五五 | サネ 類 四五 號
關西信託時報 號一至八五 關西信託株式會社刊 大正一四至昭和六 洋・大 | 七 | サネ | 七七
理論と實際 銀行研究 卷二號三（大正一一年三月）ヨリ 銀行研究社刊 洋・中 | 二九 | サネ | 一
銀行通信錄 號二三五（明治三〇年二月）ヨリ（東京）銀行集會所刊 洋・大 | 四四 | サネ | 調
銀行通信錄 號四六八至五七五 （東京）銀行集會所刊 大正一四至昭和八 洋・大 | 一五 | サネ | 朝
金融組合 卷六號一至四 金融組合會刊 大正八 洋・大（地方金融組合ノ改題） | 一 | サネ | 金
金融組合 號一一 朝鮮金融組合協會刊 昭和三 洋・中（金融と經濟ニ接ス） | 一 | サネ | 日
金融組合 卷一號一至卷三號一 巖松堂・白鳳堂刊 大正一三至一五 洋・中 | 四 | サネ | 藤
金融と經濟 號一至一一一 朝鮮經濟協會刊 大正八至昭和三 洋・大・中（金融組合ニ接ス） | 一九 | サネ | 藤
債券投資 號四六至五六 藤本ビル・ブローカー銀行證券部刊 大正一四至昭和二 洋・大（藤本ビルブローカー銀行週報附錄） | 二 | サネ | 藤
債券仲値表 號四八三至五七〇 藤本ビル・ブローカー銀行證券部刊 大正一五・昭和二 洋・大（藤本ビルブローカー銀行週報附錄） | 一 | サネ | 保
商事法研究 年四集一 信託と證券社刊 昭和五 洋・中（信託と證券ノ改題） | 一 | サネ | 保
信託 年四號一至年六號一 信託會社協會刊 大正一一至一三 洋・中 | 三 | サネ | 無
信託及證券 年一集四 信託學會刊 昭和二 洋・中 | 一 | サネ | 九七一
信託と證券 卷二號一至六 信託と證券社刊 昭和四 洋・中（信託及證券ノ改題） | 一 | サネ | 九七二
商事法研究 年四集一 信託と證券社刊 昭和五 洋・中（信託と證券ノ改題） | 一 | サネ | 九七三
信託協會々報 卷一號一（昭和二年三月）ヨリ 同會刊 洋・大 | | サネ | 三八

臺灣銀行調査彙報 號一・二 大正九 洋・中 同銀行調査課刊 | 册 二 | サネ 類 一〇七 號
地方金融組合 卷三號一至卷五號一一 大正五至七 洋・大 地方金融組合會刊 | 六 | サネ | 三六 一一九
金融組合 卷六號一至四 大正八 洋・大（地方金融組合ノ改題） | 一 | サネ | 三六 七
金融と經濟 號一至一一一 大正八至昭和三 洋・大・中 朝鮮金融組合協會刊（金融組合ニ接ス） | 一九 | サネ | 三六 八一二六
金融組合 號一・二一 朝鮮金融組合協會刊 昭和三 洋・中（金融と經濟ニ接ス） | 一 | サネ | 三六 七
調査彙纂 卷三號一至卷四號一 北海道拓殖銀行刊 大正九・一〇 洋・中 | 二 | サネ | 一〇八
朝鮮銀行月報 卷三號九至卷一五號一 同銀行刊 大正元至一三 洋・大 | 二五 | サネ | 六八 一一五
朝鮮銀行統計月報 卷一號一（大正一四年一月）ヨリ 同銀行刊 洋・大（朝鮮銀行月報ニ接ス） | | サネ | 六八 二六一
日本興業銀行調査月報 昭和八年三月ヨリ 同銀行調査課刊 洋・中 | | サネ | 一〇六
藤本アナリスト 卷三號一至號一三九 藤本ビル・ブローカー銀行調査部刊 昭和四至九 洋・中・大 | 七 | サネ | 二六
藤本證券日報 號二一五四（昭和一一年六月）ヨリ 藤本ビル・ブローカー證券株式會社刊 洋・大 | 二六 | サネ | 一一七
藤本ビル・ブローカー銀行週報 號四二九至五七〇（卷二號一至卷三號一三 同銀行刊 大正一四至昭和三 洋・大 | 八 | サネ | 四一
保險銀行時報 號六四至一一七（有缺） 保險銀行時報社刊 明治三九至大正一三 洋・大 | 一四 | サネ | 二
保險銀行通信 號三六（大正三年一月）ヨリ 保險銀行通信社刊 洋・大 | | サネ | 五
無盡通信 卷一號二（昭和四年二月）ヨリ 全國無盡集會所刊 洋・中 | | サネ | 二八

五 保險

栗津博士論集 一二卷・補遺一卷 栗津清亮撰・同論集刊行會刊 昭和二至六 洋・小 | 册 一三 | ネ 類 三九二 號

生死論（一名生命保險の過去及び現在）（蘭・スケヴィハーヴェン撰・栗津清亮譯） 洋・中 | 六
簡便生命保險論・附錄簡便生命保險に關する近時の著書論文 | 七
生命保險總論 日本保險法論 | 八
最近保險法 國立保險論・附錄保險官督諸問題 | 九
獨逸海員奇災保險法 保險講話 | 一〇
保險通論・附錄保險論 保險史 | 一一
保險學體系 總索引（事項・人名） | 一三
刊行委員論文集（保險學論〔三浦義道〕外一八篇） | 一三
雜集

現代保險問題 森莊三郎撰 大正一五 洋・中 | 一 | ネ | 五 二三七
同 | 一 | ネ | 五 三三七八
國立保險論 栗津清亮撰 洋・小（栗津博士論集） | 一 | ネ | 五 三三九二 九
國立保險論 栗津清亮撰 明治四三 洋・中（最近經濟問題） | 一 | ヨ | 二 一九一二 一二
再保險論 進藤榮明・瀨上弓之輔撰 大正一一 洋・中 | 一 | ネ | 五 三〇七一
私經濟保險概論 末高信撰 昭和三 洋・中 | 一 | ネ | 五 三三九四
私經濟保險概論 末高信撰 昭和四 再版 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四八三
私經濟保險學 末高信撰 昭和七 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四四一
綜合保險學 小島昌太郎撰 昭和一〇 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四八一
保險 石川文吾講（明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中 | 一 | ネ | 五 一四〇四
保險 石川文吾講（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中 | 一 | ネ | 五 一六九六
保險 石川文吾講（明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中 | 一 | ネ | 五 一九八六

保險 石川文吾講（明治四二年度早稻田商業講義） 洋・中 | 一 | ネ | 五 二二九五
保險學 三浦義道撰 大正一三 洋・中 | 二 | ネ | 五 三三〇三
保險學概論 柴官六撰 昭和六 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四三六
保險學總論 磯野正登撰 昭和一二 洋・中 | 一 | ネ | 五 三五一〇
保險學體系 栗津清亮撰（栗津博士論集） | 一 | ネ | 五 三三九二 一一
保險學要論 小島昌太郎撰 昭和四 洋・中（現代經濟學全集） | 一 | ヨ | 一 三四九四 一九
保險學研究 第一號 森莊三郎編 大正一三 洋・小 | 一 | ネ | 五 三二八七
同 | 一 | ネ | 五 三三八八
保險學綱要 栗津清亮撰 明治四二 洋・中 | 一 | ネ | 五 一八〇〇
同 | 一 | ネ | 五 一八五八
保險學綱要 栗津清亮撰 大正四 改訂七版 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四一四
改訂保險學綱要 第一册 栗津清亮撰 大正九 洋・中 | 一 | ネ | 五 二八三四
保險學總論 磯野正登撰 昭和一二 洋・中 | 一 | ネ | 五 三五一〇
保險學體系 栗津清亮撰（栗津博士論集） | 一 | ネ | 五 三三九二 一一
保險學要論 小島昌太郎撰 昭和四 洋・中（現代經濟學全集） | 一 | ヨ | 一 三四九四 一九
保險經營學 特に海上保險に關して 昭和九 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四六五
保險經營學 特に海上保險に關して 昭和一一 增訂版 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四九一
保險經營の根本問題 經營技術學の提唱 酒井正三郎撰（經營學論集） 洋・中 | 一 | ネ | 二 三四七三 九
保險經濟概論 末高信撰 大正一四 洋・中（保險研究本） | 一 | ネ | 五 三三八七
保險經濟學 第一卷 近藤文二撰 昭和一〇 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四八四
保險經濟學 松山斌撰 昭和一二 洋・中 | 一 | ネ | 五 三五一三
保險經濟の研究 米谷隆三撰 昭和四 洋・中 | 一 | ネ | 五 三四〇七

		冊	類	號
保險研究 第一・二卷	瀧谷善一撰 大正一四・昭和七 初・三版 洋・中	二	ネ	五 三三九六
保險講話	栗津清亮撰 昭和三 洋・小 (栗津博士論集)	一	ネ	五 三三九二 一〇
保險事業論	三浦義道撰 明治四五 洋・中	一	ネ	五 二四三一
保險實務論 附錄普通保險約款及簡易生命保險法	柴官六撰 昭和八 洋・中	一	ネ	五 三四五八
保險政策論	野津務撰 大正一二 洋・中	一	ネ	五 三一一五
保險總說	中島好太郎撰 明治四四 洋・中	一	ネ	五 二三五一
保險總論	獨・ヴョルネル撰・志田鉀太郎・印南博吉譯 昭和八 洋・中	一	ネ	五 三四五四
保險通論	栗津清亮撰 大正二 洋・中 (經濟全書)	一	ヨ	一 二一五八 五
保險通論 附錄保險論	栗津清亮撰 洋・小 (栗津博士論集)	一	ネ	五 三三九二 一一
保險通論	奥村英夫撰 明治三六 洋・中 (帝國百科全書本)	一	ネ	五 三四〇九
保險の本質	近藤文二撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報)	一	ヨ	一 三六三五 九
保險法要論 附錄火災保險契約普通保險約款外數項	大濱信泉撰 昭和九 洋・中	一	ネ	五 三四七五
保險本質論	小島昌太郎撰 大正一四 洋・中	一	ネ	五 三三七〇
保險論	栗津清亮撰 洋・中 (經濟叢書)	一	ヨ	一 一七七 八
保險論	栗津清亮撰 洋・中 (栗津博士論集)	一	ネ	五 三三九二 一一
保險論	栗津清亮撰 洋・中 (社會經濟體系)	一	ヨ	一 三四一六 四
保險論	藤本幸太郎撰 洋・小 (經濟學全集ノ內商業學下)	一	ヨ	一 三四九三 四三
保險論集 四四篇・附錄九篇	栗津清亮撰 明治三二 洋・中	一	ネ	五 四七〇
保險論集 一八三篇	栗津清亮撰 昭和三 洋・小 (栗津博士論集)	五	ネ	五 三三九二 一一五

○

伊太利ニ於ケル國營保險 附伊國保險官營法及同附屬法令	簡易保險局刊 大正一一 洋・中 (調査資料本)	一	ネ	五 三二八七
インフレーション期のドイツ保險業	馬場克三撰 洋・中 (九大法文學部)十周年記念經濟學論文集)	一	ヨ	一 三八四四
營業收益に關する保險について	椎名幾三郎撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 六
墺太利保險業令	農商務省商務局刊 明治四四 洋・中	一	ネ	五 二四二一
墺太利保險業令	農商務省商務局刊 明治四四 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 五
歐米保險大觀	佐久間勝撰 昭和二 再版 洋・中	一	ネ	五 三三九七
海外保險事情	生田武夫撰 昭和四 洋・小 (保險パンフレット)	一	ネ	五 三三九八 四
外國保險業法	英・西班牙・瑞西 明治四四 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 二
會社營業標本	宇都宮吉造撰 大正六 再版 洋・中	一	ネ	五 二六九一
各國保險年金制度ノ梗概	郵便貯金局刊 明治四四 洋・中	二	ネ	五 三一八六
原始保險之史的研究 二編	田中靜夫撰 昭和七 再版 洋・中	一	ネ	五 三四四六
公營保險の本質	末高信撰 洋・中 (經營學論集)	一	ネ	二 三四七三 四
小島博士の「綜合保險學」の批判	印南博吉撰 洋・大	一	ネ	五 三四八七
斷りとそれに對する答へ方	森莊三郎編 昭和七 洋・小	一	ネ	五 三四四四
コンネチカット州保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 八
商務局長講演速記錄	福德生命保險株式會社編 大正一二 洋・小	一	ネ	五 三一八三
生命保險と統計 (龜田豐治朗)				

現代思想と保險 (森莊三郎)

生命保險の使命	栗津清亮	一	ネ	五 二四一〇
産業と保險 (鶴見左右雄)	社會連帶の思想 (志田鉀太郎) 富の分配と保險金 (下村宏)			
保險事業の將來 (岡實)				
新館落成記念	大同生命保險株式會社刊 大正一四 洋・中	一	ネ	五 三四二六
新種保險の發生と其將來性に就て	北澤省勝撰 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ	五 三四八八 二
新日本史 保險篇	栗津清亮撰 洋・中	一	リ	五 四七二一 二
瑞典保險業法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 九
生産調査會刊行保險書	農商務省商務局刊 明治四四・四五 洋・中	一三	ネ	五 二七三九
佛・墺及匈國ニ於ケル家畜保險 (伊藤萬太郎編)		一		
外國保險業法 (英・西・瑞西)	二 英國友誼組合法	三		
獨逸保險私營法	四 墺太利保險業令	五		
紐育州保險法	六、マサチュウセッツ州保險法	七		
コンネチカット州保險法	八 瑞典保險業法	九		
丁抹保險法	一〇 香港生命保險會社令	一一		
布哇保險法	一二 簡易保險資料 (續共)	一二—一三		
生命保險會社協會所藏和(漢)書目錄	同協會刊 昭和一〇 洋・大	一	イ	二 二〇一五
西洋の保險と日本の保險	石井讓撰 昭和一二 洋・小	一	ネ	五 三五〇七
戰爭と保險	森莊三郎撰 洋・中 (戰時經濟財政調査報告)	一	タ	一 二八〇〇 一
相互保險の研究 特に其の法的性質を中心として	昭和一〇 洋・中 野津務撰	一	ワ	一二 六三九六
相互保險の相互性に就いて	野津務撰 洋・中 (加藤先生論文集) 這個廣實	一	ワ	一 六三三八
第三回全國保險業者大會報告	同會編 大正三 洋・中	一	ネ	五 三四一七
丁抹保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 一〇
生命保險會社協會所藏和(漢)書目錄	同協會刊 昭和一〇 洋・大	一	イ	二 二〇一五
西洋の保險と日本の保險	石井讓撰 昭和一二 洋・小	一	ネ	五 三五〇七
戰爭と保險	森莊三郎撰 洋・中 (戰時經濟財政調査報告)	一	タ	一 二八〇〇 一
相互保險の研究 特に其の法的性質を中心として	昭和一〇 洋・中 野津務撰	一	ワ	一二 六三九六
相互保險の相互性に就いて	野津務撰 洋・中 (加藤先生論文集) 這個廣實	一	ワ	一 六三三八
第三回全國保險業者大會報告	同會編 大正三 洋・中	一	ネ	五 三四一七
丁抹保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 一〇
生命保險會社協會所藏和(漢)書目錄	同協會刊 昭和一〇 洋・大	一	イ	二 二〇一五
西洋の保險と日本の保險	石井讓撰 昭和一二 洋・小	一	ネ	五 三五〇七
戰爭と保險	森莊三郎撰 洋・中 (戰時經濟財政調査報告)	一	タ	一 二八〇〇 一
相互保險の研究 特に其の法的性質を中心として	昭和一〇 洋・中 野津務撰	一	ワ	一二 六三九六
相互保險の相互性に就いて	野津務撰 洋・中 (加藤先生論文集) 這個廣實	一	ワ	一 六三三八
第三回全國保險業者大會報告	同會編 大正三 洋・中	一	ネ	五 三四一七
丁抹保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 一〇
獨逸保險私營法	農商務省商務局刊 明治四四 洋・中	一	ネ	五 二四一〇
獨逸保險私營法	農商務省商務局刊 明治四四 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 四
獨米國民保險事業論 附米國工業保險要論	獨・メーリス撰・郵便貯金局譯 明治四五 洋・中	一	ネ	五 三一八八
日本アクチュアリー會創立二十五年記念講演論文集	通貨の價値の變動及び長期貸借決濟に就て (藤澤利喜太郎)外一二篇 日本アクチュアリー會編 大正一五 洋・中	一	ネ	五 三三八二
日本保險年鑑	昭和三至七年版・同上英文附 三浦義道編 昭和三至六年 洋・中	四	ネ	五 三四〇〇
紐育州保險法	農商務省商務局刊 明治四四 洋・中	一	ネ	五 三四二三
紐育州保險法	農商務省商務局刊 明治四四 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 六
布哇保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中 (生産調査會刊行保險書)	一	ネ	五 二七三九 一一
判例に表れたる若干の保險問題	北澤省勝述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ	五 三四八八 二
保險會社金融論	石坂泰三撰 昭和一〇 洋・小 (現代金融經濟全集)	一	ネ	四 三七三五 二三
內外保險會社職員錄	昭和四年春期版 昭和四年 保險經濟社刊	一	ネ	五 三四二七
保險官營諸問題	栗津清亮撰 昭和四 洋・小 (保險パンフレット)	一	ネ	五 三三九八 四
保險技術上の若干問題	藤本幸太郎撰 洋・中 (東京商大商學研究年報)	一	ネ	二 三三四九 三
保險業法 後附兼議院議員選擧法	洋・中 (早稻田大學法律科講義錄附錄)	一	ネ	五 一九二八
第六十四回帝國議會保險業法中改正法律案議事速記錄	附錄新舊對照改正保險業法 保險評論社刊 昭和八 洋・大 (保險評論臨時增刊)	一	ネ	五 三四五一
保險金融に就て	矢野恒太述・金融研究會刊 (昭和九) 洋・中 (講演集本)	一	ネ	四 三七二九
保險經營の統制と再保險	末高信撰 洋・中 (早稻田經濟統制の研究)	一	ヨ	二 三五四五

		冊	類	號	頁
保險契約締結の方法に就て	水口吉藏 昭和四 洋・小（保險パンフレット）	一	ネ	五 三九八 三	二
保險國營に關する諸論稿 一・二	寺田四郎編 大正一四・一五 洋・小	二	ネ	五 三三七九	三
保險國營論者としてのライプニッツのワグナー	近藤文二撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報）	一	ヨ	一 三六五三 七	三
保險史	栗津清亮撰 洋・小（栗津博士論集）	一	ネ	五 三三九二 一	三
保險字彙抄錄	英・ワルフォード撰・東京稅務監督局譯刊 洋・中（獨逸ニ於ケル震害保險問題ト同刊）	一	ネ	五 一九九	四
募集の新武器 保險信託	石川忠治撰 昭和三 洋・小（保險パンフレット）	一	ネ	五 三三九八 二	四
保險數學	龜田豐治朗撰 昭和八 洋・中	一	ネ	五 三四四八 二	四
保險ト國家	米・ゲファート撰・簡易保險局譯編 大正一〇 洋・中（調查資料本）	一	ネ	五 三一八五	四
保險年鑑	明治四一至昭和一〇年度（大正七・一〇・昭和二・八各年度乙・外國會社缺） 農商務省商務局編 明治四一至昭和二・八 洋・中	四九	ネ	五 一七三八	四
保險年鑑	明治四二・四四・大正三（甲）・四（乙）・一一・一二（甲）年度 農商務省商務局編 明治四二年度 農商務省商務局編 明治四三至大正一四 洋・中	五	ネ	五 二一四七	四
保險年鑑	明治四二年度 農商務省商務局編 明治四三 洋・中	一	ネ	五 二二〇三	四
保險の社會化	野津務撰 大正一三 洋・小	一	ネ	五 三二五五	四
保險のすゝめ	清水金凰撰 明治三九 和・小	二	ネ	五 一二五五	四
保險パンフレット	第一・二年・特別刊行共 保險評論社刊 昭和二至四 洋・小	四	ネ	五 三三九八	四
產業立國に就いて（吉野信次）	一 生命保險事業の經營（岩間六郎）	一			四
國際協力の發展（新渡戶稻造）	一 被保險者福祉施設論（生田武夫）	二			四
死亡表問答（磯野正登）		二			四
「ウィルソン」より「ムツソリニ」まで（永井柳太郎）		二			四
弱體保險の話（高田他家男）		二			四
我國火災保險事業の沿革竝現狀（原錦吾）附錄・生命保險の科學的募集組織及宣傳論（狗・Ranseh 撰・三浦義道節譯）		二			四
保險漫錄	岩間六郎撰 明治三五 洋・小	一	ネ	類 五 一八〇六 號	四
保險約款集附簡易生命保險法令	生命保險會社協會編 昭和九 洋・小	一	ネ	五 三四六六	四
「保險ハ致富ノ道ニ非ス」ヲ論ス	青山棠司錄（岡野敬次郎先生教授商法論文選） 在職廿五年祝賀記念 洋・中	一	ワ	一二 五九三九	四
香港生命保險會社令	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中（生產調查會刊行保險書）	一	ネ	五 二七三九 一	四
マサチュウセッツ州保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中	一	ネ	五 三一九〇	四
マサチュウセッツ州保險法	農商務省商務局刊 明治四五 洋・中（生產調查會刊行保險書）	一	ネ	五 二七三九 七	四
明治大正保險史料 第一・二卷	玉木爲三郎編 昭和九至一二 洋・中	六	ネ	五 三四七三	四
矢野恒太君保險關係二十五年記念會報告書	玉木爲三郎編 大正四 洋・中	一	ネ	五 一五二六	四

募集の新武器 保險信託（石川忠治）					二
保險契約締結の方法に就て（水口吉藏）					三
水力涵養と人力涵養（森莊三郎）附錄・團體保險の發達（米・グラハム撰・保險評論社編輯部譯）					三
賠償及戰債問題の經緯（田村幸策）					三
世界に於ける禁酒運動と米國生命保險界に於ける酒精中毒死亡率（寺田四郎）					三
都市の保健と保安より見たる公園（井下清）					三
生命保健と佛教（小林一郎） 三 保險官營諸問題（栗津清亮）					四
海外保險事情（生田武夫）					四
我國に於ける原始產業保險に就て（堀義臣）					四
生命保險の再保險（野坂竹太郎）					四
金解禁實行發表當日井上藏相の第一聲（金解禁について）					四

肺結核に就て（栗本東明）	生命保險の敵（志田鉀太郎）				
矢野恒太君の德を頌す（森村金造）	生命保險會社協會刊 昭和八 洋・大	一	ネ	五 三四五〇	
論說					
生命保險の上より見たる市部と郡部との死亡率（中濱東一郎）					
アモーチゼーション（麻生義一郎）					
伊太利に於ける生命保險官營問題を論ず（三浦義道）					
保險契約に對する利益配當に就て（窪田隆次郎）					
我邦保險監督法規の沿革（玉木爲三郎）					
簡易保險の附加保險料に就て（龜田豐治朗）					
附加保險料を再論して龜田理學士に答ふ（磯野正登）					
有償證券評價に關する資料 一・二	生命保險會社協會刊 洋・中	一	ネ	五 三四四七	
露西亞國官營保險年金事業	爲替貯金局刊 大正四 洋・中	一	ネ	五 三一八九	
我國新種保險普通約款の比較	北澤宥勝撰 昭和九 洋・中	一	ネ	五 三四六八	
○					
愛國生命保險株式會社報告書	明治三九年 同會社刊 明治四〇 洋・小	一	ネ	五 一八一四	
財界變動と生命保險	名取夏司述 昭和一二 三版 洋・中	一	ネ	五 三五一二	
再保險に於ける「危險保險料」式	第八回國際アクチュアリー會議報告書 簡易保險局刊 昭和五 洋・中	一	ネ	五 三四三一	
死亡生殘表ノ研究	納賀雅友・大石武撰 大正五 洋・中	一	ネ	五 二六五四	
實用生命保險數學	忍田又男撰 昭和八 洋・中	一	ネ	五 三四五二	
弱體保險	第八回國際アクチュアリー會議報告書 簡易保險局刊 昭和五 洋・中	一	ネ	五 三四三二	
ネ 商業 五 保險 生命保險					
弱體保險資料調查報告書	生命保險會社協會刊 昭和八 洋・大	一	ネ	五 三四五〇	
弱體保險の話	高田他家男撰 昭和三 洋・小（保險パンフレット）	一	ネ	五 三三九八 二	
弱體保險論	附錄佛國弱體保險に就て 獨・エンムデン撰・三浦義道・高田他家男譯 昭和八 洋・中	一	ネ	五 三四六〇	
商工省日本經驗生命表	明治四五至昭和二年・說明追補及參考諸表・價格表共 商工省保險部・生命保險會社協會刊 昭和六至八 洋・大	三	ネ	五 三四四二	
小兒保險論纂	簡易保險局刊 昭和三 洋・中	一	ネ	五 三四三〇	
人口救窮及保險	永田健介譯（百科全書） 洋・大	一	イ	四 二三五 三	
仁壽生命保險合資會社報告 第十一回	同會社刊 明治三九 洋・小	一	ネ	五 一七五三	
生死論 一名生命保險ノ過去及ビ現在	第一・二編 蘭・スケヴィハーヴェン撰・栗津清亮譯 明治三七 洋・中	一	ネ	五 八一六	
生死論 一名生命保險の過去及び現在	一二編 蘭・スケヴィハーヴェン撰・栗津清亮譯 昭和二 洋・小（栗津博士論集）	一	ネ	五 三三九二 六	
生命保險	石川文吾撰 大正一四 洋・小	一	ネ	五 三三七四	
生命保險	矢野恒太撰 洋・中	一	ネ	五 三三九九	
生命保險	矢野恒太撰 洋・中（社會經濟體系）	一	ヨ	一 三四一六 五	
生命保險	矢野恒太撰 洋・中（現代產業叢書）	一	ヨ	一 三五〇〇 二	
通俗生命保險醫學	篠原昌治撰 大正一五 再版 洋・小	一	ネ	五 三四〇三	
生命保險會社死亡生存保險府縣別統計表	明治四一年度 明治四三 洋・大（保險銀行時報附錄）	一	ネ	五 二〇三六	
生命保險會社の金融的發展	小野清造撰 昭和一一 洋・中	一	ネ	五 三五〇一	
生命保險會社の批判	昭和二・五・六・八至一〇年度 東洋經濟新報社刊 昭和三至一〇 初・再版 洋・大	六	ネ	五 三四二一	

生命保險業の社會的竝びに金融的職能	團琢磨講演	洋・中	(經營學講演集)	1冊	ヨ 二類 三四五一號
生命保險經營概論	附錄社內制度概說外一項	昭和四	洋・小	1	ネ 五 三四一〇
生命保險經營に於ける投資情勢	山一證券株式會社調査部刊	昭和一〇	洋・中	1	ネ 五 三四一三
生命保險經營の本體	名取夏司述	昭和一〇	洋・中	1	ネ 五 三四七六
生命保險經營論	附錄各國生命保險普及狀況外三項	昭和二	洋・中	1	ネ 五 三三九一
生命保險經濟學	附錄米國に於ける保險教育及保險に關する主要なる傾向外三篇	昭和三	再版 洋・中	1	ネ 五 三四〇三
應用生命保險計算表	丹勝吾撰	明治三五	洋・中	1	ネ 五 二七一〇
生命保險契約高百億圓達成記念	懸賞論文集 國民經濟に對する生命保險の貢獻を論ず(葛城照三外四氏)	昭和一〇	洋・中	1	ネ 五 三四八五
生命保險懸賞文集	大同生命保險株式會社協會刊	昭和二	洋・小	1	ネ 五 三四七七
生命保險懸賞論文集	生命保險の必要を論ず(池端波次郎)外一四篇	日本生命保險株式會社刊	昭和二	1	ネ 五 三三九三
生命保險事業の經營	岩間六郎撰	三版	洋・小	1	ネ 五 三三九八 一
生命保險十七講	栗津清亮述	大正一五	洋・小	1	ネ 五 三三八三
最近生命保險數學	關伊右衞門編	大正五	再版 洋・中	1	ネ 五 二七〇九
生命保險數理汎論	吉澤嘉壽之丞撰	明治四五	洋・中	1	ネ 五 二七二一
生命保險撰擇總覽	昭和三年版 豐國通信社編	昭和三	洋・大	1	ネ 五 三四〇八
生命保險總論	栗津清亮撰	洋・小	(栗津博士論集)	1	ネ 五 三三九二 七
生命保險代理者	栗津清亮撰	明治三五	再版 洋・小	1	ネ 五 一九八〇
生命保險代理者	栗津清亮撰	明治三六至大正一一年	同會社刊	1	ネ 五 二六六九
帝國生命保險會社書類	同會社刊	和・大		1	ネ 五 七六四
獨逸海員奇災保險法	栗津清亮撰	洋・小	(栗津博士論集)	1	ネ 五 三三九二 九
獨逸ニ於ケル海員保險	附錄他ノ歐羅巴ノ法律外一項	大正七	洋・中	1	ヨ 九 三六四四
統制經濟と生命保險經營機構	西尾清一撰	洋・中	(經營學講演集) 產業統制研究)	1	ヨ 一 三七六〇
日清生命保險株式會社株主名簿	明治四〇・四二・四三各年末現在	同會社刊	洋・小	3	ネ 五 一五九七

生命保險代理者	栗津清亮撰	明治三五	再版 洋・小	(保險叢書本)	1冊 ヨ 二類 三四五一號
生命保險提要	一名從業者必携	明治三九	洋・中	惣崎貞夫撰	1 ネ 五 三四一〇
生命保險經營に於ける投資情勢	山一證券株式會社調査部刊	昭和一〇	洋・中		1 ネ 五 三四一三
生命保險と金融	金融研究會編	昭和四	洋・中	(金融研究會調書)	1 ネ 四 三五一二 三
生命保險と佛教	小林一郎撰	昭和四	再版 洋・小	(保險パンフレット)	1 ネ 五 三三九八 三
生命保險に於ける廢疾條項の研究	石川文吾撰	洋・中	(東京商大商學研究)		1 ネ 二 三三四九 二
生命保險に於ける廢疾特典	附錄癈疾條項纖形外四項	米・ハンター竝フィリップス撰・中村喜代嗣譯	昭和一〇	洋・中	1 ネ 五 三四七九
生命保險に於ける分化の傾向	附生命保險の多角的經營	末高信述	昭和一〇	洋・中	1 ネ 五 三四九〇
	(東大經濟學部保險演習學友會講演錄本)				
生命保險に對するインフレーションの影響と	その對策	末高信撰	洋・中	(經營學論集)	1 ネ 二 三四七三 八
生命保險の再保險	米・バグレー竝レアード撰・寺田喜三郎・本城炎吉譯	大正一三	洋・小		1 ネ 五 三三〇四
生命保險の再保險	野坂竹太郎撰	昭和四	洋・小	(保險パンフレット)	1 ネ 五 三三九八 四
生命保險福祉施設論	星豐三久撰	昭和七	洋・中		1 ネ 五 三四三九
生命保險約款集	附簡易生命保險法令	昭和一一	洋・小	生命保險會社協會刊	1 ネ 五 三四九四
生命保險論	龜田豐治朗撰	昭和一一	四版 洋・中	(商學全集本)	1 ネ 五 三五〇〇
生命保險論	末高信撰	昭和一二	洋・中	(經營學大系本)	1 ネ 五 三五一七
生命保險論	原島茂撰	大正一三	再版 洋・小		1 ネ 五 三三四九

生命保險論	藤澤利喜太郎撰	明治二二	洋・小		1 ネ 五 三三八
同					1 ネ 五 一五五八
生命保險論	藤澤利喜太郎撰	洋・中	(明治文化全集)		1 イ 四 一一三三 九
生命保險論	藤澤利喜太郎撰	洋・中	(藤澤博士遺文集)		1 イ 四 一二九四 一
船員保險調査資料	社會局保險部刊	昭和三	洋・中		1 ネ 五 三四九五
船員保險法案ニ對スル意見書及參考資料	日本工業俱樂部調査課編	昭和三	洋・中		1 ネ 五 三四一六
船員保險法立案經過記錄	社會局保險部刊	昭和五	洋・大		1 ネ 五 三四九六
全國生命保險業者大會報告	第四回 生命保險會社協會刊	大正一一	洋・中		1 ネ 五 三二一四
同					1 ネ 五 三一九三
第一生命保險相互會社書類	同會社刊	和・中			1 ネ 五 一五四七
第一生命保險相互會社二十五年史	附錄年表外七項	昭和四	洋・大	同會社刊	1 ネ 五 三四一二
同					1 ネ 五 三四三七
第一生命保險相互會社報告	第一・六・一四至一六・二〇回(明治三五				
	至大正一一年)	同會社刊			1 ネ 五 二六六九
	(明治三六至大正一一)	洋・中			
帝國生命保險會社書類	同會社刊	和・大			1 ネ 五 七六四
獨逸海員奇災保險法	栗津清亮撰	洋・小	(栗津博士論集)		1 ネ 五 三三九二 九
獨逸ニ於ケル海員保險	附錄他ノ歐羅巴ノ法律外一項	大正七	洋・中	爲替貯金局刊	1 ヨ 九 三六四四
統制經濟と生命保險經營機構	西尾清一撰	洋・中	(經營學講演集) 產業統制研究)		1 ヨ 一 三七六〇
日清生命保險株式會社株主名簿	明治四〇・四二・四三各年末現在	同會社刊	洋・小		3 ネ 五 一五九七
日清生命保險株式會社報告	第一至二一回(明治四〇至昭和二年)(一有缺)	同會社刊	明治四一至昭和三	洋・中	3 ネ 五 一七〇八
日本共立生命沿革誌	日本共立生命保險株式會社刊	昭和八	和・小		1 ネ 五 三四六一
日本三會社生命表	第一・二・卷(明治四三年)	明治四四	洋・大		2 ネ 五 二四一四
日本傷害保險株式會社設立趣意書	附事業方法書及定款	明治四〇	洋・中	栗津清亮撰	1 ネ 五 二〇三七
日本生存保險經驗表	明治四五至昭和二年	昭和八	洋・大	生命保險會社協會編	1 ネ 五 三四五九
日本生命保險會社書類	同會社刊	和・大			1 ネ 五 七六七
日本生命保險業史	設樂瑞籬編	(明治三七)	洋・中		1 ネ 五 八三〇
年金者死亡率ノ研究	附錄ライマン氏獨逸年金者死亡表說明外一篇	明治四五	洋・中		1 ネ 五 三四一八
人ノ貨幣價値	附錄添 米・ダブリン竝ロトカ撰・井關孝雄譯	昭和七	洋・小		1 ネ 五 三四四〇
被保險者福祉施設論	生田武夫撰	昭和二	洋・小	(保險パンフレット)	1 ネ 五 三三九八 一
米國メトロポリタン生命保險會社保健體操ラヂオ放送事業概要	簡易保險局編	昭和三	洋・中	(被保險者福祉問題資料)	1 ネ 五 三四三九
本邦生命保險業史	附錄文獻目錄外二項	保險銀行時報社編	昭和八	洋・大	1 ネ 五 三四五七
本邦生命保險事業の事務組織の研究	末高信撰	洋・中	(經營學論集)		1 ネ 二 三四七三 一二
明治生命五十年史	附錄明治生命創立以前の我國に於ける保險制度外四項	明治生命保險株式會社刊	昭和八	洋・大	1 ネ 五 三四六三
明治生命四十周年記念	明治生命保險株式會社刊	大正一一	洋・小		1 ネ 五 三〇四三
明治生命保險株式會社規則	同會社刊	明治三六	洋・小		1 ネ 五 二〇九五
明治生命保險株式會社死亡統計報告	明治三二至四〇・四一至大正六年	同會社刊	洋・大		2 ネ 五 二四六六

明治生命保險株式會社書類	同會社刊 和・大	一冊	ネ五	七六二
明治生命保險株式會社報告（第三至六回・明治壹萬壹千九年）	同會社刊 洋・小	二	ネ五	二〇九四
有隣生命保險會社書類	同會社刊 和・大	一	ネ五	七六六
我國に於ける生命保險事業の創生 若山義一氏を中心として見たる	園乾治撰 洋・中（明治初期經濟史研究）	一	ヨ四	三五一五二

○

一般海上保險ノ再保險ノ引受ヲ政府ノ特許セル海上再保險組合ニ許スヲ可トスルノ提議	洋・大（交通第二號提案參考書本）	一	ネ五	三二七二
所謂船體保險料引上問題に就いて	石津謙撰 洋・中（經營學講演集）	一	ヨ二	三四五一
英國國民性と「ロイド」	藤本幸太郎述 昭和一〇・六 大阪 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 一
英國ニ於ケル海上保險ノ概況	遞信省管船局調査 洋・中（交通第二號提案參考書本）	一	ネ五	三三七三
歐米に於ける火災保險料率の協定に就て	瀧谷善一述 昭和九 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 一
歐米に於ける最近の航空保險	大林良一撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ二	三四七三 一〇
海上被保險利益に就て	有村有撰 洋・中（長崎高等商業學校記念論文集）	一	ネ一	三七四八
海上保險	東亞同文會編 洋・中（支那經濟全書）	一	ヨ一	一二八八 七
同	ウイリアム・ヒューブナー氏 博士 ガウ 海上保險	椎名幾三郎譯 大正一一 洋・中	一	ヨ一	二七九五 七
		田中德次郎譯 大正一四 洋・中	一	ネ五	三〇七九 二
海上保險會社創立要旨	洋・中（海事史料叢書）	一冊	ツ四類	五〇三九號 一八
海上保險會社の組織と經營	中山秀治郎撰 昭和二 洋・中	一	ネ五	三四〇五
海上保險概要	附錄船舶保險約款外二篇 加藤由作撰 昭和一一 洋・中	一	ネ五	三五〇五
海上保險概論	附錄船舶保險證券外三篇 椎名幾三郎撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ五	三五〇六
海上保險研究 第一卷	勝呂弘撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ五	三五〇四
海上保險研究 第一卷 大正一二	藤本幸太郎撰 洋・中	一	ネ五	三一七九
海上保險講義要領	村瀨春雄撰 明治三二 洋・中	一	ネ五	二一五一
海上保險講義要領 大正元・二年度	村瀨春雄撰 洋・中（村瀨保險全集）	一	ネ五	三三八一
海上保險實務	阪元毅撰 大正一〇 洋・小	一	ネ五	三〇〇四
海上保險實務誌	阪元毅撰 大正一三 訂正再版 洋・中	一	ネ五	三三三六
海上保險體系	瀨戸彌三次撰 昭和六至一〇 洋・中	四	ネ五	三五〇三 一一四
危險・因果・擧證篇		一	共同海損精算論篇	二
被保險者の擔保義務篇		三	塡補條件篇	四
海上保險ニ關スル農商務省調書	洋・中（英國ニ於ケル海上保險ノ既況ト同刊）	一	ネ五	三三七三
海上保險の經營と統制	倉田庫太撰 洋・中（早稻田經濟統制の研究）	一	ヨ二	三五四五
海上保險法	秋野沆撰 明治四一 洋・中（帝國百科全書）	一	イ四	一一五一 一六四
海上保險法	巴遜私撰・秋吉省吾譯 洋・中（海事史料叢書）	一	ツ四	五〇三九 一八
海上保險要論 附錄英國海上保險法外九項	久川武三撰 洋・中	一	ネ五	三四二五
海上保險料率を論ず	椎名幾三郎述 昭和一一 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 三

海上保險論	藤本幸太郎撰 昭和五 洋・中（商學全集本）	一	ネ五	三四二〇
ドー海上保險論綱	橋本犀之助譯 昭和四 洋・中	一	ネ五	三四〇六
海難救助料に對する保險者の塡補責任	加藤由作撰 洋・中（法學協會雜誌研究年報）	一	ネ二	三三四九 四
火災危險に就て	赤澤猪吉述 再版 洋・中 昭和一〇	一	ネ五	三四八八 二
火災統計表	農商務省商工局保險課編 明治四一至大正九 洋・大	四	ネ五	一六一〇
火災統計表	自明治三十六年至明治四十年五ヶ年間火災統計表	一	自明治三十六年至明治四十年五ヶ年間火災統計表	二 三 四
	自明治四十一年至大正四年八ヶ年間火災統計表（內地及臺灣樺太）			
	自明治四十三年至大正四年六ヶ年間火災統計表（朝鮮）			
火災の損害率に就て	赤澤猪吉述 昭和一〇 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 二
火災普通保險約款の改正に就て	北澤宥勝述 昭和一〇 六版 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 一
火災保險	小林北一郎撰 昭和二 洋・中	一	ネ五	三三九〇
火災保險	角田經夫撰 大正一四 改增再版 洋・中	一	ネ五	三四〇一
火災保險及其經營	高山圭三撰 明治四五 洋・中	一	ネ五	二七〇八
火災保險會計 附錄保險業法三項	葛城照三撰 昭和九 洋・中	一	ネ五	三四七三
火災保險勸誘の手引	高森昇一郎撰 昭和九 洋・小	一	ネ五	三四七〇
火災保險業より見たる工場の火災的危險竝に工場物件の處理法	伊藤英樹述 昭和一〇 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 二
火災保險業より見たる東京市	恩田長藏・半名龜次撰 大正二 洋・中	一	ネ五	二五〇一
火災保險經營と料率研究	井口武三郎撰 昭和七 四版 洋・中	一	ネ五	三四四五
火災保險契約論	北澤宥勝撰 大正一四 洋・中	一	ネ五	三三六九
火災保險契約論	疋田久次郎撰 大正一三 洋・中	一	ネ五	三四二〇
火災保險講義要領	明治四四年度 村瀨春雄撰 洋・中（村瀨保險全集）	一	ネ五	三三八一
火災保險實務の手引	高森昇一郎撰 昭和九 洋・小	一	ネ五	三四七一
火災保險新講	吉井桃麻呂撰 昭和九 洋・中	一	ネ五	三四七四
火災保險の相互組織に就いて	末高信述 昭和一〇 六版 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 一
火災保險の理論と實際 上卷	志水政信撰 大正一五 洋・中	一	ネ五	三四〇四
火災保險普通約款綱要	附錄火災保險證券及び火災保險普通約款全文 內山清撰 昭和八 洋・中	一	ネ五	三四五六
火災保險料率協定の意義	瀧谷善一撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ二	三四七三 一
火災保險料率政策	瀧谷善一撰 洋・中（神戸高等商業學校記念論文集）	一	ネ一	三六二一
火災保險料率理論の發達に就て	瀧谷善一述 昭和一〇 洋・中（損害保險特別講演集）	一	ネ五	三四八八 三
火災保險料率論	椎名幾三郎撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報）	一	ヨ一	三六三五 三
火災保險・ロイド保險人・會計	附錄保險業法拔萃外二篇 渡部義雄撰 昭和五 洋・小	一	ネ五	三四三三
火災保險論	北澤宥勝撰 昭和五 洋・中	一	ネ五	三四二五
火災保險論	瀧谷善一撰 昭和一一 洋・中（商學全集本）	一	ネ五	三四九九
家畜保險法	三浦義道撰 洋・中（岡哥倫次郎先生教授在職廿五年祝賀記念）	一	ワ一二	五九三九
火保研究 第一卷	井口武三郎撰 昭和八 洋・中	一	ネ五	三四六三
汽罐保險とは如何なるものか	第一機關汽罐保險株式會社刊 洋・中	一	ネ五	二〇六九
現行火災保險料率の解剖	井口武三郎撰 洋・中（火保研究第二卷）	一	ネ五	三四七八
航空保險論 附錄國際航空保險團體規約書及び保險約款（邦譯）外一項	大林良一撰 昭和九 洋・中	一	ネ五	三四六四

最近十年間に於ける我國の損害保險業	早大商業經濟研究彙纂 洋・大	一冊	ネ五	三四三五	損
最近米國に於ける損害保險の傾向	米・ヒューブナー述・末高信通譯 昭和三 洋・中	一	ネ五	三三九五	損
財產保險の理論と實際	田中德次郎撰 大正一五 洋・中	一	ネ五	三三八〇	損
產業組合の火災保險契約に關する調査	濱田道之助編 昭和二 洋・中 (產業組合調查資料)	一	ヨ一	三三九 一三	損
地震約款ト擧證ノ責任	北田彥三郎撰 洋・小	一	ネ五	三三五一	損
地震約款無效論	花岡敏夫撰 大正一二 洋・中	一	ネ五	三三三一	損
實用海保研究の新提案 其七	倉田庫太撰 (昭和四) 洋・大 (海運拔刷)	一	ネ五	三四一九	損
社會保險と損害保險との關聯に就て	森莊三郎述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 二	損
衝突損害と海上保險との關係	藤本幸太郎撰 洋・中 (東京商大研究年報 商學研究)	一	ネ二	三三四九 一三	損
將來の海軍と商業	附錄ロイド組合及びロイド船鑑の由來 英・ダンリン撰・肝付龜行譯 明治三三 洋・中	一	ネ五	三四三八	損
所得稅減免と火災保險	石川文吾撰 洋・中 (復興叢書)	一	ヲ一	三三四七 三	損
新種保險の發生と其將來に就て	北澤宥勝述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 二	損
戰時海上保險事業成績報告	附戰時海上保險補償法成績 戰時保險局刊 大正七 洋・大	一	ネ五	二七四二	損
戰時海上保險事業成績報告	附戰時海上保險補償法成績 戰時保險局刊 大正九 洋・大	一	ネ五	二八五三	損
船舶の衝突と海上保險	勝呂弘撰 洋・中 (長崎高等商業學校創立三十周年記念論文集)	一	ネ一	三七四八	損
船舶保險普通及特別約款の改訂を顧みて	倉田庫太述 昭和一〇 再版 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 一	損
損害保險	三浦義道撰 洋・中	一冊	ヨ一	三三〇九 二	損
損害保險會計に就いて	葛城照三述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 一	損
損害保險特別講演集 第一至三〇輯(第八・二二・二七輯缺)	損害保險事業研究所刊 昭和九至一二 初至六版 洋・中	三	ネ五	三四八八	損
挨拶(各務鎌吉)					商
英國國民性と「ロイド」(藤本幸太郎)					商
獨逸に於ける公營火災保險に就て(ワルドハイム)					商
火災保險の相互組織に就いて(末高信)					商
歐米に於ける火災保險料率の協定に就て(瀧谷善一)					商
火災普通保險約款の改正に就て(北澤宥勝)					商
出火原因と危險物に就て(豐島厚)					商
非常時下に於ける民間航空と航空保險(齋藤外男)					商
船舶保險普通及特別約款の改訂を顧みて(倉田庫太)					商
船舶安全法に就て(山本幸男)					商
損害保險會計に就いて(葛城照三)					商
損害保險と犯罪に就て(青谷和夫)					商
判例に表れたる若干の保險問題(北澤宥勝)					商
火災保險業より見たる工場の火災的危險並に工場物件の處理法(伊藤英樹)					商
社會保險と損害保險との關聯に就て(森莊三郎)					商
火災危險に就て(赤澤猪吉)					商
判例より見たる火災保險(竹田省)					商
新種保險の發生と其將來に就て(北澤宥勝)					商
船舶救助作業並に「エヂプト」號金貨引揚物語(北川保)					商
火災の損害率に就て(赤澤猪吉)					商
戰時に於ける商船の自衞(須川邦彥)					商
火災保險料率理論の發達に就て(瀧谷善一)					商
我國に於ける火災保險料率協定に就て(瀧谷善一)					商
自働消火裝置に就て(渡部陣)					商
災害と都市計畫(菱田厚介)					商
電氣施設と火災との關係に就て(清水勳二)					商
海上保險料率を論ず(稚名幾三郎)					商
船長より見たる海難の種々相(各務重治)					商
防火と建築(堀井啓治)					商
損害保險と犯罪に就て	青谷和夫述 昭和一〇 洋・中	一	ネ五	三四八〇	商
損害保險と犯罪に就て	青谷和夫述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 二	商
損害保險論	石井讓撰 昭和九 洋・中	一	ネ五	三四六七	商
帝國運送保險株式會社書類	同會社刊 和・中	一	ネ五	一五〇六	商
帝都地震火災對保險眞義	樋口祐次郎撰 大正一三 洋・中	一	ネ五	三三七五	商
同		一	ネ五	三三七六	商
獨逸に於ける公營火災保險に就て					商
獨逸に於ける公營火災保險に就て	獨・ワルドハイム述 (昭和九) 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 一	商
獨逸に於る雹害保險問題學理的歷史的批評的觀察					商
	獨・ズックステンド撰・東京稅務監督局譯刊 明治三六 洋・中 (內國稅彙纂本)	一	ネ五	一九九	商
東亞火災保險相互會社定款及普通保險約款	同會社創立事務所刊 洋・中	一	ネ五	二〇三八	商
東亞火災保險相互會社定款及普通保險約款	同會社刊 和・小	一	ネ五	三三二	商
東京海上保險會社書類	同會社刊 和・大	一	ネ五	七六五	商
東京火災保險株式會社書類	同會社刊 和・大	一	ネ五	一五二四	商
日章火災海上再保險株式會社事業報告書 第二回	同會社刊 洋・中	一	ネ五	二七六一	商
日章火災再保險株式會社	設立趣意書其他 同會社創立事務所刊 洋・小	一	ネ五	二七六五	商
經濟資料日本家屋保險國營論	森莊三郎編 大正一四 洋・小	一	ネ五	三八九	商
日本家屋保險論(獨・マエヨット撰・寺田勇吉譯)					商
災害救濟論(獨・マエヨット撰・青山大太郎譯)					商
大藏省火災保險取調掛の書類	新聞雜誌の論說及び時報				商
大藏省火災保險取調掛の顚末(森莊三郎)					商
日本火災保險株式會社書類	同會社刊 和・中	一	ネ五	一五一六	商
日本の家畜保險	森莊三郎撰 洋・中 (山崎教授還曆記念 經濟學研究)	一	ヨ一	三五一〇 一	商
農業保險參考資料 一至二六(內二・五・一〇・一四缺)	昭和三至六 洋・中・大 (農林省農務局刊)	一五	ネ五	三四九二	商
電害保險論(獨・フラッシャー撰・井上文之譯)					商
亞米利加合衆國ニ於ケル農作物保險(其ノ一)					商
獨逸ニ於ケル私營電害保險ニ關スル約款					商
水稻ニ關スル風水旱害ノ被害狀況調查(三重縣・滋賀縣)					商
最近ニ於ケル本邦農業保險類似施設ニ關スル調查					商
風水害及旱害水稻被害統計表					商
桑ニ關スル凍電害ノ被害狀況調查(群馬縣・長野縣)					商
風害水害旱害凍害及雹害桑被害統計表					商
水稻ニ關スル水害及旱害ノ被害狀況調查(廣島縣)					商
廣島縣太田川・猿田川・馬洗川流域ニ於ケル水稻ノ水害分布圖	自六正七年至昭和四年 本邦ニ於ケル郡別風水害ニ因ル水稻ノ三割以上被害數量連年分布圖	一〇—一三 一四 一五			商
農業保險の機能と組織	小平權一撰 大正一五 洋・小 (農政叢書本)	一	ネ五	三四六九	商
同		一	ヨ七	三三四七	商
農業保險論	獨・マイエット撰・渡邊醇之助等譯 明治二三 洋・中	一	ヨ七	四九四四	商

判例に表れたる若干の保險問題 北澤有勝述（昭和一〇洋・中 損害保險特別講演集） 一冊 ネ五 三四八
判例より見たる火災保險 竹田省述 昭和一〇洋・中（損害保險特別講演集） 一 ネ五 三四八 二
風水害と保險 瀧谷善一撰（經營學論集） 一 ネ二 三四七三 九
藤本保險論叢 藤本幸太郎撰 昭和二洋・中 一 ネ五 三三八五
佛墺及匈國ニ於ケル家畜保險 農商務省商務局刊 明治四四 洋・中 一 ネ五 三三一一
米國工業保險要論 米・ホフマン撰・郵便貯金局譯 洋・中（獨米國民保險事業論ノ附錄） 一 ネ五 三三一八
本邦輸出補償制度 日本貿易協會編 昭和五 洋・中 一 ネ三 三四三三
村瀨保險全集 村瀨春雄撰 大正一五 洋・中 一 ネ五 三三八一
海上保險講義要領（大正元・二年度） 共同海損講義要領 火災保險講義要領（明治四四年度）
明治火災保險會社書類 同會社刊 和・大 一 ネ五 七六三
輸出金融保險の提唱 齋藤眞撰 大正一五 洋・中 一 ネ三 三三六八
輸出信用の保險竝保證 上坂酉三撰 昭和三 洋・中（銀行講座本） 一 ネ三 三三八七
輸出信用保險の組織に就て 瀧谷善一撰（經營學論集） 一 ネ二 三四七三 四
輸出補償法解說 商工省貿易局刊 昭和七 洋・中 一 ネ三 三四五三
輸出補償法關係法規 商工省貿易局刊 昭和七 洋・中 一 ネ三 三四五一
楊子保險組合積荷證券 英文原本複寫 一枚 ネ五 *三四八三
橫濱火災運送保險株式會社書類 同會社刊 和・中 一 ネ五 一五〇七
豫定海上保險論 石田祐六撰 大正一三 洋・中 一 ネ五 三三〇五
我が火災保險に關する綜合經驗統計書第一篇第一至二八輯・第二篇第一至一六〇輯・同書頒布趣意書一册附 井口武三郎編 洋・中 一冊 ネ五 三四八 二
我國火災保險事業の沿革竝現狀 附錄生命保險の科學的募集組織及宣傳論（獨・ラウシウ撰・三浦義道節譯） 昭和三 洋・小（保險パンフレット） 原錦吾撰 一 ネ五 三三九八 二
我國に於ける火災保險料率協定に就て 瀧谷善一述 昭和一一 洋・中（損害保險特別講演集） 一 ネ五 三四八八 三
我國に於ける原始產業保險に就て 堀義臣撰 洋・小（保險パンフレット） 昭和四 一 ネ五 三三九八 四
我國ノ火災保險事業ノ沿革竝ニ現狀 原錦吾撰（昭和三） 和・小 一 ネ五 三四一一

○

簡易生命保險事業論 村上隆吉撰 明治四一 洋・中 一 ネ五 一五九八
簡易生命保險創始十周年記念講演集 簡易保險局編 昭和二一 洋・小（簡易生命保險周知資料本） 三 ネ五 三三八八
保險事業の核心に就て（三浦義道）一 郵便年金制度に就て（戸川政治） 一
統計上より見たる日本の大勢（龜田豐治朗） 一
社會生活と簡易保險及郵便年金（篠原昌治） 一
直面せる日本（下村宏） 一 生活安定に就て（古賀傳吉） 一
經濟生活と保險（中島九郎） 一 經濟の發展と簡易保險（三浦新七） 一
家庭及社會と健康（菅沼清次郎） 一 保險の國民化（栗津清亮） 一
保險と人類の本能（同上） 一 保險生活の體樣（同上） 一
社會生活の第二義（下村宏） 一 統計的研究の種々（龜田豐次朗） 一
現代世相と國民の自覺（今井田清德） 一
農村問題と保險（三浦義道） 一
我國の人口現象と國民の反省（今井田清德） 一
考ふる廬（三浦義道） 一 人生と運命（鹿又武三郎） 二

國民經濟より觀たる奢侈と節約（堀經夫） 二
家庭教育上より觀たる簡易保險（渡邊豐） 二
獨立自治の必要に就て（秋山好古） 二
生存の社會性と社會的保險の必要（河田嗣郎） 二
社會連帶的意義に於ける保險（石津漣） 二
共同生活（高橋節雄） 二 社會生活の倫理（下川履信） 二
保險所感（山田玄太郎） 二
社會保險としての簡易保險の進むべき途（高橋勤） 二
保險と衞生施設に就て（澤田敬義） 二 隣保扶助の社會制（八田三喜） 二
簡易生命保險に就て（須山榮） 二 日本民族の將來（田中寬一） 二
簡易保險所感（石垣倉治） 二
人生の不安と其の保障（窪谷逸次郎） 二
國民經濟と社會政策（森莊三郎） 二 時代思潮と郵便年金制度（岡田昇） 二
直面せる財政（下村宏） 三 簡易保險と郵便年金（今井田清德） 三
簡易保險十周年及郵便年金創始に就て（園田榮五郎） 三
年齡と疾病（加藤豐治郎） 三 保險國の建設（瀧谷善一） 三
國家生活と社會生活（汐見三郎） 三
生存の社會性と社會保險の必要（河田嗣郎） 三
國民經濟及私經濟より觀たる保險（小島昌太郎） 三
簡易保險と社會政策（關一） 三 個人生活の第二義（下村宏） 三
我國情より觀たる簡易保險（山本美越乃） 三
簡易保險の普及を望む（野口能毅） 三 勤儉（生駒萬治） 三
婦人と經濟（今井田清德） 三 簡易保險雜感（坂間棟治） 三
日常生活と保險（三浦義道） 三 國民經濟と社會生活（森莊三郎） 三
貧の研究（木村重治） 三 人類の爭鬪（國友肇） 三
生活改善（加勢清雄） 三 歐米社會事情に就て（木田芳三郎） 三
簡易生命保險積立金運用の根本方針に就て 藤澤利喜太郎撰（藤澤博士遺文集） 一 イ四 一二三九 一

簡易生命保險に關する醫學的觀察 其三・保險申込書に現はれたる醫學的現象（續） 篠原昌治撰・爲替貯金局刊 一 ネ五 三一九五
簡易生命保險の業績に就て 岡崎文規撰・產根寫本・調査課刊 洋・中（調査研究本） 一 ネ五 三四八九
昭和三年度至昭和五年度簡易生命保險ノ死亡率ニ關スル調査 附錄死亡率計算ノ理論 簡易保險局刊 昭和一〇 洋・大 一 ネ五 三五〇三
簡易生命保險のすすめ 松本烝治撰 大正一四 洋・小 一 ネ五 三三八四
第三十七帝國議會簡易生命保險法案通過顚末 玉木爲三郎撰 大正五 洋・中 一 ネ五 三四二三
簡易生命保險郵便年金事業史 簡易保險局編 昭和一一 洋・中 二 ネ五 三四九三
簡易生命保險郵便年金事業史 簡易保險局刊 昭和一一 洋・中 一 ネ五 三四九三
簡易生命保險論 栗津清亮撰 洋・小（栗津博士論集） 一 ネ五 三三九二 七
簡易生命保險論 附錄參考書 保田信三郎撰 昭和二 洋・中 一 ネ五 三三八六
簡易保險官營是非論 簡易保險研究同志會編 大正四 洋・中 一 ネ五 三一九四
簡易保險局統計年報 大正八至昭和元・三至一〇年度 大正九至昭和一二 洋・大 同局刊 一六 ネ五 三二一六
簡易保險事業調查資料 英國國立保險 爲替貯金局譯編 大正四 洋・中 一 ネ五 三一九七
簡易保險事業の知識 簡易保險局刊 昭和一一 洋・中 一 ネ五 三四九七
簡易保險資料 續共 農商務省商務局刊 明治四四 洋・大（生產調查會刊行保險書） 二 ネ五 二七三九 一一三
簡便生命保險論 附錄簡便生命保險に關する近時の著書論文 栗津清亮撰 洋・小（栗津博士論集） 一 ネ五 三三九二 七
獨逸簡易生命保險論 獨・ホルニッヒ撰・三浦義道譯 大正七 洋・中 一 ネ五 二七五六

我國に於ける簡易生命保險事業 龜田豐治朗撰 洋・中（經營學全集） 一冊 ネ 二 類 三四七三 號

○

英・獨失業保險法とその實施狀態 東京商工會議所刊 昭和六 洋・中（商工調査本） 一 ヨ 九 三六八 一

墺國社會保險法令要覽（一九一八年版） 簡易保險局譯 大正一〇 洋・中（調査資料本） 一 ヨ 九 三六八三 六

墺太利勞働者災害保險及疾病保險ニ關スル法律 農商務省譯（大正一〇） 洋・中（勞働保險調査資料本） 一 ヨ 九 三六四五

工場法と勞働保險 桑田熊藏撰 明治四三 洋・中（最近經濟問題） 一 ヨ 九 三二一四

工場法と勞働保險 桑田熊藏撰 明治四三 洋・中（最近經濟問題本） 一 ヨ 九 三五四一

國民健康保險制度案立案の趣旨と其の解說 社會局保險部刊 洋・中 一 ヨ 九 三八二三

同 一 ヨ 九 三八二四

國民健康保險と產業組合 賀川豐彥・山崎勉治撰 昭和一一 洋・小 一 ヨ 九 三七九四

失業保險論 I. G. Gibbon 撰・爲替貯金局譯 大正九 洋・中 一 ヨ 九 三六〇六

失業保險論 森田良雄撰 大正一四 洋・中 一 ヨ 九 三二四五

疾病保險（大正一〇） 黑川小六撰 洋・小 一 ヨ 九 三〇二一

疾病保險論 附錄强制疾病保險の適用範圍外九項 熊谷憲一撰 昭和四 洋・中 一 ヨ 九 三五一七

社會保險 石丸優三撰 洋・中（大思想エンサイクロペヂア） 一 イ 四 一一三五 一六

社會保險 清水玄撰 洋・小（當面の社會政策） 一 ヨ 九 三六九〇

社會保險概論 森莊三郎撰 大正一五 洋・小 一 ヨ 九 三二八九

社會保險概論 森莊三郎撰 洋・中（社會事業大系） 一 チ 三 三四七一 一

社會保險研究 森莊三郎撰 大正一三 洋・小 一 ヨ 九 三五二五

同 一 ヨ 九 三六〇七

同 一 ヨ 九 三〇八八

社會保險と損害保險との關聯に就て 森莊三郎述 昭和一〇 洋・中（損害保險特別講演集） 一 ネ 五 三四八八 二

社會保險の給付に就て 平田隆夫撰 洋・中（大阪商大經濟研究年報） 一 ヨ 一 三六五三 四

社會保險要論 附錄主要國社會保險制度概要外一篇 清水玄撰 昭和八 洋・中 一 ヨ 九 三七二五

社會保險論 附錄社會保險の各國實施現況 石丸優三撰 昭和三 洋・中 一 ヨ 九 三三八一 六

社會保險論 河田嗣郎撰 洋・中（社會問題體系） 一 ヨ 九 三六〇五

社會保險論 R. M. Woodbury 撰・爲替貯金局譯 大正八 洋・中 一 ヨ 九 三三八七

社會保險論 堀川美哉撰（大正五） 洋・小（三五判法政經濟叢書） 一 ワ 一 九二四 二六

社會保險論集 森莊三郎撰 昭和三 洋・小 一 ヨ 九 三四八二

同

社會保險論叢 兒玉政介撰 昭和六 洋・中 一 ヨ 九 三四八七

瑞西の疾病及災害保險法 協調會譯 大正九 洋・中 一 ヨ 九 三二六四

ソウエート・ロシアの社會保險 附錄法規 梅浦健吉撰 昭和三 洋・小 一 ヨ 九 三三六三

獨逸及其他諸國失業保險及失業救濟 岡田甲子之助撰 昭和五 洋・中 一 ヨ 九 三四九五

獨逸國勞働者保險ニ關スル調査報告 松本烝治撰 明治四一 洋・大 一 ヨ 九 二一〇九

獨逸國勞働保險事業成績 內務省衞生局譯編 大正八 洋・大 一 ヨ 九 三五〇五

獨逸社會的保險法綱要 戶塚卷藏編撰 明治四三 洋・中 一 ヨ 九 三五〇七

獨逸社會保險 協調會刊 昭和九 洋・中 一 ヨ 九 三七四八

獨逸勤人保險梗概 岡田甲子之助・影近清毅撰 洋・中（日本鐵道醫學協會雜誌別刷） 一 ヨ 九 二七二七

獨國勤人保險法（一九二一年） 岡田甲子之助譯 洋・中 一 ヨ 九 二七三六

獨逸帝國保險法 岡田甲子之助譯 大正六 洋・中 一 ヨ 九 三四三四

獨逸勞働保險梗概 岡田甲子之助・影近清毅撰 洋・大（日本鐵道醫學協會雜誌別刷） 一 ヨ 九 二七三八

獨逸勞働保險法一九二八年四月一〇日現行 岡田甲之助譯 昭和五 洋・中 一 ヨ 九 三五九四

獨國保險院の認めたる災害補償基準一覽表 一九二二年刊 鐵道大臣官房譯 洋・中 一 ヨ 九 三三六三

日佛勞働者共濟保險制度に關する調査 京都市教育部社會課刊 昭和七 洋・中（調査報告本） 一 ヨ 九 三七〇三

佛國及ビ外國ニ於ケル社會保險論 內務省衞生局譯 大正九 洋・中 一 ヨ 九 三六〇四

普魯西亞「ヘッセンレ」聯合國有鐵道ニ於ケル保險及救濟制度 栗本庸勝譯 洋・中 一 ヨ 九 三四七五

勞働者災害扶助責任保險事業年報 昭和六至九年 昭和九至一一 社會局勞働部編 洋・大 三 ヨ 九 三七六三

勞働保險 社會政策學會編 明治四五 洋・中（社會政策學會論叢本） 一 ヨ 九 三二六八

勞働保險研究 森莊三郎撰 大正一〇 洋・小 一 ヨ 九 三二六九

同 一 ヨ 九 二六五〇

勞働保險論 森弘元撰 明治四四 洋・中 一 ヨ 九 三三五四

勞働保險論 上村耕作撰 明治三九 洋・中 一 ヨ 九 三四九五

勞働保險論 獨・マーネス撰・青木節一・小島精一譯 大正八 洋・小 一 ヨ 九 三六〇三

同 一 ヨ 九 三四七七

勞農露國の社會保險 芝田五郎譯・滿鐵庶務部調査課刊 大正一三 洋・中（露文勞農露國調査資料） 一 カ 一 三一三〇 一

雜誌

生命保險會社協會々報 卷一號一（明治四四年七月）ヨリ 同協會刊 洋・大 冊 サネ 類 三四 號

生命保險經營 卷一號一（昭和四年六月）ヨリ 生命保險經營學會刊 洋・中 サネ 一八

損害保險研究 卷一號一（昭和一〇年八月）ヨリ 損害保險事業研究會刊 洋・中 サネ 一二五

保險界 卷二號一至卷二號二〇 保險界社刊 大正四 洋・大 サネ 四

保險銀行時報 號二八四至一一七〇（有缺）保險銀行時報社刊 一冊 サネ 類
明治三九至大正一三 洋・大

保險銀行通信 號三六（大正一三年一月）ヨリ 保險銀行通信社刊 サネ
洋・大

保險雜誌 卷一至二一（號四至二四三）（有缺） 保險學會刊 二 サネ
明治二八至大正六 洋・中

保險新聞 年三號八至年八號一四（有缺） 保險新聞社刊 五 サネ
大正二至七 洋・大

保險評論 卷一七號一（號一七六）（大正一三年一月）ヨリ 保險評論社刊 サネ
保險評論社 洋・大

六 倉庫

大阪倉庫株式會社營業規則保管料定率表式紙 和・大 一冊 ネ 類 六 一五〇 號

購買管理及倉庫管理 上野陽一撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 二 三三九

混保十五年史 滿鐵鐵道部刊 昭和一一 洋・大 一 ネ 六 三三二

株式會社 酒田米穀取引所倉庫事業概要 酒田米穀取引所刊 明治四一 洋・中 一 ネ 六 一九七一

市場經濟と倉庫經濟 內池廉吉撰 昭和八 洋・中 一 ネ 二 三三六三

稅關及倉庫論 岸崎昌撰 明治三三 洋・中 （帝國百科全書） 一 イ 四 一五一 四四

千九百三十一年の獨逸倉庫法 內池廉吉撰 洋・中 （東京商大商學研究年報） 一 ネ 二 三三四九 二

全國倉庫業統計表 商工省商務局編 昭和九・一〇 洋・大 二 ネ 六 三三一〇

倉庫 小林行昌講（第一回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 六 一〇五四

倉庫 小林行昌講（明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 六 一三七六

倉庫 小林行昌撰（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 六 一九七六

倉庫 小林行昌講（明治四一年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 六 二三二五

倉庫及稅關 小林行昌撰 明治四二 洋・中 一 ネ 六 一八〇四 號

倉庫及稅關 小林行昌撰 大正二 三版 洋・中 一 ネ 六 一三九六

倉庫及稅關 倉庫篇 小林行昌撰 大正五 四版 洋・中 一 ネ 六 一五五八

倉庫會計 渡邊寅二撰 洋・中（會計學全集） 一 ネ 一〇 三四二九 一一

倉庫業 渡部明撰 大正三 洋・中 一 ネ 六 一五六六

倉庫經營論 內池廉吉撰 大正三 洋・中 一 ネ 六 一三五六

倉庫經營論 內池廉吉撰 大正九 五版 洋・中 一 ネ 六 二八三七

改版 倉庫經營論 內池廉吉撰 大正一四 洋・中 一 ネ 六 三三〇六

倉庫證券の研究 安河內升撰 大正一四 洋・中 一 ネ 六 三三〇五

倉庫法釋義 齋藤助堯撰 大正一三 洋・中 一 ネ 六 三一八一

倉庫論 附錄倉庫關係法規 內池廉吉撰 昭和六 洋・中（商學全集本） 一 ネ 六 三三〇九

倉庫論 內池廉吉撰 洋・小（經濟學全集ノ內商業學） 一 ヨ 一 三四九三 四二

倉庫論 小林行昌撰 大正一三 九版 洋・中 一 ネ 六 三一六八

倉庫論 小林行昌撰 昭和二 改增一一版 洋・中 一 ネ 六 三三〇八

再訂 倉庫論 小林行昌撰 昭和八 一四版 洋・中 一 ネ 六 三三一一

南洋倉庫株式會社五十年史 同社刊 昭和一一 洋・中 一 ヨ 一〇 三五一七

農業倉庫及聯合農業倉庫概況一覽 農林省農務局刊 昭和五至八 洋・大 三 ヨ 七 三四六一

農業倉庫業法制定理由 法律新聞社刊 大正六 洋・中 一 ヨ 七 三六九六

農業倉庫の經營 附錄農業倉庫業法等 井上龜五郎撰 昭和二 洋・中 一 ヨ 七 三六九七

農業倉庫の發達と市場組織の變化 野村貢三郎撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四七三 一一

農業倉庫利用論 附錄農業倉庫業法外四篇 昭和一〇 水野武夫撰 洋・小（產業組合全書本） 一 ヨ 二一 三四五三

農業倉庫論 河田嗣郎撰 大正七 洋・中 一 ヨ 七 二三四〇

米券倉庫要說 鈴木富治撰 大正四 再版 洋・中 一 ネ 六 一五六七

保稅倉庫に就て 內池廉吉撰 洋・中（東京商科大學記念論文集） 一 ネ 一 三五六一 九六六 五六

滿洲に於ける邦人倉庫業 齋藤征生編 昭和五 洋・中（滿鐵調查資料） 一 ヨ 一 九六六 五六

橫濱市倉庫一覽表 橫濱商業會議所懇話會刊 大正五 一折 ネ 六 一七六八

橫濱倉庫株式會社營業報告 明治四三年下半期 同會社刊 一 ネ 六 二三六八

七 商品學

愛知縣商品陳列館統計圖表 同陳列館刊 大正六 和・中 一冊 ネ 類 七 一

愛知縣商品陳列館館內雜觀 同陳列館刊 大正六 洋・小 一 ネ 七 一

愛知縣商品陳列館諸會々則及名簿 同陳列館刊 大正八 洋・中 一 ネ 七 二

愛知縣商品陳列館要覽 大正四・五至八・九年用 同陳列館刊 大正四至八 洋・小 四 ネ 七 一

愛知縣商品陳列所要覽 同陳列所刊 大正一一至昭和四 洋・小 三 ネ 七 一

石川縣物產陳列館一覽 大正一二年四月調 同陳列館刊 洋・小 一折 ネ 七 一

石川縣物產陳列館年報 第四（大正元年） 大正二 洋・中 同陳列館刊 一 ネ 七 一

羽前羽二重 高田可恒編 明治四三 洋・小 一 ネ 二 三三六〇

埃及・蘇丹棉花の現狀及將來 大正一五年一一月調 外務省通商局刊 洋・中 一 ネ 七 三三一二

越佐の米 新潟縣內務部勸業課刊 大正三 洋・小 一 ナ 三 一二三四

〔大阪優良品協會〕カタログ 同會刊 昭和一二 洋・中 一 ネ 七 三三五三

〔大阪優良品協會〕創立拾周年記念史 同協會刊 昭和一〇 洋・中 一 ネ 一 三七〇九

岡山縣ノ薄荷 附薄荷品種試驗成績 岡山縣內務部刊 大正二 洋・小 一 ナ 三 一九一八

小樽商品陳列會報告書 小樽商業會議所刊 明治四一 洋・中 一 ネ 七 一七七九

織物 齋藤俊吉等撰 昭和一〇 洋・小（現代日本工業全集） 一 ム 一 三九九一 七

織物講座 實物標本附 第一輯第一至三篇 東京織物協會刊 昭和五 洋・大 三 ネ 七 三三二六

回顧三十年 大阪商品陳列所創立三十周年記念協贊會刊 大正九 洋・大 一 ヨ 五 二六五九

化學商品辭典 津田幹夫・堀江不器雄編 昭和五 洋・小 一 ネ 七 三三六五

化學肥料 石川一郎撰 昭和九 洋・小（現代日本工業全集） 一 ム 一 三九九一 一三

ガス 大島義清撰 昭和一〇 再版 洋・小（現代日本工業全集） 一 ム 一 三九九一 二七

植物性油 各國に於ける 中村藤三譯 大正一五・昭和二 洋・中（滿鐵調查資料） 二 ヨ 一 九六六 二二・二五

各府縣重要商品調查報告 農商務省商務局刊 明治四四・四五 洋・大 四 ネ 三 三五四三

同 各府縣輸出重要品調查報告 農商務省商工局刊 明治三九至四二 洋・大 二 ネ 三 三五四一

生絲 棚橋啓三撰 昭和一一 洋・小（現代日本工業全集） 一 ム 一 三九九一 八

生絲の格と取引 附製絲法 細川幸重撰 昭和二 洋・中 一 ネ 七 三三一六

北滿洲の特產物 松井隆之助撰 大正一三 洋・中（滿鐵）（哈調資料） 一 ヨ 一 一〇五八 六

牛乳と乳製品の研究 附錄牛乳營業取締規則（內務省令） 鈴木敬策撰 昭和四二 洋・中（通俗叢書本） 一 ナ 五 六三八

		冊	類	號
京都商品陳列所の栞	同陳列所刊 和・小	一	ネ	七 一九五六
京都商品陳列所報告 第一・四回	同陳列所刊 明治四四至大正三 洋・中	二	ネ	七 七九〇
京都商品陳列所報告 第四回	同陳列所刊 大正三 洋・中	一	ネ	七 一九五七
久留米絣 附朝鮮事業	國民合名會社刊 明治四四 和・小	一	ネ	七 三三六一
絹布重寶記	田宮楚洲編 洋・小（通俗經濟文庫）	一	ヨ	一 二七一二
工場材料の管理と商品の檢査	小原龜太郎撰 昭和七 洋・中	一	ヨ	八 三五二八
高等商品學	坂口武之助撰 大正一四 洋・中	一	ネ	七 三三九七
同		一	ネ	七 三三一八
最近高等商品學	別冊附表添 坂口武之助撰 昭和六 改訂六版 洋・中	二	ネ	七 三三三七
氷ノ話	日本ニ於ケル氷ノ發達史竝ビニ其ノ將來 田中專三撰 昭和五 洋・小	一	ネ	七 三三三三
工程國產愛用展覽會報告書	附錄主要出品の概說 府立東京商工奬勵館刊 昭和五 洋・中	一	ネ	七 三三三五
國產臺帳	附錄國產振興ニ關スル法律等 國產振興會編 昭和三 洋・中	二	ヨ	一 三四九七
國產品を以て外國品に代用し得る爲めの國產改善資料（一・二）	日本商工會議所編 昭和九・一〇 洋・中	二	ネ	七 三三四二
國產品對比展覽會報告書	府立東京商工奬勵館刊 昭和五 洋・中	一	ネ	七 三三二四
國產要覽	日本商工會議所編 昭和九 洋・中	一	ネ	七 三三四一
ゴム	齋藤正平撰 昭和一〇 洋・小（現代日本工業全集）	一	ム	一 三九九一 二三
護謨と椰子	野村德七撰 大正五 洋・中	一	ナ	三 一六九〇
米ニ關スル調査	同追補 農商務省農務局刊 大正三 洋・大・中（農務彙纂本）	二	ナ	三 三三〇八
米ニ關スル調査	日本之部 農商務省農務局刊 大正四 洋・大（農務彙纂本）	一	ナ	三 三三〇七
米ニ關スル調査	臺灣銀行調査課編 大正一一 洋・中	一	ナ	三 二九三九
西貢米の調査（大正一四）	高橋惇編 洋・中（南支那及南洋調査）	一	ル	五 二五三九 三
最新重要商品學講義	水口晉三郎撰 大正一三 洋・中	一	ネ	七 三三三五
同		一	ネ	七 三三二六
砂糖ニ關スル調査	農商務省農務局刊 大正二 洋・大（農務彙纂本）	一	ナ	三 三三一〇
三品年報 昭和一一年	大阪三品取引所刊 洋・中	一	ネ	七 三三六六
最實際商品學 新	附錄昭和三年重要商品貿易表 井口豐八郎・和田操一郎撰 昭和四 洋・中	一	ネ	七 三三一九
漆樹及漆液	農商務省山林局刊 明治四〇 洋・中	一	ナ	七 五三九
實用商品學	森季廣撰 昭和三 洋・小	一	ネ	七 三三一五
支那重要貿易品解說（第一・二編）	ウオストン編・鮫島清譯 大正一五・昭和六 洋・中（南支那及南洋調査）	一	ル	五 二五三九 六
支那の石炭	金原信泰撰 昭和五 洋・大（燃料協會誌第九三號別刷）	一	ム	五 三七八二
支那貿易物產字典	上野專一編 明治二一 洋・小	一	ネ	七 三三五五
支那輸出入重要品研究甲篇第一册	榎米吉・田村源四郎撰 大正一三 洋・小	一	ネ	七 三一九〇
聚玉紙集	中村直次郎蒐集 昭和八 大	一	ム	四＊三七七〇
Jute 及其製品	藤村爲次郎撰 大正一三 洋・中（橫濱正金銀行調査報告）	一	ネ	四 二八四九 六
重要貨物情況 第一輯（大正一四）	鐵道省運輸局編 洋・中	一	ツ	三 三二七一
重要貨物情況（大正一五至昭和三）	第六・九・一二・一三・一六・二一編 鐵道省運輸局編 洋・中	六	ツ	三 三二九一
石炭・骸炭・石油ニ關スル調査	一 鹽・砂糖・醬油・味噌ニ關スル調査 二 綿絲・棉花・麻苧類ニ關スル調査 三 綿織物・毛織物ニ關スル調査 四			

		冊	類	號
陶磁器及土器・漆器・硝子類及其ノ製品ニ關スル調査	農商務省商務局刊 大正二 洋・大	五		
肥料ニ關スル調査	六			
重要商品學	上坂酉三撰 昭和五 洋・中	一	ネ	七 三三二三
同		一	ネ	七 三三四〇
重要商品學講義	三段崎景之撰 明治四四 洋・中	一	ネ	七 三三四五
重要商品誌	石川巖撰 明治三六 八版 洋・中	一	ネ	七 一七七四
重要商品精義 第一・二卷	田所哲太郎撰 大正八 洋・中	二	ネ	七 二四二六
農林水產の卷	一 鑑定法の卷 二			
滿洲輸出入重要商品建值調	滿鐵庶務部調查課編 大正一三 洋・中（滿鐵調查資料）	一 四	ヨ	一 九六六 一四
重要輸出工產品要覽	農商務省商工局刊 明治四一・四二 洋・大	四	ネ	三 一六〇六
重要輸出品要覽	農商務省商務局刊 明治四三 洋・大	三	ネ	三 二一二七
同		三	ネ	三 二一二八
同		三	ネ	三 二一〇二
重要輸入品要覽	農商務省商務局刊 明治四二 洋・大	三	ネ	三 一九一五
同		三	ネ	三 一九一六
同		三	ネ	三 一九二一
商品	石川巖講（大日本實業學會講義錄） 洋・中	一	ネ	七 三八四
商品及商業地	商業世界社編 明治三六 洋・小（商人文庫本）	一	ネ	一 一七八
商品及商業地	商業世界社編 明治三六 洋・小（商人文庫）	一	ネ	一 八〇九五
商品改良會報告 第三至六回（明治四四至大正三年）	農商務省商務局編 明治四四至大正二 洋・大	四	ネ	七 一七六一

		冊	類	號
商品改良會報告 第六回	農商務省商務局刊 大正二 洋・大	一	イ	一三 七七五
商品學	池本純吉講（明治三九年度早稻田商業講義） 洋・中	一	ネ	七 一三五七
商品學	池本純吉講（明治四〇年度早稻田商業講義） 洋・中	一	ネ	七 一六五四
商品學	坂口武之助撰 昭和六 洋・中（商學全集本）	一	ネ	七 三三二八
商品學 卷一	星野太郎撰 洋・中	一	ネ	七 二一二三
商品學概說	佐藤弘撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ	七 三三四三
商品學概論	上坂酉三撰 昭和一〇 洋・中	一	ネ	七 三三〇〇
商品學概論	上坂酉三撰 大正一五 洋・中	一	ネ	七 三三四四
同		一	ネ	七 三三三六
最新商品學概論	上坂酉三撰 昭和八 洋・中	一	ネ	七 二五六九
商品學講義	武田英一講（第七回早稻田商業講義） 洋・中	一	ネ	七 一四五五
商品學講義	武田英一講（第八回早稻田商業講義） 洋・中	一	ネ	七 三三〇四
商品學講義	西俠六八撰 昭和二 洋・中	一	ネ	七 三三〇六
商品學講義要領	星野太郎撰 大正一三 三版 洋・中	一	ネ	七 三三九八
最新商品學精義 上・中卷	林重吉撰 昭和二・三 洋・中	二	ネ	七 三三〇六
商品學要論 上卷	河合靜太郎撰 昭和七 洋・中	一	ネ	七 三三三四
商品鑑識法	南種康博撰 昭和七 洋・中	一	ネ	七 三三三一
商品鑑定	小原龜太郎・小瀨伊俊撰 大正一〇 洋・中	一	ネ	七 二六七七
商品鑑定	小原龜太郎・小瀨伊俊撰 大正一三 訂正六版 洋・中	一	ネ	七 三二九九
商品鑑定辭典	中川精吉等編 大正三 洋・小	一	ネ	七 一三五四

			冊	類	號
商品教科書	猪原吉次郎編 明治三六 洋・中		ネ	七	一八九
重要商品教科書	猪原吉次郎編 明治三七 洋・中		ネ	七	一七七五
最新商品教科書	渡邊久太郎編 明治三七 再版 洋・中		ネ	七	三一八
同			ネ	七	一七七六
産業經濟 商品研究の基礎	山口辰男撰 昭和一一 洋・中		ネ	七	三三五〇
商品單位と荷造	小野文英撰 大正一三 洋・小		ネ	七	三三〇八
商品地理	(明治四一年度早稻田商業講義) 洋・中		ネ	七	二三二八
商品地理	佐藤弘撰 洋・小 (經濟學全集ノ內商業學下)		ヨ	一	三四九三 四三
商品としての滿洲米	大西健吉編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和二 洋・中 (パンフレット)		ヨ	一	三三四三 二
商品と其荷造法	藤岡秀太郎撰 明治四一 洋・中		ネ	七	一五五三
東洋經濟 商品年鑑第一・二回 大正一二・一四 洋・小	東洋經濟新報社刊		ネ	七	三二一三
圖解 商品の科學	白崎享一・佐久間哲三郎撰 昭和一二 洋・中		ネ	七	三三五一
貿易上より觀たる 商品の智識	荒木勇美撰 大正一五 洋・中		ネ	七	三三〇一
改正 諸國紙名錄	尾崎富五郎編寫本 和・小		ム	四	一二三五
新嘉坡阿片・印度阿片	阿片調査其一・附錄印度に於ける阿片等麻藥類の生產及取引等の狀況 (昭和三) 洋・中	鎌田正威編 (南支那及南洋調査)	ル	五	二五三九 一二
最新人造品及模造品の研究		井口豐八郎・和田操一郎撰 昭和七 洋・中	ネ	七	三三三三
水晶	(昭和六)	橫濱商工奬勵館刊 洋・中 (商工奬勵館資料本)	ネ	七	三三二九
スンプト商品鑑定		小原龜太郎撰 (昭和七) 洋・大	ネ	七	三三二七

			冊	類	號
石炭	河村信一撰 昭和三 洋・中		ム	五	二六九
セメント	諸井貫一撰 昭和八 洋・小 (現代日本工業全集)		ム	一	二九九一 一八
纖維の顯微鏡的新鑑識法		岡村梅香・平松雷子撰 洋・中 (家事と衞生別刷)	ネ	七	三三三八
鮮魚の集散期節及價格表		水產交友會編 明治四二 洋・大	ナ	八	一七四三
全國荷造共進會事務報告		大阪商業會議所編 明治三八 和・中	ネ	七	九〇四
大豆其他ノ豆類ニ關スル調査		農商務省農務局編 大正八 洋・大 (農務彙纂本)	ヨ	七	三六八二
大連三品事情		大連商業會議所編 大正一五 洋・中	ネ	七	三三一一
臺灣ノ米		臺灣銀行調査課刊 大正九 洋・中	ナ	三	三二七〇
中國通商物產字典第二册		上野專一編・清・鍾觀光・鍾觀喆譯 光緒二八 唐・小 (科學館叢書本)	ネ	七	三三五六
最近中等商品學		坂口武之助撰 昭和二 洋・中	ネ	七	三三〇三
朝鮮重要物產並特產物分布圖		朝鮮總督府商工奬勵館刊	ネ	七	三三四五
朝鮮の米	(大正一四)	鮮米協會刊	ナ	三	三二七七
朝鮮の米	附錄米穀檢査ニ關スル規程外四項 (昭和三)	朝鮮殖產銀行調査課刊 洋・中 (朝鮮商品誌本)	ナ	三	三二七六
朝鮮の物產		朝鮮總督府商工奬勵館刊 昭和一〇 洋・小	ネ	七	三三四六
朝鮮の物產		善生永助編 昭和二 洋・小 (朝鮮總督府)調査資料)	ヨ	一	三一五二 六
智利硝石肥料價格論		智利硝石普及會刊 明治四二 洋・中	ナ	二	六五三
東亞のペンキ		東亞ペイント會社刊 洋・小	ネ	七	三三二三
東京に於ける貴金屬檢定事業	附錄・英吉利の金匠と其の極印外一項		ネ	七	三三二七

			冊	類	號
東京文具卸商同業組合ニ於テ優良ト認メタル外國製品ニ對抗スベキ東京製文具目錄		大正三 洋・大	ネ	七	一四〇三
東部蒙古及滿洲ニ於ケル獸皮毛		朝鮮銀行調査局刊 大正六 洋・中	ネ	七	三三五四
內外重要商品	(明治四二年度早稻田商業講義)	洋・中	ネ	七	九八九
內外重要商品	武田英一講 (明治四三年度早稻田商業講義)	洋・中	ネ	七	九五九
長崎に於ける米麥及雜穀	長崎商業會議所調査部編 (長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書)	大正七 洋・中	ヨ	一	二三五九 七
長崎に於ける石炭の集散	長崎商業會議所調査部編 (長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書)	大正七 洋・中	ヨ	一	二三五九 五
長崎に於ける肥料及獸骨	長崎商業會議所調査部編 (長崎商業會議所創立二十五周年紀念刊行叢書)	大正七 洋・中	ヨ	一	二三五九 六
名古屋物產案內		名古屋商工會議所編 大正一二 洋・小	ネ	七	三三〇三
名古屋物產案內第二版		名古屋商工會議所編 大正一五 洋・小	ネ	七	三三六七
名とり酒 (名酒の細見)		和・小	ネ	七	*一八一三
何は何處にあるか		東京鐵道局運輸課刊 昭和三 洋・中	ネ	七	三三二一
南支南洋ノ綿絲布		臺灣銀行調査課刊 大正八 洋・中	ネ	七	三三一〇
荷造改良研究要錄		大阪商業會議所刊 明治三七 洋・中	ネ	七	三二八
荷造改良に關する意見		遠藤吉平撰 大正八 洋・中	ネ	七	二四三三
日本商品學會報告第三册		同會刊 昭和一二 洋・大	ネ	七	三三六九
日本商品地理		池本純吉撰 明治三八 洋・中	ネ	七	九一三

			冊	類	號
日本商品地理		池本純吉撰 明治三八 洋・中	ネ	七	九一四
日本商品の話		中外商業新報經濟部撰 昭和九 洋・小	ネ	七	三三三九
日本商品配給解說		向井梅次撰 昭和一一 洋・小	ネ	七	三三四九
日本製品圖說	高鋭一編 明治三二 再版 和・中		ヨ	一	四三一三
日本綿布の世界的地位		山本顧彌太撰 大正一三 洋・小	ネ	七	三三五九
農商務省商品陳列館ノ沿革		寫本 和・中	ネ	七	四三八
農商務省商品陳列館報告	第一至五三號(明治・內第四七號缺・第一至一八號(大正)・內第一二號缺	同省刊 洋・大	ネ	七	一三五三
	明治三八至大正三		ネ	七	二三八六
農商務省商品陳列館報告	第四一・四二・四八號	同省刊 洋・大	ネ	七	二三八六
Pacific South-West の棉花	多田守人撰 大正三	洋・中 (橫濱正金銀行調査報告)	ネ	四	二八四九 六
麥稈眞田及經木眞田	犬丸鐵太郎撰 明治四〇	洋・中	ネ	七	三三六三
哈爾賓商品陳列館報第一號・附錄東露事情		同陳列館刊 大正八 洋・中	ネ	七	三三六六
バンヂャブ棉に關する研究		佐久間敏雄撰 昭和九 洋・中	ナ	三	三三九八
販賣肥料調査展覽會成績報告第六回		長野縣農會刊 大正五 洋・中	ナ	二	一七一五
標準商品學		南種康博撰 昭和七 洋・中	ネ	七	三三三五
比律賓に於けるコプラ及ココ椰子油の取引	附錄コプラ及コプラ搾粕の輸入に關する合衆國の法律 (昭和二)	臺灣總督官房調査課譯 洋・中 (南支那及南洋調査)	ル	五	二五三九 一〇
福島縣物產陳列館第四年報		同物產陳列館刊 大正四 洋・中	ネ	七	一五〇四
ブラジル珈琲		新井堯男撰 大正一四 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告)	ネ	四	二八四九 六

府立大阪商品陳列所十年紀要 同陳列所刊 明治三四 洋・中 一 ネ 七 九九

米國ニ於ケル生姜・蕃椒・落花生・糸瓜・薄荷調査 附・西印度玖瑪ジャマイカニ於ケル調査報告 農商務省農務局刊 明治三八 洋・中 一 ナ 三 三七九

北滿之石炭 附錄圖表八葉 昭和三 洋・中 (鐸・トルガシエフ撰・軍司義男口譯 (哈事資料本)) 一 ム 五 三七〇六

本邦を中心とせる石炭の需給 東亞經濟調査局編 昭和八 洋・中 一 ヨ 八 三四二七

本邦に於ける小麥の需給 附滿洲に於ける小麥調査局編 東亞經濟 昭和八 洋・中 一 ヨ 七 三五四四

本邦に於ける米の需給 附滿洲に於ける米 東亞經濟調査局編 昭和七 洋・中 一 ヨ 七 三五〇九

本邦に於ける棉花の需給 附滿洲に於ける棉花 東亞經濟調査局編 昭和七 洋・中 一 ヨ 七 三五一四

本邦輸出入品詳解 坂口武之助撰 大正一一・一三 初・一二版 洋・小 三 ネ 七 三三一八

馬尼剌麻 飯澤要玄編 大正八 洋・中 (南洋產業調査書本) 一 ネ 七 三三〇九

マニラ麻 神村貫治撰 洋・中 (東京高等商業學校研究叢書本輸出羽二重ト同刊) 一 ネ 七 一〇九五

同 一 ネ 七 三三六四

滿洲及北支那に於ける獸骨と骨粉 附錄・日本內地に於ける獸骨と骨粉の需給狀況 石井正泰編 洋・中 (滿鐵調査資料) 一 ヨ 一 九六六 六二

滿洲材の日本に對する價値 三上安美編 昭和五 洋・中 (滿鐵調査資料) 一 ヨ 一 九六六 五九

滿洲大豆ニ關スル調査 關東都督府刊 大正元 洋・中 一 ナ 三 一二一四

印度の黃麻工業と滿洲に於ける麻袋 石井正泰等編 昭和五 洋・中 (滿鐵調査資料) 一 ヨ 一 九六六 五七

滿洲ニ於ケル棉布 關東都督府刊 明治四四 洋・中 一 ネ 七 三三五八

滿洲ニ於ケル棉布及棉絲 小田關太郎撰 大正四 洋・中 一 ネ 七 三三五七

滿洲ノ麻 附錄・滿洲亞麻作論 (撰待初郎撰・滿鐵地方部地方課刊 (產業資料)) 大正八 洋・中 一 ナ 一 一四九一 一六

滿洲ノ陸稻 滿鐵農事試驗場編 大正八 洋・中 (農事試驗場彙報) 一 ナ 一 二六〇五 二

滿洲の煙草 橫瀨花兒七撰・滿鐵地方部勸業課刊 洋・中 (產業資料) 一 ナ 一 一四九一 八

滿洲の棉花 滿鐵興業部農務課刊 昭和三 再版 洋・中 (產業資料) 一 ナ 一 一四九一 一〇

滿洲包米に關する調査 熊埜御堂健兒編・滿鐵庶務部調査課刊 昭和二 洋・中 (パンフレット) 一 ヨ 一 三三四三 二

滿蒙の產業研究 (原料編) 昭和三 田中末廣撰 洋・中 一 ネ 七 三三〇八

滿蒙ノ皮革 滿鐵農事試驗場編 大正八 洋・中 (農事試驗場彙報) 一 ナ 一 二六〇五 四

三重縣勸業陳列館年報 大正二年 同陳列館刊 大正三 洋・小 一 ネ 七 二〇九六

南滿洲ニ於ケル紙類 小田關太郎編 大正五 洋・中 一 ネ 七 一六五九

宮城縣ノ米 附世界より見たる日本の米等 宮城縣米檢査所編 明治四五 洋・中 一 ナ 三 二〇八八

宮城縣物產陳列場案內 同陳列場刊 大正三 一 ネ 七 二〇八三 折

麥類及小麥粉ニ關スル經濟調査 鐵道省運輸局刊 大正一五 洋・中 一 ヨ 一 三四一四

棉花ニ關スル調査 農商務省農務局刊 大正二 洋・大 (農務彙纂本) 一 ナ 三 三三〇九

木材ニ關スル經濟調査 (鐵道省運輸局刊 (大正一四)) 洋・中 (經濟叢書本) 一 ム 一 三七一四

モスリンと其取引 池上正一撰 大正一五 三版 洋・中 一 ネ 七 三三〇五

輸出羽二重 (北陸 (三縣)) 井上德之助撰 大正二 洋・中 (東京高等商業學校研究叢書本) 一 ネ 七 一〇九五

同 一 ネ 七 三三六四

用途別需要より觀たる日本石炭の過去・現在及將來 渡邊四郎撰 洋・大 (石炭時報第九卷第三至五號拔刷) 一 ム 五 三七八六

羊毛 多田守人撰 大正一四 洋・中 (橫濱正金銀行調査報告) 一 ネ 四 二八四九 大

羊毛に就て 井島重保述 大正九 洋・中 一 ナ 五 二四九六

橫濱港重要貿易品解說 其一至五 橫濱商業會議所調査部刊 (昭和二・四) 洋・中 (調査資料) 二 ネ 一 二五九四 一一二

理論商品學概論 保田榮撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 七 三三四七

同 一 ネ 七 三三四八

藁製品ニ關スル調査 農林省經濟更生部刊 昭和一〇 洋・中 (副業參考資料本) 一 ナ 一 三三五三

羅馬尼の石油 附圖三葉 外務省歐米局第一課刊 大正一四 洋・大 一 ム 五 三六六八

雜誌

愛知縣商品陳列館報告 號二〇至一四五 同館刊 大正元至一二 洋・大 四 サネ 六六

飲食料通信 號一五 (大正一三年一二月) ヨリ (內號四〇至一〇〇缺) 飲食料通信社刊 洋・大 サネ 九九

飲料商報 號三至三〇三 (有缺) 明治四二至昭和五 飲料商報社刊 洋・中 二 サネ 八三

大阪化粧品商報 號一二四七至一二七九 大阪化粧品商報社刊 昭和一〇 洋・大 二 サネ 六二

オリエンタル・ニュース 號一五九 (昭和九年一月) ヨリ オリエンタル寫眞工業株式會社刊 洋・大・中・小 (寫眞ニュースニ接ス) サネ 一〇〇 五一

月刊トウ 卷一號一 (昭和八年三月) ヨリ 月刊トウ社刊 洋・中 サネ 一〇〇

護謨時報 卷一一號一 (昭和五年二月) ヨリ 護謨時報出版部刊 洋・中 サム 一二五

時好 卷一號三至卷六號一二 三井吳服店刊 明治三七至四一 洋・中・大 八 サネ 五三 一八

みつこしタイムス 卷六號一三至卷九號三 三越吳服店刊 明治四一至四四 洋・大 (時好ノ改題) 四 サネ 五三 九一二

三越 卷一號一 (明治四四年三月) ヨリ 三越刊 洋・大 (みつこしタイムスニ接ス) サネ 五三 一一

寫眞ニュース 附オリエンタル商報 フオトタイムス社刊 號七四至一五八 昭和四至八 洋・大 四 サネ 一〇〇 一四

オリエンタル・ニュース 號一五九 (昭和九年一月) ヨリ オリエンタル寫眞工業株式會社刊 洋・大・中・小 (寫眞ニュースノ改題) 一 サネ 一〇〇 五一

主要貨物情報 卷一號一至卷四號二 鐵道省運輸局刊 大正一四至昭和三 洋・大 五 サネ 七六

新裝 卷一號一 (昭和一〇年六月) ヨリ 松坂屋刊 洋・大 サネ 一二四

大日本綿糸紡績聯合會報告 號六六至一〇一 同會刊 明治三一至三四 洋・中 三 サネ 六四 一二

大日本紡績聯合會月報 號三〇五 (大正七年一月) ヨリ 同會刊 (大日本綿絲紡績聯合會報告ノ改題) 洋・中・大 サネ 六四 四一

原生糸月報 號七 (大正一四年一月) ヨリ 原合名會社生糸賣込所刊 洋・大 サネ 七八

三越 卷一號一 (明治四四年三月) ヨリ 三越刊 洋・大 (みつこしタイムスニ接ス) サネ 五三 一一

みつこしタイムス 卷六號一三至卷九號三 三越吳服店刊 明治四一至四四 洋・大 (時好ノ改題) 四 サネ 五三 九一二

綿子ル新報 號三至四四 綿子ル新報社刊 明治三七至四〇 洋・大 六 サネ 五二

洋傘界 卷四號二至卷五號七 東京洋傘問屋同業組合青年會刊 大正一四・一五 洋・中 二 サネ 七二

流行 年五號四至年七號一二 (有缺) 白木屋吳服店刊 明治四一至四三 洋・大 三 サネ 六三

八 廣告

工商技藝看板考 坪井正五郎撰 明治二〇 洋・小 一 ネ 八 三三三三

廣告界の今昔 高木貞衞撰 昭和五 洋・中 一 ネ 八 三三三三

同 一 ネ 八 三三三五

廣告概論 小沼昇撰 昭和七 洋・中 一 ネ 八 三三三五

廣告學 金子弘撰 昭和八 洋・小 一 ネ 八類 三二四〇號
廣告學概論 奥平愁撰 昭和八 洋・中 一 ネ 八 三二三九
廣告學概論 松宮三郎撰 大正一三 洋・中 一 ネ 八 三二〇五
廣告經濟總論 附錄テイラーの廣告經濟學外一項 佐々木吉郎撰 昭和一二 洋・中 一 ネ 八 三二四九
廣告研究 昭和九至一二年版 日本電報通信社編 昭和九至一二 洋・中 四 ネ 八 三二四一
廣告研究 松宮三郎撰 洋・小（經濟學全集ノ内特殊問題） 一 ヨ 一 二四九三 四五
廣告原論 栗屋義純撰 昭和六 洋・中 一 ネ 八 三二三四
廣告效果の測定について 鈴木信五郎撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 二四七三 九
廣告實務 松宮三郎撰 昭和一〇 洋・中（商工實務全書本） 一 ネ 八 三二四七
廣告術原理 服部愿夫講（明治四四年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 八 九七九
廣告術原理 服部愿夫講（第七回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 八 一〇九一
廣告術原理 服部愿夫講（第八回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 八 一五四三
販賣增進 廣告商略 大塚政晨撰 大正一一 洋・小 一 ネ 八 二八八四
廣告心理學 米・スコット撰・佐々木十九譯 大正四 洋・小 一 ネ 八 一五一二
販賣增進 廣告政策 大塚政晨撰 昭和四 洋・中 一 ネ 八 三二三七
廣告通論 栗屋義純撰 昭和八 洋・中 一 ネ 八 三二三七
廣告と宣傳 中川靜撰 大正一三 洋・中 一 ネ 八 三二一一
同 一 ネ 八 三二一二
廣告年鑑 大正一四・一五・昭和三年 萬年社編 大正一四至昭和二 洋・小 一 ネ 八 三二二一

廣告の戰略 堀田善太郎撰 大正五 三版 洋・小 一 ネ 八 三二三九
あらゆる商賣への 廣告文案集 清水正已撰 昭和二 洋・小 一 ネ 八 三二三三
廣告文化 廣告科學の現況外一五篇 正路喜社編 大正一四 洋・中 一 ネ 八 三二一九
自由自在 廣告法 平岡敬一撰 大正三 洋・小 一 ネ 八 三二〇五
廣告論 中川靜撰 昭和五 洋・中（商學全集本） 一 ネ 八 三二三八
廣告論叢 第五輯 萬年社編 大正一四 洋・中 一 ネ 八 三二三二〇
交通廣告資料 大倉高商廣告研究會編 昭和五 洋・中 一 ネ 八 三二三九
今日の廣告學 中尾清太郎撰 大正四 洋・小 一 ネ 八 三二四九
同 一 ネ 八 三二四一
最近廣告術 笠原正樹撰 明治四二 洋・小 一 ネ 八 二二四三
最近廣告論 北澤新次郎撰 大正六 洋・中 一 ネ 八 一七七九
同 一 ネ 八 二四三〇
七十五日 天明版—大正一二年複製 和・小（稀書複製會刊行書第三期） 一 イ 四 一〇一〇 一八
實際商業廣告 高橋濱撰 昭和九 洋・小 一 ネ 八 三二四四
鯱のうろこ 稻川勝二郎撰 昭和一〇 洋・小 一 ネ 八 三二四五
商業美術家協會內容一覽 同協會刊 昭和二 洋・小（商業美術パンフレット本） 一 ネ 八 三二五〇
商業美術構成原理 濱田增治撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ 八 三二四六
實業教育五十周年記念 商業美術展覽會圖錄 東京商業學校刊 昭和九 洋・中 一 ネ 八 三二四二
商店建築設計と店內設備圖 清正正已撰 大正一三 洋・大 一 ム 七 三一七五

小店舖の廣告法 金米商業會議所關係內國配給部編 東京商工會議所譯 昭和一 洋・中（商業合理化叢書） 一 ヨ 一 二五九七 二五
效果確實 新廣告術 宮川安信撰 大正一三 洋・中 一 ネ 八 三二八六
新廣告の理論と實際 附本會の沿革 慶應義塾廣告學研究會編 昭和九 洋・中 一 ネ 八 三二四三
福澤先生と廣告（所感一言〔小泉信三〕外三篇）
廣告の理論（廣告の心理學的基礎〔堀梅天〕外五篇）
廣告と實際（我が新聞廣告界の實勢〔光永眞三〕外二一篇）
新時代に最も適した廣告 米・コリンス撰・阪部史郎譯 昭和八 洋・小 一 ネ 八 三二三六
新聞廣告十七講 附錄主催 萬年社 新聞廣告研究講座記事 萬年社編 昭和三 洋・中 一 ネ 八 三二二五
新聞廣告の研究 新田宇一郎撰 昭和三 洋・小 一 ネ 八 三二三三
同 一 ネ 八 三二三四
新聞廣告の趨勢 全國二五新聞廣告行數 日本電報通信社刊 昭和五 洋・大 一 ネ 八 三二三一
新聞廣告圖案集 第一輯 正路喜社編 大正一五 洋・大 一 ネ 八 三二三二
宣傳時代相 谷孫六（矢野正世）撰 昭和六 洋・小（廣殖全集本） 一 ネ 八 三二三四八
大戰ポスター集 朝日新聞社刊 大正一〇 洋・大 一 ネ 八 二七一八
鐵道廣告の知識 國有鐵道廣告料金表附 小沼昇・福田千造撰 昭和五 洋・中 一 ネ 八 三二三〇
店前裝飾及商品陳列 志摩清一郎講（明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 八 九七三
店前裝飾及商品陳列 志摩清一郎講（第七回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 八 一〇九〇
店前裝飾及商品陳列 志摩清一郎講（第八回早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ 八 一五三七
店前裝飾術 土屋長吉撰 明治三八 洋・小 一 ネ 八 三八四
店頭裝飾圖案 附使ひ方・働かし方 井關十二郎案竝撰 大正五 洋・大 一 ネ 八 一五五七

ネ 商業 九 取引所・相場

統計的廣告研究 早稻田大學廣告研究會刊 大正一二 洋・小 一 ネ 八 三〇二七
同 一 ネ 八 三〇二八
本朝商業廣告史 水田健之輔撰 昭和三 洋・小 一 ネ 八 三二三六
三重縣津市陳列裝飾競技會審查報告書 農商務省商品陳列館刊 明治四四 洋・中 一 ネ 八 三三五一
模範廣告術 佐々木十九撰 大正四 洋・小 一 ネ 八 一五一三
早稻田大學廣告研究會創立二十週年記念講演と沿革 同會編 昭和八 洋・小 一 ネ 八 三二三八

雜誌

ウキンド畫報 卷一號一至卷二號六 大正四・五 洋・大 ウキンド畫報社刊 三 サネ 六七
廣告研究 輯二 大倉高商廣告研究會刊 昭和七 洋・中 一 サネ 九五
廣友 號一 早大廣告研究會刊 昭和八 洋・中 一 サネ 一二
商業美術論集 卷三 名古屋高商美術研究會刊 昭和八 洋・中 一 サネ 一〇四

九 取引所・相場

取引所

營業御案內 有價證券現物 濱崎健吉商店刊 洋・小 一 ネ 九類 七九一號
大阪株式取引所定款營業細則其他諸書類 同取引所刊 和・大 一 ネ 九 一五二
大阪株式取引所報告 第四五至五四・五六・五八至六〇・六二回（明治三三年上半季至四一年下半期） 同取引所刊 洋・小・中 二 ネ 九 一五七〇 一一二
大阪株式取引所報告明細書 第六三至六六回（明治四二年上半季至四三年下半季） 同取引所刊 洋・中 一 ネ 九 一五七〇 三

大阪商船 野村德七商店調査部編 明治四四 洋・中 — ネ 九 七九四 一冊

大坂堂島舊記 寫本 和・大（大阪商業史資料） 一〇 — ネ 二 八五八 六一五

大阪堂島舊記卷一拔萃（堂島御觸書） 寫本 和・中 — ネ 九 一五九〇 一

堂島舊記 洋・中（國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書） — イ 四 七六五 四三

大阪堂島米穀取引所營業報告 第壹參・參五・五四回（明治三五年一至三八年六月）同取引所刊 洋・小 — ネ 九 一五七一 一

大阪堂島米穀取引所沿革 同取引所編 洋・中（日本產業資料大系） — ヨ 五 三四一三 九

大阪堂島米穀取引所定款竝營業細則式紙類 明治三五年一二月改正同取引所刊 和・大 — ネ 九 一五三五 一

大阪堂島米商沿革 附諸統計表 大阪堂島米穀取引所編 明治三六 洋・小 — ネ 九 一四〇 一

同 — ネ 九 一五三四 一

歐米取引所 江口駒之助編 明治三五 洋・中 — ネ 九 五五九 一

歐米取引所調査特別報告 東京株式取引所刊 明治三五 洋・中 — ネ 九 三三九 一

改正日本取引所論 橫山一郎撰 大正一四 洋・中 — ネ 九 三三五七 一

金の廻し方殖し方 長井修吉撰 大正一五 洋・小 — ネ 九 三三三六 一

株 地方現物屋の惡を衝く 昭和一一 經濟日報社編 洋・小 — ネ 九 三三九三 一

株界三十年史 野村元五郎編 大正六 洋・小 — ネ 九 二一九〇 一

株界二十年 大正三至五・昭和三至五・八・一〇・一二年版 東洋經濟新報社編 大正三至昭和二 洋・大 — ネ 九 三三三二 八

株式會社仁川米豆取引所沿革 秋山滿夫撰 大年一一 洋・中 — ネ 九 二八五四 一

株式經濟講話 柴田義久撰 大正一〇 再版 洋・小 — ネ 九 二八〇八 一

株式社債年鑑 昭和九至一二年版 山一證券株式會社調查部編 昭和八至一二年 洋・中 — ヨ 一〇 三五〇三 四

株式叢書第一至三編 同文館刊 大正一一 三版 洋・小 — ネ 九 二八三八 三

株式賣買（丹羽豐） 一 — ネ 二 二 — 賬簿と實益の

株式相場の變動と投機（同上） 三 — ネ 九 一五九〇 一 — 本那及椏外の

株式取引所機能論 長滿欽司撰 昭和七 洋・小 — ネ 九 三三六三 一

株式取引所限月問題に關する調査 附諸外國に於ける株式取引所の賣買取引方法（英・米・獨・佛）等 上林正矩編 昭和三 洋・中（商工調查本） — ネ 九 三三四九 一

株式取引所に於ける主力株に就て 我新東株上場禁止問題 今西庄次郎撰 洋・中（臺北帝大文政學部） — 力 一 三七一〇 四

株式取引所論 附錄株式取引所限月問題に關する一考察外二篇 松本信次撰 昭和一 洋・中 — ネ 九 三三九〇 一

株式年鑑 明治四五・大正二至六・八至一三・昭和六至一一年度 野村商店・大阪屋商店編 明治四五至昭和一一 洋・中 三〇 — ヨ 一〇 三四五六

趣味と實益の株式賣買 丹羽豐撰 大正一一 六版 洋・小（株式叢書） — ネ 九 二八三八 一

株式賣買物語 德田昂平撰 昭和六 洋・小 — ネ 九 三三五〇 一

株式便覽 第五至八次 明治四〇至四三 東京株式取引所仲買人組合事務所編 洋・小 — ネ 四 一六一四 四

株式二六節用 第二七版 玉塚榮次郎編 大正六 洋・小 — ネ 九 二二〇六 一

株式放資と賣買の基礎知識 井尻固撰 昭和七 洋・小 — ネ 九 三三六一 一

株式募集・賣出しの手引 全國取扱受圖の解說（經濟日報社編 昭和九 洋・小（經濟日報第一五〇七號附錄） — ネ 九 三三九三 一

全國株主要覽 大正六年版 經濟雜誌ダイヤモンド社調查部編 大正六 洋・中 — ネ 九 二二〇三 一

曉鐘 楊水生撰 大正一二 洋・小 — ネ 九 三三三九 一

京城株式現物取引市場改造案 東亞經濟會編 大正九 洋・中 — ネ 九 二五二八 一

限月復舊の必要に就て 全國株式取引所聯合會刊 昭和三 洋・中 — ネ 九 三三五三 一

現物市場問題 大阪證券日報社編 大正九 洋・小 — ネ 九 二五二六 一

同 — ネ 九 二五二七 一

公債株式定期現物賣買案內 栗生商店株式部編 明治四三 洋・小 — ネ 九 三三七五 一

公債株式賣買手續概要 久保田貫一撰 明治四三 洋・小 — ネ 九 三三七三 一

神戸米穀株式取引所定款竝營業細則 大正二年一一月認可同取引所刊 洋・中 — ネ 九 一二五七 一

神戸米穀株式取引所仲買人組合規約 附注文取扱規定・明治四二年四月改正 洋・小 — ネ 九 一二五五 一

同 — ネ 九 一二五六 一

神戸米穀外四品取引所定款竝營業細則 明治三六年八月改正同取引所刊 洋・小 — ネ 九 一五一二 一

小口落解禁に就て 鄕誠之助撰 大正九 洋・中 — ネ 九 一二五〇 一

米市場「大坂新報」寫本 和・中 山本醒史撰（金穀雜載） — ヨ 五 九七一 一

サラリーマンの生活戰術 長井修吉撰 昭和三 洋・小 — ネ 九 三三五一 一

「サントス」珈琲取引所 俣野康之編 昭和六 洋・中 — ネ 九 三三五九 一

收米權上書 洋・中（日本經濟叢書） — ヨ 一 二五二八 三二

收米權上書 洋・中（日本經濟大典） — ヨ 一 二四八一 四七

證券及商品取引所 附錄改正取引所法令 棗田藤吉撰 昭和三 洋・中 — ネ 九 三三四二 一

商家祕錄 大玄子撰（通俗經濟文庫） 洋・小 — ヨ 一 二七二 八

商機 附金言例釋 野城久吉撰 明治四三 洋・中 — ネ 九 二〇九〇 一

證券市場組織 總論（理論之部） 向井鹿松撰（資本主義經濟組織本） 昭和二 洋・中 — ネ 九 三四〇一 一

證券市場論 福田敬太郎撰 昭和一〇 洋・中（經營學全集本） — ネ 九 三四〇〇 一

證券取引の革新 奧村千太郎撰 大正九 洋・小 — ネ 四 三七三五 二四

證券取引所論 福田敬太郎撰 昭和一一 洋・小（現代金融經濟全集） — ネ 九 三三八三 一

商品取引所論 上林正矩撰 昭和一〇 洋・中 — ネ 九 三三五二 一

新聞用語解說 後藤勝三・山地謙一編 昭和四 洋・小 — ネ 九 三三八七 二

全國取引所營業概表 大正一四年六至昭和三年一二月（有缺）東京株式取引所編 大正一四至昭和四 和・大 — ネ 九 三三八七 一

全國取引所營業月報 昭和四年七至五年八月 東京株式取引所調查課編 昭和四年七至五年八月 和・大 — ネ 九 三三八七 二

綜合取引所論 向井鹿松撰 昭和七 洋・中 — ネ 九 三三六四 一

大株五十年史 諸統計等附 大阪株式取引所編 昭和三 洋・中 — ネ 九 三三五〇 一

大正九年ニ於テ行ハレタル綿絲布總解合ノ法律上ノ性質及總解合ノ結果ガ營業稅標準タル賣上高ニ及ス關係ニ付テノ諸家ノ意見 日本綿絲布商聯合會編 洋・小 — ネ 九 二六八一 一

大連取引所月報 昭和七年一一月至一〇年一二月 同取引所刊 昭和七至一一 洋・中 — ネ 九 三三九七 一

短期取引とは 遠山芳三商店調查部刊 大正一三 洋・小 — ネ 九 三三八〇 一

定期淸算取引 米・スレート編・須々木庄平譯 大正一三 洋・小 — ネ 九 三三三三 一

傳統より合理化へ 歐米に於ける事業統制と證券金融（附錄事業の新基調 野村合名會社調查部譯 昭和三 洋・小 — ネ 九 三三四七 一

投機經濟論（株式と米穀） 興梠李太郎撰 大正五 再版 洋・小 — ネ 九 一九五五 一

東京株式取引所 東京株式取引所調查課編 昭和七 洋・中 — ネ 九 三三六六 一

東京株式取引所營業報告 改正第一八至二六回（明治三五年上半季至同三九 昭和七 洋・中 — ネ 九 一五六九 一

東京株式取引所營業報告書 改正第六一至八五回（大正一二年下半季至昭和一〇年下半期）（有缺） 同取引所刊 洋・中 一冊 ネ 九類 一五六九號

東京株式取引所沿革 同取引所編 洋・中（日本産業資料大系） 一 ヨ 五 三四一九

東京株式取引所沿革及統計 同取引所編 明治四一 洋・大 自明治一一年至同四〇年 一 ネ 九 三三九六

東京株式取引所月報 大正七年三月 同取引所刊 大正七 一折 ネ 九 二三九一

東京株式取引所五十年史 同取引所編 昭和三 洋・大 一 ネ 九 三三五七

東京株式取引所史 明治一一至昭和七年 同取引所編 昭和三・八 洋・大 二 ネ 九 三三四四

東京株式取引所史 同取引所編 大正五 洋・大 一 ネ 九 一七五七

東京株式取引所長期清算取引賣買表 大正一四年六月至昭和四年六月（有缺） 同取引所刊 二 ネ 九 三三八八 一一二

東京株式取引所短期清算取引及實物取引賣買表 大正一四年六月至昭和四年五月（有缺） 同取引所刊 二 ネ 九 三三八八 三一四

東京株式取引所賣買月報 昭和四年七月至五年八月 同取引所刊 昭和四・五 洋・大 一 ネ 九 三三八八 五

東京株式取引所定款營業細則其他諸書類 同取引所刊 和・大 一 ネ 九 一五三三

東京株式取引所統計月報 昭和五至一一年 同取引所調査課刊 昭和五至一二 洋・大 七 ネ 九 三三八九

東京株式取引所統計年報 昭和八至一一年 同取引所調査課刊 昭和一〇至一二 洋・大 四 ネ 九 三三八二

堂島舊記 洋・中（國書刊行會叢書ノ内徳川時代商業叢書） 一 イ 四 七六五 四三

東鐵身代り株 谷商店調査部編 明治四五 洋・小 一 ネ 九 八〇七

徳川時代に於ける堂島米市場 井上繼三撰 洋・中（慶應高等商業學校開校記念論文集） 一 ネ 一 三五八九

豐橋米穀取引所營業報告書 第四一回（大正三年上半期）同取引所刊 洋・小 一冊 ネ 九類 一三一七號

虎市ノ説「報知新聞」寫本 和・中（金穀雜載） 一 ヨ 五 九七一

取引所 星野太郎講（明治三九年度早稲田商業講義） 洋・中 一 ネ 九 一三八五

取引所 星野太郎講（明治四〇年度早稲田商業講義） 洋・中 一 ネ 九 一六九三

取引所 星野太郎講（明治四一年度早稲田商業講義） 洋・中 一 ネ 九 二〇〇六

取引所 星野太郎講（明治四二年度早稲田商業講義） 洋・中 一 ネ 九 二三八七

取引所 長滿欽司撰 洋・中（現代産業叢書） 一 ヨ 一 三五〇〇 三

取引所一覽 附正米市場一覽・昭和二至七年 商工省商務局刊 昭和三至八 洋・大 二 ネ 九 三三四八

取引所を中心とする犯罪の研究 小山起撰 洋・中（司法研究） 一 ワ 一 六三一七 四

取引所會計 今井忍撰 洋・中（會計學全集） 一 ネ 一〇 三四二九 一一

取引所研究 小山正之助撰 大正七 洋・中 一 ネ 九 三三四三

取引所講話 河合良成撰 洋・中 一 ネ 九 二七一三

取引所講話 河合良成撰 大正一〇 洋・中 一 ネ 九 三三八六

取引所視察一斑 臺灣總督府民政部殖産局刊 明治四一 洋・大 一 ネ 九 一七一〇

取引所職能論 福田敬太郎撰 昭和四 洋・中 一 ネ 九 三三五四

取引所史料 元老院會議筆記抄 加藤福太郎編 昭和一一 洋・中 一 ネ 九 三三九五

取引所組織論 向井鹿松撰 洋・小（經濟學全集ノ内商業學上） 一 ヨ 一 三四九三 四二

取引所投機取引論 上巻 佐野善作撰 大正二 洋・中 一 ネ 九 一〇六三

取引所と金融市場との關係 河合良成撰（大正一一） 洋・中 一 ネ 九 一〇六一

取引所取引論 向井鹿松撰 洋・中（現代經濟學全集ノ内商業問題） 一 ヨ 一 三四九四 二二

取引所に於ける取引の實相及之に關する法律問題 小林右太郎撰 洋・中（司法研究） 一 ワ 一 六三一七 二

取引所に於ける取引の實狀と之に關する法律問題の研究 遠藤常壽撰 洋・中（司法研究） 一 ワ 一 六三一七 四

最新取引所の研究 小山正之助撰 大正一四 洋・中 一 ネ 九 三三二〇

取引所の理論的研究 向井鹿松撰 大正一五 洋・中 一 ネ 九 三三三五

取引所法令と通語 島本得一撰 大正九 三版 洋・小 一 ネ 九 二八三九

取引所要論 附錄取引所法外四項 長滿欽司撰 大正一三 洋・中 一 ネ 九 三三三〇

取引所論 長滿欽司撰 洋・中（社會經濟體系） 一 ヨ 一 三四一六 四

取引所論 棗田藤吉撰 大正八 三版 洋・中 二 ネ 九 二四七五

取引所論 棗田藤吉撰 大正一三 復興版 洋・中 一 ネ 九 三三八五

取引所論 藤田國之助撰 昭和六 洋・中 一 ネ 九 三三五八

内地取引關係法規の改正と在滿洲日本取引所 中根勇吉編 大正一二 洋・中（滿鐵調査資料） 一 ヨ 一 九六六 四

名古屋株式取引所沿革史 同取引所編 明治四三 洋・大 一 ネ 九 二一〇四

新潟米穀株式取引所定款竝營業細則類 同取引所刊 和・中 一 ネ 九 一五一九

日本帝國株式取引所一斑 漢文 東京株式取引所刊 大正二 唐・小 一 ネ 九 九五三

ネ 商業 九 取引所・相場 取引所

再版 增補日本取引所論 附紐育株式取引所 田中太七郎撰 明治四四 洋・中 一 ネ 九 二三九四

紐育株式金融市場 米・プラット撰・織田昇次郎刊 大正九 洋・中 一 ネ 九 二五五四

紐育株式取引所の組織及金融 藤崎義幸撰 洋・中（昭和二 横濱正金銀行）調査報告 一 ネ 四 二八四九 八

紐育株式取引所の組織及其の賣買取引 小山正之助撰 大正一〇 洋・小 一 ネ 九 二六四三

紐育株式取引所論 米・ミーカー撰・八木正一郎譯 昭和三 洋・中 一 ネ 九 三三四三

紐育取引所法改正調査委員報告 東京株式取引所刊 明治四五 洋・中 一 ネ 九 八二一

野村商店營業案内 野村信之助編 明治四〇 洋・中 一 ネ 九 三三九九

米穀賣買出世車 圖式共 延享五・寶暦八 和・中 三 ネ 九 九二四

米穀賣買出世車 圖式共 洋・小（通俗經濟文庫） 一 ヨ 一 二七二一 一

米穀賣買出世車 明治六 補刊 和・小 二 ネ 九 一八〇九

濱方記錄 室谷鐵腸編 大正一五 洋・中（近世社會經濟叢書） 一 ヨ 五 三三八八 二

兵庫米商會所書類 寫本 和・大 三 ネ 九 三三九八

濱江證券粮食交易所 小野友次郎編 大正一三 洋・中（哈調小册子本） 一 ネ 九 三三四〇

ブールス 明治二五 洋・小 一 ネ 九 五八

米價引上策と堂島米市場 菅野和太郎撰 洋・中（續大阪經濟史研究） 一 ヨ 四 三四八四 二

米國エール大學教授エメリー氏ノ獨逸國株式取引所ノ取締上十年間ノ經驗ニ就テ 東京株式取引所刊 洋・中（紐育取引所法改正調査委員報告ト同刊） 一 ネ 九 八二一

米穀金銀株式取引沿革史 未定稿本 寫本 和・中 東京株式取引所編 一 ネ 九 二一七七

米國證券市場に關する調査 大藏省理財局刊（昭和二） 洋・中 一 ネ 九 三四〇三

ネ 商業 九 取引所・相場 取引所

ネ 商業 九 取引所・相場 相場

米穀取引に就て 指田義雄撰 洋・小 | 一冊 | ネ 九類 二四八九號
本邦及海外の株式取引所 丹羽豐撰 大正一一 三版 洋・小 (株式叢書) | 一 | ネ 九 二八三八二
「滿洲取引所」の現況 別錄「取引所關係法規」滿洲國實業部臨時產業調査局刊 康德四 洋・中 (産調資料) | 一 | ヨ 一 九六六四二
滿洲に於ける日本取引所 附錄關東州取引所法規外三項 齋藤征生編 昭和三 洋・中 (滿鐵調査資料) | 一 | ヨ 一 九六六四二
綿花取引所論 粟田藤吉撰 大正一一 洋・中 | 一 | ネ 九 二八七一
綿絲布總解合事情 大正九年 大阪綿絲商同盟會刊 洋・小 | 一 | ネ 九 二五二四
海外有價證券市場論 第一卷・伯林 向井鹿松撰 大正一三 洋・小 | 一 | ネ 九 三二三六
有價證券と取引市場相場 山名義高編 大正二 洋・中 | 一 | ネ 九 一〇七七

相場〔貨幣(ネ四)參照〕

インフレ景氣の進行と株式 經濟雜誌ダイヤモンド社刊 昭和九 洋・小 (ダイヤモンド附錄) | 一 | ネ 九 三七〇六
革命來の米界 野城久吉述 明治四五 洋・中 | 一 | ネ 九 八二三
株價指數 第一至三八(昭和三年一〇至六年七月) 東京株式取引所調査課編 昭和三至六 洋・大 | 二 | ネ 九 三三五六
株式創立十年記念 株價指數設計に就いて 附錄株價指數の算式に就て 東京株式取引所刊 昭和三 小林新撰・洋・中 | 一 | ネ 九 三三四五
株價變動論 瀨戸健助撰 昭和一一 洋・小 | 一 | ネ 九 三二六
株式罫線の理論と應用研究 井尻固撰 昭和七 洋・小 | 一 | ヒ 二 九七〇
株式個々の選擇法 石山賢吉撰 洋・小 (株式相場の觀測法ト同刊) | 一 | ネ 九 三三七一
株式市價の經濟的研究 木下茂撰 大正八 洋・小 | 一 | ネ 九 二四五八
目星の付け方 株式時代 長井修吉撰 昭和八 洋・小 | 一 | ネ 九 三三六七
株式相場の觀測法 安田與四郎撰 昭和八 洋・小 (經濟雜誌ダイヤモンド第二卷第一四號附錄) | 一 | ネ 九 三三七一
株價變動論 瀨戸健助撰 昭和一一 洋・小 | 一 | ネ 九 三三五五
株式罫線の理論と應用研究 井尻固撰 昭和七 洋・小 | 一 | ヒ 二 九七〇
株式個々の選擇法 石山賢吉撰 洋・小 (株式相場の觀測法ト同刊) | 一 | ネ 九 三三七一
株式市價の經濟的研究 木下茂撰 大正八 洋・小 | 一 | ネ 九 二四五八
目星の付け方 株式時代 長井修吉撰 昭和八 洋・小 | 一 | ネ 九 三三六七
株式相場の觀測法 安田與四郎撰 昭和八 洋・小 (經濟雜誌ダイヤモンド第二卷第一四號附錄) | 一 | ネ 九 三三七一
資本のおろし方 鳥井齋太郎撰 明治三六 洋・小 | 一 | ヨ 二〇 三五六五
新東の謎を解く 株價機構の新らしい研究 原祐三撰 昭和一一 洋・小 | 一 | ネ 九 三三九一
カネ五續編 戰時戰後の綿業機界 松村取引店編 大正一四 洋・小 | 一 | ネ 九 三三三四
期米相場罫線學 附圖共 齋藤整軒・早坂二菊撰 明治三六 洋・中 | 二 | ネ 九 一八六
東洋經濟新報相場年鑑 第一回 東洋經濟新報社編 大正一四 洋・大 | 一 | ネ 九 三三三五
東株相場の徹底的研究 牧野清一郎撰 昭和五 洋・小 | 一 | ネ 九 三三三三
當今金錢米布江水通價考 洋・中 (日本經濟叢書) | 一 | ヨ 一 二五二八三三
特殊株式の研究 山一證券株式會社調査部編 昭和八 洋・小 | 一 | ネ 九 三三三二
取引相場の知識 河瀨蘇北撰 大正一四 洋・小 | 一 | ネ 九 三三三四
花形株の見透し 大阪屋商店調査部編 昭和一〇 再版 洋・小 | 一 | ネ 九 三三三五
纏纏必用 八木虎之巻 猛虎軒主人撰 寶暦七 和・小 | 一 | ネ 九 *一四六〇
纏纏必用 八木虎之巻 猛虎軒主人撰 寫本 和・中 | 一 | ネ 九 一四六三
纏纏必用 八木虎之巻 猛虎軒主人撰 (國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書) 洋・中 | 一 | イ 四 七六五四三
纏纏必要 八木豹之巻 猛虎軒主人撰 文政一二 和・小 | 一 | ネ 九 三三七八
纏纏必要 八木豹之巻 猛虎軒主人撰 洋・中 (國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書) | 一 | イ 四 七六五四四
纏纏必要 八木龍之巻 見幾館主人撰 洋・中 (國書刊行會叢書ノ內德川時代商業叢書) | 一 | イ 四 七六五四三
物產取引所格付賣買の理論 今西庄次郎撰 (臺北帝國大學政學科研究年報) 洋・中 (文政學部) | 一 | カ 一 三七一〇四
米界資料 米價變動の研究 山崎商店編 明治四四 洋・中 | 一 | ネ 九 七八三
米商寶函 附錄米銀高低圖 平田純一郎撰 明治二八 洋・小 | 一 | ネ 九 一八八

ネ 商業 一〇 會計學・簿記 會計學

誰でも儲かる株式相場の研究 致富研究社編輯部編 大正一一 七版 洋・小 | 一冊 | ネ 九類 三〇九七號
株式相場の變動と投機 丹羽豐撰 大正一〇 洋・小 (株式叢書本) | 一 | ネ 九 二七四〇
株式相場の變動と投機 丹羽豐撰 大正一〇 洋・小 (株式叢書) | 一 | ネ 九 二八三八三
株式投機の呼吸 牧野清一郎撰 大正一三 洋・小 | 一 | ネ 九 三二八三
これから株式投資相談 主要二百會社業績早わかり 實業之日本編輯局編 昭和八 洋・小 (實業之日本第三六卷第七號別冊附錄) | 一 | ネ 九 三二七〇
生絲相場高低表 大正三年一月至昭和八年末 原合名會社生絲寶込部刊 (原生糸月報附錄) | 一折 | ネ 九 三三七七
期米高低之眞理 校正刷 洋・中 | 一 | ネ 九 二九九九
公債價格高低論 米・ヘインス撰・東京銀行集會所譯 明治三九 洋・中 | 一 | ネ 九 一四三六
五十年間之東京米況 澁澤義一商店刊 大正五 | 一幅 | ネ 九 三四〇七
再禁止後株界の動き 鳩見屋商店調査部編 昭和九 洋・小 | 一 | ネ 九 三三八〇
最近十三箇年季間之米況 明治三〇至四二年 山崎繁次郎商店刊 | 一幅 | ネ 九 三一九六
最近の株式市況 野村德七商店刊 大正二 | 一 | ネ 九 一二四七
糸價變動の研究 森本宋撰 大正一五 洋・小 | 一 | ネ 九 三三三七
事業と株價の將來 株價月別高低表附 大阪屋商店調査部編 昭和九 洋・小 | 一 | ネ 九 三三八一
事業の將來と花形株 株式會社大阪屋商店調査部編 昭和八 洋・小 | 一 | ネ 九 三三七六
時局株の再檢討 尙ほ買つて興味のある株式・最早興味のなくなつた株式 | 一 | ネ 九 三三八五
卜筮貨殖考 井上鶴洲(敎親)逸・井澤有德編 洋・小 (通俗經濟文庫) | 一 | ヨ 一 二七二八
明治年間之東京米況 澁澤義一商店刊 | 一幅 | ネ 九 三四〇八
明治四十年產米受渡米格付表 東京米穀取引所刊 明治四〇 和・中 | 一 | ネ 九 一四五三
持株者への報告 經濟雜誌ダイヤモンド社刊 昭和七・八 洋・大 (經濟雜誌ダイヤモンド臨時增刊) | 三 | ネ 九 三三六九

雜誌

川島屋旬報 號一七三至二〇六 昭和三 洋・大 同商店刊 | 三 | サネ 九〇
東京株式取引所調査彙報 號五(昭和二年六月)ヨリ 東京株式取引所調査課刊 洋・中 | 一 | サネ 一五
取引所研究 卷一號一至六 取引所研究社刊 大正一四 洋・中 | 一 | サネ 二七

一〇 會計學・簿記

會計學

東爽五郎先生下野直太郎先生古稀記念論文集 日本會計學會編 昭和一〇 洋・中 | 三冊 | ネ一〇類 三四五四號

會計理論

ルドルフ・フィッシャーの貸借對照表理論(上野道輔) 一
損益計算の本質(木村和三郎) 一
複式簿記取引の再吟味(金子利八郎) 一
評價問題管見(不破貞春) 一 增價論(村瀨玄) 一
官廳會計と減價償却(太田哲三) 一
年金法に依る減價消却を論ず(三邊金藏) 一
水制資本(高瀨莊太郎) 一 積立金準備の特定放資(橋本良平) 一
企業の收益力比較(黑澤清) 一 流動比率の分析(橋本誠) 一
豫算及豫算による統制(小宮山敬保) 一
明治簿記學史斷片(岡田誠一) 一

原價計算

原價計算組織（青木倫太郎） 二 間接費の配賦法を論ず（原口亮平） 二
アイドル・コストの問題（長谷川安兵衞） 二
利子原價問題に就て（吉田良三） 二 計算價格（土岐政藏） 二
配給原價計算に就て（岡本眞一） 二 原價と操業度との關係（碓氷厚次） 二
賣價政策の基調（平井泰太郎） 二 標準原價について（林健二） 二
製造間接費の標準原價法（金田實） 二 ビドー賃銀制度に就て（古林喜樂） 二

會計監査

内部牽制組織（渡部寅二） 三 現金取引に關する監査（渡部義雄） 三
帳簿監査（田島四郎） 三 貸借對照表監査（木村禎橘） 三
監査手續書（大石善四郎） 三
期末監査の手續に就て（魚谷傳太郎） 三
監査役制度（藤原泰） 三 計理士制度（陶山誠太郎） 三

鑄物工場の原價計算 附錄我が國に於ける鑄物工業の史的概觀 神馬新七郎撰 一冊 ネ一〇 三四三九 類 號

同 一 ネ一〇 三四六七

印刷原價算出法 ダビス撰・松本喜道譯 昭和二 洋・中 一 ネ一〇 三四一〇

インフレーション會計 太田哲三・岩田巖撰 昭和八 洋・中 一 ネ一〇 三三五一

運送會計 中瀨勝太郎撰 大正一四 洋・中 一 ネ一〇 三三二七

運送業會計 伊藤正一撰 昭和一〇 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 一〇

運輸經營と會計管理 中村正三郎撰 昭和七 洋・中 一 ツ二 二四七〇

映畫及劇場會計 油谷十二撰 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 一一

科學的管理法應用營業豫算統制の實際 宇原義豐撰 昭和一〇 洋・中 一 ネ一〇 三四四七

英米會計士事情 渡部義雄撰 大正一三 洋・中（會計學叢書本） 一 ネ一〇 三三三八

英米の會計學界 黒澤清撰 洋・中（經營學年報） 一 ネ一〇 三三〇〇

會計及び貸借對照表 獨・シェヤー撰・林良吉譯 大正一四 洋・中 一 ネ一〇 三四二四

會計學 黒澤清撰 昭和八 洋・中 一 ネ一〇 三四二四

會計學 高瀨莊太郎撰 昭和四 洋・小（現代經濟學全集） 一 ヨ 一 三四九四 二三

會計學 松村吉則講（早稻田大學講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 二四八九

會計學 松村吉則講（明治四三年度早稻田商業講義） 洋・中 一 ネ一〇 三五〇〇

會計學 附錄貸借對照表に於ける資產評價の原則に就て 三邊金藏撰 昭和五 洋・中 一 ネ一〇 三三七七

會計學 吉田良三撰 明治四三 三版 洋・中 一 ネ一〇 三四八五

會計學概論 附錄標準貸借對照表外四項 太田哲三撰 昭和七 洋・中 一 ネ一〇 三四一七

會計學概論 附錄標準貸借對照表外四項 太田哲三撰 昭和一一 二二版 洋・中 一 ネ一〇 三四七五

同 一 ネ一〇 三四七六

會計學概論 大森研造撰 大正一二 洋・中 一 ネ一〇 三〇七九

會計學概論 附錄貸借對照表に於ける資產評價の原則に就て 外四項 西村勝太郎撰 昭和一二 洋・中 一 ネ一〇 三三四七

會計學基礎原理 碓氷厚次撰 昭和六 洋・中 一 ネ一〇 三四九九

會計學研究 太田哲三撰 昭和一二 洋・中 一 ネ一〇 三四一〇

會計學原論 會計學緒論・簿記論 蒲生保郷撰 昭和二 洋・中 一 ネ一〇 三四九七

會計學原論 原島茂撰 昭和六 洋・中 一 ネ一〇 三三五三

會計學原論 米・ホッヂ竝マッキンセー撰・川添貞彦譯撰 昭和五 洋・中 一 ネ一〇 三四〇三

會計學原論 一 ネ一〇 三三七一

會計學講義 第一編 原島茂撰 大正一二 洋・中 一 ネ一〇 三一一五

同 一 ネ一〇 三一二六

會計學綱要 太田哲三撰 大正八 再版 洋・小（三五判法政經濟叢書） 一 ワ 一 九三四 二七

會計學綱要 太田哲三撰 大正一一 洋・中 一 ネ一〇 二八八三

同 一 ネ一〇 二九〇五

會計學實務 三卷 油谷十二・片岡義雄撰 昭和三 洋・小 三 ネ一〇 三三五五

一般會計（附錄簿記帳簿外八項） 一 會社會計（附錄關係法規） 二
特殊會計（附錄關係法規） 三

會計學全集 第一・四至七・九至一二・四至一六・八至三卷 昭和八至一〇 初至三版 洋・中 東洋出版社刊 一六 ネ一〇 三四二九

簿記原理（黒澤清） 一 損益計算（林健二） 二
原價計算（吉田良三） 三 株式會社會計（長谷川安兵衞） 四
經營財務論（增地庸治郎） 五 會計監査（渡部義雄・同寅二） 六
會計事務管理論（金子利八郎） 七 商業會計（村瀨玄） 八
金融業會計（太田哲三） 九 運送業會計（伊藤正一） 一〇
倉庫會計（渡部寅二） 一一 取引所會計（今井忍） 一二
映畫及劇場會計（油谷十二） 一二 會計數理（久武雅夫） 一二
特殊會計（ホテル・病院・俱樂部・學校・同業組合・家計）（小宮山敬保） 一三
公益企業會計（竹中龍雄） 一三 官廳會計（花田七三） 一四
稅務會計（船田勇） 一五
事業會計實務參考法規（太田哲三編） 一六

會計學通論 附錄標準財產目錄外二項 昭和六 洋・小 西垣富治譯撰 一 ネ一〇 三一〇一

會計學提要 附錄標準財產目錄外二項 昭和八 洋・中 西垣富治撰 一 ネ一〇 三四二八

會計學の定義に就て 東奥五郎撰 神戸高等商業學校記念講演及論文集 洋・中 一 ネ 一 三八二九

會計學論叢 第一至六集 神戸會計學會編 大正五至一〇 洋・中 六 ネ一〇 一六九一

貸借對照表調製上評價の標準如何（鹿野清次郎）
計算學の効用・研究の必要・研究法・補助學・教授法及研究者の心得（蒲生保郷） 一
株式會社の貸借對照表に就て（烏賀陽然良） 一
仕譯の統一に就て（原口亮平） 一
英國免許會計人の特に火災保險業者を援助する一例（東奥五郎） 一
信用調査に於ける貸借對照表の地位（田中蓁） 一
銀行の自衞檢査法（刀禰館正雄） 一
株式募集の際に於けるプレミアムに就て（松宮茂） 一
在外國支店試算表の爲替換算法（小泉種秋） 一
機械並に据付物の減價償却金に關し英國稅務局の認許する控除額計算法 一
内規の一斑（河井正・枝吉正保） 一
計理學研究の要點に就て（鹿野清次郎） 二
會計學上より監査役の職責を論ず（田尻常雄） 二
古代監査制の一節（志摩清一郎） 二
濟崩取引に俱ふ手數料の會計取扱法（東奥五郎） 二
公共的企業に對する會計準則の制定（明路常造） 二
準備積立金に就て（木村禎橘） 二
日本に於ける會計調査業に就て（森田熊太郎） 二
經濟學より觀たる會計士の職務（山縣憲一） 二
勞務及信用出資の會計取扱法に就て（野田吉兵衞） 二
複式簿記の根本的原理（渡部義雄） 二
會計監査士法案及會計士法案に關する帝國議會の議事 二
新南ウェールス州公營會計士法案 二
英國に於ける計算人の職務の一としての「財産の管理及處分」に就て（蒲生保郷） 三
所得稅に關する會計問題（東奥五郎） 三
債券の會計整理法（原口亮平） 三
新西蘭現行の會計士登錄法外會計士法案二種（杉江潤治） 三

正味財産高の性質（渡部義雄） 三 複式簿記の原理（抄譯）
賃貸借後濟崩賣買に關する取引（東奭五郎） 四
保證債務に就いて（原口亮平） 四 米國事務管理組織（金子利八郎）
未拂込株金に就いて（渡部義雄）
「ばちおり簿記書」研究（平井泰太郎）
株金のプレミアムは利益にあらず（上田貞次郎）
額面超過金額と所得稅賦課問題（烏賀陽然良）
プレミアム課稅に就いて（田尻常雄）
額面超過額は所得稅を課すべき所得なりや（神戸正雄）
株式のプレミアムに就いて（原口亮平）
プレミアムの課稅に就て（内池廉吉）
プレミアムに賦課する所得稅は合理なりや（東奭五郎）
額面超過金に對し所得稅を課するの理由に就て（中村繼男）
株式プレミアムに關する管見（奥居彦松）
プレミアム問題本邦學說集攬（平井泰太郎） 五 プレミアム問題英米學說集攬（渡部義雄）
株式の額面超過額と所得稅に關する普國・索遜及伊國の判例（毛戸勝元）
プレミアム問題本邦行政裁判所判決集
參照條文集（神戸會計學會會計研究室）
額面超過額は益金なり（渡邊善藏） 五 配當金に就て（吉田良三）
棚卸商品の評價に就きて（東奭五郎）
減價に關する若干問題の檢討（中村茂男）
事務管理組織と會計制度（金子利八郎）
帳簿及び帳簿組織に就て（原口亮平）
Model Statement に就て（須藤文吉）
プレミアムに關する行政判決を讀みて（渡部義雄）
プレミアム問題英米學說集攬（續）（渡部義雄）
プレミアム問題本邦行政裁判所判決集（續）
プレミアムに關する大阪商船行政訴訟經過（神戸會計學會會計研究室）
「ばちおり簿記書」索引（平井泰太郎）
Demos（英文）（Puttick）

會計監査 内部牽制組織（渡部寅二）外七篇 日本會計學會編 昭和一〇 洋・中（東奭五郎先生・下野直太郎先生古稀記念論文集） 一冊 ネ一〇 三四五四
會計監査 附錄 商工業者の貸借對照表監査に對する一般的教示 外一篇 三邊金藏撰 昭和五 洋・中（商學全集本） 一 ネ一〇 三三八九
會計監査 吉田良三撰 大正一〇 洋・中 一 ネ一〇 二七五七
會計監査 吉田良三撰 洋・小（經濟學全集） 一 ヨ一 三四九三 四一
會計監査 渡部義雄・同寅二撰 昭和九 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 六
會計監査研究 野本悌之助撰 昭和六 洋・小 一 ネ一〇 三三九五
會計監査綱要 中瀨勝太郎撰 昭和九 洋・中 一 ネ一〇 三四三三
實用會計監査法 帝國會計協會編 大正三 再版 洋・小 一 ネ一〇 一三七五
會計監査法綱要 渡部義雄・同寅二撰 昭和一二 洋・中 一 ネ一〇 三四八四
會計監査要論 中瀨勝太郎撰 大正一三・五 洋・中 二 ネ一〇 三三二〇
會計經營及商法の實際問題 附錄株式會社檢査役論 竹内恆吉撰 大正一四 洋・小 一 ネ一〇 三三二九
會計決算事務詳解 中西新兵衛撰 大正一一 洋・小 一 ネ一〇 二八一三
會計檢査院史 川口嘉編 明治二九 洋・大 一 タ一 八三六

同

會計檢査院史 川口嘉編 昭和六 洋・中（明治財政經濟史料集成 前期） 一 タ二 三二九七 一八
歐陸諸邦會計檢査院事務取調書 會計檢査院編 明治二四 洋・中 一 タ一 三六一九
會計檢査院法改正意見書 武藤山治撰 大正一二 洋・大 一 タ一 三一三六
會計士（計理士）制度研究 日本經營學會編 洋・中（經營學論集） 一 ネ二 三四七三 一
歐米に於ける會計士制度（渡邊鐵藏）

本邦に於ける會計士の沿革及現狀（中村茂男）
會計士觀の種々相（平井泰太郎）

會計實務誌 岩垂至撰 昭和九 洋・中 一 ネ一〇 三四三〇
會計事務管理論 金子利八郎撰 昭和九 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 七
會計上の諸問題 橋本戔子郎撰 大正一〇 洋・小 一 ネ一〇 二七二〇
會計數理 久武雅夫撰 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 一二
會計制度要論 西野元撰 大正一五 三版 洋・中 一 タ一 三五七三
會計制度論 太田哲三撰 昭和七 洋・中（商學全集本） 一 ネ一〇 三四六三
商工會議所會計組織の立て方 兒林百合松撰 大正一〇 洋・小 二 ネ一〇 二六〇三
會計とインフレーション 日本經營學會編 洋・中（經營學論集） 一 ネ二 三四七三 八

インフレーション下に於ける會計處理に就ての若干回想（小宮山敬保）
實質資本維持會計の本義（不破貞春）
インフレーションと企業の評價に就て（室谷賢治郎）
貨幣價値變動期の經營分析（高瀨莊太郎）

會計と帳簿 森田熊太郎撰 大正五 增訂三版 洋・中 一 ネ一〇 三三三八
會計の種類 太田哲三撰 洋・中（東京商科大學六十周年記念論文集） 一 ネ一 三五七〇
會計の智識 興相杢太郎撰 大正八 洋・小 一 ネ一〇 二六九七
會計法 阪谷芳郎撰（專修學校講義錄） 洋・中 一 タ一 三五
會計法會計規則通義 圖師庄一郎撰 明治三八 訂正再版 洋・中 一 タ一 三三三九
會計法規通論 武藤榮治郎撰 大正四 洋・中 一 ネ一〇 二七七四
改會計法規通論 武藤榮治郎撰 大正一一 訂正再版 洋・中 一 タ一 三〇八四
昭和改版會計法規通論 武藤榮治郎撰 昭和二 洋・中 一 タ一 三五七六
會計法釋義 筋瀨德松撰 大正七 洋・中 一 タ一 二七三五
會計法釋義 筋瀨德松撰 大正一二 改訂四版 洋・中 一 タ一 三三二六
會計法述義 平塚定二郎撰 明治二五 洋・小 一 タ一 八九六

同

會計法論 工藤重義撰 洋・中（帝國百科全書） 一 イ四 一一五一 一六五
會計理論 ルドルフ・フイツシャーの貸借對照表理論（上野道輔）外一二篇 日本會計學會編 昭和一〇 洋・中（東奭五郎先生・下野直太郎先生古稀記念論文集） 一 ネ一〇 三四五四 一
會計論 工藤重義撰（早稻田大學明治四三年度政治經濟科講義錄） 洋・中 一 タ一 二四五一
會計論 工藤重義撰（早稻田大學政治經濟科第三三回講義錄） 洋・中 一 タ一 二九二五
會社會計實務 中西新兵衛撰 明治一一 洋・小 一 ネ一〇 二九一一
會社監査の方法及報告書要式 山內勝雄撰 昭和六 四版 洋・中 一 ネ一〇 三三九〇
會社經營缺陷の見方 中村茂男撰 大正一四 洋・小 一 ネ一〇 三三一二
會社の會計 中西新兵衛撰 大正九 四版 洋・小 一 ネ一〇 二七三三
會社豫算 附錄會社豫算に關するフォーム 鈴木久藏撰 昭和七 洋・中（產業合理化講座本） 一 ネ一〇 三四一六
火災保險會計 葛城照三撰 昭和九 洋・中 一 ネ五 三四七三
火災保險・ロイド保險人・會計 附錄保險業法拔萃外二篇 渡部義雄撰 昭和五 洋・小 一 ネ五 三四三三
株式會社會計 佐藤雄能撰 大正一一 一〇版 洋・中 一 ネ一〇 二八七四
株式會社會計 長谷川安兵衛撰 昭和九 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 四

		冊	類	號
監査と有資格會計士	野本悌之助撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ	二三四七三
勘定學說について	ワルプの二勘定系統說批判 木村和三郎撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ	二三四七三 九
勘定各論講義 第一輯	中村茂男撰 大正一三 洋・中	一	ネ一〇	二三三七
間接費の研究	吉田良三撰 昭和一一 洋・中	一	ネ一〇	二三四六〇
官廳會計	花田七五三撰 昭和一〇 三版 洋・中（會計學全集）	一	ネ一〇	二三四二九 一四
管理會計	企業經營者に必要な會計の知識 青木倫太郎撰 昭和一一 洋・中	一	ネ一〇	二三四六二
企業財政の比率分析	野本悌之助・野瀬新藏譯撰 昭和九 洋・中	一	ネ一〇	二三四三五
企業財務の分析	高瀨莊太郎撰 昭和一二 洋・中（金融研究會叢書本）	一	ネ一〇	二三四八二
銀行會計	兒林百合松撰 大正八 洋・中	一	ネ一〇	二三四六
銀行會計學	長谷川安兵衞撰 昭和五 修正四版 洋・中	一	ネ一〇	二三三六三
銀行會計の監査	福田多吉撰 昭和六 洋・中	一	ネ一〇	二三四〇九
銀行業の原價計算	銀行研究社編 昭和二 洋・小（銀行講座本）	一	ネ一〇	二三三六一
銀行原價計算の研究	加藤和根撰 昭和五 洋・小	一	ネ一〇	二三四六七
銀行事務・會計	角野政雄撰 昭和一二 洋・中	一	ネ 四	二六八〇
銀行の原價計算	木村秀太郎撰 大正一三 再版 洋・小	一	ネ一〇	二三三四
銀行の原價計算手續	大阪銀行集會所編 大正一五 洋・小	一	ネ一〇	二三四一
金融業會計	太田哲三撰 昭和八 洋・中（會計學全集）	一	ネ一〇	二三四二九 一〇
金融と會計	野本悌之助撰 洋・中（經營學論集 東京商大五十五周年記念論文集）	一	ヨ	三七六〇 一
組合の會計	陶山誠太郎撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ	二三四七三 一一
經營學と會計學との關係について	黒澤清撰 洋・中（經營學論集）	一	ネ	二三四七三 三
經營學に於ける原價計算と損益計算の位置	馬場敬治撰 洋・中（經營學年報）	一	ヨ	三六四八
經營經濟的會計學研究	杉本秋男撰 昭和八 洋・中	一	ネ一〇	二三四二五
經營上より見たる原價計算の意義	小島昌太郎撰 洋・小（立教大學創立三十五周年記念論文集）	一	イ 四	一三二六 二
經營費用論	中西寅雄撰 昭和一一 洋・中（商學全集本）	一	ネ一〇	二三四六五
罫線學	海野力太郎撰 明治二一 洋・小	一	ネ一〇	二六三
計理學提要	鹿野清次郎著 大正四・六 洋・中	二	ネ一〇	二五七三
計理學の對象	高瀨莊太郎撰 洋・中（東京商科大學創立五十周年記念論文集）	一	ネ 一	二五六一
計理學の理論的構成	高瀨莊太郎撰 洋・中（東京商大研究年報 商學研究）	一	ネ 二	二三四九 四
計理士制度參考資料	農商務省商工局刊 大正六 洋・中	一	ネ一〇	一七九一
計理士の業務と責任	渡部義雄撰 昭和六 洋・小	一	ネ一〇	二三九八
計理士法釋義	筑瀨德松撰 昭和三 洋・小	一	ネ一〇	二三五七
計理制度の調査	東京高等商業學校調査部刊 大正二 洋・中	一	ネ一〇	七八一
ケスターの貸借對照表論	沼田嘉穗譯撰 昭和七 洋・中	一	ネ一〇	二三四一二
決算報告書の監査手續	渡部寅二撰 昭和五 洋・小	一	ネ一〇	二三三八八
決算報告書の分析的觀察法	渡部寅二撰 昭和四 三版 洋・中	一	ネ一〇	二三三六九
決算報告書の分析的觀察法	渡部寅二撰 昭和七 五版 洋・中	一	ネ一〇	二三四七三
決算報告の見方	石山賢吉撰 大正七 洋・中	一	ヨ一〇	二二九九

		冊	類	號
原價會計學	長谷川安兵衞撰 昭和五・九 洋・中	二	ネ一〇	二三三七六
例解 原價計算	魚谷傳太郎撰 昭和二 洋・中	一	ネ一〇	二三四三五
原價計算 原價計算組織（青木倫太郎）外二篇	日本會計學會編 昭和一〇 洋・中（東京商大五郎先生 下野盛太郎先生古稀記念論文集）	一	ネ一〇	二三四五四 二
原價計算	吉田良三撰 昭和九 洋・中（會計學全集）	一	ネ一〇	二三四二九 三
原價計算と價格政策の原理	附錄新經濟組織の關門に於ける經營經濟學及圖表一葉 獨・シュマーレンバッハ撰・土岐政藏譯 昭和一〇 洋・中	一	ネ一〇	二三四四八
原價計算に關する考察若干	小宮山敬保撰 洋・中（橫濱高等商業學校開校記念論文集）	一	ネ一〇	二三四六六
原價計算の要領	附錄輸出護謨底布靴原價調査表 芳野武雄撰 昭和九 洋・小	一	ネ一〇	二三四四三
實踐原價計算法	附錄經營成績の測定方法外一篇 宇野信三撰 昭和三 洋・中	一	ネ一〇	二三三八五
實踐原價計算法	附錄經營成績の測定方法外一篇 宇野信三撰 昭和五 洋・中	一	ネ一〇	二三四三
能率本位原價計算法	渡部義雄撰 大正一五 洋・中	一	ネ一〇	二三四三
原價計算法綱要	渡部義雄・同寅二撰 昭和五 洋・中	一	ネ一〇	二三八一
原價計算論	米ニコルソン並ロールバッハ撰・伊藤正一譯 昭和二 洋・中	一	ネ一〇	二三四九
原價計算論	吉田良三撰 洋・小（經濟學全集）	一	ヨ 一	二三四九三 四一
減價準備金の本質	木村重義撰 洋・中（小橋富等商業學校創立二十五周年記念論文集）	一	ネ一	二七四七
減價消却の經營經濟的性質	山下勝治撰・彥根高商調査課刊 洋・中（調査研究本）	一	ネ一〇	二三四四九
原價と操業率	池田英次郎撰 昭和八 洋・中（經營學叢書本）	一	ネ一〇	二三四二六
公益企業會計	附錄參考法規外一篇 竹中龍雄撰 昭和一〇 洋・中（會計學全集）	一	ネ一〇	二三四九二 一三
工業會計	吉田良三撰 昭和一〇 洋・中（商學全集本）	一	ネ一〇	二三四六四
工業會計及原價計算	太田哲三撰 洋・中（工業經營全書本）	一	ネ一〇	二三四八〇
工業會計概論	土岐政藏撰 昭和一一 洋・中	一	ネ一〇	二三四六六
工業會計研究	吉田良三撰 昭和五 洋・小	一	ネ一〇	二三三八二
工業會計精義	附錄會計士職務要領 中西新兵衞撰 大正一〇 洋・中	一	ネ一〇	二七四一
工業會計の常識	村瀨玄撰 昭和六 洋・小（商業常識講座）	一	ネ一〇	二三四〇七
工業原價計算及び會計	伊藤正一撰 昭和一二 洋・中	一	ネ一〇	二三四八六
工業簿記と原價計算	吉田良三撰 昭和三 洋・中	一	ネ一〇	二三三六六
公許會計士制度調査書	農商務省商務局刊 明治四二 洋・中	一	ネ一〇	二三一三
同	ほーきんす氏 工場會計 原口亮平解說 大正一〇 洋・中（會計學叢書本）	一	ネ一〇	二三四九一
工場會計	吉田良三撰 大正六 洋・中	一	ネ一〇	二七四五
工場經營と會計	第一至三卷 神馬新七郎撰 昭和四・六 初・再版 洋・中	一	ネ一〇	一八二三
材料編	一 職工編 二 原價計算篇 三	三	ネ一〇	二三九二
工場原價計算法	青木倫太郎撰 昭和六 洋・中	一	ネ一〇	二三九七
固定資產會計	太田哲三撰（東京商大商學研究） 洋・中	一	ネ 二	二三四九 四
財產評價準則	臨時產業合理局刊 昭和一一 洋・小	一	ネ一〇	二三四六一
財務諸表準則	臨時產業合理局刊 昭和九 洋・中	一	ネ一〇	二三四五七
財務諸表準則解說	附錄資產評價準則外九項 太田哲三撰 昭和九 洋・中	一	ネ一〇	二三四四三

産業組合會計	德永一之丞撰 昭和一〇 洋・小	一冊	ヨ一	類 三四一三	號
事業會計實務參考法規	太田哲三編 昭和 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 一六	
事業財政分析觀察法	西野嘉一郎撰 昭和九 洋・中	一	ネ一〇	三四七七	
同		一	ネ一〇	三四七八	
實踐會計整理法	土屋長吉撰 明治四四 洋・大	一	ネ一〇	二四二二	
實用鐵道會計	佐藤雄能撰 大正一一 洋・中	一	ツ三	三四一六	
同		一	ツ三	三四一七	
改訂增補實用鐵道會計	佐藤雄能撰 昭和三 洋・中	一	ツ三	三四一八	
支那會計學研究	有本邦造撰 昭和五 洋・中	一	ネ一〇	三三八四	
支那會計原理	片岡政一撰 昭和一〇 洋・中	一	ヨ一	九〇六 四	
一九三三年會計學界	木村和三郎述 洋・中 (經營學年報)	一	ネ一〇	三四四一	
倉庫會計	渡部寅二撰 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 一一	
損益計算	林健二撰 昭和九 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 二	
損益表論	今井三吉撰 昭和三 洋・中	一	ネ一〇	三三六四	
損害保險會計に就いて	葛城照三述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 一	
貸借對照表	作り方と見方 太田哲三撰 大正一〇 六版 洋・小	一	ネ一〇	二七三三	
貸借對照表	作り方と見方 太田哲三撰 大正一三 洋・小	一	ネ一〇	三三〇九	
貸借對照表學講話	附錄標準貸借對照表外一項 太田哲三撰 昭和六 再版 洋・中	一	ネ一〇	三四〇八	
貸借對照表科目解說	橋本良平撰 昭和六 洋・小	一	ネ一〇	三四〇〇	
貸借對照表の研究	橋本良平撰 大正一四 再版 洋・小	一	ネ一〇	三三三三	

小工場の會計	中西新兵衛撰 大正一一 洋・小	一冊	ネ一〇	類 二八一四	號
同		一	ネ一〇	三三七二	
實用商事會計監査法	岡田誠一撰 大正一〇 洋・小	一	ネ一〇	二七三五	
商品勘定に就て	原口亮平撰 洋・中 (神戸高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集)	一	ネ一	三三〇一	
新銀行會計研究	長谷川安兵衛撰 昭和五 洋・中	一	ネ一〇	三四二一	
製品原價と固定費	渡部寅二撰 洋・中 (大倉高等商業學校創立二十周年記念論文集)	一	ネ一	三三六四一	
稅務會計	附錄添 片岡政一撰 昭和六 洋・小	一	タ四	三三七六	
稅務會計	船田勇撰 昭和九 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 一五	
稅務會計原理	會社篇 片岡政一撰 昭和一〇 洋・中	一	タ四	三三四六	
一九三三年會計學界	木村和三郎述 洋・中 (經營學年報)	一	ヨ一	三六四八	
倉庫會計	渡部寅二撰 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 一一	
損益計算	林健二撰 昭和九 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 二	
損益表論	今井三吉撰 昭和三 洋・中	一	ネ一〇	三三六四	
損害保險會計に就いて	葛城照三述 昭和一〇 洋・中 (損害保險特別講演集)	一	ネ五	三四八八 一	
貸借對照表	作り方と見方 太田哲三撰 大正一〇 六版 洋・小	一	ネ一〇	二七三三	
貸借對照表	作り方と見方 太田哲三撰 大正一三 洋・小	一	ネ一〇	三三〇九	
貸借對照表學講話	附錄標準貸借對照表外一項 太田哲三撰 昭和六 再版 洋・中	一	ネ一〇	三四〇八	
貸借對照表科目解說	橋本良平撰 昭和六 洋・小	一	ネ一〇	三四〇〇	
貸借對照表の研究	橋本良平撰 大正一四 再版 洋・小	一	ネ一〇	三三三三	

貸借對照表の作成と吟味	渡部寅二撰 昭和七 洋・小	一	ネ一〇	三四一三	
貸借對照表の作成と吟味	渡部寅二撰 昭和一一 四版 洋・小	一	ネ一〇	三四七九	
貸借對照表分析論	小管敏郎撰 昭和九 洋・中	一	ネ一〇	三四二三	
同		一	ネ一〇	三四七三	
同		一	ネ一〇	三四七四	
貸借對照表論	上野道輔撰 大正一四・一五 洋・中	二	ネ一〇	三三〇三	
貸借對照表論	國松豐撰 大正八 洋・中 (私經濟學研究本)	一	ネ一〇	二七八〇	
貸借對照表論	脊地庸治郎撰 洋・中 (社會經濟體系)	一	ヨ一	三四一六 四	
鐵道會計	平山孝・藤川福衛撰 昭和一一 洋・中 (鐵道交通全書本)	一	ツ三	三四〇一	
鐵道會計及經營	附錄地方鐵道會計規程外四項 林原憲貞撰 昭和八 洋・中	一	ツ三	三三七五	
鐵道會計研究	佐藤雄能撰 昭和一二 洋・中	一	ツ三	三四二三	
獨逸の會計學界	黒澤清撰 洋・中 (經營學年報)	一	ヨ二	三六四八	
動的會計學研究	杉本秋男撰 昭和一二 洋・中	一	ネ一〇	三四七一	
特殊會計	ホテル・病院・倶樂部・學校・同業組合・家計 小宮山敬保撰 昭和九 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 一二	
取引所會計	今井忍撰 洋・中 (會計學全集)	一	ネ一〇	三四二九 一一	
西日本計理士會報	西日本計理士會刊 昭和五 洋・小	一	ネ一〇	三三八六	
日本會計法要論	阪谷芳郎撰 明治二三 洋・小	一	タ一	三三五	
日本檢査計理士會要覽	昭和一〇・一一年 同會刊 昭和一〇・一一 洋・小	二	ネ一〇	三四五〇	
暖簾の研究	高瀬莊太郎撰 昭和五 洋・小	一	ネ二	三三三八	

批判的勘定學說史	瑞西・ゴムベルグ撰・岡田誠一譯 昭和一〇 洋・中 (會計學名著選集本)	一	ネ一〇	三四五三	
費要勘定と收入勘定	日本會計學會創立二十周年記念論文集評價問題研究 同會編 昭和一二 洋・中	三	ネ一〇	三四九四	
貸借對照表分析論	臨時產業合理局財務管理委員會公表「標準財務諸表」草案に關する意見書 木村重義撰 洋・中 (小樽高等商業學校創立二十周年記念論文集)	一	サネ	九六 二	
	日本經營學會關西部會財務諸表專門委員會刊 昭和六 洋・中	一	ネ一〇	三四一五	
財務諸表準則	臨時產業合理局刊 昭和九 洋・中	一	ネ一〇	三四五七	
不正會計に關する犯罪の搜査と會計監査	渡多野義照撰 昭和三 洋・中 (司法研究)	一	ワ一	六三二七 七九	
物品經濟論	進藤誠一撰 昭和六 三版 洋・中	一	ネ一〇	三四〇三	
同		一	ネ一〇	三四〇四	
部分原價計算論	宮上一男撰 洋・中 (大阪商大經濟研究年報)	一	ヨ一	三六三五 八	
米國の會計學	黒澤清撰 洋・中 (米國の經營學)	一	ネ二	三三八七	
ヘラウアー經營計算論	附錄對照價格外五篇 久保田音二郎譯 昭和一二 洋・中	一	ネ一〇	三四八一	
貿易會計	附錄外國爲替管理法に伴ふ手續外三項 濱谷源藏撰 昭和一一 洋・中	一	ネ一〇	三四五九	
簿記及會計	渡部明撰 大正一二 洋・中	一	ネ一〇	三〇四一	
簿記及會計學	渡部寅二撰 大正九 再版 洋・中	一	ネ一〇	二五一六	
同		一	ネ一〇	二六五六	
實踐簿記及會計講義	古館市太郎撰 大正一二 洋・中	一	ネ一〇	三三九三	
簿記及貸借對照表	太田哲三撰 洋・小 (經濟學全集)	一	ヨ一	三四九三 四一	

近世簿記會計學 嶋俊德撰 大正九 再版 洋・中 一冊 ネ一〇類 三三三九號

簿記會計學上より銀行法第八條を論ず 小野澤義勝撰 洋・中 大倉高等商業學記念論文集（校訂立三十周年） 一 ネ一〇 三四一一

實用簿記會計の知識 岩垂至撰 昭和一〇 五版 洋・小 一 ネ一〇 三四四六

近世簿記講義 三邊金藏撰 大正一四 洋・中 一 ネ一〇 三三三三

近世簿記講義 三邊金藏撰 大正一五 再版 洋・中 一 ネ一〇 三三九六

近世簿記精義 吉田良三撰 大正三 洋・中 一 ネ一〇 三三四八

近世簿記精義 吉田良三撰 大正一一 二六版 洋・中 一 ネ一〇 二六九五

最近簿記計理學綱要 附錄添 木村禎橘撰 大正七 訂增三版 洋・中 一 ネ一〇 三三六二

近世簿記通論 三邊金藏撰 昭和七 洋・中 一 ネ一〇 三四一八

最近簿記問題詳解 實文館編輯所編 大正一三・一四 五・六版 洋・中 二 ネ一〇 三三三一

實用普通簿記 第三卷・實用篇 森田熊太郎撰 明治三〇 三版 洋・小 一 ネ一〇 二九六

理論應用實用簿記學講義 川戸藤吉撰 大正三 洋・中 一 ネ一〇 一三五四

小學記簿法 遠藤宗義編和・中 明治一一 一 ネ一〇 五一六

會計事務管理應用證憑式會計と傳票の作り方 附錄事務用紙類の寸法と市場出來合品字原義圖解 昭和一〇 洋・中 一 ネ一〇 三四三四

簿記

出雲帳合に於ける兩面勘定 山下勝治撰・彦根高商商業調査課刊 昭和一一 洋・中（調査研究本） 一 ネ一〇 三四六八

カード式記帳法の理論及實際 濱田四郎撰 明治三九 再版 洋・中 一 ネ一〇 一一四三

同 一 ネ一〇 一一四八

會計記帳事務詳解 中西新兵衞撰 大正一〇 洋・小 一 ネ一〇 二七二九

會計と帳簿 森田熊太郎撰 大正五 增訂三版 洋・中 一 ネ一〇 三三三八

新改良複式簿記 米・ヴァンクリーヴ撰・中村茂男譯 大正四 洋・中 一 ネ一〇 二八四〇

勘定學說研究 附錄勘定學說研究參考文獻目錄 畠中福一撰 昭和七 洋・中 一冊 ネ一〇類 三四二〇號

問題解說 企業簿記學 附錄昭和二年ヨリ昭和四年迄ノ全國高等商業竝ニ專門學校ノ試驗問題ト其解說外一項 河部繁一撰 昭和九 洋・中 一 ネ一〇 三四三一

近世簿記講義 三邊金藏撰 大正一四 洋・中 一 ネ一〇 三三三三

近世簿記講義 三邊金藏撰 大正一五 再版 洋・中 一 ネ一〇 三四五一

近世簿記精義 吉田良三撰 大正三 洋・中 一 ネ一〇 一六五六

近世簿記精義 吉田良三撰 大正一一 二六版 洋・中 一 ネ一〇 二八八五

改訂增補 近世簿記精義 吉田良三撰 大正一四 三版 洋・中 一 ネ一〇 三三三六

近世簿記通論 三邊金藏撰 昭和七 洋・中 一 ネ一〇 三四一八

最近簿記問題詳解 實文館編輯所編 大正一三・一四 五・六版 洋・中 二 ネ一〇 三三三一

實用普通簿記 第三卷・實用篇 森田熊太郎撰 明治三〇 三版 洋・小 一 ネ一〇 二九六

理論應用實用簿記學講義 川戸藤吉撰 大正三 洋・中 一 ネ一〇 一三五四

小學記簿法 遠藤宗義編 明治一一 和・中 一 ネ一〇 五一六

會計事務管理應用證憑式會計と傳票の作り方 附錄事務用紙類の寸法と市場出來合品字原義圖解 昭和一〇 洋・中 一 ネ一〇 三四三四

帳合之法 初編二編 米・ブライヤント竝スタラットン撰・福澤諭吉譯 明治八 和・中 四 ネ一〇 ＊一八〇

帳合之法 米・ブライヤント竝スタラットン撰・福澤諭吉譯 洋・中（福澤全集） 一 イ 四 三九九 三

同 一 イ 四 一〇四八 三

帳簿組織の研究 渡部寅二撰 昭和七 洋・小 一 ネ一〇 三四一九

統一簿記 機械製造工場用 全米商業會議所編・東京商工會議所譯 昭和九 洋・中（產業合理化資料） 一 ヨ 一 三五九七 二一

複式簿記の對象たる貨幣價値の本質 金子利八郎撰 洋・中（經營學論集） 一 ネ 二 三四七三 一一

簿記 吉田良三講（明治三九年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ネ一〇 一六六二

簿記 吉田良三講（明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ネ一〇 二〇七七

簿記 吉田良三講（早稻田中學講義） 洋・中 一 ネ一〇 一〇二八

簿記及會計 渡部明撰 大正一二 洋・中 一 ネ一〇 三〇四一

簿記及會計學 渡部明撰 大正九 再版 洋・中 一 ネ一〇 二五一六

簿記會計上より銀行法第八條を論ず 小野澤義勝撰 洋・中 大倉高等商業學記念論文集（校訂立三十周年） 一 ネ一〇 三〇八五

實踐簿記及會計講義 古館市太郎撰 大正一二 洋・中 一 ネ一〇 二六四一

簿記及貸借對照表 太田哲三撰 洋・小（經濟學全集） 一 ヨ 一 三四九三 四一

近世簿記會計學 嶋俊德撰 大正九 再版 洋・中 一 ネ一〇 三三三九

實用簿記會計の知識 岩垂至撰 昭和一〇 五版 洋・小 一 ネ一〇 三四四六

簿記會計法 附錄收支簿記法を論ず 下野直太郎撰 昭和六 洋・小 一 ネ一〇 二六五六

經濟學對照簿記學 勝村榮之助撰 明治三二 洋・小 一 ネ一〇 三三九三

同 一 ネ一〇 三三九四

簿記會計學上より銀行法第八條を論ず 小野澤義勝撰 洋・中 大倉高等商業學記念論文集（校訂立三十周年） 一 ネ 一 三六四一

簿記學講義 吉田良三講（明治三九年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ネ一〇 三〇八五

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科第三〇回講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 二五八六

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科第三一回講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 九九八

簿記學 松村吉則撰（早稻田大學政治經濟科講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 三〇三一

簿記學概論 中瀨勝太郎撰 大正一二 洋・中 一 ネ一〇 二五九九

簿記學原理及簿記新法 森村金造撰 大正八 洋・中 一 ネ一〇 二六九六

簿記學原論 兒林百合松撰 大正五 洋・小 一 ネ一〇 二三二二

簿記學講義 吉田良三撰（明治四一年度早稻田中學講義） 洋・中 一 ネ一〇 三三四八

簿記計算法 富中參三郎撰 昭和二 洋・小 一 ネ一〇 三三四八

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科明治三九年度講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 八九三

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 二三〇三

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科大正元年度講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 一五五三

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科第二九回講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 二五八七

簿記學 原口亮平撰 昭和六 洋・中（商學全集本） 一 ネ一〇 三四一一

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科明治三九年度講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 八九三

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科明治四二年度講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 二三〇三

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科大正元年度講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 一五五三

簿記學 松村吉則講（早稻田大學政治經濟科第二九回講義錄） 洋・中 一 ネ一〇 二五八七

簿記原理 上野道輔撰 大正一四 增訂三版 洋・中（會計學本） 一 ネ一〇 三二六四

簿記原理 黑澤清撰 昭和九 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 一

簿記原理大綱 上野道輔撰 昭和八 洋・中 一 ネ一〇 三四二三

簿記原理 上野道輔撰 大正一一 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 二九一九

簿記原理 上野道輔撰 大正一四 增訂三版 洋・中（會計學本） 一 ネ一〇 三二六四

簿記原理 黑澤清撰 昭和九 洋・中（會計學全集） 一 ネ一〇 三四二九 一

簿記新論 金子利八郎撰 昭和一一 洋・中 一 ネ一〇 三四五六

簿記精說 理論と實務 片野一郎撰 昭和一二 洋・中 一 ネ一〇 三四九五

簿記上の取引を論ず 原口亮平撰 洋・中 神戸高等商業學校創立二十五周年記念論文集） 一 ネ 一 三六三一

簿記通法	篠木伊勢松撰　明治三七　洋・中	一冊	ネ一〇	類八五四	一
理論と實際問題 簿記の研究	河部繁一撰　昭和二　洋・中	二	ネ一〇	三三五九	一
簿記の原理及記帳法	松村吉則講（明治四一年度高等國民教育）　洋・中	一	ネ一〇	一九三八	一
最近學說 簿記法大意	東奭五郎撰　大正二　洋・中	一	ネ一〇	九三三	一
簿記理論の研究	上野道輔撰　昭和三　洋・中	一	ネ一〇	三三六五	一
例解會計簿記精義	附錄實業學校教員檢定試驗簿記問題集及解說索引外四項　井上達雄撰　昭和九　洋・中	一	ネ一〇	三四三八	一
圖解詳說 近世商業簿記	笠木五千平撰　大正一二一〇版　洋・中	一	ネ一〇	三一六六	一
近世商業簿記	吉田良三撰　大正七　一二版　洋・中	一	ネ一〇	二四三一	一
同		一	ネ一〇	二四三二	一
近世商業簿記	吉田良三撰　大正八　改訂一八版　洋・中	一	ネ一〇	二八二三	一
同		一	ネ一〇	二八二三	一
近世商業簿記	吉田良三撰　大正一二　第二回改訂三一版　洋・中	一	ネ一〇	三〇三六	一
同		一	ネ一〇	三〇三七	一
近世商業簿記	吉田良三撰　大正一四　第二回改訂四二版　洋・中	一	ネ一〇	三二九一	一
和洋折衷 最新式簿記	土屋長吉撰　明治三九　洋・小（商業實務叢書本）	一	ネ一〇	九七六	一
最新商業簿記	村瀨玄・竹内正太郎撰　明治三七　三版　洋・中	一	ネ一〇	三一九	一
最新商業簿記原論	附錄九去檢算法の研究外八項　岡田誠一撰　昭和三　再版　洋・中	一	ネ一〇	三三五六	一
最新商業簿記及表解と公式	村田謙造撰　大正一〇　三版　洋・小	一	ネ一〇	三三四〇	一
複式實務商業簿記	島川幸男撰　大正一一　洋・小	一	ネ一〇	二八二九	一
同		二	ネ一〇	二八五五	一
支那商業簿記法一斑	洋・中（清國商業綜覽）	一	ネ一	一二三七	一
商家實用 帳合活法	石川豐太郎・秋山行藏編　明治二三　洋・小（博文館叢書本）	一	ネ一〇	八	一
同		一	ネ一〇	九	一
新案詳解 商業簿記	東奭五郎撰　明治三六　洋・中	一	ネ一〇	六三三	一
同		一	ネ一〇	六三四	一
實用 商業簿記	飯島和一撰　明治三七　九版　洋・小	一	ネ一〇	八〇八	一
商業簿記	根岸正一撰　昭和一二　洋・中	一	ネ一〇	三四八三	一
商業簿記	吉田良三講（第一回早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	一〇五二	一
商業簿記	吉田良三講（第七回早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	二五七五	一
商業簿記	吉田良三講（明治三九年度早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	一三七九	一
商業簿記	吉田良三講（明治四〇年度早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	一九八二	一
商業簿記	吉田良三講（明治四一年度早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	二三二五	一
商業簿記	吉田良三講（明治四二年度早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	一〇〇三	一
商業簿記	吉田良三講（明治四三年度早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	九六八	一
最新商業簿記	吉田良三撰　明治四二　一三版　洋・中	一	ネ一〇	三二八〇	一
最新商業簿記	吉田良三撰　大正二　第二回訂正二七版　洋・中	一	ネ一〇	二八二四	一
商業簿記及會計	中村茂男撰　大正三　洋・中（高等實業講座）	一	ネ一	一二二六	四

商業簿記學	寺澤正雄撰　昭和一〇　洋・中	一	ネ一〇	三四五五	一
最新商業簿記學	吉田良三撰　明治三七　洋・中	一	ネ一〇	七四八	一
同		一	ネ一〇	七五八	一
最新商業簿記學	吉田良三撰　明治三七　再版　洋・中	一	ネ一〇	七九四	一
新商業簿記學	吉田良三撰　明治三八　改訂六版　洋・中	一	ネ一〇	九三〇	一
最新商業簿記學例題	吉田良三撰　明治三八　再版　洋・中	一	ネ一〇	九五〇	一
最新商業簿記學例題	吉田良三撰　明治三八　三版　洋・中	一	ネ一〇	九三一	一
商業簿記教科書	鹿野清次郎・國井勘助撰　大正九　洋・中	二	ネ一〇	二八四五	一
訂正增補 商業簿記教科書	佐野善作撰　明治三六　一五版　洋・中	一	ネ一〇	六三七	一
最新商業簿記教科書	田尻常雄・西郷齊員撰　明治四一　訂正三版　洋・中	一	ネ一〇	一六〇九	一
商業簿記講義	中村茂男撰　大正一四　洋・中	一	ネ一〇	三三一七	一
最近商業簿記講話	須藤文吉撰　大正一四　洋・中	一	ネ一〇	三三三五	一
教科適要 商業簿記十例題	東奭五郎撰　大正二　一五版　洋・中	一	ネ一〇	二八七八	一
商業簿記小教科書	佐野善作撰・三宅松之助刪輯　明治三六　再版　洋・中	一	ネ一〇	六三五	一
同		一	ネ一〇	六三六	一
商業簿記小教科書	佐野善作撰・三宅松之助刪輯　明治三六　三版　洋・中	一	ネ一〇	一二三一	一
商業簿記提要	吉田良三撰　昭和九　洋・中	一	ネ一〇	三四三六	一
商業簿記獨習書	竹内正太郎撰　明治四一　四版　洋・中	一	ネ一〇	一八二五	一
商業簿記の常識	黒澤清撰　昭和六　洋・小（商業常識講座本）	一	ネ一〇	三四〇六	一
知らぬと損 大商業簿記の知識	田尻敏撰　大正一三　洋・小	一	ネ一〇	三三七四	一
新式商業簿記法大意	岡田誠一撰　大正一三　洋・中	一	ネ一〇	三三五三	一
模範商業簿記問題及解說	寶文館編輯所編　大正一三　洋・中	一	ネ一〇	三三三〇	一
新案詳解 商業簿記問題集	東奭五郎撰　明治四二　洋・中	一	ネ一〇	三三四四	一
商業簿記要論	根岸正一撰　大正一五　洋・中	一	ネ一〇	三三四四	一
應用 商業簿記例題	和英兩文關一・祖山鍾三撰　明治三六　九版　洋・中	一	ネ一〇	九四九	一
應用 商業簿記例題	和英兩文關一・祖山鍾三撰　明治三七　一〇版　洋・中	一	ネ一〇	八一七	一
最新商業簿記例題	吉田良三撰　明治四一　洋・中	一	ネ一〇	一四九四	一
新撰商業簿記	附錄高等商業學校入學試驗問題集　渡部寅二撰　昭和二・三　改訂再版　洋・中	二	ネ一〇	三三六〇	二
簿記	下野直太郎講（大日本實業學會講義錄）　洋・中	一	ネ一〇	三八二	一
簿記學	堀内正善講（專修學校講義錄）　洋・中	一	ネ一〇	一九	一
明治以前長崎ニ傳ハリシ蘭文伊太利式（商業）簿記書ニ就テ	武藤長蔵撰　大正一〇（國民經濟雜誌第三〇卷第一號拔刷）　洋・中	一	ネ一〇	一六八六	一
新制 銀行簿記	附錄銀行法外六項　畠山豐吉撰　昭和四　洋・中	一	ネ一〇	三三七九	一
銀行事務及簿記	畠山豐吉撰　大正一三　再版　洋・中	一	ネ四	三二七四	一
銀行簿記	原靜撰　昭和八　洋・中	一	ネ一〇	三四二三	一
銀行簿記	茂木英雄撰　大正三　洋・中（高等實業講座）	一	ネ一	一二二六五	一
銀行簿記	吉田良三講（明治三九年度早稻田商業講義）　洋・中	一	ネ一〇	三四八九	一

銀行簿記　吉田良三講（明治四〇年度早稲田商業講義）　洋・中　冊 ネ一〇 類 一七〇三 號
銀行簿記　吉田良三講（明治四一年度早稲田商業講義）　洋・中　一 ネ一〇 二三四〇
銀行簿記　吉田良三講（明治四三年度早稲田商業講義）　洋・中　一 ネ一〇 九六九
銀行簿記　吉田良三講（第七回早稲田商業講義）　洋・中　一 ネ一〇 二五七六
最新銀行簿記　吉田良三撰　明治三九　洋・中　一 ネ一〇 一〇四七
同　一 ネ一〇 一〇四八
最新銀行簿記　吉田良三撰　明治四三　一二版　洋・中　一 ネ一〇 二三八三
銀行簿記及實務　附錄銀行法外一項　昭和五　洋・中　樫尾謙撰　一 ネ一〇 三三七八
修正銀行簿記學　森川鑑太郎撰　明治三六　九版　洋・中　一 ネ一〇 六三九
同　一 ネ一〇 六四〇
銀行簿記計算法　下野直太郎撰　昭和二　洋・中　一 ネ一〇 三三五〇
銀行簿記講義　柳樂健治撰　大正一五　三版　洋・中　一 ネ一〇 三三四五
銀行簿記精義　川口酉三撰　大正五　洋・中　一 ネ一〇 三四八八
改訂銀行簿記精義　川口酉三撰　大正一五　增補一九版　洋・中　一 ネ一〇 三三五八
銀行簿記精法　五卷　英・啊爾陲運慶述・海老原濟・梅浦精一譯・大藏省刊　洋・中　一 ネ一〇 *二九三
銀行簿記提要　吉田良三撰　昭和四　洋・中　一 ネ一〇 三三六八
銀行簿記の常識　太田哲三撰　昭和六　洋・小　（商業常識講座本）　一 ネ一〇 三四〇五
模範銀行簿記問題及解說　實文館編輯所編　大正一四　洋・中　一 ネ一〇 三三八一
應用銀行簿記例題　水島銕也・原口亮平撰　明治三六　再版　洋・中　一 ネ一〇 八一六

○

カード式工業記帳法　山田四郎編　明治四一　洋・中　一 ネ一〇 二一六四
家計簿記學　石橋多喜郎・松本平太郎撰　明治二七　洋・小　（通俗教育全書本）　一 ネ一〇 三一
官廳簿記法　平山慶次郎撰　大正一〇　洋・小　一 ネ一〇 二七一七
實選官用簿記　和田昌夫撰　明治三七　補正四版　洋・中　一 ネ一〇 七六〇
工業簿記　附錄會計學上の諸問題　昭和三　洋・中　陶山誠太郎撰　一 ネ一〇 三三八〇
工業簿記（明治四三年度早稲田商業講義）　洋・中　土屋長吉講　一 ネ一〇 九八七
工業簿記（明治四四年度早稲田商業講義）　洋・中　土屋長吉講　一 ネ一〇 九八〇
工業簿記（第七回早稲田商業講義）　洋・中　土屋長吉講　一 ネ一〇 二五七七
工業簿記　吉田良三撰　大正七　再版　洋・中　一 ネ一〇 三三七三
工業簿記　吉田良三撰　大正七　四版　洋・中　一 ネ一〇 三三四三

工業簿記　吉田良三撰　洋・小　（經濟學全集）　一 ヨ 一 三四九三 四一
工業簿記　芳野國雄撰　洋・中　（工業經營講座）　一 ヨ 八 三四九九 七
工業簿記講義　柳樂健治撰　大正一五　三版　洋・中　一 ネ一〇 三三四六
工業簿記提要　鹿野清次郎撰　昭和六　洋・中　一 ネ一〇 三三九四
工業簿記提要　吉田良三撰　昭和四　洋・中　一 ネ一〇 三三七〇
工業簿記と原價計算　吉田良三撰　昭和三　洋・中　一 ネ一〇 三三六六
工業簿記の研究　山邊六郎撰　昭和一二　洋・中　一 ネ一〇 三四九三
實踐工業簿記要說　村瀨玄撰　昭和一二　洋・中　一 ネ一〇 三四六九
新工業簿記　村瀨玄撰　昭和一一　洋・中　一 ネ一〇 三四七〇

通俗工業簿記　馬詰次男撰　明治三二　洋・中　（通俗百科全書本）　一 ネ一〇 五一五
官廳簿記　社團法人全國無盡集會所編　昭和七　洋・中　一 ネ一〇 三四一四

無盡簿記精義

雜誌

會計　卷一號一（大正六年四月）ヨリ　日本會計學會刊　洋・中　一三 サネ 一二
計理學研究　號一至三五　計理學研究會編　大正七至昭和五　洋・中　一三 サネ 一三
全日本計理士協會會報　號二至八　同會刊　號三至六　昭和六　洋・中　一 サネ 八九
日本會計士會々報　號二至八　同會刊　大正一二至昭和二　洋・中　七 サネ 九一 一七
日本計理士會々報　號九至一三　同會刊　昭和四至九　洋・中　（日本會計士會々報ノ改題）　四 サネ 九一 八一二

書名索引

本館使用假名遣表

イ	ヰ	ヴィ・ギ
エ	エ	ビュウ・ビウ
オ	ヲ	ヒヤウ・ヘウ
オウ	アウ・アフ・オフ・オホ・ワウ	ブ ヴ
カ	クワ	ベ ヱ
カイ	クワイ	ホウ ハウ・ハフ
カク	クワク	ミヨウ ミヤウ・メウ
カツ	クワツ	モウ マウ
カン	クワン	ユウ イウ・イフ
キユウ	キウ・キフ	ヨウ エウ・エフ・ヤウ
キヨウ	キヤウ・ケウ・ケフ	リユウ リウ・リフ
コウ	カウ・カフ・クワウ・コフ	リヨウ リヤウ・レウ・レフ
ジ	ヂ	ロウ ラウ・ラフ

シユウ	シウ・シフ	
ジユウ	ジウ・ジフ・ヂユウ	
ショウ	シヤウ・セウ・セフ	
ジョウ	ジヤウ・ゼウ・ヂヨウ・デウ・デフ	
ズ	ヅ	
ソウ	サウ・サフ	
チユウ	チウ・チフ	
チョウ	チヤウ・テウ・テフ	
トウ	タウ・タフ	
ニユウ	ニウ・ニフ	
ニョウ	ネウ・ネフ	
ノウ	ナウ・ナフ	
バ	ヴァ・ヴ	

書名索引

頁

ア

愛國生命保險株式會社報告書 二九
愛知縣主催第十回關西府縣聯合共進會審査復命書 一六
愛知縣商品陳列館館内雜觀 一四一
愛知縣商品陳列館統計圖表 一四一
愛知縣商品陳列館内諸會々則及名簿 一四一
愛知縣商品陳列館報告 一四八
愛知縣商品陳列館要覽 一四一
愛知縣商品陳列所要覽 一四一
愛知縣生產品輸移出調 一五二
愛知縣枇杷島靑物市場調査 七
愛知商工 三一
アイドル・コストの問題 一五六
靑田貸ニ關スル佛國ノ法制 七三
靑森縣商工業の狀態 七
赤字財政下のインフレーション 研究 七六・九五
アクセプタンス 一二八
麻織物 九
旭川區商工人名錄 一六
アストリア 二七
東奥五郎先生下野直太郎先生古稀記念論文集 一五五
アダム・ミュラーと浪漫的・普遍主義經濟學概說 二九
新らしい商業經濟の字引 Accounting and its Subjects Matter 四
阿弗利加視察報告書 二七
阿弗利加西部海岸視察報告書 七六
亞米利加合衆國ニ於ケル農作物保險(其ノ一) 一三五
アメリカ貨幣政策批判 九〇
アメリカ金融制度改革論 七六
亞米利加瑣談 六二
亞米利加事情 七
アメリカ鐵道業に於ける持株會社の發達 三六
アメリカに於ける市場分析研究 四〇
アメリカに發展せる豫算統制 四〇
アメリカ發見以後世界に於ける金及び銀の生產 九六
アメリカ復興金融會社の機能概要 七二・七六
アモーチゼーション 二五
阿雄博覽會案内 一四
アリストテレースの貨幣觀 九〇
アルジエリー銀行ノ發達及其現況 七三・一〇六
亞爾然丁の最近經濟事情竝に日亞貿易に就いて 一三
アルミニウム・ブロンズの腐蝕に就いて 一三五

イ

家に關する一考察 一二四
如何にして我國人口問題を解決すべきか 七三
英吉利地金論爭書目解說 七三
意見書 七三
異國へ通商の御朱印寫 一六
伊國信用組合 五三
伊國保險官營法及同附屬法令 二六
石川縣物產陳列館一覽 一四一
石川縣物產陳列館年報 一四一
維新前後外國貿易論 一〇〇
維新前後商業史 二六
出雲幌合に於ける兩面勘定 一六四
伊・西・葡・白貯金機關論 一三三
伊太利金融制度論 七三・七六
伊太利貯金機關論 一三三
伊太利ニ於ケル國營保險 二六
伊太利に於ける生命保險官營問題を論ず 一三九
伊太利に於ける代理商に就て 七
市場 四
一萬圓儲けるまで 二九
一粒千金理財の種蒔き 一三三
一千八百七十七年米合衆國貨幣取調委員報告書 一〇一
一九〇〇年巴里萬國大博覽會第十三部第八十四類出品審査報告 一四
一九一九年印度貨幣爲替調査委員會ニ提出セル「ベンゴール」商業會議所意見書ノ大要 七五
一九二〇年印度政府ノ管米法梗概 七五
一九二〇年度銀の需給を論じて本年度に及ぶ 七五
一九二一年に於ける獨逸八大銀行の營業狀態 七四
一九二一年ノ銀塊市況 七四
一九二二年以降の支那外國貿易 五〇
一九二二年會計年度獨逸財政計畫及稅制 七四
一九二三年船主責任の制限に關する統一條約準備案に就て 二六
一九二四至一九二六年支那各港貿易額 五六
一九二四年ヨーク・アントワープ規定小解 二七
一九二七年度に於けるソウエート聯邦の對東方諸國貿易 五八
一九三三年會計學界 一六三
一般會計 一五七
一般海上保險ノ再保險ノ引受ヲ政府ノ特許セル海上再保險ニ許スヲ可トスルノ提議 一三二
一般的經濟價値の保持者 二六
一般日用品輸入防壓ニ關スル調査 四六
絲割符由緒書 四九・五〇
井上準之助氏の著『戰後に於ける我國の經濟及金融』を讀む 七二・七六
井上準之助論叢 七一
鑄物工場の原價計算 一五六
イラク(Iraq)經濟事情 七六
所謂船體保險料引上問題に就いて 一三二
印刷原價算出法 一五六
印度外國貿易の近狀 五二
印度甲谷陀日本商品館々報 六九
印度爲替問題 七五・一八
印度產業貿易情勢 五二
印度支那銀行報告 七五・一五
印度信託法 一六

印度に於ける阿片等麻藥類の生產及取引等の狀況　一四四
印度の銀行制度　一〇八
印度の金流出に就て　七六・九五
印度の現狀に就て　七五
印度の黃麻工業と滿洲に於ける麻袋　一四六
印度幣制委員報告ヲ讀ム　七五・九五
印度幣制改革問題　九五
印度幣制調査委員會最終報告書　九五
印度貿易概況　五三
印度貿易と產業革命　五〇
印度棉花事情　五二
インフレーション會計　一五六
インフレーション下に於ける會計處理に就ての若干回想　三四・八〇・九六・一五九
インフレーション期のドイツ保險業　一三六
インフレーションと企業の評價に就て　八〇・九六・一五九
インフレーションと銀行信用　三四・八〇・九六
インフレーションと貿易との關係　四九・八〇・九六
インフレーションに關する調査　七六・九五
インフレーションの一考察　七六・九五
インフレーションの理論と實際　七七・九五

ウ

「ウイルソン」より「ムツソリニ」まで　二八
ウキンド書報　一四九
ウールワース五十年史　二九
上田地方產業研究資料集　七
魚市場ニ關スル調査　一四一
羽前羽二重　一六
宇都宮市商工要覽　七・二六・四一
馬市考　七四
浦鹽以北ノ西伯利亞諸港　五二
浦鹽港ニ於ケル最近朝鮮貿易概況　七三
浦鹽港ニ於ケル朝鮮貿易概況　七三
浦潮斯德經濟狀況　五二
浦潮斯德商港　一一三
浦手形　七四
烏拉爾ノ鑛業　一五六
運送會計　一五六・一七
運送業會計　四一
運輸經營と會計管理　一五六

エ

映畫及劇場會計　一五六・一七
營業權の擔保能力　七五
營業收益に關する保險について　一四八
營業無盡論　一五六
營業豫算統制の實際　九五
營口の過爐銀　一四八
英國エセイの本質に就いて　二八
英國大藏省證券と倫敦金融市場　一四九
英國及其殖民地ニ於ケル貯金機關論　七
英國海上保險法　一四一
英國金銀調査委員會報告書概要　一六
英國銀行の眞髓　七
英國金本位制の停止と金本位制の將來　九七
英國金融機關系統　一〇八
英國金融事情　九五
英國衡平法と信託制度　七四
英國國民性と「ロイド」　一三
英國國立保險　七四
英國最近の通商政策　三三
英國商業雜誌　一五六
英國商業史　三
英國商業實務　三
英國植民地の織物輸入割當制　五二
英國貯蓄制度ニ關スル調査　一二三・一二四
英國と自由貿易　四六
英國ニ於ケル海上保險ノ概況　一二三
英國ニ於ける銀行支店制度　七一
英國に於ける計算人の職務の一としての「財產の管理及處分」に就て　一五七
英國に於ける正貨準備に關する覺書　九六
英國に於ける貿易統制諸提案　五二
英國に於ける Moneyed Interest の發達と英蘭銀行の創立　二六・一〇八
英國の改造と貿易　四六
英國の銀行及金融　一〇八
英國の金融市場と財政　七一・七七
英國の金融組織と英蘭銀行の機能　七二
英國ノ對印度輸出振興策ト印度ニ於ケル日本品消長　五二
英國の貿易政策　五二
英國貿易事情ノ變化及ビ最近ニ於ケル英國銀行ノ海外發展計畫　七
英國免許會計人の特に火災保險業者を援助する一例　一五七
英國友誼組合法　一三七
英語講義　二
英語講話　三
英語商業通信（石井靜人）　三
英語商業通信（高島佐一郎）　三・七五
英語商用會話　二五
英語商用作文　三三
英習字講義　三
英商文練習書　三三
英商法の特質と由來とに就て　二九
英支兩國の紛爭と日英貿易の消長　六・五二
英人貿易名鑑　六八
英・獨失業保險法とその實施狀態　一三八
英佛公債案內　七四
英文商業書簡及電報　三三
英米會計士事情　一五六
英米獨の戰時金融施設　七七
英米獨の戰費と金融　七七
英・米・獨・佛・伊の金解禁經緯　九五
英米獨佛最近の銀行事情　一〇八
英米獨佛における金移動問題　九五
英米獨佛の戰費と金融　七四
英米ニ於ケル製鐵業ノ趨勢　七三
英米の會計學界　一五六
英米佛の戰時金融施設　七四
英米訪問實業團誌　二九
英米兩式商業英語檢討　二四
英法に於ける社債發行要件　二八

英蘭銀行生成史の一側面　一二三
英蘭銀行保管ソヴイエット政府所有金に對する英法上の解釋　七五
營利主義の再吟味　三五
英領印度の關稅政策　二六
英領印度貿易指針　五二
英領馬來に於ける重要資源の調査　七六
英領馬來ノ米穀管理ニ就テ　七五
英和外交商業字彙　四
英和商業經濟辭典　四
英和商實用會話　二五
英和商用はがき用文　三三
英和對譯最新商用通信易經に見れたる生產分化　二四
埃及經濟事情　二七
埃及經濟事情と日埃貿易　五三
埃及國立銀行及埃及農業銀行　七四・一〇八
埃及・產丹棉花の現狀及將來　一四二
越佐の米　一四二
江戸買物獨案內（附飮食之部）　一六
江戸時代初期の日比貿易　二七・五〇
江戸時代に於ける町人に對する思想　四四
江戸書籍商史　四一
江戸文學に現れたる商人及び商業　四五
エドワード・ジョーンズ及びレオン・カロル・マーシャルの經營學論　四〇
F・O・B・契約に於ける費用の負擔　二六・四六
エルスターの貨幣概念　二六・九〇
鹽化銀の電解還元に就いて　九九
圓貨の價值に就いて　七二・九五
圓爲替政策の硏究　一二八
遠征　一二八
豌豆菜豆ニ關スル調査　六八
圓・弗・磅・法の話　七三
鉛筆餘唾　九五
遠洋航路關係諸外國トノ貿易狀況　四三

オ

大分縣北海部郡地方改良事業共進會概況　一四五
大分縣坂の市町滿弘寺市に關する調査　一四
大分縣主催第十四回九州沖繩八縣聯合共進會審査復命書　七
大分高商硏究資料彙報　一六
大分高商商業論集　三一・三二
大分高等商業學校商事調査　一四
大分市生石濱之市に關する調査　四一
大分市に於ける營業の種類及び分布　七
大分地方に於ける主要產物の買集組織　九
奧羽聯合共進會案內　一四
大久保內務卿時代の貿易海運保護奬勵政策　五〇
大倉學會雜誌　七
大倉高等商業學校創立三十周年記念論文集　七三
大藏省火災保險取調掛の書類　一三五
大藏省火災保險取調掛の顚末　一三五
大藏省各種產業に及ぼしたるインフレーションの影響　七六・九五
大藏省社會保險法令要覽　一三八
大藏省土地抵當銀行定款　一一五
大藏省博覽會參同記要　一四
大藏省博覽會筆記　一四
大藏省博覽會會便覽　一四
大藏省郵便貯金機關ノ小切手制度　一三
大阪開港當初外國商人の不正行爲　四一・五〇
大阪開港と諸藩　四一・五〇
大阪株式取引所定款營業細則其他諸書類　一四九
大阪株式取引所報告　一四九
大阪株式取引所報告明細書　一四九
大阪北濱銀行式紙竝通帳　一一五
大阪銀行通信錄　一三四
大阪經濟史硏究　四一
大阪化粧品商報　一四八
大阪高等商業學校銀行業務硏究室調査報告　七一
大阪市を中心とする配給市場組織の比較硏究　九
大阪市に於ける吳服店員の生活と勞働　八
大阪市に於ける信託業の發達　二六
大阪市に於ける藥業商店員の生活と勞働　一三
大阪商業會議所統計年報　五三
大阪商業會議所年報　四三
大阪商業史資料　四三
大阪商業習慣取調書　四三
大阪商業習慣錄　六・四三
大阪商業史料集成　四三
大阪商工會議所統計年報　五三
大阪商工業概要　七
大阪商工銘家集　一六
大阪商船　一五〇
大阪昔時の信用制度　四二
大阪倉庫株式會社營業規則保管料定率表式紙　一四〇
大阪第百二十一國立銀行讓請願書及指令　二五
大阪通商會社及大阪爲替會社　一四九
大阪堂島舊記　一四九
大阪堂島米穀取引所營業報告　一五〇
大阪堂島米穀取引所沿革　六・一五〇
大阪堂島米穀取引所定款竝營業細則式紙類　一五〇
大阪堂島米商沿革　一五〇
大阪と天災　四一
大阪と綿業　四一
大阪の商業と近江商人　四一
大阪の商品券調査　七
大阪博覽會便覽　一四
大阪肥物商組合一斑　四三
大阪府管內巡察記　四三
大阪府損失補償制度ニ依ル中小商工業及罹災復興資金融通狀況調　七七
大阪貿易彙纂　五三
大阪優良品協會カタログ　一四二
大阪優良品協會創立拾周年記念史　二九・一四二
大坂兩替商舊記　四三
歐洲開戰前後ニ於ケル倫敦銀塊・南北滿洲通貨及大連爲替相場一覽　九五
歐洲開戰前後ニ於ケル倫敦銀塊・南北滿洲通貨及大連爲替相場高低表　九五
歐洲貨幣史　一〇三
歐洲主要交戰國ノ戰後經濟策　七四
歐洲商業開化史　四三
歐洲諸國銀行制度　一〇八

歐洲諸國戰後の通貨安定（中小諸國の部）　七六・九五
歐洲戰後に於ける貨幣制度の改革　七四
歐洲戰後の財政及金融　七七
歐洲戰後本邦貿易ノ趨勢　五三
歐洲戰時の金融問題一斑　七九
歐洲戰爭ト揚子江流域ニ於ケル列國ノ貿易　五三
歐洲戰亂影響報告書　五三
歐洲戰亂と世界の貿易　五三
歐洲戰亂ニ依リ東洋方面へ輸出增進ノ見込アル商品調　五三
歐洲戰亂の大阪港に及ぼせる影響　五三
歐洲列强の財政及金融　七七
歐洲露西亞ニ於ケル日本紅茶販路開設上ノ實況　五三
埃太利保險業令　二六・二七
埃太利郵便小切手制度關係法規　一三
埃太利勞働者災害保險及疾病保險ニ關スル法律　一三八
オースチン氏ノ銀生産費調查報告書　九五
歐米社會事情に就て　一三七
歐米商業取引　一八
歐米諸國紙幣制度　九五
歐米諸國貯金機關論　一三
歐米倉庫事業取調報告　一三
歐米取引所　一五・一六
歐米取引所調查特別報告　一五
歐米に於ける會計士制度　三四・一五八
歐米に於ける火災保險料率の協定に就て　一三一・一三四
歐米に於ける最近の航空保險　一三一
歐米に於ける事業統制と證券金融　一五一
歐米の財政經濟事情　八六
歐米之商業經營　二
歐米貿易事情　六三
歐米保險大觀　二六
近江商人　八
近江商人の活躍について　四二
近江商人の金融力　八五
大店と小店の背景競爭　二
應用銀行學　一〇六
歐陸諸邦會計檢查院事務取調書　二六
鴨綠江ノ木材　一八七
オーリンの貿易理論　七三
岡山縣ノ薄荷　四六
岡山商工人名錄　四二
小樽港出入貨物統計　一六
小樽高等商業學校創立二十周年記念論文集　五三
小樽高等商業學校創立二十五周年記念論文集　二六
小樽實業統計要覽　二六
小樽商業會議所統計年報　七
小樽商業統計一斑　一三
小樽商業統計要覽　一五
小樽商工案內　一五
小樽商工會議所統計年報　一五
小樽商工業統計一斑　一五
小樽商工業統計書　一五
小樽商工人名錄　一五
小樽商品陳列會報告書　一五
小野組破產關係書類　一五
尾道商業沿革史料　一五
オリエンタル商報　一五
オリエンタル・ニュース　一五
織物　一五
織物講座　一五
織物市場としての蘭領印度　一五
織物類の貿易に就て　一五
The organization and system of the commonwealth bank of Australia　一五
卸賣業者の單複制度と賣買制度　一五
卸賣商業に影響する經濟的諸要素　一五
卸賣物價統計月報　一五
卸賣物價統計表　一五
卸賣物價と世界貨幣用金保有高との關係　一五
會計學上より監查役の職責を論ず　一五
會計學全集　一五

カ

カード式記帳法の理論及實際　一九・一六四
カード式工業記帳法　一六八
カード式事務法　三
カード・システム　二・一八
海運　五
海運政策概論　四八
海運と外國貿易　四一・五〇
海外移民貿易事情　二
海外各地に於ける重なる日本商品取扱商店調查　七
海外爲替要論　二八
海外銀行一斑　一〇九
海外銀行ノ活動ト朝鮮銀行　一〇九
海外金融市場　七七
海外經濟事情　六九
海外市場に於ける本邦綿布　五三
海外市場ニ於ケル本邦輸出帽子及同材料ノ需給竝外國品トノ競爭狀況　五三
海外實業練習生一覽　七
海外出張員報告　七
海外商業實務　一九・一〇九
海外商報　六九
海外新市場　六・四六
海外製茶貿易意見　六八
海外に於て外國商品を取扱ふ本邦人商店調查　七
海外貿易擴張論　四六
海外貿易事情　五三
海外保險事情　一二六・一二八
海外有價證券市場論　一五四
外貨公債發行目論見書　八
海關中外貿易統計年刊　五三
概觀日濠問題　二六・五三
海峽殖民地最近事情　七五
會計　一六九
會計及び貸借對照表　一五六
會計學（高瀨莊太郎）　一五六
會計學（松村吉則）　一五六
會計學（三邊金藏）　一五六
會計學（吉田良三）　一五六
會計學概論（太田哲三）　一五六
會計學概論（大森研造）　一五六
會計學概論（三邊金藏）　一五六
會計學基礎原理　一五六
會計學研究（碓氷厚次）　一五六
會計學研究（太田哲三）　一五六
會計學原論（蒲生保郷）　一五六
會計學原論（原島茂）　一五六
會計學原論（ホッヂ竝マツキンセー）　一五六
會計學講義　一五七
會計學綱要　一五七
會計學實務　一五七
會計學上の諸問題　一六八
會計學上より監查役の職責を論ず　一五七
會計學全集　一五七

會計學通論　一五七
會計學提要　一五七
會計學の定義に就て　一五七
會計學論叢　一五七
會計監查（日本會計學會）　一五八
會計監查（三邊金藏）　五・一五八
會計監查（吉田良三）　一五八
會計監查（渡部義雄・同寅二）　一五七・一五八
會計監查研究　一五八
會計監查綱要　一五八
會計監查士法案及會計士法案に關する帝國議會の議事　一五七
會計監查法　一五八
會計監查法綱要　一五八
會計監查要論　一五八
會計記帳事務詳解　六四
會計經營及商法の實際問題　一五八
會計決算事務詳解　一五八
會計檢查院史　一五八
會計檢查院法改正意見書　一五八
會計士觀の種々相　一五九
會計士（計理士）制度研究　三四・一五八
會計士職務要領　一六一
會計實務誌　一五九
會計事務管理論　一五七・一五九
會計上の諸問題　一五九
會計數理　二・一五七・一五九
會計制度要論　一五九
會計制度論　五・一五九
會計組織の立て方　一五九
會計とインフレーション　一五九・六四
會計と帳簿　二八・一五九
會計の種類　一五九
會計の智識　一五九
會計法　一五九
會計法會計規則通義　一五九
會計法規通論　一五九
會計法釋義　一五九
會計法述義　一五九
會計法論　一五九
會計理論　一五九
會計論　一五九
開原糧穀取引事情　七・七六
外交通商史談　五〇
外交販費と其指導方法　一
外國爲替（河津暹）　二八・二九
外國爲替（小林行昌）　二九
外國爲替（水野重也）　二九
外國爲替（森廣藏）　二九
外國爲替概論　二九
外國爲替・爲替市場論　七三・二九
外國爲替換算表　二九
外國爲替換算法　二九
外國爲替管理法　二九
外國爲替管理法竝に關係命令　一三〇
外國爲替管理法に伴ふ手續　四八・六三
外國爲替管理法の機能　二九
外國爲替記帳法　二九
外國爲替矯正策　九五・二九
外國爲替・金・銀　九五
外國爲替講話（大島堅造）　二九
外國爲替講話（東田藤吉）　二九
外國爲替實務誌（大槻爲八）　二九
外國爲替實務誌（岡上虎三郎）　二九
外國爲替詳解　二九
外國爲替通論　二九
外國爲替ト其相場ノ變動　七五・二九
外國爲替取引解說　二九
外國爲替ノ基礎知識　二九
外國爲替の實際　四八
外國爲替の說明　七・七六
外國爲替論（天野爲之）　五〇
外國爲替論（アーセン）　一
外國爲替論（添田壽一）　五・三三・二〇
外國爲替論（谷口吉彥）　二〇
外國爲替論（古屋美貞）　二九
外國爲替論（堺井光藏・傍島省三）　五・一二〇
外國市場開拓ニ對スル獨逸ノ方策　七四
外國人の見た金解禁問題の考察　九五
外國ニ於ケル信託ニ關スル調查　一一七
外國に於ける勞働者貯蓄金　一三三
外國不動產銀行調　一〇九
外國貿易（後藤市藏）　五三
外國貿易（益田孝）　五〇
外國貿易（安川雄之助）　四六
外國貿易（苓北文庫）　三三
外國貿易及金融市場　四六・二三
外國貿易概觀（立石信郎）　四八
外國貿易概覽（大藏省主稅局）　三三
外國貿易額對照表　五三
外國貿易擴張論　四八
外國貿易原論（アリツフキン）　四六
外國貿易原論（野坂甞治・辻宏吉）　五三
外國貿易策論　四六
外國貿易實踐（栗原一平）　四六
外國貿易實踐（フウバア）　四八
外國貿易實踐及び英語商業通信（石井靜人）　四六
外國貿易事務研究　四六
外國貿易政策（油本豐吉）　四六
外國貿易政策（井上辰九郎）　四六
外國貿易竝商業上の慣例　四二
外國貿易に於ける橫濱港の地位　六・三三
外國貿易年表　三三
外國貿易年報　三三
外國貿易の實務　三
外國貿易の手續　四六
外國貿易の見方　四六
外國貿易問題　四六
外國貿易理論　四六
外國貿易論（油本豐吉）　二・二七・四七
外國貿易論（天野爲之）　四六
外國貿易論（井上辰九郎）　四七
外國貿易論（ケアンズ）　四七
外國貿易論（添田壽一）　四六・四七
外國貿易論（バステーブル）　四六
外國貿易はどうなるか　六九
外國保險業法（英・西・瑞西）　二六・二七
外國郵便爲替郵便振替業務狀況　一二
回顧三十年　一四一
外材　六九
外債各年發行高・償還高竝各年末現在高表　九五
海產物取引慣例取調書　七
海產物に關する輸入品調查報告書（溜洲國）　六七
會社營業標本　一二六
會社會計　一五七
會社會計實務　一五七
會社解散・減資及社債償還論　一〇七
會社監查の方法及報告書要式　一五七
會社金融論　七七
會社商店經營缺陷の見方　一五九
會社全書　一一三
會社組織及經營　二
會社の會計　一五九
會社辨　一〇九
會社豫算　一五九

會社豫算に關するフォーム　一五九
海上王錢屋五兵衞　五〇
改稱三十周年記念論文集發刊に當りて　二九
開城ノ時邊ニ就テ　七七
海上賣買論　三六
海上被保險利益に就て　二八・一三二
海上保險（ガウ）　一三二
海上保險（東亞同文會）　一三二
海上保險（ヒューブナー）　一三二
海上保險會社創立要旨　一三二
海上保險會社の組織と經營　一三二
海上保險概說　四八
海上保險概要（加藤由作）　一三二
海上保險概論（椎名幾三郎）　一三二
海上保險研究（勝呂弘）　一三二
海上保險研究（藤本幸太郎）　一三二・一三六
海上保險講義要領　一三二
海上保險實務　一三二
海上保險實務誌　一三二
海上保險體系　一三二
海上保險ニ關スル農商務省調書　一三二
海上保險の經營と統制　一三二
海上保險法（秋野沆）　一三二
海上保險法（巴遜私）　一三二
海上保險要論　一三二
海上保險料率を論ず　一三二・一三五
海上保險論　五・一三二
海上保險論綱　一三二
外人の觀たる大阪開港　四一・五〇
改正孔方圖鑑　一〇五
改正取引所法令　一五一
改正日本取引所論　一五一
開戰以後ニ於ケル哈爾賓貿易概況　一五三・七三
開戰後著シク輸出入額ヲ增減シタル物品ノ概況　五三
華夷通商考　一七
海難救助料に對する保險者の塡補責任　三六・一三三
開平開立早衛口傳　八七
外務省往復文書　四三
外油輸入ニ關スル意見書　六九
改良主義の階級的根帶に關するマルクス・エンゲルスの見解　九二
改良複式簿記　一六四
華英通商事略　五〇
家屋稅改革問題　二六
化學工業の經營　二六
化學商品辭典　一四一
價格生活の理論　二六
科學的商店經營法　一
科學としての經營學　三三
化學肥料　一四一
華僑ノ現勢　八
各開港場輸出入物品高　五三
各都市に於ける商店街調査　八
各府縣重要商品調査報告　五三・五四・一四一
各府縣輸出重要品調査報告　五四・一四一
革命來の米界　一五一
額面超過額は益金なり　一五一
額面超過額は所得稅を課すべき所得なりや　一五一
額面超過金額と所得稅賦課問題　一五一
額面超過金に對し所得稅を課するの理由に就て　一五一
家計簿記學　一六八
價原　九五
家憲店則雇人採用待遇法　三〇
過去五十年に於ける帝國外交の大勢　五三・七四
火災危險に就て　一三三・一三四
火災統計表　一三三
火災竝に火災損害　一三三
火災の損害率に就て　一三三・一三四
火災普通保險約款の改正に就て　一三三・一三四
火災保險（小林北一郎）　一三三
火災保險（角田總夫）　一三三
火災保險及其經營　一三三
火災保險會計　一三三・一三四
火災保險勸誘の手引　一三三
火災保險業より見たる工場の火災的危險竝に工場物件の處理法　一三三・一三四
火災保險經營と料率研究　一三三
火災保險契約普通保險約款　一三六
火災保險契約論（北澤宥勝）　一三三
火災保險契約論（疋田久次郎）　一三三
火災保險講義要領　一三三・一三六
火災保險實務の手引　一三三
火災保險證券及び火災保險普通約款全文　一三三
火災保險新講　一三三
火災保險の相互組織に就いて　一三三・一三四
火災保險の理論と實際　一三三
火災保險普通約款綱要　一三三
火災保險料率協定の意義　一三三
火災保險料率政策　一三六・一三三
火災保險料率理論の發達に就て　一三三・一三四
火災保險料率論　一三三
火災保險・ロイド保險人・會計　一三三・一三九
火災保險論（北澤宥勝）　一三三
火災保險論（瀧谷善一）　五・一三三
傘松信用組合定款　八二
菓子業三十年史　八
貸付擔保品トシテノ倉庫貨物　七七・一二三
華商穀物問屋の研究　一三三
家職要道　三
ガス　一四一
貨政考要　一〇二
假裝利益に對する課稅方法　六六・九五
家族統計の範圍に就いて　二八
かたらひくさ　四四
價値及貨幣　九〇
家畜保險法　一三三
價値法則から見た金本位制破壞の意義　九七
價値論放棄の理論經濟學　二九
各國インフレーション形態の研究　七七・九五
各國貨幣制度概說　九〇
各國貨幣比較及簡易換算表　九五
各國爲替管理令　一二〇
各國求償貿易協定概要　五三・七四
各國金融組合制度考　八二
各國植民地銀行制度　一〇九
各國生命保險普及狀況　一三〇
各國通商の動向と日本　五三
各國手形交換所制度　一〇九
各國度量衡並貨幣換算表　三三
各國に於ける植物性油　一四一
各國ニ於ケル貯蓄銀行ノ組織及關係法規　一〇九・一三三
各國に於ける貯蓄金庫事業　一〇九
各國ニ於ケル輸入關係手續　五三
各國の對支投資機關　一〇九
各國發券準備制度に關する參考表　一〇一
各國保險年金制度ノ梗概　二六

活字文化の展望　二六
活動しつゝある科學的ソシアリズム　九二
勝本商店記念講演集　二九
活用商業文研究　三
家庭及社會と健康　一三六
家庭教育上より觀たる簡易保險　三七
加藤祐一　四一
過渡的金本位　九七
カドミユムの鍍金に就いて　九九
神奈川縣商工時報　三一
かなさはカナダに於ける中央銀行創設問題　七二・一〇九
河南省鄭州事情　七五
金　一
金の廻し方殖し方金儲け實話集　一五〇
株　二九
株界二十年　一五〇
株界三十年史　一五〇
株價指數　一五四
株價指數設計に就いて　一五四
株價指數の產出に就て　一五四
株價變動論　一五四
株金のプレミアムは利益にあらず　一五八
株式會社會計（佐藤雄能）　一五八
株式會社會計（長谷川安兵衞）　一五九
株式會社檢查役論　一五九
株式會社仁川米豆取引所沿革　一五〇
株式會社制度　三四
株式會社の貸借對照表に就て　一七七
株式經濟講話　一五四
株式罫線の理論と應用研究　一五四
株式個々の選擇法　一五四
株式市價の經濟的研究　一五四
株式時代　一五四
株式社債年鑑　七七・一五〇
株式叢書　一五〇
株式相場ガ物價及財產價格ニ及ボス影響　一二二
株式相場の觀測法　一五四
株式相場の研究　一五四
株式相場の變動と投機　一五〇・一五四
株式投機の呼吸　一五四
株式投資相談　一五四
株式取引所　一五〇
株式取引所機能論　一五〇
株式取引所限月問題に關する一考察　一五〇
株式取引所限月問題に關する調査　一五〇
株式取引所に於ける主力株に就て　一五〇
株式取引論　一五〇
株式年鑑　一五〇
株式の額面超過額と所得稅に關する普國・索遜及伊國の判例　一五八
株式のプレミアムに就いて　九一
株式賣買　三四
株式賣買物語　一五四
株式プレミアムに關する管見　一五八
株式便覽　一五四
株式便覽二六節用　一五四
株式放資と賣買の基礎知識　一五〇
株式募集・賣出しの手引　一五四
株式募集の際に於けるプレミアムに就て　九二
株仲間の權益擁護機能　三三
株主の議決權に就て　一五四
株主要覽　一五四
貨幣（井上辰九郎）　七〇・九二・一〇
貨幣（友岡久雄）　七〇・九一・一〇
貨幣（西村眞次）　四四・一〇三
貨幣及銀行論　七〇・九二・一〇
貨幣及び金融政策の將來　七〇・七三・七七・九五
貨幣と物價　九二
貨幣及信用政策　九二
貨幣及物價の原理　九二
貨幣改革問題　九二
貨幣概念を中心として　九一
貨幣概論（荒木光太郎）　九二
貨幣概論（山崎覺次郎）　九二
貨幣學　九二
貨幣學說研究　九二
貨幣學の實證的研究　九二
貨幣價値安定以來の獨逸信用銀行の業績　一〇八
貨幣價値下落期に於ける資金調達と價格決定の方法　七六・九五
貨幣價値の研究　九二
貨幣價値の本質及び其の成立　九二
貨幣價値變動期に於ける經營財務政策の一考察　二八
貨幣價値變動期の經營分析　八〇・九八・一五九
貨幣價値變動と評價問題　九二
貨幣價値論研究　九二
貨幣價値論ニ關スル一私見　九二
貨幣銀行及爲替論　七〇・九二・一〇六・一一〇
貨幣・銀行・外國爲替　七〇・九二・一〇六・一一〇
貨幣銀行通論　九二
貨幣銀行問題一斑　七〇・九二・九三
貨幣金融及物價の史的研究　七〇・七七
貨幣金融統計資料　七〇・七三・七七・九五
貨幣研究上ノ重要觀念　九二
貨幣原論（エルスター）　九二
貨幣原論（小野鍵一）　九四
貨幣原論（竹島富三郎）　九一・九二
貨幣國定學說　九二
貨幣錯覺　九二
貨幣琐話　九二
貨幣條例　九二
貨幣・信用及びインフレーションの理論　九二
貨幣信用及商業　九二
貨幣新論　九二
貨幣政策と景氣變動　三三・九二
貨幣制度概說　九二
貨幣制度總說　九六
貨幣制度調査會議事速記錄　九六
貨幣制度調査會報告及附錄　九六
貨幣制度の動向と本位政策上の若干問題　九三
貨幣中心論に對する修正の試み　九二
貨幣的景氣理論と不均衡說の交涉　三三
貨幣と價値　九一・九二
貨幣と爲替　七〇・九二・一〇
貨幣と金融　七〇・七七・九二
貨幣と景氣變動　三三・九二
貨幣と限界效用說　二五・九二
貨幣と信用　九二
貨幣讀本　九二
貨幣と物價　九二
貨幣及度量考　二三・九六
貨幣度量衡換算表　九六
貨幣の價値の特性　九二
貨幣の基礎概念　九二
貨幣の購買力　九二
貨幣の實際知識　九二
貨幣の職能（佐原貴臣）　九二
貨幣の職能（高垣寅次郎）　九二

貨幣の生成　九二
貨幣の單位に關する一考察　八八
貨幣の發達に就ての諸考察　九一
貨幣の發展と恐慌　八九・九二
貨幣の本質　九二
貨幣の理論（高垣寅次郎）　九二
貨幣の理論（高田保馬）　九三
貨幣秘錄　一〇二
貨幣品質學說の論據とその批評　二五・九二
貨幣・物價・爲替論　七〇
貨幣便覽　九六
貨幣本質の諸問題　九二
貨幣問題　九二
貨幣問題雜觀　九二
貨幣量と生産　二八
貨幣理論（橋爪明男）　九二
貨幣理論（ワーゲマン）　九二
貨幣理論と景氣理論　九四
貨幣論（井上辰九郎）　九二
貨幣論（カウツキー）　九三
貨幣論（河津暹）　九三
貨幣論（クニース）　九三
貨幣論（ケインズ）　九四
貨幣論（佐野善作）　九三
貨幣論（杉程次郎）　九三
貨幣論（高田早苗）　九三
貨幣論（高畠素之等譯）　九三
貨幣論（橋爪明男）　九三
貨幣論（服部文四郎）　七三・九三
貨幣論（堀江歸一）　九三
貨幣論（村上祐）　九三・一〇六
貨幣論・銀行論　九三
貨幣論集　九三
貨幣論上に於ける限界效用說の再吟味　九三
貨幣論上の限界效用學說　九一
貨幣論の研究　九四
火保研究　一三三
鎌倉時代の商人　四四
貨物配給の原理　四〇
唐津宿手形控　一一三
カリビアン海沿岸諸國ト本邦貿易　五四
カルテル及經營學の重要問題　三四
カルテルと景氣變動　三三
過爐銀ニ關スル報告　九六
川越商工案内　一六
川島屋旬報　一五五
爲替を中心として見たる歐洲最近經濟事情　七五・一一〇
爲換及外國貿易　四七・一一〇
爲替管理と其實際　一一〇
爲替管理の運用と其影響　一一〇
爲替管理論　一一〇
爲替市場としての横濱港　二九・一一〇
爲替尻操縱方法　一〇九
爲替政策　一一〇
爲替相場と物價　一一〇
爲替相場變動に對する私見　二八・一一〇
爲替相場の決定說の提唱　一一〇
爲替貯金局事業概觀　九三
爲替貯金局統計年報　一一三
爲替と金銀問題　一一三
爲替取組便覽　一一三
爲替の賣買と採算　一一三
爲替の變動と外國貿易　一一三
爲替理論と爲替問題　一一三
爲替論（天野爲之）　一一三
爲替論（天野爲之）講・山澤俊夫）　一一三
爲替論商業學　一一三
簡易生命保險事業史附錄資料　一一三
簡易生命保險事業論　一一三
簡易生命保險創始十周年記念講演集　一一三
簡易生命保險積立金運用の根本方針に就て　一一三
簡易生命保險に關する醫學的觀察　一一三
簡易生命保險に關する近時の著書論文　一一三・一一三
簡易生命保險に就て　一一三
簡易生命保險の業績に就いて　一一三
簡易生命保險ノ死亡率ニ關スル調査　一一三
簡易生命保險のすすめ　一一三
簡易生命保險法案通過顚末　一一三
簡易生命保險郵便年金事業史　一一三
簡易保險令　一一三
簡易生命保險論（栗津清亮）　一一三
簡易生命保險論（保田信三郎）　一一三
簡易保險官營是非論　一一三
簡易保險局統計年報　一一三
簡易保險雜感　一一三
簡易保險事業調査資料　一一三
簡易保險事業の知識　一一三
簡易保險十周年及郵便年金創始に就て　一一三
簡易保險所感　一一三
簡易保險資料　一一七・一一三
簡易保險と社會政策　一一三
簡易保險と郵便年金　一一三
簡易保險の附加保險料に就て　一一九
簡易保險の普及を望む　一一三
寬永錢譜　一〇五
咸鏡北道ニ於ケル經濟狀況　七三
漢口ニ於ケル通貨　七五・九六
漢口貿易研究所設立趣意書　六九
漢口貿易事情一斑　五四
漢口貿易便覽　一三六
考ふる蔗　九六
韓國貨幣整理報告書　九六
韓國ニ於ケル貨幣ト金融　九六
韓國ニ於ケル本邦貨物販路取調報告　八
關西信託株式會社營業報告書　一一七
關西信託時報　一三四
監査手續書　一五六
監査と有資格會計士　一一〇
監査役制度　一五六
カン支那通貨論　九六
勘定學說研究　一一四
勘定學說研究參考文獻　一一四
勘定學說について　一一〇
勘定各論講義　一一〇
勘商局第三次年報　五四
甘蕉に關する調査研究　二六
罐詰食物輸出之大勢　六三
關稅通說　四八
間接費の研究　一一〇
間接費の配賦法を論ず　一五六
贋造通貨　九六
官廳會計　一五七・一六〇
官廳會計と減價償却　一五五
官廳簿記法　一六八
間島及運奉地方經濟狀況　七三
關東學院商學　三一
關東州取引所法規　一五四
關東州の市場　一〇
間島ノ貿易及金融狀況　五四・七三・七七
「カン」と「キン」何れが好く響き渡る？　三
カントの「判斷批判」の問題と文化の合目的性　二七
廣東金融機關　七七
廣東造幣局略況　一〇二
看板考　一四八
甲板積貨物の投棄に就て　二九
贋幣の話　九六

簡便生命保險論　一三五・一三七
咸豐大錢攷　一〇三
漢譯銀行法　一一四
勸誘材料集　二九
官用簿記　一六八
管理會計　一六〇
管理通貨論　九三

キ

生絲（棚橋啓三）　一四一
生絲（前野不二男）　九
生絲恐慌對策史　四二
生絲金融調査　七七
生絲金融と外國爲替　七五・七七・一一〇
生絲國內消費增進方策座談會要記　八
生絲市場論　三三
生絲生産の概況　六
生絲相場高低表　一五四
生絲と其貿易　四七
生絲の格と取引　一四一
生絲の輸出統制　四七
生絲賣買慣習取調報告　八
生絲貿易維持方案　六九
生絲貿易概論　四八
生絲貿易三問題　四八
生絲貿易史年表　四二・五二
生絲貿易と外國爲替　六・四七・七六・一一〇
生絲貿易之變遷　五四
Gierke 目錄について　二七
機械並に据付物の減價償却金に關し英國稅務局の認許する控除額計算法內規の一斑　一五七
機械の輸出販賣に就て　五四
幾何學　三
汽罐保險とは如何なるものか　一三三
企業及び經營の目標　三四
企業金融論（林健二）　五七
企業金融論（不破棄一郎）　七二・七七
企業形態論　五
企業財政の比率分析　一六〇
企業財務の分析　七二・一六〇
企業精神に就て　三四
企業統制論　五
企業と租稅　五
企業の擴張と其の財政　二六
企業の收益力比較　一五五
企業簿記學　一六四
危險・因果・擧證篇　一三三
紀元二千六百年記念日本萬國博覽會　一五
起債市場論　七三・七七
紀州家名目金　四一・七七
季節金融に關する調査　七七
北支那の外國貿易と列國の商勢　五四
北支那貿易年報　五四
北朝鮮ノ價値　七三
北日本沿岸に於ける指定港灣の貿易狀況　一一・五四
北滿洲特殊通貨としての官帖に就て　七五・九六
北滿洲の特產物　一四一
絹及絹織物に關する輸入品調査報告書（滿洲國）　六七
絹織物貿易　五四
規模の大小より觀たる大阪市商工業勞働事情　一四一
期米高低之眞理　一五
期米相場罫線學　一五
期末監査の手續に就て　一五
客の來る店　一五
舊貨幣と新貨幣との換算法に就いて　九六
休業銀行の整理と和議　一〇九
九去檢算法の研究　一六六
救護法と失業保險　一三八
救時策　九六
牛乳と乳製品の研究　一六四
舊倫敦東印度會社と我國との交通貿易　一四一
教育貯金法　一三三
恐慌學說　八六
恐慌下の日本資本主義　八九
恐慌史論　八九
恐慌對策　八九
恐慌中の金　七七
恐慌と金問題　九七
恐慌と失業　八九
恐慌と世界經濟　八九
恐慌と獨占　八九
恐慌に關する諸學說　八九
恐慌の新段階と世界經濟の動向　八九
恐慌の發展過程に於ける支那幣制改革の研究　九六
恐慌理論　三五
恐慌理論に關するマルクスの新しい資料について　九三
業者側から見た中小商工業者の金融問題　八四
曉鐘　一五〇
強制健康保險ノ眞相ト謬見　一三八
強制疾病保險の適用範圍　一三八
共同海損講義要領　一三六
共同海損精算論篇　一三三
共同海損たるべき犧牲の全額を支拂ひたる保險者の權利を論ず　一三六
共同海損に於ける代換費用の研究　一三六
共同海損の精算に就いて　二六
共同海損分擔額・損害防止費用及海難救助料と保險者との關係　二七
共同庶民銀行　五六
共同生活　九七
京都市に於ける商慣習（西陣織物及京染呉服に就て）　八
京都市に於ける商店街に關する調査　八
京都商品陳列所の栞　一四二
京都商品陳列所報告　一四二
京目田舍目ノ說　一〇三
業要錄　四二
ゲゾールラントの「奢侈概念に就て」　二九
協和　三二
極東ニ活動スル佛國ノ印度支那銀行　七三・一〇九
漁港及魚市場調査　八
希臘及近東地方見聞雜錄　七六
基督教と商業　二九
桐生商工誌　八・一六
金移動問題　九五
銀及銀價低落の研究　九六
銀及銀政策　九六
金及び銀取引の研究　九六
金及通貨論　九三
銀及本位論　一〇三
金解禁（井上準之助）　九六
金解禁（土方成美）　九六
金解禁を中心とせる我國經濟及金融　七八
金解禁斷行發表當日井上藏相の第一聲　九六・一二八
金解禁直後の財界　九六
金解禁と國民經濟　九六

金解禁に就いて　九六
金解禁問題に就て　九六
金解禁問題早わかり　九六
銀價强氣觀　七五
銀價と銀爲替　九六・二一〇
銀貨の過去現在未來　九六
銀貨ノ騰貴ニ就テ　七五・九六
銀價の崩落と大連に於ける物價勞銀　九六
金貨本位ヘ復歸の經路　九六
金貨本位制　九六
金貨本位制實施滿二十年記念　九六
金貨本位の日本　七八
金貨本位はやわかり　九六
金貨本位論集　九七
金爲替本位制の研究　二一〇
金・銀・貨幣の話　九七
金・銀・爲換　二〇六
金銀考　二〇三
金銀圖錄　二〇五
金銀圖錄續編　八九
金・銀・世界恐慌　九六
金銀錢沿革攷　二〇三
金銀通用記評判　二〇三
金銀の電氣分解に於ける電極の性狀に就いて　二〇〇
金銀の電氣分解に就て　二〇〇
金銀吹替評　二〇三
銀經濟論　九七
勤儉　一二七
勤儉貯蓄處世訓　一二三
勤儉貯蓄新論　一二三
勤儉貯蓄法　一二一
金言例釋　一〇六
銀行(池田成彬・大矢知昇)　一〇六
銀行(村田俊彦)　一〇九
銀行營業報告　一〇九
銀行及外國爲替論　七〇・一〇六・二一〇
銀行及銀行員の內幕　一〇九
銀行及金融　七〇・七八・一〇七
銀行及金融研究　七〇・七八・一〇七
銀行及擔保附社債信託事業報告　一〇九
銀行及貿易　四七・一〇七
銀行會計　一六〇
銀行會計學　一六〇
銀行會計の監査　一六〇
銀行會社業績內容總覽　一〇九
銀行會社決算報告　一一五
銀行會社商店管理法　三三
銀行會社新設擴張計畫登記濟資本調　一〇九
銀行會社統計要覽　一〇九
銀行會社に於ける主要簿訂正手續　二一〇
銀行會社年鑑　一〇九
銀行會社の實質　一〇九
銀行會社要錄　一〇九
銀行貸出業務　一〇九
銀行家の法律顧問　一二七
銀行課報告　一二三
銀行からくり物語　一二四
銀行關係法令集　一五一
銀行恐慌と獨逸金融市場の整備　一〇六
銀行業成功ノ要素　一〇九・一一二
銀行業と信託業との分野問題　一一七
銀行業の原價計算　一六〇
銀行業務例取調報告　一〇九
銀行局年報　一〇九
銀行規略　一〇九
銀行俱樂部案內　一一〇
銀行經營論　五・一〇七
銀行簿記(長谷川安兵衞)　三
銀行簿記(畠山豐吉)　一七七
銀行簿記(原靜)　一七七
銀行簿記(茂木英雄)　七五・一七七
銀行簿記(吉田良三)　一七七
銀行簿記學　一六八
銀行簿記計算法　一六八
銀行簿記講義　一六八
銀行簿記精義　一六八
銀行簿記提要　一六八
銀行簿記の常識　一六八
銀行簿記問題及解說　一六八
銀行簿記例題　一六八
銀行簿記論　一六八
銀行の自衞檢査法　一七七
銀行の資本金高制限の議に就て　一一〇
銀行の新經營法　一一〇
銀行の創設信用と物價　一一〇
銀行ノ手形引受制度　一一〇
銀行破綻と和議　一一〇
銀行便覽　一一〇
銀行法規全集　一一四
銀行法釋義　一一五
銀行法通釋　一一五
銀行法典大全　一一五
銀行法と銀行條例との對照　一一五
銀行法論　三
銀行集中論　一一〇
銀行小言　一一四
銀行條例　一一四
銀行條例施行細則　一一〇
銀行新設と合同　一一〇
銀行信用調査の研究　一一〇
銀行新論　一一〇
銀行出納實務　一一四
銀行政策　一一五
銀行總覽　一一〇
銀行其の他金融業の發達　七八・一一三
銀行知識と金融　一一四
銀行通信錄　一一〇
銀行讀本(高山藤次郎)　一一〇
銀行讀本(橋爪明男)　一一四
銀行と顧客の爲めに　一一〇
銀行と社會　一一〇
銀行取引の實際と之に關する法律問題の研究　一一〇
銀行取引法　一一三・一一七
銀行內の諸規定　一一〇
銀行ニ對スル國家ノ干渉ヲ論ズ　一一〇
銀行年鑑　一一二
銀行の管理及經營　一一〇
銀行ノ系統ト其經營　一一〇
銀行の原價計算　一六〇
銀行の原價計算手續　一六〇
銀行の檢査部　一一〇

銀行預金實務(梶川有)　一一〇
銀行預金實務(坂井正)　一一〇
銀行預金增減研究　一一二
銀行流動性の機構　一〇七
銀行論(青木得三)　一〇七
銀行論(天野爲之)　一〇七
銀行論(天野爲之・井上辰九郎)　一〇七
銀行論(宇都宮鼎)　一〇七
銀行論(吳文炳)　一〇七
銀行論(コナント)　一〇八
銀行論(佐野善作)　一〇七
銀行論(佐野善作・高垣寅次郎)　一〇七
銀行論(杉程次郎)　一〇七
銀行論(高垣寅次郎)　一〇七
銀行論(田尻稻次郎)　一〇七
銀行論(土子金四郎)　一〇七
銀行論(內藤章)　一〇七
銀行論(服部文四郎)　一〇七
銀行論(ハンキー)　一〇八
銀行論(堀江歸一)　一〇八
銀行論(マクレヲード)　一〇八
銀行論(山崎覺次郎)　一〇八
金再禁止と我財界の前途　七一・九七
金座考　一〇三・一〇四
銀座由緒書　一〇三
近時爲替相場の變動條件に關する統計的研究　三四・四九・八〇・九八
近時世界海運貿易の數量的考察　三六・五四
近世英國金融史論　七〇・七七
近世英語商業文教科書　二一四
近世銀行業ノ趨勢　一二・一三
近世銀行簿記　一六八
銀生產費調査報告　九五
近世商業史(野村兼太郎)　四三
近世商業史(平沼淑郎)　四三
近世商業文　二四
近世商業簿記(笠木五千平)　一六六
近世商業簿記(吉田良三)　一六六
近世商賈盡狂歌合　二九
近世世界商業史　四三
近世內外商業史　四三
近世簿記講義　一六四
近世簿記精義　一六四
近世簿記通論　一六四
近世露國貨幣史　七三・一〇三
金錢債務臨時調停法と營業無盡の機構に就いて　七八
金錢信託　一一七
金相場はどうなるか　九七
近世貨幣理論の種々相　九三
近代支那通商史論　五〇
銀・通貨爲替論　九三・九七・一二〇
欽定錢錄　一〇五
金電解に就て　九九
銀銅合金に就て　九八
金と銀とに就て　七三・九七
金ト信用ト物價　九七
金と物　七八・一五七・一六〇
金に關する二三の問題に就て　九七
金に就キテ　七五・八九
金ニ就キテ　七三・八九
金の價値と通貨の價値　二一四
金の經濟學　八九
銀の電鑄に關する研究　八九
金の武裝抗爭　八九
金の問題　八九
銀の問題　八九
銀の容量分析に於て Diphenylamine blue を指示藥とする方法の批判的實驗　八九
金講續編　八九
金本位運用上の矛盾と金恐慌の後に來るもの　七五・九七
金本位から實物準備紙幣へ　七三・九七
金本位制への復歸　二一四
金本位制停止下の爲替相場に關する一考察　八九
金本位制と中央銀行政策　七〇・九七・一二一
金本位制度の現狀と將來の展望　九七
金本位制度の理論と實際　九七
金本位制の研究　九七
金本位制の停止と爲替の統制　一三〇
金本位制の動搖と存續性　九七
金本位制の本質に關する若干の考察　九七
金本位制はも早や根本的に不適當　九七
金本位と管理通貨　九七
金本位と世界恐慌　八九・九〇
金本位と米國の金の傳統　九七
金本位に對する世界的不安と其對策　九七
金本位の意義・作用及び將來　九七
金本位の作用・殊に金融との關係　七八・九七
金本位の停止と貨幣價値の動搖　九七
金本位の動搖と其の前途　九七
金本位の後に來るもの　七八・九七
銀目廢止と太政官札　四一・一〇三
金門銀行調査及交涉顚末報告書　一二五
銀問題　九四・九七
金問題概論　九七
金問題研究　九八
銀問題の大要　九八
金融(小平權一)　七八
金融(田口卯吉)　九三
金融及產業に就いて　八〇
金融及信託　七〇・七八・一二七
金融界最近の趨勢　七二・九八
金融合作社に就て　九八
金融關係法規　九八
金融機關を利用する犯罪　九八
金融機關の綜合的研究　九八
金融機構論　七八
金融業會計　七八・一五七・一六〇
金融恐慌後の諸問題　七三・八九
金融恐慌ト其ノ影響　八九
金融組合(金融組合)　一二四
金融組合(朝鮮金融組合)　一二四
金融組合及金融組合聯合會概觀　七八
金融組合概況　七八
金融組合關係例規集　七八
金融組合統計年報　七八
金融組合に關する逸話　七八
金融組合要覽　七八
金融經濟講義(飯島幡司)　七八
金融經濟講義(小林新)　七八
金融經濟情報　七八
金融經濟總論　七八
金融經濟大綱　七八
金融經濟統計　七八
金融經濟の諸問題　八七
金融經濟論　七八
金融研究　一二四
金融研究會講演集　七二
金融研究會叢書　七二
金融研究會調書　七三
金融事項參考書　七八・七九
金融市場金利論　七三・七九
金融市場ノ近狀　六・七九
金融市場の世界的動搖　七九
金融市場の特質一斑　七二・七九

金融辭典　四七一
金融指標としての日本銀行週報　二九七
金融資本と帝國主義　七九
金融資本論（猪俣津南雄）　七九
金融資本論（ヒルファディング）　七九
金融資料　七三
金融政策　七九
金融政策十四年　七九
金融制度改善案　一一二
金融制度の改善問題　七二・七九
金融大辭典　四七一
金融統計　七三
金融統計年鑑　七九
金融統制論（高島佐一郎）　六七・七九
金融統制論（高橋龜吉）　七三・七九
金融動態論　七九
金融と會計　七九・一六〇
金融讀本　七九
金融と經濟　一二四
金融に就いて　七九
金融日誌　七二・七九
金融の基礎知識　七九
金融の原理　七九
金融の見方　七九
金融法規大全　七九
金融問題（井上準之助）　七九
金融問題（牧野輝智）　七九
金融問題と其對策　七九
金融理論概説　八〇
金融理論と管理通貨　八〇・九四
金融六十年史　七九
金融論（佐々木雄二郎）　七九
金融論（橋爪明男）　七二・七九
金融論（濱田健次郎）　七九
金融論（牧野輝智）　八〇
金輸出解禁前後に於ける英國財界の推移　九八
金輸出解禁問題に關する日本工業俱樂部會員の意見　九八
金輸出解禁問題に關する三土大藏大臣深井日銀副總裁の演説　九八
金輸出解禁問題に就て　九八
金輸出解禁問題の眞髓（續論共）　七二・九八
金輸出解禁問題の續論　七二
金輸出再禁止後における卸賣物價の動態　八
金輸出再禁止後の我國金融事情　七二・八〇
金輸出再禁止是非　九八
金輸出再禁論　九八
金利概論　八〇
金利低下の諸作用　八〇
銀兩と銀元との勢力比較　九八

ク

矩尺原理及使用法　三三
クナップ新貨幣學說と貨幣の本質　八〇・九四
クナップの貨幣國定學說に就いて　二七・九二
クニースの著書および論文目錄　九二
熊本縣ノ農村金融概要　八〇
組合の會計　一六〇
クラーアク・ブック　一九
Z. Kurnakow の金・銅系合金の研究に就いて　九九
久留米絣　一四二
桑ニ關スル凍害の被害狀況調査（群馬縣・長野縣）　一三五
群山ト交通機關の變遷　七三
群山米ノ改良　七三
群集現象の本質　一三五
軍費支辨上公債ト租稅トノ關係　一二二
群馬縣米統計　八
群馬縣主催一府十四縣聯合共進會審査復命書　一六
群馬縣麥統計　三一

ケ

ケアンズの外國貿易論　三五
經營學研究　三五
經營學原論　三五
經營學講演集　三三
經營學最近の問題　三四
經營學自體の諸問題・官營及び公營事業　三四
經營學全集　五・三三
經營學大系　五・三三
經營學通論　五・三三
經營學と會計學との關係について　一六〇
經營學に於ける原價計算と損益計算の位置　三三・一六〇
經營學年報　三三
經營學の基礎的諸問題　四二
經營學文獻解說　六・三三
經營學方法論　三四
經營學論　三四
經營學論集　三四・三六
經營技術學の提唱　一三五
經營金融論　五・三三・八〇
經營經濟　三五
經營經濟學（中西寅雄）　八
經營經濟學（增地庸治郎）　三五
經營經濟學概論　三五
經營經濟學序說　一六
經營經濟學總論　八
經營經濟學に關する一考察　五・三五
經營經濟學の將來　三五
經營經濟學の成立　四七
經營經濟學の體系に就て　三五
經營經濟學の本質　三五
經營經濟學の歷史的研究に關する重要文獻　三五
經營經濟的會計學研究　一六〇
經營計理の體系と成果分割　二九
經營合理性の彼岸　三四
經營財務論　三五・一七七
經營社會政策論　二八
經營上より見たる原價計算の意義　一六〇
經營成績の測定方法　一六一
經營體生活の複雜性に關する一考察　三五
經營とインフレーション　三四・八〇・九八
經營統計　五
經營費用論　五・一六〇
經營分析の概念と其の發展　三五
經營勞務論　五・三三
慶應義塾廣告學研究會の沿革　一四九
景氣恢復策の要諦　四八
景氣恢復と財政政策　二六
景氣學說批判　三五
景氣研究法の批判的發展概說　三五
景氣時報　三一
景氣循環と銀行信用　一二
景氣循環論（アダムス）　三五
景氣循環論（勝田貞次）　三五
景氣循環論（小林新）　三五
景氣循環論（ハンセン）　三五
景氣循環論（ミツチエル）　三五

景氣轉換の可能性　三五
景氣統計技術入門　三五
景氣と貨幣　九四
景氣讀本　三五
景氣・不景氣論　三五
景氣變動　三五
景氣變動の理論　三五
景氣變動論（高田保馬）　三五
景氣變動論（ワーゲマン）　三五
景氣豫測法研究　三五
景氣理論　三五
景氣論（豐崎稔）　三五
景氣論（波多野鼎）　三五
景氣論の發展と資本主義の發展　二五・三五
景氣はどう動くか　八
慶元イギリス書翰　五〇
經濟及金融　八〇
經濟及商業　三一
經濟學　三一
經濟學講義　二
經濟學史上のコペルニクス　二九
經濟學說に於ける政治的要素　二六
經濟學對照簿記學　一六五
經濟學的認識の價値性質　二七
經濟學分科に就ての考證　二八
經濟學文獻大鑑（貨幣金融編）　七〇・八〇・九八
經濟學より觀たる會計士の職務　一七
經濟記事物語　一
經濟恐慌に於ける有價證券市場　二一八
經濟恐慌論　八九
經濟史上より我國の粗製濫造を論ず　二八
經濟社會の存立及び其の發達を論ず　二六
經濟上より觀たる大阪　四一
經濟上より見たる信託の理論及實際　一一七・五・三三
經濟心理學　一三六
經濟生活と保險　一三六
經濟政策學の對象・其の成立の可能性及び其の限界　三六
經濟政策の論理的基礎　三四
經濟性と經營性　三四
經濟調査會對支金融機關整備方法ニ關スル議案及關係書類　三・一六〇
經濟地理學　三
經濟地理學概論　一
經濟的見地より見たる一九三五・六年　三四
經濟的豫見と其限界　三六
經濟動態理論と正常狀態の想定　三六
經濟の統制と新立法　七
經濟の發展と簡易保險　一三六
經濟問題としての信託　一一七
計算價格　一六一
計算學の効用・研究の必要・研究法・補助學・教授法及研究者の心得　一五七
京城株式現物取引市場改造案　一五〇
慶尙北道重要物産配置圖　七三
慶尙北道ノ蠶業ト金融　七三・八〇
罫線學　一六〇
毛絲　九
京阪書籍商史　一六〇
經費理論・租稅負擔能力・賣上稅問題　一六〇
經邦或考　一六〇
鷄卵の配給を論ず　一六〇
計理學研究　一六〇
計理學研究の要點に就て　一六〇
計理學提要　一六〇
計理學の對象　一六〇
計理學の理論的構成　一六〇
計理士制度　一六〇
計理士制度參考資料　一六〇
計理士の業務と責任　一六〇
計理士法釋義　一六〇
計理制度の調査　一六〇
計量年鑑　一六〇
ケインズ貨幣改革問題　一六〇
ケインズ貨幣論　一六〇
ケインズ貨幣論の研究　一六〇
ケーンズ金融理論概說　一六〇
ケーンズ金融理論と管理通貨　八〇・九四
毛織物市場組織　九
化粧品小間物仕入れ便覽大阪新地圖　三〇
化粧品と部外品の常識　八
ケスターの貸借對照表論　一六〇
月刊トウ　一四八
決算報告書の監査手續　一六〇
決算報告書の分析的觀察法　一六〇
決算報告の見方　八
月賦販賣制度　一六〇
ケラー氏法によるセレニウムの分析法に就きて　一〇〇
原價會計學　一六一
原價計算（魚谷傳太郎）　一六一
原價計算（日本會計學會）　一六一
原價計算（吉田良三）　一六七・一六一
原價計算制度改定に就て　一六〇
原價計算組織　九九
原價計算と價格政策の原理　一六一
原價計算に關する考察　一六一
原價計算の要領　一六一
原價計算法（宇野信三）　一六一
原價計算法（渡部義雄）　一六一
原價計算法綱要　一六一
原價計算論（ニコルソン・ロールバツハ）　一六一
原價計算論（吉田良三）　一六一
減價準備金の本質　一六一
減價消却の經營經濟的性質　一六一
原價と繰業度との關係　一五六
原價と操業率　一六一
減價に關する若干問題の檢討　一五八
現銀大安賣　三
現金取引に關する監査　一五六
限月復舊の必要に就て　一五一
現行火災保險料率の解剖　一三九
健康增進施設の實績　一三八
健康保險事業沿革史　一三八
健康保險事業年報　一三八
健康保險事業要覽　一三八
健康保險實務要鑑　一三八
健康保險特別會計法　一三八
健康保險法　一三八
健康保險法改正意見竝ニ參考資料　一三八
健康保險法解說　一三八
健康保險法規提要　一三八
健康保險法詳解　一三八
現行鑄國貨幣制度大要　七三・一〇三
繭絲織物陶漆器共進會審査報告　一四
現時の金利及爲替問題　七〇・七一・八〇・一三〇
現時の世界經濟恐慌概觀　八九
原始保險之史的研究　一三六
拳銃の密輸に就て　五五
現象學の對象領域　二七
健全なる社會傳統

現代貨幣問題　九四
現代金融經濟全集　七三
現代金融論　八〇
現代經濟恐慌と資本主義の將來　八九
現代思想と保險　一三六
現代商業概論　一三五
現代商業經濟　一三五
現代職業總覽（商業篇）　一三六
現代世相と國民の自覺　一三六
現代中小商工業論　一
現代に於ける三種の義務制勞働に關する史的考察　二八
現代の商業及商人　一
現代の貿易と貿易政策　四七
現代保險問題　一三五
建築金融に就いて　八〇
減銅錄　五〇
絹布重實記　一四三
現物市場問題　一五一

コ

公營保險の本質　一三六
交易　六九
公益企業會計　一二七・一六一
公益企業の評價問題　四〇
交易心得章　四七
公益質屋制度要項　八三
公益信託の解說と有價證券　一二七
交易問答　四七
交易論（氣賀勘重）　四七
公開市場ニ關スル調査　八
工業會計　五・一六一
工業會計及原價計算　一六一
工業會計概論　一六一
工業會計研究　一六一
工業會計精義　一六一
工業會計の常識　一六一
工業學綱要　二
工業家としての吾が所感　一七
工業金融（栗栖赳夫）　八〇
工業金融（工業經濟研究會）　八〇
工業金融上の二・三の問題に就て　八〇
工業金融と我國の社債制度　七二・八〇
工業金融に關する調査（河合榮治郎）　八〇
工業金融ニ關スル調査（日本銀行）　八〇
工業金融に關する問題　八〇
工業金融論　八〇
工業經營法　二
工業原價計算及び會計　一六一
工業顯微鏡學の復興　一七
工業其他企業財產の構成及其の抵當　八〇
工業統制問題・商業學最近の問題　四七
工業販賣管理　四七
工業簿記（杉山茂）　四八
工業簿記（陶山誠太郎）　五・一六一
工業簿記（土屋長吉）　一六一
工業簿記（吉田良三）　一六一・一六二
工業簿記（芳野國雄）　一六一
工業簿記講義　一六一
工業簿記提要（鹿野清次郎）　一六一
工業簿記提要（吉田良三）　一六一
工業簿記と原價計算　一六一・一六二
工業簿記の研究　五
工業簿記要說　五五・八一
公許會計士制度調査書　一六一
航空保險論　五五
好景氣策としての低金利政策　五五・七五
廣告界の今昔　一六一
廣告概論　一六一
廣告科學の現況　一六一
廣告學（金子弘）　一六一
廣告學（松宮三郎）　一六一
廣告學概論（奧平稔）　五
廣告學概論（松宮三郎）　一六一
廣告經濟總論　一六一
廣告研究（大倉高商廣告研究會）　三
廣告研究（日本電報通信社）　一六一
交信資要　一六一
高速度販賣增進法　三
廣告原論　一四八
廣告效果の測定について　一四八
廣告實務　二・一四八
廣告術原理　一四八
廣告商略　一四八
廣告心理學　一四八
廣告政策　一四八
廣告宣傳方法　一
皇國造幣寮首長報告書　一〇一
皇國造幣寮濫觴記　四二・一〇三
廣告訴求の社會心理的研究に就いて　三六
廣告通論　一四八
廣告と實際　一四九
皇國度制考　一四九
廣告と宣傳　三
廣告年鑑　一四八
廣告の心理的基礎　一四九
廣告の戰略　一四八
廣告の理論　一四九
廣告文案集　一四八
廣告法　一四八
廣告論　三
廣告論叢　一四八
口語體商用文　一四八
公債價格高低論　二四
公債株式賣買手續概要　一五四
公債政策の金融に及ぼす影響　一五一
公債年鑑　七九
孔子教に就いて　八〇
公司法上の株式の得喪　二六
公社債株式論　二九
公社債年鑑（野村證券株式會社）　七三
公社債年鑑（山一證券株式會社）　八〇
公社債要覽　八〇
濠洲アレキサンダー・エス・ブラオン視察復命書　八一
甲州金座記錄　五五
濠洲主要輸入日本品新舊關稅率比較　一〇三
濠洲の產業金融及貿易　七五
濠洲の對日高關稅と通商擁護法發動迄の經緯概略　五五
濠洲貿易事情　五五
濠洲貿易ト新關稅　五五・七五
工場會計（ホーキンス）　一六一
工場會計（吉田良三）　一六一
工場企畫部に就いて　二六
工場經營と會計　一六一
工場經營論　五
工場原價計算法　一六一
工場材料の管理と商品の檢查　一四二
工商時論　三
工場法と勞働保險　一三八
交信資要　一六
高速度販賣增進法　三

かうち
高知縣輸出入統計　一六
高知商工案內　一六
高知商工人名錄　一
皇朝新學類纂（商學類）　一四八
交通廣告資料　五
高等實業講座　一六七
高等實業學校入學試驗問題集　一
高等商業教育論（服部文四郎）　一
高等商業教育論（福田德三）　二〇
高等商業數學　一四二
高等商品學　二〇
高等利息算　三六・四〇
購買管理及倉庫管理　九七
購買力安定と物價指數本位制度　九四
購買力平價說（カッセル）　七五
購買力平價說（高瀨胖）　七四
購買力平價說を論ず　二六
衡平法と信託制度　五五
神戶港外國貿易概況　五〇
神戶港外國貿易の變遷　一六
神戶高商の過去現在及び將來　二六・二九
神戶高等商業學校開校二十周年記念講演及論文集　二六
神戶高等商業學校商業研究所一覽　二九
神戶高等商業學校創立二十五周年記念論文集　二六
神戶港之外國貿易　五五
神戶市商工名鑑　一六
神戶商業會議所年報　五五
神戶米穀外四品取引所定款　一五一
神戶米穀株式取引所定款並營業細則　一五一
神戶米穀株式取引所仲買人組合規約　一五一
神戶貿易會社書類　五五
公民科講義　三
廣友　一四九
小賣商業の發展と購買力　二六・三六
小賣商對百貨店問題　二
小賣商店繁昌策　一九
小賣商の將來　二・三四
小賣商繁榮策　一
小賣商問題講演並に懇談會速記錄　八
氷ノ話　一四三
小賣物價調查月報　八
小賣物價統計表　八
港灣と貿易との關係　四八
コール市場に就て　八一
ゴールドスミスの詩「寒村行」に現はれたる倫理學的及び經濟學的意義　二七
コール取引の研究　七五・八〇
估客印譜　三〇
顧客應接法　二・一九
小切手納稅ニ關スル調查　一三
古金銀銅貨幣圖錄　一六
古金の種類　八八・八九・一〇五
極印鋼の熱處理と其の組織に就いて　九九
極印下地燒鈍方法の改良に就て　一〇〇
國語講話　三
國際市の本質とその成立　四三
國際爲替　一〇〇
國際爲替安定ニ關スル諸說　七五・二一〇
國際爲替實務誌　三三
國際協力の發展　三
國際勤儉會議及び國際勤儉協會に關する調查　一三
國際金本位制の運營に就て　九八
國際金融（牧野輝智）　一三
國際金融（森賢吾）　七
國際金融市場　八二
國際金融總論　一四二
國際金融とフーヴアー提案　一四八
國際金融と我が國策　一四八
國際金融問題　一四八
國際金融論　七
國際經濟及金融と我國民經濟の交涉　八九
國際經濟と金融　八一
國際決濟銀行と世界恐慌　七三・八一
國際公法と商事　一
國際債務問題　七五
國際市場に於ける露國コオペレーション　八
國際資本及金融爭覇戰　八一
國際商業原理　三六
國際商業政策（古谷美貞）　四〇
國際商業政策（堀江歸一）　三六
國際商業と交通　三六
國際信用計畫　七五
國際水產物並罐詰類貿易統計　五五
國際貸借改善と國產愛用　五五
國際貸借決濟に關する創設案　七五・二一三
國際貸借の現狀　五五・二一三
國際短期資本と金本位制　九七
國際的な資本移轉の機構と圓爲替の動向　二一三
國際貿易と其契約　四七
國際貿易活法　二四
國際貿易政策思想史研究　四七
國際貿易戰　八二
國際貿易と金融　四七・八二・二三
國際貿易に於ける價值問題　四七
國際貿易に於ける貨幣の職分と貨幣數量說　九四
國際貿易論（檀野禮助）　四七
國際貿易論（ハーバラー）　四七
國際聯盟に就て　二六
國產愛用展覽會報告書　一四二
國產改善資料　一四二
國產奬勵會會報　五五・一四二
國產臺帳　八
國產品を以て外國品に代用し得る爲めの國產改善資料　一四三
國產品ヲ以テ代用シ得ベキ輸入品　五五
國產品調查資料　五五
國產品輸入品對比展覽會報告書　一四二
國產要覽　一四二
小口落解禁に就て　一五一
國民銀行論　八二
國民經濟及私經濟より觀たる保險　一三七
國民經濟組織の缺陷と世界恐慌　九〇
國民經濟と社會生活　一三七
國民經濟と社會政策　一三七
國民經濟に對する生命保險の貢獻を論ず　一三七
國民經濟の立直しと金解禁　七一・九八
國民經濟より觀たる奢侈と節約　一三七
國民健康保險制度案立案の趣旨と其の解說　一三八
國民健康保險と產業組合　一三八
國民政府の通貨變革とその將來　八四
國民貯蓄の現狀　七二・一三三
國民に問ふ　九八

國立保險論　一三五
古今泉貨鑑　一〇五
古今錢略　一〇五
古今圖書集成（食貨典錢鈔部）　一〇三
古札位附　一〇五
古札便覽　一〇五
小島博士の「綜合保險學」の批判　一二六
御朱印船　五〇
御朱印船と日本人の海外進出　五〇
五十年間之東京米況　一五四
古事類苑（泉貨部）　三三
古事類苑（度量部）　一〇三
個人營業及結社營業　一・六
個人主義の現代的意義と其の批判　二九
個人生活の第二義　一三七
古錢價附　一〇五
古泉匯　一〇五
古泉學　一〇三
古泉雜詠　一〇三
古代監査制の一節　一五七
古代希臘のデモクラシイと其國民性　二七
古代商業史　四二
五代友厚　四一
古代日本における「市」の起源と職能　四三
古代の商人　四四
古代羅馬文化の實踐的傾向　二七
古量考　一〇五
今古米錢略考　一七
運春地方ニ於ケル經濟狀況　一四八
今日の廣告學　五五
コンネチカット州保險法　二六・一三七
混保十五年史　一四〇
コンミツサーリオ　八

サ

在英河瀨公使ノ貨幣問題ニ關スル報告　九八
サイエンテイフイツク・マネジメントと米國經營學　四〇
災害救濟論　一三五
在外國支店試算表の爲替換算法　一〇三
在外正貨の激減と其の影響　九九
財界前途に關する諸觀察　八
財界變動と生命保險　一三四
最近外國爲替　一三五
最近各國に於ける爲替ダンピング稅の賦課　一四八
最近廣告術　一三四
最近廣告論　一三四
最近五箇年之四日市港貿易統計　一三五
最近ニ於ケル本邦農業保險類似施設ニ關スル調査　一三五
最近に於ける勞農露國金融機關の概況　七五・八一
最近二十年間世界物價の趨勢　八
最近の外國爲替市場　一三一
最近の株式市況　一五四
最近の爲替と國際金融　八一・一三一
最近の金融學說　八一
最近の金融事情　八一
最近の獨逸銀行業　一三一
最近の貿易構成の變化について　五五
最近の横濱正金銀行爲替相場　一二九
最近米國に於ける損害保險の傾向　一三四
最近簿記問題詳解　一六四
最近保險法　一三五
最近我國の國産愛用運動　八
最惠國條款と支那　二八
債券價格表に就いて　八八
債券現價表（大藏省）　二〇・八一
債券現價表（日興證券會社）　二〇・八一
債券投資　一三四
債券投資の本質に就いて　七四
債券仲値表　一三四
債券の會計整理法　一五七
西貢米の調査　一四三
再禁止後株界の動き　一五四
最近支那銀問題の檢討　九八
最近支那主要港に於ける仲繼貿易と大連港　五五
最近支那貿易　五五
最近主要金融統計（大正八年）　七四・八一
最近十三箇年季間之米況　一五四
最近十ケ年間大連海關兩對圓金平均相場表　七六
最近十年間に於ける我財界の動き　七一
最近十年間に於ける我國の損害保險業　一三四
最近商業政策　四〇
最近商業通論　三六
最近商工史　四三
最近世界及び日本の關稅政策　九〇
最近世界貿易及通商政策の研究　五五
最近世界貿易概觀　五五
最近獨逸政派の消長　七四
最近ニ於ケル各國ノ輸出貿易振興策　五五・七五
最近に於ける貨幣現象　九八
最近に於ける金本位崩壞の意味　九七
最近に於ける內外貿易と横濱の地位　六・五五
最近に於ける本邦會社企業の發展　九八
最近ニ於ケル本邦農業保險類似施設ニ關スル調査　五五
最近に於ける勞農露國金融機關の概況　七五・八一
最近二十年間世界物價の趨勢　八
最近の外國爲替市場　一三一
最近の株式市況　一五四
最近の爲替と國際金融　八一・一三一
最近の金融學說　八一
最近の金融事情　八一
最近の獨逸銀行業　一三一
最近の貿易構成の變化について　五五
最近の横濱正金銀行爲替相場　一二九
最近米國に於ける損害保險の傾向　一三四
最近簿記問題詳解　一六四
最近保險法　一三五
最近我國の國産愛用運動　八
最惠國條款と支那　二八
債券價格表に就いて　八八
債券現價表（大藏省）　二〇・八一
債券現價表（日興證券會社）　二〇・八一
債券投資　一三四
債券投資の本質に就いて　七四
債券仲値表　一三四
債券の會計整理法　一五七
西貢米の調査　一四三

濟債簡易法　二二
採算の仕方　三〇
財産評價準則　一六一
財産保險の理論と實際　一三四
最新賣出し法　一九
最新外國貿易實務　四七
最新式簿記　三
最新實用經濟學　一九
最新事務法　一四二
最新重要商品學講義　二〇
最新商業算術　一六六
最新商業簿記　一六六
最新商業簿記原論　一六六
最新商業簿記表解と公式　一六六
最新商業要綱　三六
最新商事要項　三六
最新商品賣込術　一九
最新商用通信　二四
最新店頭陳列法　三
最新米國銀行事務　二一
財政學の社會的意義　二六
財政と金融　八
財政と金融に關する若干の問題　七二・八一
再保險に於ける「危險保險料」式　二九
再保險論　二五
財務諸表準則　一六一・一六三
財務諸表準則解說　一六一
サイモン・グレイの人口論　一六一

シ

―十九世紀初頭に現はれたる英吉利ポピユレイシヨニスツの一研究　二六
在留支那貿易商堺市史（資料編）　五五
佐賀縣商工銘鑑　四三
酒田米穀取引所倉庫事業概要　一四〇
酒類の釀造　二
鎖國の崩壞と其思想的背景　二七
砂糖ニ關スル調査　一四三
砂糖年鑑　八
サラリーマンの生活戰術　一五二
三貨圖彙　一〇三・一〇五
三器攻略　一三三
三器圖義　一三三
産業組合會計　一六二
産業組合金融　八一
産業組合經營論　五・三三
産業組合中央金庫開業滿三箇年業務經過概要　八一
産業組合中央金庫業務概況　八三
産業組合中央金庫業務報告書　八一
産業組合中央金庫十年誌　八一
産業組合と金融　七四・八一
産業組合の火災保險契約に關する調査　一三四
産業組合の社會經濟的作用　二六
産業組合文獻集　八一
産業組合法發布前産業組合文獻集　八一
産業經營學概說　一三五
産業經營理論　一三五
産業講演集　一四八
産業合理化　一五四
産業合理化と失業　四三
産業社會に於ける貨幣の統制力　一六一
産業心理學　一三五
産業と金融の聯絡　一三五
産業と保險　一三五
産業に於ける人的要素　一三五
産業能率論　一三四
産業復興とメートル法　一三四
産業貿易觀　一三五
産業用品配給組織の特異性に就て　二九
産業立國に就いて　一三四
蠶絲貿易改良私議　九
蠶絲類及眞綿統計表　三一
算術講義　一四
三省の産業と貿易概況　一三六
山東省ノ經濟的發展　一三六
「サントス」珈琲取引所三品年報　一四三
三要錄　一三六

シ

C・I・F・賣買と類似C・I・F・賣買の法律的研究　六九
シーボルト日本交通貿易史　五〇
仕入及販賣方法　一
仕入と販賣　六・一九
シエル式割增附蓄貯制大意　一三三
市街地信用組合概況　八二
市街地信用組合經營事例　八二
市街地信用組合論　八二
市街地信用組合調　八二
地方新書（附度量權）　三二
絲價の變動に就て　三四
糸價變動の研究　五
信樂陶業の起源と製品の變遷　一五四
四期拂五分利債券現價表　二〇・八一
事業會計實務參考法規　一五七・一六二
事業財政分析觀察法　一六二
事業と株價の將來　一六二
事業に對する德義　六九
事業の將來と花形株　三
時局株の再檢討　三
時局と株式投資　八
時局ト貿易　五五
時局ニ於ケル浦鹽斯德金融　五五
貿易竝ニ一般概況　九・七三
時局ノ推移ト世界金融市場　八二
時局ノ內外貿易竝ニ商工業ニ及ボセル影響調査報告　五五
資金運用ト經費節減法　一九
資金運用祕傳　二三
私經濟保險概論　一三五
私經濟保險學　一三五
時好　一四八
資産を作る近道の研究　一五四
資産評價準則　一六二
市場經濟と倉庫經濟　三六・一四〇
市場市營ニ關スル調査報告書　九
市場組織論　三六
市場要論　三六
市場論（內池廉吉）　三六
市場論（福田敬太郎）　五・三六
地震約款ト擧證ノ責任　一三四
地震約款無效論　一三四
指數決定法としての算術平均の理論と滿洲國の物價調査について　二九
靜岡市商工業諸統計表及靜岡市々街地商店分布圖　九
システム　三二
始政五年記念朝鮮物産共進會農商工部鑛務課出品目錄及解說書　一四
市設質舖の利用狀況に關する調査　八二
私設鐵道ヲ抵當權ノ目的ト爲スコトニ關スル調査報告　一二三
自然的グツドウヰルの研究　三六
自然法の基礎　三六
時代思潮と郵便年金制度　一三七
仕出し商人盡し歌合　二九
實際　一三五

七十五日　一六・二四八
質屋業ノ統計調査　八二
質屋公營論　八二
質屋取締法　八七
質屋之研究　八二
實業家修養法　四
實業學校教員檢定試驗簿記問題集及解說　一六六
實業教育五十年史　一
實業訓　四
實業經典　四
實業新算術教科書　二
實業之支那　九
失業保險論（I. G. Gibbon）　一三八
失業保險論（森田良雄）　一三八
實業用務實典　一九
實際家のメートル法意見　三三
實際商業廣告　一四八
實際商品學　一四二
實際に實れる古金銀貨幣の値段表　九六
實質資本維持會計の本義　八〇・九八・一五九
漆樹及漆液　一四二
實踐會計整理法　一四二
實踐銀行簿記法　一四八
實踐金融論　八二
實踐國際爲替　二〇〇
實踐商業會話　一三五
實踐的經營學の問題　三六
疾病保險　一三八
疾病保險論　一三八
實務商業簿記　一六六
實用英語作文　二四
實用英語譯解　二四
實用海保研究の新提案　一三四
實用商品學　一四三
實用生命保險數學　二一・二九
實用速算法　二
實用珠算　三
實用手形法釋義　一三三
實用鐵道會計　一六三
實用普通簿記　一六四
實用簿記學講義　一六四
支店銀行制度論　二一・二三
自動開閉 Collar を裝置する爲壓印機一部の改造　九九
自働消火裝置に就て　一三四
支那漆に就いて　七六
支那・英領海峽植民地・英領香港及佛領印度支那に於ける水產貿易竝に漁業狀況　五六
支那及南洋貿易要覽　五六
支那及滿洲の通貨と幣制改革　九八
支那會計學研究　一六三
支那開港場誌　五六
支那外國貿易統計表　五六
支那貨幣・金融發達史　七〇・八二・一〇三
支那貨幣考　一〇三
支那貨幣史錢莊攷　一〇三
支那貨幣に就きて　一三八
支那貨幣論（有本邦造）　九八
支那貨幣論（章乃器）　一六六
支那關稅改正と日本の商工業　五六
支那銀行論　二四
支那金融機關　一三四
支那金融資本論　一四三
支那經濟恐慌の特質　五〇
支那經濟全書　五六
支那研究　一
支那交通部鐵道會計及統計規程　一六三
支那國立銀行に關する研究　一一
支那古姓の研究　二九
支那最近の時局と貿易關係　五六
支那重要貿易品解說　五六・一四三
支那商業地理　八三
支那商業簿記法一斑　五六
支那商買一斑　九・一六六
支那上代思想としての曇子の興亡に就いて　九
支那商用對話（附商用文）　二五
支那新輸入稅率と日支貿易　五六
支那長期對外借款契約正文彙集　八二
支那長江貿易詳覽　五六
支那通貨論　五六
支那通商　一
支那通商概況　五六
支那內國爲替　一三
支那に於ける外人の商標權　三九
支那に於ける各國貿易の現狀　二
支那に於ける銀と物價　九八
支那に於ける新貨幣制度　七二・九八
支那に於ける日貨排斥運動　五六
支那ニ於ケル日本ノ貿易　五六
支那に於ける無盡の慣習　八三
支那日本通商史　五〇
支那の貨幣制度　九八
支那の爲替と金銀　一三
支那の關稅金徵收と幣制改革論　九八
支那の金融と通貨　七〇・八二・九八
支那の組合制度雜考　二七
支那の經濟恐慌に關する調査　九〇
支那の砂糖貿易　五六
支那の產業と金融　八三
支那の時局と支那貿易の消長　五六
支那の借款金融政策　八三
支那の石炭　一四二
支那の大運河に就て　二八
支那の同鄉團體　二七
支那の動亂と對支貿易　六・五六
支那の聯合と日本のコンツェルン　二七
支那物產地圖　一七
支那幣制改革に關する諸問題　九八
支那幣制改革の一年　七二・九八
支那幣制改革の研究　九六
支那幣制改革の實行性　九九
支那幣制改革問題一斑　七五
支那幣制改革論　九九
支那幣制の研究　九九
支那貿易（織田一）　五六
支那貿易（東亞同文會）　五六
支那貿易案內　五六
支那貿易概況　五六
支那貿易事情　五六
支那貿易說　五六
支那貿易ノ概況（農商務省商務局）　五六
支那貿易の概況（農商務省商務局）　五六
支那貿易の概況（吉田虎雄）　五六
支那貿易の現狀　五六
支那貿易の趨勢　五七
支那貿易ノ大勢　五七
支那貿易物產字典　五七・一四三
支那防穀令（中島宗一）　五七
支那防穀令（眇田熊右衞門）　五七
支那輸出羊毛調查報告書　五七・六四
支那輸入關稅改訂竝戰後ノ對支綿製品貿易　五七
支那ハ現在果シテ直接ニ金本位ヲ採用シ得ベキヤ　七五・九九
支那通商　二
支那通商概況　九九
支那內國爲替　一三

紙幣整理始末　一〇三
西伯利及滿洲　九
西比利亞經濟事情概要　七四
西伯利亞經濟狀態ト日露貿易資料　五七
西比利亞ニ於ケル日露貿易ノ將來　五七
死亡生殘表ノ研究　一三九
死亡表問答　一三八
死亡率計算ノ理論　一三七
社會主義論者の貨幣及銀行觀　九四
資本主義貨幣制度論　九〇
資本蓄積と經濟恐慌　九〇
資本逃避の概念　二八
資本のおろし方　二五五
島根縣下農業金融ノ概況　八二
事務管理總論　一・五
事務管理組織と會計制度　一五八
事務用紙類の寸法と市場出來合品　一六四
社會史政治史及經濟史上より現代支那を論ず　二八
社會主義論者の貨幣及銀行觀　七〇・九四・一〇八
社會生活と簡易保險及郵便年金　一三六
社會生活の第二義　一三六
社會生活の倫理　一三七
社會生活より見たる個人主義　二八
社會の上・下構造論　二八
社會保險（石丸優三）　一三六
社會保險（清水玄）　一三八
社會保險概論　一三八
社會保險研究　一三八
社會保險としての簡易保險の進むべき途　一三七
社會保險と損害保險との關聯に就て　一三四・一三八
社會保險の各國實施現況　一三九
社會保險の給付に就て　一三九
社會保險要論　一三九
社會保險論（石丸優三）　一三九
社會保險論（R.M. Woodbury）　一三九
社會保險論（河田嗣郎）　一三九
社會保險論（堀川美哉）　一三九
社會保險論集　一三九
社會保險論叢　一三九
社會問題と金融政策　七二・八三
社會連帶的意義に於ける保險　一三七
社會連帶の思想　一三七
弱體保險　一三九
弱體保險資料調查報告書　一三八・一三九
弱體保險の話　一三九
弱體保險論　一三九
尺度綜攷　一三
社債及社債信託論　一一七
社債權者ノ債券保護ニ關スル調查報告　一一三
社債事業別明細表　八七
社債狀況　八三
社債の十年　八三
寫眞ニュース　一四三・一四五
鯱のうろこ　五七
若干の貨幣問題　五七・一四三
瓜哇金融及日瓜貿易　五七・一四三
瓜哇に於ける「カツサバ」及其の製品　一
瓜哇之糖業　一
上海を中心とする石油販賣業及其組織　三
上海を中心とせる支那の阿片問題　三
上海々產物事情　一
上海銀元對日本圓裁定相場表　一一三
上海銀行公會事業史　一三五
上海港輸出入貿易明細表（大正二年）　一三九
上海市場の圓爲替と滿洲の通貨　七一・九九・一一二
上海錢業公會營業規則　一一二
上海造幣廠籌備始末記　一三九
上海に於ける外國爲替及金融　七一・八二・一一二
上海の金融機關　八二
上海物價年刊　一三
朱印船貿易史　一七
收益率の理論　一一三
拾圓で出來る商賣　八七
修學行商日記　八三
粟玉紙集　一四三
重要商品の國際市場　九・七六
重要輸出工產品要覽　五七・一四三
重要輸出品の趨勢　五七
重要輸出品要覽　五七・一四三
重要輸入品要覽　五七・一四三
衆落地理　一
自由連鎖店の實際　一
十六世紀日歐交通史の研究　五一
祝酒　二九
主從心得書　三
酒精に關する輸入品調查報告書　六七
出火原因と危險物に就てデュネーブ人としてのジャン——ジャック・ルソオの研究　二六
シュピートホフ景氣理論　三五
主部の論理と客部の論理　二八
シュミット教授著逃目錄　一六二
シュミット有機觀對照表學說　一六二
趣味と實益の株式賣買　一五〇
主要貨物情報　一四八
主要國社會保險制度概要　一三九
準備銀行と金融市場　八二・一一二
準備金始末　一〇三
準備積立金に就て　一五七
商英叢書　二四四
商海英傑傳　四五
商界の奇傑　四五
商界の十傑　四五
商科學生諸君に望む　二
商學　三二
批評　二九
十組問屋取結書　六
自由港設置論　六九
十五銀行營業報告摘要　一二五
十七世紀に於ける日暹關係　五〇
十七世紀末以前の金融と英蘭銀行の設立　八八
習字法講義　三
收支簿記を論ず　一六四・一六五
周尺說　三三
自由通商運動に就いて（Free Trade 及其製品　七五・一四三
收米權上書　一五一
自由貿易及保護關稅論　四七
自由貿易乎保護貿易乎　四七
自由貿易論　四七
自由保護貿易得失論　四七
自由保護貿易論（井上辰九郎）　四七
自由保護貿易論（フオーセット）　四七
重要貨物情況　一四三
重要產業の統制に就て　一二八
重要商工法規解說　二
重要商品學　一四三
重要商品學講義　一四三
重要商品誌　一四三
重要商品需給一覽表　九
重要商品精義　一四三
重要商品建值調　一四三